はじめに

このたびは、「Vodafone 802SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- Vodafone 802SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書は日本国内向けです。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Vodafone 802SH　取扱説明書

2004年１１月　第１版
ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Vodafone 802SH
製造元：**シャープ株式会社**

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（メモリダイヤル・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

古紙配合率100 %再生紙を使用しています

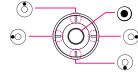
この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

TINSJA079AFZZ
04L 88.0　TR TK396①

本書の見かた

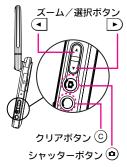
本書では、Vodafone 802SHをオープンポジション（☞P.1-13）にした状態での操作を中心に説明しています。
また、本書で記載されている画面は、登録状況などによって、実際の画面とは異なります。操作の目安としてご利用ください。

マルチガイドボタン

メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。
本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。

- 使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。
  - ■ またはを押すとき ………………
  - ■ またはを押すとき ………………
  - ■ を押すとき …………………

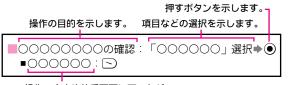
サイドボタン

ビューアポジション（☞P.1-14）で使用するときなどは、本体右側面の各ボタンを使用します。
本書では、各ボタンでの操作を右のように表記しています。

- クリアボタンには「C」の刻印はありませんが、他のボタンと区別するため「ⓒ」と表記しています。

本書の表記

■メニュー操作

目的の操作に至るまでのメニュー操作（選択する項目）は、次のように表記しています。

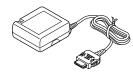
■補足操作

この「Vodafone 802SH取扱説明書」の本文中においては、「Vodafone 802SH」を「802SH」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBW01）※
（１タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■卓上ホルダー（SHEW01）※

■マルチステレオイヤホンマイク

■急速充電器（SHCW01）※

■ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）

※オプション品としても取り扱いしております。

補足▶
- 付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。
- 802SHは、SDメモリカードを利用することができますが、本製品にはSDメモリカードは同梱されていません。市販のSDメモリカードをお買い求めいただくことにより、SDメモリカードに関する機能をご利用いただくことができます。

目次

基本編

1 ご利用になる前に

2 基本的な操作のご案内

3 文字の入力方法

4 電話帳

Contents

Contents

5 TVコール

6 カメラ

7 メディアプレイヤー

Contents

8 データフォルダ

9 外部接続

10 その他の設定

Contents

11 ツール

12 オプションサービス

Contents

Vodafone live!編

13 Vodafone live!

14 メール

Contents

15 Vアプリ

16 Abridged English Manual

17 付録

Contents

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**
	警告	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**
	注意	**誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は してはいけないこと（禁止）を表しています。	記号は しなければならないこと（強制）を表しています。	記号は 気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

802SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

802SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ボーダフォンが指定したものを使用する（☞P.iii）

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させない

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。

正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。（☞P.iii）
- 電池パックを802SHに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、802SH専用です。それ以外の機器には使用しないでください。

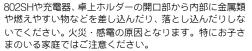
電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

802SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

802SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

802SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

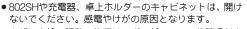
モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力傷害の原因になります。

また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックや802SH、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、802SHや充電器、卓上ホルダーの発熱・発煙・発火や回路部品を破壊させる原因となります。

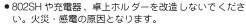
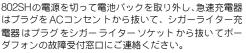
分解や改造はしない

- 802SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。

- 802SH や充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

802SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

802SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

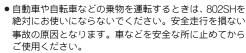
衝撃を与えない

802SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、802SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、802SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

802SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、802SHを絶対にお使いにならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。（2004年11月1日改正）
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、マルチステレオイヤホンマイクを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

ストラップを持って802SHを振り回したり、投げない

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、802SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定に注意してください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

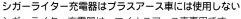
指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- **急速充電器**：AC100V～240V
  - ■海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切責任を負いかねます。
- **シガーライター充電器**：DC12／24V

市販の「変圧器」は使用しない

急速充電器を、海外旅行用として市販されている「**変圧器**」などに接続しますと、火災・感電・故障の原因となることがあります。

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。

充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは

（芯線の露出、断線など）

ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。火災・感電・故障の原因となります。

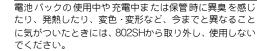
充電器や卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

感電・けがの原因となります。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、802SHから取り外し、使用しないでください。

そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

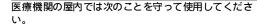
ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、802SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、802SHを持ち込まない。
- 病棟内では802SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、802SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがう。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠注意

802SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使わないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を802SHや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

802SHの取り扱いについて

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

802SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。

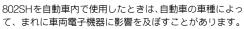
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。

また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

マルチステレオイヤホンマイクの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のとき

802SHを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

802SHの取り扱いについて

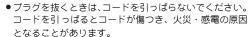
皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受ける。

下記の箇所に金属などを使用しています。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（メインディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理（下地：エポキシ系焼付け塗装）
キャビネット（背面側、ディスプレイ下側、操作ボタン側、電池パック側）、電池カバー、メモリカードスロットカバー、ディスプレイ側外周カバー）	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓	アクリル樹脂
ロゴバッジ１、ロゴバッジ２（操作ボタン下側）	UV硬化樹脂
カメラ透明窓	アクリル樹脂
スモールライト飾り窓	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケル、銅）／PC樹脂／アクリル樹脂
カメラ飾り	ABS樹脂（蒸着／下地：スズ）／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理
ネジカバー（ディスプレイ上側、操作ボタン上部）	ウレタン樹脂
ネジカバー（ディスプレイ下側）	PET
ネジカバー（ヒンジ部）	UV硬化樹脂
サイドボタン	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケル、銅）／PC樹脂
マルチガイドボタン、ファンクションボタン、左ソフトボタン、右ソフトボタン	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケル、銅）
開始ボタン、電源／終了ボタン	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケル、銅）／PC樹脂
ショートカットボタン、クリアボタン、マルチメディアボタン	PC樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
イヤホンマイク端子カバー、外部機器端子カバー	エラストマー樹脂
電池パック	PC樹脂
充電端子	ナイロン6T／BRASS、Auメッキ（下地：ニッケル、銅）
ネジ（ディスプレイ側、操作ボタン側）	SWCH12A／Niメッキ
SIMピン	リン青銅＋ニッケルメッキ＋パラジウム・ニッケル合金メッキ＋金メッキ
SIMカバー	SUS

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
- AC コンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

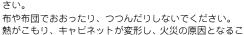
シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。

指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。

布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、802SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

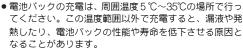
電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、濡らさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。
- 電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないように注意してください。

- 電池パックの充電は、周囲温度5℃～35℃の場所で行ってください。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックを初めてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより802SH／SDメモリカードに登録したデータ（電話帳・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 802SHは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 802SHを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 802SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  802SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいた上で、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、802SHを絶対にお使いにならないでください。
- 802SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 802SHを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）
  運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- 802SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客さまが登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 802SHは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- モバイルカメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 802SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
  また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 802SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- 802SHのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 802SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外にもれることがあります。
  周囲の人の迷惑にならないように注意してください。
- **802SHは防水仕様にはなっていません。**
  水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - ■雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - ■エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - ■洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - ■海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光が当たらないようにしてください。
  - ■汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が802SHの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- **802SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
  故障やけがの原因となります。
  - ■802SHをズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - ■荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 802SHのイヤホンマイク端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、802SHを傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず802SHの電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.

Additional information may be obtained from MPEG LA.
See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.

- Microsoft、MS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語の略です。
- Windows 98 SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語の略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP operating system 日本語の略です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。

JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

SDロゴは商標です。

着うた®は、株式会社 ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

下記の1件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United
States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307　5,490,165　5,056,109　5,504,773　5,101,501
5,506,865　5,109,390　5,511,073　5,228,054　5,535,239
5,267,261　5,544,196　5,267,262　5,568,483　5,337,338
5,600,754　5,414,796　5,657,420　5,416,797　5,659,569
5,710,784　5,778,338

Bluetooth is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® is a registered trademark of HI Corporation

802SHのBluetooth機能では、2.4GHz帯の周波数を使用しています。下記事項に注意して使用してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ボーダフォン株式会社　お客さまセンター
ボーダフォン携帯電話から　157（無料）
※一般電話からおかけの場合、「**お問い合わせ先**」（☞P.17-32）を参照してください。

● この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

2.4FH1

本製品は Macromedia, Inc. が開発した Macromedia® FLash Lite™ テクノロジーを搭載しています。

macromedia
FLASH PLAYER

CP8 PATENT

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

- **この機種【802SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**
  この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
- この携帯電話機【802SH】のSARは、0.78W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
- SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
  - ■総務省のホームページ
    http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
  - ■社団法人電波産業会のホームページ
    http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

ご利用になる前に

代表的な機能

● ■■■の利用には、市販のSDメモリカードが必要です。

USIMカード対応
電話番号などの情報が書き込まれたカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話で利用できます。

P.1-4

4つのポジション
ディスプレイ部分が180度回転して、使い方に応じて4つのポジションが選べます。

P.1-13、P.1-14

メモリカード
静止画や動画など、各種データをSDメモリカードに保存できます。

P.1-25

国際ローミング対応
W-CDMA方式とGSM方式に対応しており、日本国内／海外を1つの電話番号でご利用いただけます。

P.2-14

マナーモード
ボタン1つで着信音を鳴らさないように設定できます。

P.2-16

多彩な文字変換
近似予測変換、連携予測変換、ワンタッチ変換、推測頭出し変換などが利用できます。

P.3-6、P.3-12、P.3-13

電話帳
最大500件（1件につき電話番号とE-mailアドレス各3件：802SHに登録時）まで登録できます。

P.4-2

TVコール
お客様ご自身と相手の映像を見ながら、通話することができます。

P.5-2

モバイルカメラ
内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。モバイルライト撮影も可能です。

P.6-2

メディアプレイヤー
ダウンロードした音楽や動画、撮影した動画を再生できます。

P.7-2

データフォルダ
静止画や動画、メロディ、アニメなど、各種データをまとめて管理できます。

P.8-2

Bluetooth通信
Bluetooth通信を利用して他機器との接続やデータのやりとりができます。

P.9-3

赤外線通信
赤外線通信を利用して、他の機器との間でデータのやりとりができます。
P.9-9

ディスプレイ設定
壁紙や画面ピクチャー、文字表示などを設定できます。
P.10-4

Language／言語選択
メニューや各種メッセージを英語表示に切り替えられます。
P.10-5

カレンダー／予定メモ
時間や期日の決まった予定を登録して、スケジュール管理を行えます。
P.11-2

ボイスレコーダー
802SHで音声を録音／再生したり、録音した音声をメールで送信できます。
P.11-9

バーコード
バーコードを読み取ったり、電話帳などからバーコードを作成できます。
P.11-11

電子ブック
SDメモリカード内の電子書籍データ（XMDF形式）を、閲覧できます。
P.11-24

ボーダフォンライブ！
メール（SMS／MMS）、ウェブ、Vアプリの各機能が利用できます。
P.13-2

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
P.12-2

留守番電話サービス
電話に出られないとき、相手のメッセージをお預かりします。
P.12-4

割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けられます。
P.12-5

多者通話サービス
複数で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。
P.12-6

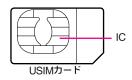
発着信規制サービス
電話をかけたり、電話を受けたりすることを制限できます。
P.12-7

発信者番号通知サービス
お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知に設定できます。
P.12-10

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下USIMカード）は、電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていないときは、電話の発着信、メール、ウェブなどのネットワーク接続ができません。

- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードには電話帳を保存できます。（☞P.4-2）
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のボーダフォン携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入し故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

USIMカード

802SHを落としたり、強い衝撃を与えたとき

USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。そのとき、自動的に電源が切れ、再度電源が入ることがありますが、故障ではありません。
また、ディスプレイに「**USIMカード未挿入**」とメッセージが表示されたときは、USIMカードが正しく装着されているか確認のうえ、電源を入れ直してください。

USIMカードについてのその他ご注意

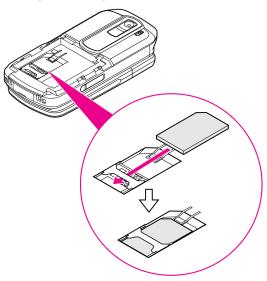
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

USIMカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 **電池パックを取り外す。**（☞P.1-21）

注意▶
- 無理に取り付けようとすると、USIMカードが破損することがありますので、ご注意ください。
- USIMカードの取り付けを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。

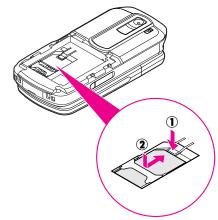
2 **金色のIC部分を下側にして、USIMカードを矢印方向にスライドさせる。**

3 **電池パックを取り付ける。**

取り外す

1 **電池パックを取り外す。**（☞P.1-21）

注意▶

- 無理に取り外そうとすると、USIMカードが破損することがありますので、ご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは紛失しないよう、ご注意ください。
- USIMカードの取りはずしを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。
  そのときは、「**USIMカード未挿入**」のメッセージが表示されたり、自動的に電源が切れ、再度電源が入ることがありますが、故障ではありません。
  また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

2 **ツメを①の方向に押し、USIMカードを軽く押しながら、ゆっくりと②の方向にスライドさせる。**

3 **電池パックを取り付ける。**

PINコード

USIMカードには、「**PIN１コード**」と「**PIN２コード**」という２つの暗証番号があります。

PIN１コード

第三者によるボーダフォン携帯電話の無断使用を防ぐための４～８ケタの暗証番号です。

- お買い上げ時には、「**9999**」に設定されています。
- PIN１コードは、変更することもできます。（☞P.10-10）
- 「**PIN On/Off設定**」（☞P.10-10）を「**On**」に設定すると、USIMカードを802SHに取り付けて電源を入れたとき、PIN１コードを入力しないと802SHを使用することができなくなります。

PIN２コード

「**累積通話料金**」のリセットや「**通話料金上限設定**」に使用する暗証番号です。

- お買い上げ時には、「**9999**」に設定されています。
- PIN２コードは、変更することもできます。（☞P.10-10）

PINロック解除コード（PUKコード）

PIN１コードまたはPIN２コードの入力を３回続けて間違うと、「**PIN１ロック**」または「**PIN２ロック**」が設定されます。PINロックは「**PINロック解除コード（PUKコード）**」を入力することで、解除できます。

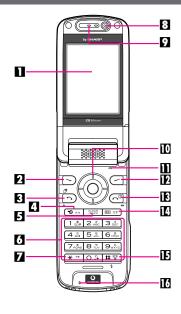
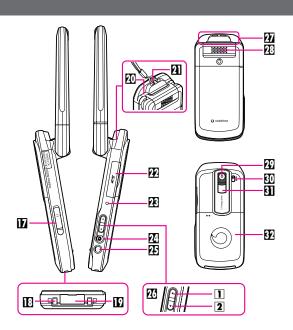
- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。

注意▶
- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、802SHが使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされたときは、ロックを解除する方法がなくなります。お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。

各部の名称と機能

本体

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16

17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
1
2

1 ディスプレイ
2 左ソフトボタン
画面左下のソフトキーを利用するときや、メールを利用するときに使用します。
3 開始ボタン
電話をかけるときや受けるとき、全通話履歴を表示するときに使用します。
4 ショートカットボタン
ショートカットリストを表示するときなどに使用します。
5 クリアボタン
入力した電話番号､文字などを削除するときや､各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。
6 ダイヤルボタン
電話番号や文字の入力などを行うときに使用します。
7 ＊／誤動作防止ボタン
誤動作防止を設定／解除するときに使用します。
（１秒以上長押し）
8 モバイルカメラ（前面）
TVコール利用時、ここから撮影した画像が相手に送られます。
9 レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。
10 マルチガイドボタン
メニュー項目の選択や決定､カーソルの移動､画面をスクロールするときなどに使用します。
11 マイク（送話口）
ビューアポジション時に、お客様の声をここから伝えます。
12 右ソフトボタン
画面右下のソフトキーを利用するときや、ボーダフォンライブ！を利用するときに使用します。
13 電源／終了ボタン
電源のON／OFFを行うときに使用します。
（２秒以上長押し）
14 マルチメディア／文字ボタン
メディアプレイヤーを起動したり、文字の入力モードを切り替えるときに使用します。
15 #ボタン
- 短押し：オープンポジションでのモバイルカメラ撮影時に、モバイルライトをOn／Offにするときに使用します。また、文字入力中は、記号リストの表示に使用します。
- 長押し：マナーモードを設定するときに使用します。
16 マイク（送話口）
お客様の声をここから伝えます。
17 イヤホンマイク端子
マルチステレオイヤホンマイクなどを接続する端子です｡通常は端子キャップを閉じてお使いください。
18 充電端子
19 外部機器端子
急速充電器やシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。
20 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。
21 ストラップ取り付け穴
図のように市販のストラップを取り付ける穴です。
22 メモリカードスロット
SDメモリカードを挿入する場所です。
23 スモールライト
次のように点灯します。
- 充電中：赤色で点灯

㉔シャッターボタン

- ビューアポジション時
  - ■ 短押し：メニュー項目を選択するときや実行するときに使用します。
  - ■ 長押し：カメラを起動するときに使用します。
    モバイルカメラのときの動作：☞P.6-4

㉕クリアボタン

スポットライトを点灯させるときに使用します。
（1秒以上長押し）

- ビューアポジション時
  - ■ 短押し：各種メニュー操作をキャンセルするときなどに使用します。
    モバイルカメラのときの動作：☞P.6-4

㉖ズーム／選択ボタン

- ビューアポジション時
  1. メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。（下または右へ移動）
     モバイルカメラのときの動作：☞P.6-4
  2. メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。（上または左へ移動）
     モバイルカメラのときの動作：☞P.6-4

㉗内蔵アンテナ

この部分にアンテナが内蔵されています。

㉘スピーカー

着信音がここから聞こえます。また、スピーカーホン中に相手の声がここから聞こえます。

㉙モバイルカメラ（背面：レンズカバー）

ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

㉚接写スイッチ

接写モードと通常モードを切り替えるときに使用します。

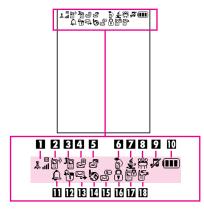
㉛モバイルライト

電話がかかってくると設定したカラーパターンで点滅します。モバイルカメラでは、モバイルライト撮影に利用できます。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

㉜電池カバー

注意▶ 内蔵アンテナについて

- 802SHは内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。
- 内蔵アンテナ部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。ご使用中の体の向きや通話している場所によっては、通話品質が変わることがあります。
- 電波の弱い場所では、クローズポジション（☞P.1-13）での待ち受けをおすすめします。また、ビューアポジションでの通話中に音が途切れるなど、通話状態が悪いときは、オープンポジション（☞P.1-13）でお話しください。

ディスプレイ

1 （電波状態表示）／（オフラインモード表示）／（3Gモード表示）／（GSMモード表示）
3Gサービス圏内では、「」が赤で表示され、右上に「」が表示されます。
また、GSMサービス圏内では、「」がグレーで表示され、GPRS（パケット通信）が利用できるときは、右上に「」が表示されます。の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　圏外：圏外
また、オフラインモードのときは「」が表示されます。

2 （SDメモリカード状態表示）／（着信表示）／（音声電話通話中表示）／（TVコール通話中表示）／（通信中表示）
SDメモリカードの状態が表示されます。また、音声電話がかかってきたときは「」が、音声電話通話中は「」が、TVコール通話中は「」が、メールサーバーやウェブと通信中は「」が表示されます。

3 （転送表示）／（SSL表示）
転送電話サービス／留守番電話サービスの「**呼出なし転送**」が「**音声通話**」に設定されているときに表示されます。また、SSLに対応している情報画面では「」が表示されます。

4 （SMS受信表示）
SMSを受信したときに表示されます。

5 （MMS受信表示）／（受信中表示）／（送信中表示）／（メモリ容量フル表示）
MMSを受信したときに表示されます。また、SMSやMMSの受信中には「」が、送信中には「」が表示されます。
メモリの空き容量不足のため受信できなかったときは、「」（赤）が表示されます。

6 ／／／／／（外部通信表示）
：USB通信可能　：赤外線通信接続中（矢印赤）
：赤外線通信データ送受信中　：Bluetooth通信可能
：Bluetooth通信中　：Bluetooth通話中

7 （Vアプリ起動中表示／Vアプリ一時停止中表示）／（音楽再生中）
Vアプリ起動中には「」が、Vアプリ一時停止中には「」（グレー）が表示されます。また、音楽再生中には「」が表示されます。

8 ／／／／（通話モード表示）

通話モードを設定しているときに表示されます。

：ミーティングモード　：アクティブモード

：運転中モード　：ヘッドセットモード

：マナーモード

9 （サイレント表示）／（バイブレータ表示）／（スピーカーホン表示）／（マイクミュート表示）

通常着信音がサイレントのときは「」が、ステップトーンのときは「」が、バイブレータが設定されているときは「」が表示されます。（サイレントでバイブレータが設定されているときは「」が表示されます。）

また、スピーカーホンで通話しているときは「」が、マイクミュート状態のときは「」が表示されます。

10 （電池残量表示）／（スポットライト表示）

電池パックの残量（電池レベル）の目安を表示します。また、スポットライト点灯時は「」と「」を交互に表示します。

11 （アラーム表示）

アラームが設定されているときに表示されます。

12 ／（予定表示）

予定が設定されている日に、まだ設定時刻になっていない予定（アラームON時：／アラームOFF時：）があることをお知らせします。

13 （送信失敗表示）

送信に失敗したメールがあるときに表示されます。

14 （ウェブ着信表示）

ウェブ着信があったときに表示されます。

15 （メッセージお預かり表示）

留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときに表示されます。

16 （シークレットモード表示）

シークレットモードのときに表示されます。

17 （ダイヤル操作禁止表示）／（誤動作防止表示）

ダイヤル操作禁止が設定されているときは「」が、誤動作防止が設定されているときは「」が表示されます。

18 （赤外線通信可能表示：矢印グレー）

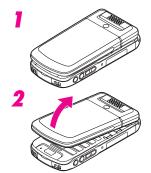
802SHのお取り扱い

802SHは使い方に応じて、４つのポジションが選べます。

- 本書では、「**オープンポジション**」を中心に操作の説明をします。ただし、モバイルカメラ（☞P.6-2）の操作は「**ビューアポジション**」を中心に説明します。

４つのポジションから選ぶ

- ポジションを変更するときは、両手で持ってゆっくりと操作してください。力を入れすぎると、破損の原因になります。

クローズポジション

ディスプレイを内側にして、２つ折りにした状態です。（お買い上げ時の状態です。）

- 携帯するときにおすすめします。

補足▶ 通話することはできません。通話するときは、オープンポジションまたはビューアポジションに変更してください。

オープンポジション

3 **ディスプレイ部分を止まるまで開く。**

ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタン操作をするときの状態です。

- 通話や文字入力などに適しています。

セルフショットポジション

4 **ディスプレイ部分を右回りに180度回転させる。**

5

ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタンを使ってモバイルカメラ操作をするときの状態です。

- 自画撮影など、ディスプレイで画像を確認しながらの撮影に適しています。

注意▶
- 通話することはできません。通話するときは、オープンポジションまたはビューアポジションに変更してください。
- セルフショットポジションに変更するときは、ディスプレイ部分を左回りに回転させることはできません。

ビューアポジション

6 **ディスプレイ部分を閉じる。**

7

ディスプレイ部分を外側にして、2つ折りにした状態です。

- モバイルカメラ（☞P.6-2）の操作や、撮影した画像の確認（☞P.6-18）をするときに適しています。
- ⓐ、ⓒ、▶、◀を使って、オープンポジションとほぼ同様に基本的な操作ができます。

注意▶ ビューアポジションのまま携帯しないでください。ディスプレイを破損する恐れがあります。

ボタンの押し方

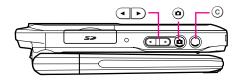
一部のボタンでは、押し方によっていくつかの機能が利用できます。

短押し※	軽く押します。（本書でのボタン操作の基本的な押し方です。）	長押し	1 秒以上押し続けます。

※本書では、ことわりがない限り「**短押し**」は「**押す**」と記載しています。

ビューアポジション時のボタン操作

ビューアポジション時には、📷、ⓒ、◀、▶の各ボタンを使って操作します。

待受画面での操作

📷	長押し	モバイルカメラ起動
	短押し	メインメニュー表示
ⓒ	長押し	スポットライト点灯
◀ ▶	短押し	受話音量変更

待受画面以外での操作（着信中、通話中、モバイルカメラ、Vアプリを除く）

各ボタンは次のように、オープンポジション時のボタンと対応しており、基本的な操作はオープンポジション時とほぼ同様に行えます。

ビューアポジション時のボタン		オープンポジション時のボタン
📷	長押し	⌒
	短押し	◉
ⓒ	長押し	⌒
	短押し	⌒
▶	短押し	◎または◎※
◀	短押し	◎または◎※

※動作する方向は、表示される画面によって異なります。

補足▶ ビューアポジションで操作するときは、対応するボタンに置き換えてお読みください。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：5℃～35℃
- 指定以外の充電器で充電しないでください。指定以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電が開始されるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
- 充電時間は約135分です。
  - ■**常温（電源OFF時）での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。**
- 充電中、充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、ご家庭でお使いのテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をご家庭でお使いのテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックや802SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - ■極端な高温や低温環境
  - ■湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。また、電池パックを長期間保管･放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

補足▶
- 電池パック単体で充電することはできません。802SHに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。
- 電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電したとき、充電中は「▮▮▮」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- 802SHを開いた状態でも充電することができます。

完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約150分（3Gモード）／約240分（GSMモード）
連続待受時間	約240時間（3Gモード）／約250時間（GSMモード）
連続操作時間	約4.5時間
連続再生時間	約７時間
テレビ電話 連続通話時間	約90分

※上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整が「**明るさ２**」（お買い上げ時）に設定されているときの時間です。

- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、802SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 連続操作時間とは、通話をしないで連続して802SHを操作し続けたときの利用可能時間です。
- 連続再生時間とは、オフラインモードで連続して音楽（ミュージック）を再生し続けたときの利用可能時間です。
- 電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

- **使用環境**
  - ■極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき（周囲温度５℃～35℃の場所でお使いください。）
  - ■802SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）
  - ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）
- **操作**
  - ■Vアプリを起動しているとき
  - ■モバイルカメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
  - ■モバイルライト撮影を多く使用したとき
  - ■動画を再生したとき
  - ■スポットライトを多く使用したとき
  - ■メール作成などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき
  - ■音楽（ミュージック）を再生したり、ボイスレコーダーを録音／再生したとき
  - ■赤外線通信を多く使用したとき
  - ■802SHのポジションを頻繁に変更したとき
- **設定**
  - ■ディスプレイ表示やバックライトの点灯時間を長く設定したとき
  - ■パネル照明を明るくなるように調整したとき

電池パックの消耗を軽減するには

次の機能の設定を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減できます。

- ディスプレイの照明設定（☞P.10-6）

電池が切れたら

- 電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「ピピピ…」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）
  電池アラーム音が鳴っているときに[電源キー]を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。
  （マナーモード設定時には、警告音は鳴りません。）
  また、通話中に電池が切れたときは、電池アラーム音「ピピ」と断続音が約5秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

不要になった電池パックは

- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
  電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

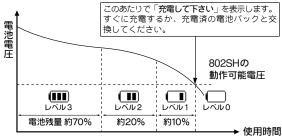
電池レベル表示の確認

電池レベルを４段階で表示します

- 「[電池アイコン]」になると充電することをおすすめする確認メッセージが表示され、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。

ディスプレイの電池レベル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池残量の目安(常温:25℃で使用した場合の例)

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レベル1が早めに表示されます。

高温下では、レベル1が遅めに表示されます。

注意
- 上記の電池レベル表示は電池残量の目安です。
- 電池レベル表示がレベル1になると、音楽の再生、ボイスレコーダーの録音、動画の撮影など利用できない機能があります。(☞P.7-3、P.11-9、P.6-10)

スモールライト/電池レベル表示

スモールライトや電池レベル表示は、次のような状態をお知らせします。

■電源が入っているとき

スモールライト	電池レベル表示(▮▮▮)	状態
消灯	点滅	周囲温度が5℃~35℃以外、電池残量なし
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了、待受中

■電源が切れているとき

スモールライト	電池レベル表示(▮▮▮)	状態
消灯	消灯	周囲温度が5℃~35℃以外、電池残量なし
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

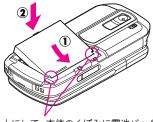
電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 **電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。**

2 **矢印の方向に持ち上げ、取り外す。**

補足▶ 802SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  ■ ショートさせない。　■ 分解しない。

Li-ion

3 **電池パックを取り付ける。**

- 印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

4 **電池カバーを取り付ける。**

- 電池カバーとキャビネットとのすき間が生じないように電池カバーを押しながらスライドさせます。

取り外す

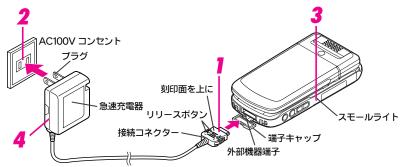
1 **電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。**

2 **矢印の方向に持ち上げ、取り外す。**

3 **電池パックを持ち上げ、取り外す。**

- この部分から電池パックを持ち上げます。

注意▶
- 電池パックは、必ず電源を切ってから取り外してください。
- 操作したあとは、すぐに電池パックを取り外さないでください。

急速充電器を利用して充電する

必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 外部機器端子の端子キャップを開き、急速充電器の接続コネクターを差し込む。

- 「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

- 充電が開始されます。
（スモールライト赤色点灯：☞P.1-19）
- ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

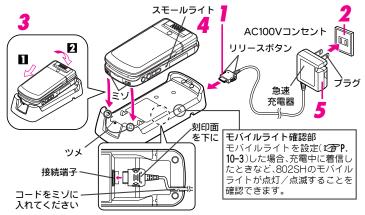
- 充電時間：約135分

4 充電が完了したら…
802SHから接続コネクターを抜き、プラグをACコンセントから抜く。

- 接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- 802SHの端子キャップを元に戻してください。

注意
- 急速充電器を携帯されるときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。
- 急速充電器はAC100～240Vの家庭用電源に対応しています。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切責任を負いかねます。

卓上ホルダーを利用して充電する

モバイルライト確認部
モバイルライトを設定(☞P.10-3)した場合、充電中に着信したときなど、802SHのモバイルライトが点灯/点滅することを確認できます。

必ず、付属の急速充電器、卓上ホルダーを使用してください。

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

- 「**カチッ**」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 卓上ホルダーの接続端子は裏側にあります。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

- ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。(ご使用後は、プラグを倒して保管してください。)

3 802SHに電池パックを取り付け、卓上ホルダーに置く。

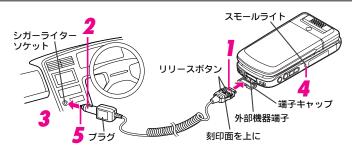
- 1 のように802SHのミゾを卓上ホルダーのツメに合わせ、2の矢印の方向に「**カチッ**」と音がするまで押し下げてください。
- 充電が開始されます。
(スモールライト赤色点灯:☞P.1-19)

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

- 充電時間:約135分

5 充電が完了したら…

802SHを卓上ホルダーから取り外し、プラグをACコンセントから抜く。

シガーライター充電器を利用して充電する

1 外部機器端子の端子キャップを開き、急速充電器の接続コネクターを差し込む。

- 「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。

- 充電が開始されます。
（スモールライト赤色点灯：☞P.1-19）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

- 充電時間：約145分

5 充電が完了したら…
802SHから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く。

- 接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- 802SHの端子キャップを元に戻してください。

注意▶

- このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）
- シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

補足▶

- シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
- シガーライター充電器を使って充電するときは、802SHを固定させるため、車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

メモリカードのお取り扱い

- 802SHには、SDメモリカードは同梱されておりません。市販のSDメモリカードをご購入のうえ、ご利用ください。
- 市販のSDメモリカードを802SHで使用するときは、フォーマットしてください。（☞P.10-13）
- SDメモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。

メモリカードの取り扱いについて

SDメモリカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- 802SHはSDメモリカードおよびSD-ROMカードに対応しています。
- 802SHで推奨するSDメモリカードは、8Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512Mバイト／1GバイトのSDメモリカードです。
- 8MバイトのSDメモリカードは容量が少ないため、ご使用方法によっては、用途が制限されることがあります。
- SDメモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のSDメモリカードは使用できないことや正しく動作しないことがあります。
- 802SHの電源を入れた状態でSDメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- 貼られているラベルは、はがさないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。SDメモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- SDメモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- SDメモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。

注意▶ SDメモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

必ず802SHの電源を切った状態で取り付けてください。

1 **メモリカードスロットのカバーを開く。**

2 **SDメモリカードを「カチッ」と音がするまで、ゆっくり奥まで入れる。**

3 **カバーを閉じる。**

書き込み禁止スイッチ

■SDメモリカードには、データの誤消去を防止する「**書き込み禁止スイッチ**」がついています。「**書き込み禁止スイッチ**」を「**LOCK**」にすると、データの消去や保存などができなくなります。詳しくは、SDメモリカードの取扱説明書を参照してください。

注意▶ SDメモリカード以外のものを挿入しないでください。カードや802SHが破損する恐れがあります。

取り外す

必ず802SHの電源を切った状態で取り外してください。

1 **メモリカードスロットのカバーを開き、SDメモリカードを軽く押し込む。**

- SDメモリカードは、軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきますので、指で軽く押さえてください。

2 **SDメモリカードを取り出す。**

- ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。SDメモリカードを取り出したあと、カバーを閉じます。

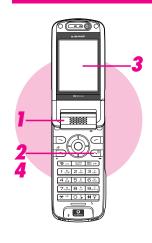
注意▶ データの読み出し中や書き込み中は、絶対にSDメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外さないでください。SDメモリカードまたは802SHが破損する恐れがあります。

補足▶ 802SHにSDメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、SDメモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
（SDメモリカードの容量や書き込まれているデータ量により、待受画面が表示されるまでの時間が異なります。）

メモリカードのアイコン

SDメモリカードを取り付けると、画面に次のようなアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	SDメモリカードが取り付けられています。
	SDメモリカードが使用中（読み出し中や書き込み中）です。
	SDメモリカードが書き込み禁止です。

電源を入れる／切る

1 **802SHをオープンポジションにする。**

2 **を長く（２秒以上）押す。**

3 **ディスプレイが点灯する。**

アニメーションのあと、「**待受画面**」が表示されます。

4 **電源を切るときは…**

を長く（２秒以上）押す。

アニメーションのあと、ディスプレイが消灯します。

日付／時刻が設定されていないとき

■アニメーションのあと、日付／時刻設定の確認画面が表示されます。

（Yes）➡**タイムゾーン設定画面へ**（☞P.10-7）➡**日付／時刻設定画面へ**（☞P.10-7）

（No）➡**時刻未設定の待受画面へ**

注意▶

- 初めてお使いになるときは、802SH内蔵の時計（日付／時刻）を合わせてください。（☞P.10-7）
- 電源を入れたときにUSIMカードのデータを読み込むため、電波状態が表示されるまで時間がかかることがあります。また、最初に電源を入れたときは、通常よりも時間がかかります。
- 802SHを落としたり、強い衝撃を与えたときは、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。そのときは、自動的に電源が切れ再度電源が入ることがありますが、故障ではありません。
- USIMカードが未装着のときは、ディスプレイに「**USIMカード未挿入**」とメッセージが表示されます。
- USIMカードを装着しているときでも「**USIMカード未挿入**」と表示されるときは、USIMカードが正しく装着されているか、IC部分が汚れていないか確認後、電源を入れ直してください。

補足▶

- 802SHをクローズポジションにしたままで、メールなどのボーダフォンライブ！の着信も自動的に受けることができます。
- 802SHは、操作をしない状態（クローズポジションを除く）が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。

誤ってボタンが押されるのを防ぐ

カバンの中に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。（誤動作防止）

誤動作防止を設定する

1 **[＊ﾟﾞ]を長く（1秒以上）押す。**

「[icon]」が表示され、誤動作防止が設定されます。

誤動作防止を解除する

1 **誤動作防止が設定されている待受中に、[＊ﾟﾞ]を長く（1秒以上）押す。**

「[icon]」が消え、誤動作防止が解除されます。

補足▶ 誤動作防止設定中は

- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-5）を押して電話に出ることができます。通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。
- [電源]を長く（2秒以上）押しても、電源は切れません。

スポットライトを利用する

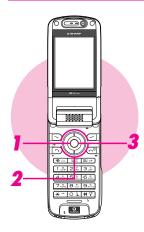
802SHのモバイルライトを懐中電灯のように利用できます。

スポットライト点灯／消灯	スポットライトを点灯／消灯します。

待受画面でⓒ（1秒以上）➡スポットライト点灯

- 点灯カラーの変更：点灯中に[◀][▶]
- 消灯：点灯中にⓒ

注意▶ スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。

機能の呼び出し方

メインメニューから機能を呼び出す

802SHのいろいろな操作は、「**メインメニュー**」と呼ばれる画面から行います。

1 ◉を押す。

メインメニューが表示されます。

■ ビューアポジション時：📷

2 ◎で利用するメニューを選ぶ。

■ ビューアポジション時：◀／▶

3 ◉を押す。

選んだメニュー内のサブメニューが表示されます。（☞P.17-2）

■ ビューアポジション時：📷

■メインメニューの項目

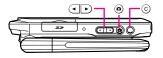
カメラ
選択
戻る

- メールが利用できます。
- Vアプリが利用できます。
- Vodafone live!（ウェブ）が利用できます。
- 動画や音楽を再生するメディアプレイヤーが利用できます。
- モバイルカメラが利用できます。
- データフォルダ内のファイルが利用できます。
- バーコード／OCR機能が利用できます。
- 電話帳が利用できます。
- 各種設定が行えます。
- 通話の履歴などを確認できます。
- 赤外線通信やBluetoothなどが利用できます。
- カレンダーやアラーム、世界時計など便利な機能が利用できます。

ソフトキーの使い方

各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

ビューアポジション時のソフトキーの使い方

ビューアポジションでは、ソフトキーの表示される位置が2通りあります。モバイルカメラ操作のときは横向きのディスプレイの最上行に、それ以外の操作のときはオープンポジションと同様に、縦向きのディスプレイの最下行に表示されることがあります。

簡単な操作で機能を呼び出す

よく使う機能をショートカットに登録しておけば、簡単な操作で利用できます。

- お買い上げ時には、次の機能が登録されています。
  - ■発信履歴、着信履歴、カレンダー、簡易電卓、ボイスレコーダー

ショートカットを利用する

1 [A/a]を押す。

2 利用する機能を選び、●を押す。

機能の変更	ショートカット画面で表示される機能を変更します。

[A/a]➡上書きする機能選択➡[メール](メニュー)➡「登録」選択➡●➡登録する機能選択➡●

機能の移動	ショートカット画面で表示される機能の順番を変更します。

[A/a]➡移動する機能選択➡[メール]（メニュー）➡「移動」選択➡●➡[上下]で機能移動➡●

初期値に戻す	ショートカットをお買い上げ時の状態に戻します。

[A/a]➡[メール]（メニュー）➡「設定リセット」選択➡●➡[メール]（Yes）

暗証番号

802SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4ケタの番号です。

802SHの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「¥」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4ケタの番号です。

オプションサービスを一般電話から操作するときや、「**ウェブの有料情報**」の申し込みの際に必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

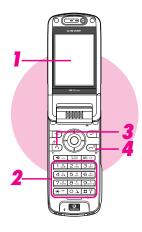
ご契約時にお決めいただいた4ケタの暗証番号で、802SHで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を続けて3回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。

注意▶
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足▶
- 「**操作用暗証番号**」と「**発着信規制用暗証番号**」は802SHの操作で変更できます。（☞P.10-12、P.12-10）
- 「**交換機用暗証番号**」は802SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

日本国内で音声電話をかける操作です。海外で音声電話をかける操作はP.2-15を、TVコールをかける操作はP.5-3を参照してください。

1 電源が入っていることを確認する。

- 電波状態を確認してください。
- ディスプレイに「圏外」、「」、「」、「」が表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.17-4）

2 市外局番からダイヤルする。

- 同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

電話番号通知／非通知の設定

- 電話番号の前に次の数字を付けます。
  - ■ 通知する
    …1 8 6 または
    ＊ 3 1 #
  - ■ 通知しない
    …1 8 4 または
    # 3 1 #
- 次の操作でも設定できます。
  （メニュー）➡「発信者番号通知」／「発信者番号非通知」選択➡◉

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えた

- または を押し、カーソル「＿」を動かしたあとCLEAR/BACKを押すと、カーソル位置の番号が消えます。CLEAR/BACKを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。
  を押したあとは、を押して電話を切り、かけ直してください。

相手がお話し中

- を押して一旦電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話が終わったら、を押す。

- 802SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。

補足▶

- 通話時間や通話料金の目安を確認することもできます。（☞P.2-12、P.2-13）
- スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.2-9）

モードについて

■802SHには、「3Gモード」、「GSMモード」、「自動モード」の3つのモードがあります。詳しくは、P.2-14を参照してください。

国際電話をかける

■待受画面で次の操作を行います。

相手の電話番号入力➡（メニュー）➡「国際発信」選択➡◉➡国選択➡◉➡◉➡「国内から」選択➡◉➡

■ボーダフォン携帯電話にかけるときは、相手のいる国にかかわらず、ボーダフォン携帯電話番号だけでかけられます。

注意▶

●通話時にマイクがふさがれていると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。

●内蔵アンテナ部分（☞P.1-10㉗）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
●体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなることがあります。
●通話中は、オープンポジションで利用することをおすすめします。

ビューアポジションで電話をかける

電話帳を利用して電話をかけます。

■あらかじめ電話帳の登録が必要です。（☞P.4-2）

➡「電話帳」選択➡➡「電話帳」選択➡➡電話帳呼出（☞P.4-9）➡（メニュー）➡「発信」選択➡

■ 通話終了：ⓒ

●ビューアポジションで通話するときは、ディスプレイが見えるように持ち、レシーバー（受話口）を耳にあてます。
●ビューアポジションでの通話中には、次のボタンを使って各操作が行えます。

	通話中メニュー表示		受話音量大
ⓒ	通話終了		受話音量小

通話の保留

相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。

■「割込通話サービス」（☞P.12-5）または「多者通話サービス」（☞P.12-6）のお申し込みが必要です。

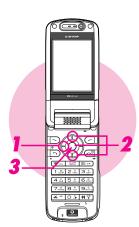
通話中に（メニュー）➡「保留」選択➡◉

■ 保留の解除：保留中に◉➡「再開」選択➡◉

マイクミュート

こちらの声を相手に聞こえないようにします。相手の声はこちらに聞こえます。

通話中に（メニュー）➡「マイクミュートOn」選択➡◉

■ マイクミュートの解除：マイクミュート中に（メニュー）➡「マイクミュートOff」選択➡◉

以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話番号を最新の10件まで記憶しています。それらを呼び出して簡単に電話をかけられます。（発信履歴）

1 **を押す。**

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

- を押すと新しいものから、を押すと古いものから順に表示されます。
- を押すと、不在着信履歴や着信履歴、全通話履歴が確認できます。

2 **電話番号を選び、◉を押す。**

3 **◉を押す。**

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足▶
- 同じ番号に２回以上の電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータだけが記憶されます。
- 電源を切っても発信履歴の記憶は消えません。
- 10件を超えたときは、古いものから削除されます。個別に削除することもできます。（☞P.2-11）

電話を受ける

音声電話を受ける操作です。TVコールを受ける操作はP.5-3を参照してください。

1 着信中に、802SHをオープンポジションにする。

- 相手が電話番号を通知してきたときは、電話番号が表示されます。
（802SHの電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときは、登録している名前が表示されます。）

2 [通話]を押す。

3 通話が終わったら、[終話]を押す。

- 802SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。

補足▶ エニーキーアンサー（☞P.10-3）を「On」に設定しているときは、次のボタンでも電話が受けられます。
[0]〜[9]、[*]、[#]、[十字キー]、[A/a]、[文字]、[◀]、[▶]

ビューアポジションで電話を受ける ビューアポジションで電話を受けます。

着信中に[カメラ]

■ 通話終了：[c]

- ビューアポジションでの着信時には、次のボタンを使って各操作が行えます。

[カメラ]	通話開始	[c]※	着信転送	[c]（1秒以上）	着信拒否

※転送電話サービスまたは留守番電話サービスを転送条件「**着信／通話中転送**」で、「On」に設定しているときに利用できます。「Off」に設定しているときは、着信を拒否します。（☞P.12-3、P.12-4）

- ビューアポジションでの通話中にできること：☞P.2-3

電話に出られないときの対応

■着信中に次の操作を行います。

(終話キー)	着信を拒否して電話を切ります。（☞P.2-8）
(クリアキー)	あらかじめ登録した電話番号に電話を転送します。 ※転送電話サービスまたは留守番電話サービスを転送条件「**着信／通話中転送**」で、「On」に設定しているときに利用できます。「Off」に設定しているときは着信を拒否します。（☞P.12-3、P.12-4）

● ビューアポジション時の操作については、P.2-5を参照してください。

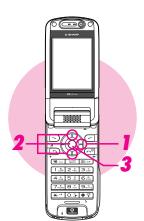
表示について

■電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。「**非通知設定**」と表示されます。
■着信内容や時刻は10件まで記憶されており、あとで確認できます。（☞P.2-7）

補足▶ 着信音の音量やパターン、モバイルライトの色を変更することができます。（☞P.10-2、☞P.10-3）

インフォメーション

かかってきた電話に出なかったときは、インフォメーションが表示されます。

●「**不在着信**」を選び ◉ を押すと、不在着信履歴（☞P.2-11）が表示されます。

かけてきた相手にかけ直す

かかってきた電話に発信者番号通知があったときは、その番号を表示し電話をかけられます。

● 過去にかかってきた電話の着信内容と時刻は、着信履歴（☞P.2-11）として記憶しています。（最新の10件）

1 **◎を押す。**

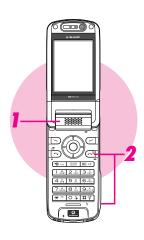
記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

● ◎を押すと新しいものから、◎を押すと古いものから順に表示されます。
● ◎を押すと、発信履歴や不在着信履歴、全通話履歴が確認できます。

2 **電話番号を選び、◉を押す。**

3 **◉を押す。**

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足▶
● シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
● 電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
● 10件を超えたときは、古いものから削除されます。個別に削除することもできます。（☞P.2-11）

電話に出られないとき

着信を拒否する

かかってきた電話に出ることを拒否できます。

●この操作を行うと、電話が切れ、不在着信履歴に記憶されます。

1 着信中に、802SHをオープンポジションにする。

2 着信音が鳴っている間に、[終話キー]またはⓒを長く（1秒以上）押す。

留守番電話サービス

■留守番電話サービスを開始すると、電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.12-4）

通話中の操作

受話音量を調節する

受話口から聞こえる相手の声の大きさを、5段階で調整できます。
●お買い上げ時には、「**音量3**」に設定されています。

1 **通話中に、◀または▶を押す。**

2 **▶(小さくする)または◀(大きくする)を押す。**

押すたびに受話音量が調節できます。
●一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

スピーカーを使った通話

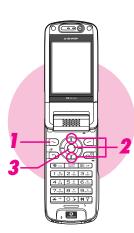
■通話中に次の操作を行うと、スピーカーを使って通話できます。

(**メニュー**)➡「**スピーカーホンOn**」選択➡◉

■スピーカー通話の解除:(**メニュー**)➡「**スピーカーホンOff**」選択➡◉

プッシュトーン送信

■通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュトーンが送信されます。

●送信できるプッシュトーンは「0」〜「9」、「*」、「#」です。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に、(メニュー)を押す。

2「ボイスメモ録音」を選び、◉を押す。

録音が開始されます。

3 録音を終了するときは、◉を押す。

- 電話を切っても、録音は終了します。
- 電源を切っても録音内容は保存されています。

録音内容の再生	通話中に録音した内容を再生します。

メニュー ▶ 通話履歴

「ボイスメモ」選択 ➡ ◉

■ 録音内容の削除：再生中に(**メニュー**) ➡「**削除**」選択 ➡ ◉ ➡ (Yes)

その他通話中にできること

■通話中に(**メニュー**)を押すと、次の操作が行えます。

電話帳	電話帳に登録されている他の相手に電話をかけます。
メール	新規メールを作成したり、受信メール／送信済みメール／下書きが確認できます。
発信	第三者に電話をかけます。
トーン送出On／Off	通話中にダイヤルボタンを押しても、プッシュトーンを発信しないようにします。

発着信履歴の確認

発着信の履歴を確認します。確認できるのは、次のとおりです。

全通話履歴	すべての発着信履歴です。
発信履歴	こちらから電話をかけた履歴です。
不在着信履歴	かかってきた電話に出なかったときの履歴です。
着信履歴	かかってきた電話に出たときの履歴です。

●各履歴を使って電話をかけたり、メールを送信することもできます。

1 **Ⓝを押す。**

全通話履歴が表示されます。

■ 他の履歴の確認：◉

2 **確認する履歴を選び、◉を押す。**

選んだ履歴の詳細が表示されます。

■ 音声電話の発信：Ⓝ

■ TVコールの発信：Ⓢ（**メニュー**）➡「TVコール」選択➡◉

履歴の削除 履歴を削除します。

履歴選択➡Ⓢ（**メニュー**）➡「削除」選択➡◉➡Ⓢ（Yes）

その他履歴を使ってできること

■履歴表示中にⓈ（**メニュー**）を押すと、次の操作が行えます。

電話帳登録	表示中の電話番号を電話帳に登録します。
メール作成	新規メールを作成します。

通話時間表示

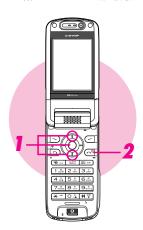
直前（前回）の通話時間および累積の通話時間の目安を確認します。
●電話をかけたとき（発信履歴）と、かかってきたとき（着信履歴）を、それぞれ別に確認できます。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話時間

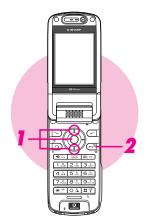
1「着信通話時間」または「発信通話時間」を選び、◉を押す。

2 確認を終わるときは、⏻を押す。

通話時間消去 通話時間の目安を消去します。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話時間
「リセット」選択➡◉➡操作用暗証番号入力（４ケタ）➡⌒（OK）➡⌒（Yes）

補足▶
● 電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積の通話時間の記憶は消えません。
● 着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。（保留中は計算されます。）

通話料金表示

直前（前回）の通話料金の目安や、累積の通話料金の目安を確認します。
●通話料金の限度額を設定することもできます。

1 「前回通話料金」または「累積通話料金」を選び、◉を押す。

2 確認を終わるときは、⌒を押す。

通話料金消去	通話料金の目安を消去します。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金
「リセット」選択➡◉➡PIN2コード入力➡◉➡⌒（Yes）

通話料金上限設定	通話料金の限度額を設定します。限度額を超えると発信できなくなります。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金
「通話料金上限設定」選択➡◉➡「通話料金設定」選択➡◉➡PIN2コード入力➡◉➡金額入力➡◉
- 限度額の確認：「**通話料金上限設定**」選択➡◉➡「**料金設定確認**」選択➡◉
- 通話料金残額の確認：「**残り度数**」選択➡◉

料金単位設定	通話時間と通話料金の換算単位を設定します。

お買い上げ時 1円

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金
「料金単位」選択➡◉➡「通話料金設定」選択➡◉➡PIN2コード入力➡◉➡通貨入力➡◉➡料金単位入力➡◉➡◉
- 単位の確認：「**料金単位**」選択➡◉➡「**料金設定確認**」選択➡◉

補足▶
- 電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積の通話料金の記憶は消えません。
- オプションサービスの多者通話サービスを利用したときは、合算した通話料金を表示します。

海外での利用（国際ローミング）

モードを切り替える

802SHには、次の３つのモードがあります。

3Gモード	日本国内と海外の3Gサービスエリアで使用できるモードです。
GSMモード	海外のGSMサービスエリアで使用できるモードです。日本国内では使用できません。
自動モード	お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて自動的にモードが切り替わります。

● お買い上げ時には、「**自動**」に設定されています。通常は「**自動**」でお使いになることをおすすめします。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ ネットワーク設定

1「モード選択」を選び、◉を押す。

2「3G」または「GSM」を選び、◉を押す。

● 切り替えたモードで使用できるようになります。

■ 自動的に切り替えるとき：「**自動**」選択➡◉

注意▶
● 国際ローミングのしくみ、使用できる国や地域、料金などにつきましては、「**国際ローミングサービスガイド**」をご覧ください。また、使用できる機能や制限などにつきましては、お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。
● 国際ローミングを利用するには別途契約が必要です。

ネットワーク設定 接続するネットワークを選択します。

お買い上げ時 自動

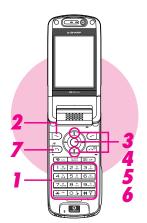
メニュー ▶ 外部接続 ➡ ネットワーク設定 ➡ 設定 ➡ ネットワーク選択

「手動」選択➡◉➡接続するネットワーク選択➡◉

■ 自動的に選択：「**自動**」選択➡◉

■「**自動**」設定時の優先ネットワークの変更：☞P.9-15

■ ネットワーク追加：☞P.9-14

● 通常は、お買い上げ時の設定（「**自動**」）で使用できます。特定のネットワークに接続される場合、「**手動**」に設定してください。

海外で電話をかける

1 相手の電話番号をダイヤルする。

- 一般電話にかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。

■ 滞在国内の一般電話／携帯電話へかける：操作7へ

■ 国番号などを直接ダイヤルする：
［0］（1秒以上）（「＋」表示）➡国番号入力➡電話番号入力（先頭の「0」を除く）➡操作7へ

- ■ イタリア（国番号：39）、ロシア（国番号：7）にかけるときは、電話番号の先頭の「0」も入力してください。

2 ［メニュー］（メニュー）を押す。

3「国際発信」を選び、◉を押す。

4 相手の国を選び、◉を押す。

国番号が表示されます。

リスト以外の国にかける

- 「**国番号入力**」を選び、◉を押したあと、直接国番号を入力してください。

ボーダフォン携帯電話にかける

- 相手がいる国に関係なく、常に「日本（JPN）」を選んでください。（直接国番号を入力する場合は［8］［1］と押します。）

5 ◉を押す。

6「海外から」を選び、◉を押す。

- 電話番号の前に「＋」と国番号が入力されます。また、電話番号の先頭の「0」は削除されます。ただし、国番号がイタリア（39）またはロシア（7）のときは削除されません。
（「＋」は国際発信を意味します。）

7 ［発信］を押す。

注意▶ 海外で通話中に電話を保留したあと、保留を解除したとき（☞P.2-3）、地域によってはまれに相手の声が聞こえないことや、お客様の声が相手に聞こえなくなったりすることがあります。

補足▶ **国番号を追加するとき**
よく利用する国番号がリストに登録されていないときは、「**国番号リスト変更**」（☞P.10-9）の操作で追加することができます。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■マナーモード：☞P.2-17
着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナーモード内容変更の設定による）

■バイブ設定：☞P.10-3
電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに振動でお知らせします。

■音量調節：☞P.10-2
「**サイレント**」に設定すると、電話がかかってきたときなどの音を鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。

■メール着信音、ウェブ着信音の各設定：☞P.10-2
メールやウェブの情報が届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■オフラインモード：☞P.2-18
電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり、受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブの利用などもできなくなります。

マナーモードを設定／解除する

マナーモードを設定する

1 **#を長く（1秒以上）押す。**

「：**マナーモード**」が点灯します。
また、マナーモードの設定内容に応じて「」(バイブレータ)、「」(サイレント)、「」(ステップ)も表示されます。

マナーモードを解除する

1 **マナーモードが設定されている待受中に、#を長く（1秒以上）押す。**

「」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

■ボタン確認音／エラー音／パワー On／パワー Off時のサウンドやバーコード認識完了音、警告音が鳴らなくなります。ただし、切替通話の警告音（☞P.12-6）は鳴ります。
■マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
■メディアプレイヤー起動時に、音を出すかどうかの確認画面が表示されます。
■着信音量、バイブレータ、モバイルライトなどは、モード設定の「**マナーモード**」の設定内容に従って動作します。

補足▶ マナーモード設定時の状態は、モード設定の「**マナーモード**」で変更することができます。（☞P.10-2）

オフラインモードを設定／解除する

電源を切らずに、電波の送受信を停止します。

- オフラインモードを「On」に設定すると、電話の発着信、ボーダフォンライブ！など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ ネットワーク設定 ➡ 設定

1 **「オフラインモード」を選び、◉を押す。**

2 **「On」または「Off」を選び、◉を押す。**

「On」に設定すると、「 」が点灯します。

補足▶ ネットワーク接続型のVアプリ（☞P.15-2）を一時停止しているときにオフラインモードを「On」に設定すると、ネットワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、⌒（Yes）を押すと、オフラインモードが「On」に設定されます。（オフラインモードを「Off」に設定するまで、ネットワークには接続できません。）

マルチステレオイヤホンマイクの利用

ワンタッチで電話をかける

スピードダイヤルの2に設定した電話帳（☞P.4-12）は、マルチステレオイヤホンマイクのスイッチを押すだけで、電話をかけることができます。

1 イヤホンマイク端子に、マルチステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

- 相手が出たら、お話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

- 電話が切れます。を押しても、電話を切ることができます。

注意▶ シークレットデータをスピードダイヤルの2に設定しているときは、シークレットモードにしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。（☞P.10-12）

補足▶
- ダイヤル操作禁止や電話帳使用禁止が設定中は、電話をかけられません。（☞P.10-11）
- マルチステレオイヤホンマイクのコードを、802SH本体や内蔵アンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、マルチステレオイヤホンマイクのコードを、内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。

ワンタッチで電話を受ける

1 イヤホンマイク端子に、マルチステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

電話がかかってくると、イヤホンとスピーカーの両方から着信音が聞こえます。

2 スイッチを長く（1秒以上）押し続ける。

電話がつながります。相手とお話しください。

- 電話を切る操作は左記と同様です。

文字の入力方法

文字入力について

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。文字入力には、かな入力方式とポケベル入力方式（☞P.3-9）があります。

●文字入力については、一部（P.3-9「ポケベル方式で入力する」）を除き、かな入力方式での操作を中心に説明しています。

文字入力モード

文字入力モードは、文字の入力画面で[文字]を押して切り替えます。このあと[文字]を押すたびに、入力できる文字（入力モード）が次のように切り替わります。

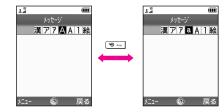
漢→ア→ｱ→Ａ→A→１→絵→漢…

●入力モード切替中は、◎を押しても切り替わります。

選択できる入力モード

漢	漢字（ひらがな）
ア	全角カタカナ
ｱ	半角カタカナ
Ａ	全角英数字（大／小文字）
ａ	全角英数字（小／大文字）
A	半角英数字（大／小文字）
a	半角英数字（小／大文字）
1	半角数字
絵	絵文字コード
区	区点コード

大文字と小文字の切り替え

■かな入力方式では、全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[A/a]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。また、ポケベル入力方式（☞P.3-9）では全角入力モード、半角入力モードで[A/a]を押すと大文字⇔小文字が切り替わります。

全角英数字入力モード（大文字）　全角英数字入力モード（小文字）

絵文字コードと区点コードの切り替え

■[⌒]を押すと次の順に切り替わります。

絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード→絵文字コード１…

●絵文字コード番号（１～６）は、画面下部で確認できます。

補足▶
●変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。
●電話帳のE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

ダイヤルボタンの割り当て

1つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：カタカナ入力モードで[1]を3回押すと、「ウ」が表示されます。

● 文字入力中に[↶]を押すと、表示される文字を逆順に切り替えることができます。
（半角数字入力モード、絵文字コード入力モード、区点コード入力モードは除く。）

例：「い」を入力しているときに[↶]を押すと、「あ」になります。

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	絵文字コード1〜6／区点コード
[1]	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@. ／_ー1 □（スペース）	1	1
[2]	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc2	2	2
[3]	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3	3
[4]	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4	4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5	5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6	6
[7]	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7	7
[8]	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8	8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9	9
[0]	わをんー、。↲（改行）	ワヲンー、。↲（改行）	，．0 ↲（改行）	0 +※1	0
[＊]	゛ ゜	゛ ゜ -※2	E-mailアドレス用／URL用変換（半角）※3	＊P（ポーズ）？-※4	―――――
[#]	履歴／記号入力（全角）※5／絵文字入力（全角）			#	―――――
[◎]	変換（前候補）	カーソル上移動			

※1「+」は電話番号入力時だけ、1秒以上押すと入力できます。
※2「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。
※3 E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。
※4「P（ポーズ）」、「?」、「-」は、電話番号入力時だけ有効です。
※5 半角カタカナ入力モードと半角英数字入力モードでは半角で入力されます。

<table>
<tr><th>ボタン</th><th>漢字（ひらがな）
［全角］</th><th>カタカナ
［全角／半角］</th><th>英数字
［全角／半角］</th><th>数字
［半角］</th><th>絵文字コード1〜6／
区点コード</th></tr>
<tr><td></td><td>変換（後候補）</td><td colspan="4">カーソル下移動↵（改行）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">カーソル左移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">カーソル右移動</td></tr>
<tr><td>文字</td><td colspan="5">文字入力モードの切り替え</td></tr>
<tr><td>A/a</td><td colspan="2">小文字／大文字変換
（変換できる文字で有効）</td><td>小文字／大文字変換、
大文字／小文字入力モード
の切り替え</td><td>――――――</td><td>――――――</td></tr>
<tr><td>CLEAR/BACK
短押し</td><td>1 文字消去、
変換中止</td><td colspan="3">1 文字消去</td><td>入力済コード消去／
1 文字消去</td></tr>
<tr><td>CLEAR/BACK
長押し</td><td colspan="5">カーソル後消去（カーソルが文中にあるとき）／カーソル前消去（カーソルが文末にあるとき）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">最大64文字まで復元※6</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">決定</td></tr>
<tr><td></td><td>音訓変換</td><td colspan="3">――――――</td><td>絵文字コード1〜6／
区点コード入力モードの
切り替え</td></tr>
<tr><td></td><td>カナ数字変換</td><td colspan="3">――――――</td><td>絵文字1〜6／
履歴のリスト表示</td></tr>
</table>

※6 CLEAR/BACK（短押し）で消去した文字は、直後にを連続して押すと、最大64文字まで復元できます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

ここでは、漢字（ひらがな）モードで「**鈴木**」と入力するのを例に説明します。

1 **漢字（ひらがな）入力モードで、3を3回押す。**

ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。

2 **◎を押す。**

- 同じボタンを使って次の文字を入力するときは、必ず◎を押します。

3 **3を3回押したあと、＊を押す。**

4 **2を2回押す。**

- ひらがなをそのまま入力するときは、このあと操作6へ進みます。

5 **◎（変換）を押したあと、◎で文字を選ぶ。**

- 他の変換候補画面：◎（**前ページ**）／◎（**次ページ**）
- 変換の中止：CLEAR/BACK
- 目的の漢字に変換できない：☞P.3-6

6 **◉を押す。**

補足▶ カタカナは、全角カタカナ入力モードまたは半角カタカナ入力モードで入力します。漢字入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。

学習機能

■漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。

近似予測変換と連携予測変換

■漢字変換では、「**近似予測変換**」と「**連携予測変換**」という便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力／変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補を自動的に表示します。

- お買い上げ時には、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（☞P.3-13）

ユーザー辞書

■よく使う単語はユーザー辞書に登録しておくと便利です。（☞P.10-8）

- ユーザー辞書は、読みを付けて単語登録することで、変換候補に表示できるようになります。

■目的の漢字に変換できないとき

P.3-5操作5のあと、CLEAR/BACKを押し文字入力画面にカーソルを戻したあと、◎で変換の対象となる文字（反転している文字）の区切りを変えて変換し直します。

例：「み」と「ち」の区切りを変えて変換し直すとき

■複数の変換の対象を一度に採用するとき

文字を押します。

例：「西山大輔」と変換するとき

小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。

1 文字を入力し、A/aを押す。

- 小文字にできない文字では、A/aを押しても変わりません。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

1 文字を入力し、[＊゛゜]を押す。

- 漢字（ひらがな）入力モードや全角カタカナ入力モードでは、「**か行**」、「**さ行**」、「**た行**」は1回押すとだく点が付き、2回押すと元に戻ります。また、「**は行**」は1回押すとだく点が付き、2回押すと半だく点が付き、3回押すと元に戻ります。
- だく点や半だく点を付けられない文字では、[＊゛゜]を押しても変わりません。

補足▶ **半角カタカナ入力モードのとき**
- 1回押すとだく点が、2回押すと半だく点が半角1文字分で入力されます。
- だく点や半だく点を消去するときは、[CLEAR/BACK]を押します。

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で、英数字を入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

- 同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、必ず◎でカーソルを移動させてから入力してください。
- 全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[A/a]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

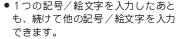
記号／絵文字を入力する

1 記号変換が可能なモードで、[＃記号]を押す。

これまで入力した記号／絵文字が、新しいものから順に一覧表示されます。（履歴リスト）

- お買い上げ時または記号／絵文字の履歴を消去したとき（☞P.3-8）は、履歴リストは「--」で表示されます。

2 ◎で記号／絵文字を選び、◉を押す。

- 1つの記号／絵文字を入力したあとも、続けて他の記号／絵文字を入力できます。

■ 他の記号／絵文字の入力：[⌒]／[＃記号]（押すたびに履歴リスト→記号リスト1〜3→絵文字リスト1〜6の順に切替）

■ ◎を押すと、記号／絵文字リストの隠れている部分を表示できます。

3 記号／絵文字入力を終わるときは、[⌒]（戻る）を押す。

補足▶
- 半角記号を入力したときは、履歴リストには残りません。
- 全角のモードで操作したときは全角の記号が、半角のモードで操作したときは半角の記号が入力できます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）
- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し◎（**変換**）を押すと、一部の記号を入力できます。

記号／絵文字履歴の消去

■文字入力画面で、次の操作を行います。

（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡◉➡「絵／記号履歴リセット」選択➡◉➡（Yes）

- 文字入力画面に戻るときは、CLEAR/BACKを２回押します。
- 絵文字コード入力モードでは、記号／絵文字履歴は消去できません。

絵文字コード入力モードでの操作

■絵文字をコードで入力するときは、次の操作を行います。

絵文字コード入力モードで絵文字コード（２ケタ：☞P.17-15）入力

- 絵文字コードを押し間違えたときは、２ケタ目を押す前にCLEAR/BACKを押します。

■絵文字をリストから入力するときは、次の操作を行います。

（リスト）➡**絵文字選択**➡◉

- 絵文字リストは、 を押すたびに絵文字リスト１～６→履歴リスト→絵文字リスト１…の順に切り替わります。

顔文字を入力する

1 文字入力画面で、（メニュー）を押す。

2「顔文字」を選び、◉を押す。

3 顔文字を選び、◉を押す。

- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。
- ２ケタの数字（01～50）を入力すると、番号の候補を確認できます。

補足▶
- 絵文字１～６入力モードでは、顔文字は入力できません。
- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。

スペースを入力する

1 文字入力画面で、を押す。

- 英数字入力モードでは、１を７回押してスペースを入力することもできます。

上田
↓
上田 ▌

改行する

メールや定型文入力時などで有効です。

1 文末でを押す。

- 文の途中で改行するときは、改行する位置で０を数回押して「↵」を表示したあと、◉を押します。０を押す回数は入力モードによって異なります。（☞P.3-3）

連絡先です。▌
↓
連絡先です。↵
▌

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

1 英数字入力モードで、[＊ﾟﾟ]を押す。

2 文字を選び、◉を押す。

- 全角／半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

区点コードで入力する

1 区点コード入力モードで、区点コード（４ケタ：☞P.17-9）を入力する。

ポケベル方式で入力する

1 文字入力画面で、[メニュー]（メニュー）を押す。

2「入力／変換設定」を選び、◉を押す。

3「入力方式」を選び、◉を押す。

4「ポケベル」を選び、◉を押す。

ポケベルコードで入力できる状態に切り替わります。

■ かな入力方式に戻す：「**かな**」選択➡◉

5 ポケベルコード（２ケタ：☞P.3-10）を入力する。

- ポケベル入力方式は、かな入力方式に切り替えるまで継続します。

ポケベル方式の文字入力モードの切替

■ポケベル入力方式では、文字の入力画面で[文字]を押すたびに、次のように切り替わります。

半角大文字（「Ｐ」反転）→絵文字コード１～６（「絵」反転）／区点コード(「区」反転）→全角大文字(「Ｐ」反転）

- 絵文字コード１～６と区点コード入力モードは、[メニュー]を押すと切り替わります。

■全角入力モード、半角入力モードで[A/a]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

補足▶
- ポケベル入力方式では、カナ英数字変換はできません。
- だく点、半だく点の入力は、ポケベルコード一覧（☞P.3-10）を参照してください。

■ポケベルコード一覧

- 空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
- ▒ 部分は、文字入力後A/aを押すたびに、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角大文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	※1
	8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃	スペース	♥	※2
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

半角大文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペース	♥	※2
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

全角小文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			っ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										※1
	8	ゃ		ゅ		ょ					※2
	9										
	0				、	。					

半角小文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			ｯ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										※1
	8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
	9										
	0				,	.					

※1 「7」「0」の順に押すと、改行が入力されます。（改行は、メールの本文、定型文入力時などで有効です。）

※2 「8」「0」の順に押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。

- 「♥」、「☎」は半角２文字分となります。

文字の変換機能

音訓変換を利用する

通常変換で入力する漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して1文字ずつ変換します。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力する。

2 ⊡（音訓）を押す。

3 漢字を選び、◉を押す。

一度入力した文字を利用する

一度、通常の変換方法で入力した漢字は、次回入力するときに先頭の1文字を入力すると、漢字に変換できます。（1文字変換）

例：以前に「鈴木」を変換したとき

- 1文字変換で記憶されるメモリは、ユーザー辞書（☞P.10-8）と共用しています。
  （1文字変換は、ユーザー辞書の空きメモリに自動的に記憶されます。）
  そのため、ユーザー辞書の登録内容や件数によっては、1文字変換が記憶できないことがあります。
- 1文字変換で記憶される件数は、同じ読み（1文字）に対して、最大20件です。
  記憶可能な件数を超えると、古い1文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

カナ英数字変換を利用する

漢字（ひらがな）入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。

1 文字を入力し、[⌐]（カナ英数）を押す。

●「AM」と入れるときは、[2][6]の順に押したあと、[⌐]（カナ英数）を押します。

2 [◎]で文字を選び、[●]を押す。

●英字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

あ	@	い	.	う	/	え	_	お	ｽﾍﾟｰｽ
か	A	き	B	く	C	け	ｽﾍﾟｰｽ	こ	ｽﾍﾟｰｽ
さ	D	し	E	す	F	せ	ｽﾍﾟｰｽ	そ	ｽﾍﾟｰｽ
た	G	ち	H	つ	I	て	ｽﾍﾟｰｽ	と	ｽﾍﾟｰｽ
な	J	に	K	ぬ	L	ね	ｽﾍﾟｰｽ	の	ｽﾍﾟｰｽ
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	ｽﾍﾟｰｽ	ほ	ｽﾍﾟｰｽ
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	ｽﾍﾟｰｽ
や	T	ゆ	U	よ	V	—	—	—	—
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	ｽﾍﾟｰｽ
わ	,	を	.	ん	ｽﾍﾟｰｽ	ー（長音）、。改行			ｽﾍﾟｰｽ

●数字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

■あ行…1　■か行…2　■さ行…3　■た行…4
■な行…5　■は行…6　■ま行…7　■や行…8
■ら行…9　■わ／を／ん／ー（長音）／、／。／改行…0

ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行えます。
目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例 :「微妙」を入力するとき

通常の変換	[6][6][＊]（び）[7][7]（み）[8][8][8][8][8][8]（ょ）[1][1][1]（う）[◎]（変換）
ワンタッチ変換	[6][＊]（ば）[7]（ま）[8]（や）[1]（あ）[◎]（ワンタッチ変換）

1 ひらがなを入力し、[◎]を押す。

カーソルが緑色に変わります。

●ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）で[◎]を押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えることができます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。

■ 通常変換に戻す：[CLEAR/BACK]➡[◎]（通常変換）

2 [◎]で文字を選び、[●]を押す。

注意▶ ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換は利用できません。

補足▶ ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。（主に名詞に対応しています。）

推測頭出し変換

1文字だけ入力してワンタッチ変換すると、その行の文字（「**あ**」を入力したときは「**あ**」「**い**」「**う**」「**え**」「**お**」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力したとき

5:00～10:59	11:00～16:59	17:00～22:59	23:00～4:59
朝一番 朝帰り 行ってきます いってらっしゃい ⋮	あちぃ～ 後でね いただきま～す♪ 移動中 ⋮	遊ぼう 明日 急いで行くよ 今どこ？ ⋮	アウチ！！ ありがとう いぇーい！！！ 行こうね ⋮

- 表示される言葉は、時間帯ごとであらかじめ登録されています。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00～16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ1文字学習

以前にワンタッチ変換した文字列の先頭の1文字を入力してワンタッチ変換すると、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」でワンタッチ変換し、「お父さん」を採用していたとき

その他の機能

変換方法の設定　「**近似予測変換**」および「**連携予測変換**」（☞P.3-6）を利用できないようにします。

お買い上げ時 On（利用する）

文字入力画面で⌒（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡◉➡「近似予測」／「連携予測」選択➡◉➡「Off」選択➡◉

変換履歴の消去　これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

文字入力画面で⌒（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡◉➡「学習辞書リセット」選択➡◉➡⌒（Yes）

- ユーザー辞書に登録している単語は消去されません。

文字の編集

指定した文字を削除する

1 ◎で削除する文字を選び、CLEAR/BACKを押す。

- カーソル上の1文字が消えます。
- CLEAR/BACKを長く（1秒以上）押すと、カーソルが文中にあるときはカーソルから後ろの文字が消えます。カーソルが文末にあるときは、カーソルから前の文字が消えます。

木の下 → CLEAR/BACK → 木下

入力した文字を修正する

1 CLEAR/BACKで不要な文字を削除する。

2 正しい文字を入力する。

美紀子 → CLEAR/BACK → 美子 → 美樹子

コピー／切り取り／貼り付けを行う

連続した文字列を、他の場所にコピー／移動します。

- 同じ画面内にも他の画面にもコピー／移動できます。（「**メニュー**」が表示されない画面へはコピー／移動できません。）

1 文字入力画面で、（メニュー）を押す。

2「コピー」または「カット」（移動するとき）を選び、◉を押す。

3 コピー／切り取る文字列の最初の文字を指定し、◉を押す。

文字列の開始位置が指定されます。（「**終了**」が表示されます。）

■ 開始位置の再指定：CLEAR/BACK

切り取り例

4 コピー／切り取る文字列の最後の文字を指定し、◉を押す。

- 切り取ると、指定した文字列が元の画面から消去されます。

5 コピー／貼り付け先を表示する。

6 （メニュー）を押したあと、「ペースト」を選び、◉を押す。

カーソル後の文字をまとめて削除する

1 **削除する場所にカーソルを移動する。**

2 **(メニュー)を押す。**

3 **「カーソル後消去」を選び、◉を押す。**

電話帳を利用する

文字入力中に電話帳を呼び出し、登録している電話番号などの文字列を作成中の文章に挿入します。

- 利用できる項目は、「**名前(姓/名)**」、「**電話番号1〜3**」、「**Eメールアドレス1〜3**」、「**住所(郵便番号、国、都道府県、市町村、番地)**」、「**メモ**」です。

1 **文字入力画面で、(メニュー)を押す。**
- 文字を挿入する場所で(**メニュー**)を押してください。

2 **「その他」を選び、◉を押す。**

3 **「電話帳引用」を選び、◉を押す。**

4 **利用する相手の電話帳を呼び出す。**
- オーナー情報もここで呼び出せます。

5 **で項目を選び、◉を押す。**
選んだ項目の前に、相手の名前(姓/名)が付いて挿入されます。

定型文を利用する

1 **文字入力画面で、(メニュー)を押す。**

2 **「定型文」を選び、◉を押す。**

3 **「定型文読み出し」を選び、◉を押す。**

4 **定型文を選び、◉を押す。**
定型文の内容が挿入されます。

文字入力中の定型文登録

■入力済の内容を、新しい定型文として登録できます。
定型文を新しく登録するときは、メール/電話帳の文字入力画面で、次の操作を行います。

(**メニュー**)➡「**定型文**」**選択**➡◉➡「**定型文登録**」**選択**➡◉➡**最初の文字にカーソル移動**➡◉➡**最後の文字にカーソル移動**➡◉

- 最大256文字まで入力できます。

電話帳登録

電話帳に登録できる項目

802SHには500件の電話帳が登録できます。USIMカードに登録できる件数は、USIMカードによって異なります。

- 登録できる項目や内容は下表でご確認ください。
- ご使用のUSIMカードによっては、E-mailアドレスが登録できないことや登録できる最大文字数まで入力できないことがあります。また、電話帳1件あたりに登録できる電話番号やE-mailアドレスの件数が少なくなるなど、利用項目が制限されることがあります。

項目	内容	登録の可／不可	
		本体	USIMカード
名前／姓： 名前／名：	それぞれ最大16文字まで入力できます。 （USIMカードへの登録は、「**名前：**」となります。）	○	○
ヨミ：	最大32文字まで入力できます。	○	○
電話番号：	電話帳1件あたりに登録できる電話番号は、本体：最大3件、USIMカード：最大2件です。それぞれ最大32ケタまで入力できます。	○	○
Eメールアドレス：	電話帳1件あたりに登録できるE-mailアドレスは、本体：最大3件、USIMカード：最大1件です。本体：最大128文字、USIMカード：最大80文字まで入力できます。	○	○
グループ：	本体：最大16種類、USIMカード：最大11種類のグループに分けて管理でき、グループ名も変更できます。また、本体の電話帳は、グループごとに着信音を設定できます。	○	○
郵便番号：	最大20文字まで入力できます。	○	×
国：	最大32文字まで入力できます。	○	×
都道府県：	最大64文字まで入力できます。	○	×
市町村：	最大64文字まで入力できます。	○	×
番地：	最大64文字まで入力できます。	○	×
メモ：	相手の個人情報などを、最大256文字まで入力できます。	○	×
誕生日：	相手の誕生日を登録できます。	○	×
フォト：	電話がかかってきたときやメールが届いたとき、登録した画像を表示します。	○	×
着信音／ムービー：	登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンやムービーを設定できます。	○	×
シークレット設定：	他人に見られたくない電話帳を、秘密の電話帳として登録できます。	○	×

注意▶ 大切なデータを失わないために

電話帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

補足▶ 電話帳を誤って削除しないように、また他人が使用できないように設定することができます。（☞P.10-11）

電話帳に登録する

ここでは、新規作成を例に、相手の名前、電話番号、E-mailアドレスの登録を順に説明します。

- 電話帳を新しく作成するときに、本体に登録するか、USIMカードに登録するかを選べるようにすることもできます。
- お買い上げ時には、電話帳の登録先は「**本体**」に設定されています。

保存先を変更する

■次の操作を行うと、電話帳を新規作成するときの保存先をあらかじめ設定しておくことができます。

◉➡「**電話帳**」選択➡◉➡「**その他**」選択➡◉➡「**保存先設定**」選択➡◉➡「**本体**」／「**USIMカード**」／「**保存時に選択**」選択➡◉

- ここで「**保存時に選択**」を選ぶと、新規作成を行うたびに、登録先の選択画面が表示されるようになります。

名前を入力する

1 **「新規作成」を選び、◉を押す。**

電話帳の新規作成画面が表示されます。

2 **「名前／姓：」を選び、◉を押す。**

3 **相手の名字を入力し、◉を押す。**

4 **「名前／名：」を選び、◉を押す。**

5 **相手の名前を入力し、◉を押す。**

新規作成画面

電話番号を入力する

メニュー▶ 電話帳 ➡ 電話帳 ➡ 新規作成

1 **「電話番号：」を選び、◉を押す。**

2 **電話番号を入力する。**

- 一般電話は、市外局番も必ず入力してください。

3 **◉を押す。**

4 **アイコンを選び、◉を押す。**

■ 複数の電話番号の登録：「**電話番号：**」選択➡◉➡操作２～４をくり返す

E-mailアドレスを入力する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳 ➡ 新規作成

1 「Eメールアドレス：」を選び、◉を押す。

2 E-mailアドレスを入力する。

3 ◉を押す。

4 アイコンを選び、◉を押す。

■複数のE-mailアドレスの登録：「Eメールアドレス：」選択➡◉➡操作2～4をくり返す

電話帳入力中に着信があると

■入力中の内容は記憶されています。通話終了後に入力を継続できます。

登録する

1 ⌐（保存）を押す。

■こんな表示が出たときは

画面表示	理由	操作
必須項目の入力がされていないため登録できません	登録に必要な項目が入力されていません。	名前（姓、名）、電話番号、E-mailアドレスのいずれかを入力し、再度保存してください。

補足▶ Bluetoothや赤外線通信機能を利用して、他の機器との間で、電話帳のやりとりができます。（☞P.9-2）

その他の項目を登録する

個別に着信音などを設定する

電話がかかってきたときや、メールを受信したときの着信パターンを設定します。

- あらかじめ登録されているパターンの他に、データフォルダの次のサウンド／動画が設定できます。
  - ■着信メロディ＆サウンドフォルダ内のファイル名が51文字以内のサウンド
  - ■ムービーフォルダ内のファイル名が51文字以内の動画

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳 ➡ 新規作成

1 「着信音／ムービー：」を選び、◉を押す。

2 *音声電話の着信パターン設定*

1「音声着信」を選び、◉を押す。

TVコールの着信パターン設定

1「TVコール着信」を選び、◉を押す。

メールの着信パターン設定

1「メール着信」を選び、◉を押す。

3 *着信音の設定*

1「着信音選択」を選び、◉を押す。

■設定の解除：「設定解除」選択➡◉➡⌐（Yes）

2「固定データ」または「データフォルダ」を選び、◉を押す。

動画の設定

1「ムービー選択」を選び、◉を押す。

■設定の解除：「設定解除」選択➡◉➡⌐（Yes）

4 サウンドまたはムービーを選び、◉を押す。

固定の着信音を選んだときは、再生画面が表示されますので、⌒（**決定**）を押してください。

● SDメモリカード内のデータは、利用できません。

注意▶
● データフォルダ内のサウンドや動画を設定しているときに、以下の操作を行うと、音声着信またはTVコール着信時には「Ibiza Party」、メール着信時には「**メールサウンド1**」で再生されます。
 ■ ファイルの削除／ファイル名の変更／SDメモリカードへ移動
 ■ 著作権保護されたファイルの有効期限切れのときも、同様の着信音が再生されます。
● 設定した電話帳がシークレットデータの場合、シークレットモードに設定されていないときは、ここでの設定は無効となります。

指定した画像を着信時に表示する

相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたとき、登録している画像をディスプレイに表示します。

● 設定できるのは、40Kバイト以内の画像ファイルです。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳 ➡ 新規作成

1 「フォト：」を選び、◉を押す。

2 「フォト選択」を選び、◉を押す。

■ フォト設定の解除：「**フォト解除**」選択➡◉➡⌒（Yes）

3 画像を選び、◉を押す。

● SDメモリカード内の画像および選択できない画像は、利用できません。

注意▶ 登録したデータフォルダ内の元の画像に以下の操作を行うと、フォト設定している画像は表示されなくなります。
 ■ ファイルの削除／ファイル名の変更／SDメモリカードへ移動

■その他の項目の入力方法

下表の操作は、電話帳の新規作成画面（☞P.4-3）で行います。

● 登録内容や入力できる文字数など詳しくは、P.4-2「**電話帳に登録できる項目**」を参照してください。

ヨミ	「**ヨミ：**」選択➡◉➡よみがな入力➡◉
グループ	「**グループ：**」選択➡◉➡グループ選択➡◉
郵便番号	「**郵便番号：**」選択➡◉➡郵便番号入力➡◉
国	「**国：**」選択➡◉➡国名入力➡◉
都道府県	「**都道府県：**」選択➡◉➡都道府県名入力➡◉
市町村	「**市町村：**」選択➡◉➡市町村名入力➡◉
番地	「**番地：**」選択➡◉➡番地入力➡◉
メモ	「**メモ：**」選択➡◉➡内容入力➡◉
誕生日	「**誕生日：**」選択➡◉➡年／月／日入力➡◉
シークレット	「**シークレット設定：**」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

1 で発信履歴または着信履歴を表示する。

2 で履歴を選び、（メニュー）を押す。

3「電話帳登録」を選び、を押す。

4 *新しい電話帳に登録する*

1「新規作成」を選び、を押す。

自動的に電話番号が入力されます。このあと、他の項目を入力して電話帳の登録を完了させてください。

登録済の電話帳に追加登録する

1 追加登録する相手の電話帳を選び、を押す。

自動的に電話番号が入力され、電話帳が修正できる状態になります。電話帳登録時と同様の操作で修正して、電話帳の登録を完了させてください。

注意▶ 着信履歴には、発信者番号通知がないものも記憶されます。発信者番号通知がないものは、電話帳に登録できません。

電話帳の登録件数を確認する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ その他

1「メモリ使用状況」を選び、を押す。

802SH／USIMカードに登録されている電話帳の件数が表示されます。

■ 確認終了：

グループ設定

電話帳で使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音を設定します。

グループ名を変更する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ グループ設定

1 **グループ名を選び、◉を押す。**

2 **新しいグループ名を入力する。**
- 最大16文字まで入力できます。

3 **◉を押す。**

4 **⌒（Yes）を押す。**

■別のグループ名の変更：操作1～4をくり返す

グループ着信音を設定する

グループ別に着信音を設定します。
- 個別に着信音を設定しているとき（☞P.4-4～P.4-5）は、ここでの設定より個別の着信音の設定が優先されます。
- USIMカードのグループには、着信音は設定できません。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ グループ設定

1 **グループを選び、⌒（メニュー）を押す。**

2 **「着信音／ムービー」を選び、◉を押す。**

3 **「音声着信」、「TVコール着信」、「メール着信」のいずれかを選び、◉を押す。**

4 ***着信音の設定***

1「着信音選択」を選び、◉を押す。

■設定の解除：「**設定解除**」選択➡◉➡⌒（Yes）

2「固定データ」または「データフォルダ」を選び、◉を押す。

動画の設定

1「ムービー選択」を選び、◉を押す。

■設定の解除：「**設定解除**」選択➡◉➡⌒（Yes）

メールの鳴動時間の設定

1「鳴動時間」を選び、◉を押す。

2 着信音を鳴らす時間（01～15秒）を入力し、◉を押す。

5 **サウンドまたはムービーを選び、◉を押す。**

固定の着信音を選んだときは、再生画面が表示されますので、⌒（**決定**）を押してください。
- SDメモリカード内のデータは、利用できません。

グループ設定のメモリ切替

■グループ設定は、本体／ USIM カードで個別に設定できます。グループ設定のメモリを切り替えるときは、次の操作を行います。

◉➡「電話帳」選択➡◉➡「その他」選択➡◉➡「メモリ切替」選択➡◉➡「本体」／「USIMカード」選択➡◉

電話帳の利用

電話帳から電話をかける

ディスプレイ

1 相手の名前
2 フォトに設定されている画像
3 電話番号
4 E-mailアドレス
5 グループ名
6 住所

住所は、郵便番号、国名、都道府県名、市町村名、番地をカンマ（,）で区切り、改行した状態で登録されています。

7 メモ
8 誕生日
9 着信音に設定しているサウンド／動画
10 シークレットOn

補足▶ シークレットデータを利用して電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（☞P.10-12）

電話帳の検索方法を切り替える

電話帳検索は、次の３つの方法から選んで利用できます。
- お買い上げ時には、「**ヨミ**」に設定されています。

ヨミ	登録したよみがなの順で電話帳を表示します。
グループ	指定したグループ内の電話帳を表示します。
あかさたな別	指定したよみがなの行の電話帳を表示します。

メニュー ▶ **電話帳** ➡ **その他** ➡ **検索方法切替**

1 「ヨミ」、「グループ」、「あかさたな別」のいずれかを選び、◉を押す。

USIMカード内の電話帳の呼び出し

■次の操作を行うと、USIMカード内の電話帳に切り替わります。
◉➡「**電話帳**」選択➡◉➡「**その他**」選択➡◉➡「**メモリ切替**」選択➡◉➡「**USIMカード**」選択➡◉
- このあと、各種検索方法を利用して、電話帳を呼び出してください。

各種検索方法を利用して電話をかける

ヨミ検索 「**ヨミ**」で電話帳を表示して電話をかけます。

■検索方法を「**ヨミ**」に切り替えてください。（☞左記）
◎➡**よみがなを入力**➡**電話帳選択**➡◉➡⤺
■ 文字入力モードの切替：☞P.3-2

グループ検索 「**グループ**」で電話帳を表示して電話をかけます。

■検索方法を「**グループ**」に切り替えてください。（☞左記）
◎➡**グループ選択**➡◉➡**電話帳選択**➡◉➡⤺

あかさたな検索 「**あかさたな別**」で電話帳を表示して電話をかけます。

■検索方法を「**あかさたな別**」に切り替えてください。（☞左記）
◎➡**よみがなの行を指定**➡**電話帳選択**➡◉➡⤺
■ 行の切替：◎

スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに設定（☞P.4-12）した電話帳は、簡単な操作で発信できます。

1 **［2］～［9］のいずれかを長く（1秒以上）押す。**

相手の名前と電話番号が表示され、ダイヤルされます。

- スピードダイヤルリスト（☞P.4-12）から相手を選び、［発信］を押しても電話をかけられます。

注意▶ シークレットデータを利用して電話をかけるときは、あらかじめシークレットモードに設定しておいてください。（☞P.10-12）

電話帳の編集

電話帳を修正する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳

1 **電話帳を呼び出し、［ ］（メニュー）を押す。**

2 **「編集」を選び、◉を押す。**

3 **項目を選び、◉を押す。**

選んだ項目が修正できる状態になります。

- このあと、登録時と同様の操作で修正します。

4 **修正が終われば、◉を押す。**

■ 続けて他の項目を修正：操作3～4をくり返す
■ 操作の中止：［終話］➡［ ］（Yes）

5 **［ ］（保存）を押す。**

電話帳が保存されます。

電話帳をコピーする

本体とUSIMカード間で、電話帳を1件または全件まとめてコピーできます。

- 本体とUSIMカードでは、電話帳に登録できる項目が異なります。(☞P.4-2)
  そのため、本体からUSIMカードに電話帳をコピーすると、USIMカードに登録できない項目は削除されます。

1件ずつコピーする

本体⇔USIMカード間で、電話帳を1件ずつコピーします。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳 ➡ 電話帳リストから相手を選ぶ ➡ メニュー(⌒) ➡ その他

1 *本体からUSIMカードにコピーする*

1「USIMカードにコピー」を選び、◉を押す。
USIMカードに登録できない項目は削除されるため、確認画面が表示されます。

2 ⌒(Yes)を押す。

USIMカードから本体にコピーする

1「本体にコピー」を選び、◉を押す。

全件コピーする

本体⇔USIMカード間で、電話帳をすべてコピーします。

- すべての電話帳をコピーするための空き容量が足りないときは、全件コピーはできません。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ その他 ➡ 全件コピー

1「USIMカード→本体」または「本体→USIMカード」を選び、◉を押す。

2 *USIMカードから本体にコピーする*

1 ⌒(Yes)を2回押す。

本体からUSIMカードにコピーする

1 ⌒(Yes)を3回押す。

電話帳を削除する

1件ずつ削除する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳

1 電話帳を呼び出し、⌒(メニュー)を押す。

2「削除」を選び、◉を押す。

3 ⌒(Yes)を押す。

注意▶ 着信音、フォトが設定されている電話帳を削除しても、データフォルダ内のメロディや画像は削除されません。

全件削除する

本体またはUSIMカードの電話帳をすべて削除します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ その他 ➡ 全件削除

1「本体」または「USIMカード」を選び、◉を押す。

2 ⌒(Yes)を2回押す。

3 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

4 ◉を押す。

スピードダイヤル設定

スピードダイヤルに設定する

スピードダイヤルに設定しておくと、簡単な操作で電話がかけられます。（☞P.4-10）

メニュー ▶ 電話帳

1 「スピードダイヤル設定」を選び、◉を押す。

スピードダイヤルリストが表示されます。

2 2～9を選び、◉を押す。

3 電話帳リストから、相手を選ぶ。

- 選んだ相手に電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選びます。

4 ◉を押す。

電話帳からのスピードダイヤル設定

■スピードダイヤルに設定する相手の電話帳を表示している状態からでも、スピードダイヤル設定できます。このときは、次の操作を行います。

（メニュー）➡「スピードダイヤル追加」選択➡◉➡2～9選択➡◉

補足▶ 2に登録した相手には、マルチステレオイヤホンマイクなどを利用して、ワンタッチで電話をかけることができます。（☞P.2-19）

スピードダイヤルを削除する

1件ずつ削除する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ スピードダイヤル設定

1 削除する番号を選び、（メニュー）を押す。

2 「削除」を選び、◉を押す。

3 （Yes）を押す。

全件削除する

スピードダイヤル設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ スピードダイヤル設定 ➡ メニュー（） ➡ 設定リセット

1 （Yes）を押す。

4 電話帳

オーナー情報の確認／編集

ご使用のUSIMカードに登録されている電話番号を確認します。

- 802SHにオーナー情報として名前、電話番号、E-mailアドレス、住所などを登録できます。

メニュー ▶ 電話帳

1 **「オーナー情報」を選び、◉を押す。**

2 **確認を終わるときは、⌒を押す。**

- オーナー情報画面の見かたは、電話帳（☞P.4-8）と同様です。
- Bluetoothや赤外線を利用して、オーナー情報をやりとりできます。（☞P.9-2）

オーナー情報の登録	オーナー情報を登録します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ オーナー情報 ➡ メニュー（⌒）

「編集」選択➡◉➡編集項目選択➡◉

- このあとの入力方法は、電話帳の登録と同様です。（☞P.4-3〜P.4-5）

オーナー情報の削除	登録したオーナー情報を削除します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ オーナー情報 ➡ メニュー（⌒）

「削除」選択➡◉➡⌒（Yes）

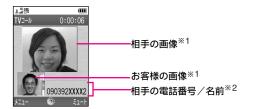
注意▶ 「電話番号１」は、変更／削除できません。

TVコール

TVコールをご利用になる前に

お客様ご自身と相手の画像（映像）を見ながら、通話できます。

- 相手には、前面カメラ（インカメラ）で撮影したお客様の画像が送信されます。
- 背面カメラ（アウトカメラ）を利用することもできます。きれいな画像を送りたいときに便利です。

ディスプレイ

※1 相手の画像とお客様の画像を入れ替えることもできます。
※2 相手の名前は、802SHの電話帳に登録されているときに表示されます。

TVコール利用時のご注意

- TVコールに対応している携帯電話との間で利用できます。
- ボーダフォンのTVコールと異なる方式の携帯電話と接続したときは、通話が切れることがあります。このときも、通話が切れるまでの通話料金が課金されます。
- 相手の携帯電話によっては、相手の画像が小さく表示されることがあります。また、相手の設定によっては、相手の画像が送信されてこないことがあります。
- 背景に動きがあると、相手に送信する画像がコマ送りになることや、ブロックノイズが発生することがあります。
- 周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど、良好な通話ができないことがあります。このときは、マルチステレオイヤホンマイクのご利用をおすすめします。
- スピーカーホン（☞P.5-5）をご利用のときは、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。このときは、音量を下げて通話するか、マルチステレオイヤホンマイクのご利用をおすすめします。
- TVコール通話中や充電中には、ボタン操作部や電池カバーおよびモバイルカメラ周辺部の温度が上がりますが、故障ではありません。

TVコールをかける

1 電源が入っていることを確認して、電話番号を入力する。

●電話帳や発信履歴、着信履歴を利用することもできます。

2 ⌒（メニュー）を押す。

3「TVコール」を選び、◉を押す。

相手がTVコールを受けると、相手の画像が表示されます。

●受話音量の調整や通話の保留の操作方法は、音声電話と同様です。

■通話中の操作：☞P.5-4

4 通話が終わったら、⌒を押す。

●802SHをクローズポジションにしても通話は切れます。

ビューアポジションでの発信 ビューアポジションでTVコールをかけます。

◎➡「電話帳」選択➡◎➡電話帳呼出（☞P.4-9）➡◎➡「TVコール」選択➡◎

■通話終了：ⓒ

TVコールを受ける

1 電話がかかってきたら（TVコール着信中に）、802SHをオープンポジションにする。

TVコールがかかってきたときは、TVコール着信のグラフィックが表示されます。

●着信中にできる操作は、「**応答**」「**音声応答**」、「**転送**」、「**拒否**」です。（☞P.2-5、P.2-6）

2 ***お客様の画像を送信する***

1 ⌒を押す。

前面カメラからの画像が相手に送信されます。

■通話中の操作：☞P.5-4

お客様の画像を送信しない

1 ⌒（音声応答）を押す。

■通話中の操作：☞P.5-4

3 通話が終わったら、⌒を押す。

●802SHをクローズポジションにしても通話は切れます。

ビューアポジションでの着信 ビューアポジションでTVコールを受けます。

お客様の画像を送信する

着信中に◎

■通話終了：ⓒ

お客様の画像を送信しない

着信中に◎（1秒以上）➡通話が終わったらⓒ

5 TVコール

TVコール通話中の操作

自画像送信／カメラ切替	前面カメラと背面カメラを切り替えます。

お買い上げ時 前面カメラ

通話中に◎（背面カメラからの画像を送信）➡◎（前面カメラからの画像を送信）

注意▶ 背面カメラに切り替えたあと、802SHの温度が一定以上になると、温度上昇の警告メッセージが表示されます。さらに温度が上昇し一定の温度を超えると、自動的に代替画像に切り替わります。また、前面カメラ使用中や、代替画像を表示中に802SHの温度が一定以上になったときは、背面カメラに切り替えることはできません。

画像入れ替え	相手の画像とお客様の画像を入れ替えます。

通話中に◉（押すたびに切替）

代替画像送信	お客様の画像の替わりに、あらかじめ設定しておいた代替画像を送信します。

通話中に□（メニュー）➡「発信画像」選択➡◉➡「代替画像」選択➡◉

● 代替画像の設定については、P.5-5を参照してください。

ミュート	相手に声と発信画像を送信しないようにします。（相手にはミュート画像が送信されます。）

通話中に□（ミュート）

■ ミュートの解除：□（**ミュート解除**）

その他通話中にできること

■モバイルライトの利用：□（長押し）
（背面カメラ［アウトカメラ］利用中に有効）

■ズームの利用：◎（ズームイン）／◎（ズームアウト）

- 背面カメラ（アウトカメラ）利用中：９段階ズーム可能
- 前面カメラ（インカメラ）利用中：２段階ズーム可能

■□（**メニュー**）を押すと、次の操作が行えます。

スピーカーホン		スピーカーホンのOn／Offを設定します。
TVコール設定	画質設定	受信する画像の画質を選択します。
	バックライト	バックライトの状態を設定します。
	明るさ調整	発信画像の明るさを５段階（-2〜+2）で設定します。
	Bluetooth ヘッドセット	BluetoothヘッドセットのOn／Offを設定します。
保留／再開		送話（音声／発信画像）と受話（音声）を停止します。（相手には保留画像が送信されます。）
電話帳		電話帳を表示します。

TVコール設定

カメラ選択 TVコールで利用するカメラまたは画像を設定します。

お買い上げ時 インカメラ

メニュー ▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ 発信画像 ➡ カメラ選択

「インカメラ」/「代替画像」選択➡◉

- 通話中は「アウトカメラ」(背面カメラ)に変更することもできます。

代替画像 TVコール開始時に代替画像を送信するように設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ 発信画像

送信画像を代替画像に設定する

「カメラ選択」選択➡◉➡「代替画像」選択➡◉

送信する代替画像を設定する

「代替画像」選択➡◉➡「固定データ」/「データフォルダ」選択➡◉➡画像選択➡◉

スピーカーホン TVコール開始時にスピーカーホンにするかどうかを設定します。

お買い上げ時 スピーカーホンOn

メニュー ▶ 設定 ➡ TVコール設定

「スピーカーホンOn」/「スピーカーホンOff」選択➡◉

- 通話中に変更することもできます。

画質設定 相手から受信する画像の画質を設定します。

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ 画質設定

「標準」/「画質優先」/「フレームレート優先」選択➡◉

- 通話中に変更することもできます。

バックライト TVコール中のバックライトの状態を設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ バックライト

「On」/「通常設定に従う」/「Off」選択➡◉

- 「通常設定に従う」に設定すると、ディスプレイのバックライト設定(☞P.10-6)の設定内容に従います。
- 通話中に変更することもできます。

マイクミュート TVコール開始時にマイクミュートする(こちらの音声を消す)かどうかを設定します。

お買い上げ時 マイクミュートOff

メニュー ▶ 設定 ➡ TVコール設定

「マイクミュートOn」/「マイクミュートOff」選択➡◉

- 通話中に変更することもできます。

保留中ガイダンス表示 TVコールの保留中に送信する画像を設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ 保留中ガイダンス表示

「固定データ」/「データフォルダ」選択➡◉➡画像選択➡◉

カメラ

カメラをご利用になる前に

802SHは有効画素数130万画素のCCDモバイルカメラを搭載し、静止画や動画の撮影が可能です。

●静止画（☞P.6-5）　●動画（☞P.6-10）
●カメラで使用するボタン（☞P.6-4）
●各種撮影方法（☞P.6-13）

※カメラはオープンポジション、ビューアポジションで利用できるため、操作方法は以下のように併記して説明しています。
例：📷（ⓒ）または◉、📷（ⓒ）／◉

■保存形式や登録場所について

モード	保存形式	登録場所
写真撮影モード	JPEG（.jpg）	802SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）（☞P.8-2）
動画撮影モード	MPEG-4（.3gp）	802SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ムービー）（☞P.8-2）
	MPEG-4（.ASF）	SDメモリカードのSDビデオフォルダ

撮影前のご注意

●レンズカバー（☞P.1-10）に指紋や油脂がつくとピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズカバーをきれいにしてください。

カメラ利用時のご注意

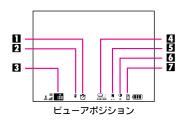
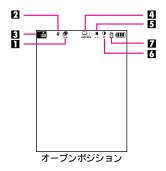
●手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。802SHが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所においてセルフタイマー（☞P.6-14）で撮影してください。
●カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
●802SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を登録したときは、画質が劣化することがあります。
●カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

自動終了

■カメラは、802SHが一定温度以上になると自動的に終了します。このときは、温度が下がるまでカメラは起動できません。
■カメラ起動中、画像を撮影する前に約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

ディスプレイ

ビューアポジション

オープンポジション

1 セルフタイマーOn表示（☞P.6-14）／連写モード表示（☞P.6-8）

- 枚数表示

  〜 :「**撮影済または表示中の枚数**」／「**連写枚数**」を表します。

- **連写モード表示**

  ：４枚連写On／：９枚連写On／
  ：ブラケット連写／：オーバーラップ連写

2 モバイルライト表示（☞P.6-14）

：On／：自動／：接写

3 登録可能件数表示（☞P.6-5）

各モードでの撮影（登録）可能件数が表示されます。

- 100件以上撮影（登録）可能なときは、「」が表示されます。
- ３件以下になると、背景が赤く表示されます。

4 撮影サイズ表示（☞P.6-15）

5 画質表示（☞P.6-16）

：ノーマル／：ファイン／：ハイクオリティ

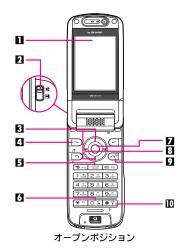
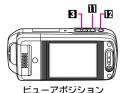
6 明るさ表示（☞P.6-15）

-2　-1　0　+1　+2
暗い ←標準→ 明るい

7 保存先表示（☞P.6-17）

：本体（802SH）／：メモリカード（SDメモリカード）／
：保存時に選択

カメラで使用するボタン

オープンポジション

ビューアポジション

1 ファインダー
オープンポジションは縦向きに、ビューアポジションは横向きに表示されます。

2 接写スイッチ
スライドさせて切り替えます。
- 被写体との距離は、接写モードでは約10cm程度、通常モードでは約40cm以上を目安にしてください。

3 ズーム
▶／◎（ズームアップ）、◀／◎（ズームダウン）

4 メニュー表示

5 キャンセル
オープンポジションで、撮影をやり直すときに使います。

6 表示切替／画面サイズ設定（☞P.6-13）
オープンポジションで押すたびに、次のように切り替わります。
- 写真撮影モード：「**全画面表示**」⇔「**通常画面表示**」
- 動画撮影モード：「**大（QCIF）**」⇔「**小（SubQCIF）**」

7 シャッター

8 カメラモード切替
◎を押すと写真撮影モード、◎を押すと動画撮影モードに切り替わります。

9 カメラ終了

10 モバイルライト（☞P.6-14）
押すたびに、「**On**」（「⚡」点灯）→「**自動**」（「⚡」点灯）→「**接写**」（「⚡」点灯）→「**Off**」の順に切り替わります。
- モバイルライト点灯中に5を押すと、点灯色を変更できます。

11 カメラ起動／シャッター
待受状態で1秒以上押すと、前回使用していた撮影モードでカメラが起動します。また、シャッターやメニュー項目を選んだあとの決定などにも使います。

12 メニュー表示・終了／カメラ終了
- 長押し：カメラが終了し待受画面に戻ります。

補足▶
- ビューアポジションの主な操作は、メニュー画面から行います。詳しくは、各機能のページを参照してください。
- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各モードで利用できる機能（☞P.6-7、P.6-12）などでご確認ください。
- 利用できるボタン操作を、ディスプレイに表示することもできます。（☞P.6-17）

静止画の撮影

写真撮影モード

メール添付や壁紙登録など、用途にあわせ最大横960×縦1280ドットの静止画が撮影できます。また、各種撮影方法や各種画像の設定など、目的に応じた設定を選んで撮影できます。

■写真撮影モードの機能一覧

項目	内容
撮影サイズ	横960×縦1280ドット（Quad-VGA） 横768×縦1024ドット（XGA） 横480×縦640ドット（VGA） 横240×縦320ドット（QVGA） 横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット
静止画の登録先	802SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）またはSDメモリカードのDCIMフォルダ（デジタルカメラ）（VGA以上）
画質	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ
ズーム	横960×縦1280ドット：ー 横768×縦1024ドット：1～1.25倍 横480×縦640ドット：1～2倍 横240×縦320ドット：1～8倍 横120×縦160ドット：1～16倍 横120×縦128ドット：1～16倍
MMS添付	可能
ファイル形式	JPEG形式（.jpg）※1
登録可能数（目安）	約1000ファイル※2

※1 撮影（登録）日時のファイル名が付きます。（例：2004年12月15日午後12時34分撮影→「04-12-15_12-34.jpg」）
※2 お買い上げ時の状態（撮影サイズ、画質）で撮影し、802SHに登録したときの画像数です。

補足▶
- 802SHのデータフォルダのメモリは、ムービーや着信メロディ＆サウンド、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.10-13を参照してください。

静止画を撮影する

- カメラモード選択画面や撮影モードの選択画面では、利用できるボタン操作をディスプレイに表示できます。（☞P.6-17）

ビューアポジションで撮影する

メニュー ▶ カメラ

1 画像をディスプレイに表示する。

- 動画撮影画面から静止画撮影画面に切り替える：ⓒ（**メニュー**）➡「**フォトカメラへ切替**」選択➡◉
- ビューアポジションで使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-13

2 ◉を押す。

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

- シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。
- 撮影のやり直し：ⓒ

3 静止画を保存するときは、◉を押す。

保存中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登録されます。操作1の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

- 保存先を「**保存時に選択**」に設定しているときは、保存先の選択画面が表示されます。
  保存先を選び、◉を押してください。

4 カメラを終了するときは、ⓒを長く（1秒以上）押す。

補足▶
- シャッター音のパターンは変更できますが、音量は変更できません。（☞P.6-13）
- 撮影後自動的に静止画を保存するように設定することもできます。（自動保存設定：☞P.6-18）

オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する

メニュー ▶ カメラ

1 画像をディスプレイに表示する。

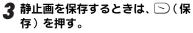
- 動画撮影画面から静止画撮影画面に切り替える：⌒（**メニュー**）➡「**フォトカメラへ切替**」選択➡◉
- カメラで使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-13

2 **📷または◉を押す。**

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

- シャッター音はマナーモードを設定していても鳴ります。

■撮影のやり直し：☐（**キャンセル**）
■メール添付：◉

3 **静止画を保存するときは、☐（保存）を押す。**

保存中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登録されます。操作1の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

- 保存先を「**保存時に選択**」に設定しているときは、保存先の選択画面が表示されます。
保存先を選び、◉を押してください。

4 **カメラを終了するときは、☐を押す。**

注意▶ **セルフショットポジションで撮影するとき**
撮影前のディスプレイには、鏡で映したように反転した画像が表示されますが、撮影後のディスプレイには反転していない画像が表示されます。

補足▶
- シャッター音のパターンは変更できますが、音量は変更できません。（☞P.6-13）
- 撮影後自動的に静止画を保存するように設定することもできます。（自動保存設定：☞P.6-18）

静止画撮影で利用できる機能

撮影前にⓒ／☐（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

分類	機能	説明
撮影設定	撮影サイズ	撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.6-15）
	明るさ調整	明るさを調整します。（☞P.6-15）
	モバイルライト	モバイルライトの点灯モードと色を設定します。（☞P.6-14）
	シーン別撮影	シャッターを撮影環境に合わせて設定します。（☞P.6-15）
	画質設定	画質を設定します。（☞P.6-16）
カメラモード	連写設定	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.6-8）
	フレーム	画像にフレームを付けて撮影します。（☞P.6-10）
	タイマー	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-14）
データフォルダ		802SHまたはSDメモリカード内の静止画を参照します。（☞P.6-18）
ビデオカメラへ切替		動画撮影モードに切り替えます。（☞P.6-18）
その他	保存先設定	静止画の登録先（802SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-17）
	全画面表示／通常画面表示	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-13）
	シャッター音	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.6-13）
	自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.6-18）
ヘルプ		現在の撮影モードで利用できる機能を表示します。（☞P.6-17）

静止画を連続して撮影する

撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影できます。連写モードの種類は、次のとおりです。

4枚連写On※1	4枚の静止画を連続して撮影します。
9枚連写On※2	9枚の静止画を連続して撮影します。
ブラケット連写※2	画像の明るさやモバイルライトの色を変えて9枚の静止画を撮影します。
オーバーラップ連写※2	連続して5枚の静止画を撮影します。

※1「480×640」以下の撮影サイズで利用できます。
※2「240×320」以下の撮影サイズで利用できます。

- 撮影後は設定した枚数分の静止画と分割画像が作成されます。
  - ■分割画像とは、連続撮影したすべての静止画を縮小し、1枚の静止画内に配置したものです。連写画像の内容が一覧で確認できます。
  - ■オーバーラップ連写では、連続撮影したすべての静止画をオーバーラップ合成した画像が作成されます。
  - ■撮影サイズ「480×640」で連続撮影すると、分割画像は作成されません。
- 連写モードでは、1枚目のシャッター（◎または◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。4枚／9枚連写では回数分シャッターを押す、「**マニュアル**」も設定できます。また、自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定できます。

補足▶ 連写画像をMMSに添付して送信する（☞P.6-19）こともできます。

連写モードを設定する

メニュー ▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ/▷） ➡ カメラモード ➡ 連写設定

1 **「4枚連写On」～「オーバーラップ連写」のいずれかを選び、◎または◉を押す。**

■ 連写モードの解除：「Off」選択➡◎／◉（操作完了）

2 **連写スピードを選び、◎または◉を押す。**

連写モードマークが点灯し（☞P.6-3）、撮影画面に戻ります。

- セルフタイマーで撮影するときは、「**マニュアル**」は利用できません。

注意▶
- 暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
- モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

連写モードで撮影する

メニュー ▶ カメラ ➡ 連写モードを設定する

1 画像をディスプレイに表示し、⊙または◉を押す。

1枚目の静止画が撮影されます。このあと、一定間隔おきに、残りの回数分の画像が撮影されます。

●手動(マニュアル)で撮影するときは、残りの回数分操作1をくり返します。

■ 連写の中止:ⓒ/⊖(**停止**)

■ 中止前に撮影した枚数分の連写画像の登録:上記操作のあと、⊙/⊝(**保存**)

■ 連写の取消(マニュアル時):ⓒ/⊖(**停止**)➡ⓒ/⊖(**キャンセル**)(途中まで撮影した画像は消去されます。)

2 連写が終われば、合成画像が表示される。

■ 連写画像内の静止画の確認:◀▶/⊙

■ このあと、連写画像内の1枚だけを保存するときは、保存する画像を表示し、操作3へ進んでください。

■ メール添付:◉

3 連写画像を保存するときは、⊙または⊝(保存)を押す。

4 *すべての連写画像を保存する*

1「全画像」を選び、⊙または◉を押す。

連写画像保存後、連写モードのままで撮影画面に戻ります。

●保存先を「**保存時に選択**」に設定しているときは、保存先の選択画面が表示されます。
保存先を選び、⊙または◉を押してください。

1枚だけを保存する

1「表示画像」を選び、⊙または◉を押す。

表示画像保存後、連写モードのままで連写撮影後の画面に戻ります。

●保存先を「**保存時に選択**」に設定しているときは、保存先の選択画面が表示されます。
保存先を選び、⊙または◉を押してください。

フレームを付けて撮影する

- ボーダフォンライブ！などで入手したフレーム（透過PNG形式の画像）も利用できます。
- 連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。
- 撮影サイズ「240×320」以下の静止画撮影で利用できます。

メニュー ▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ/▷）➡ カメラモード ➡ フレーム

1 *あらかじめ登録されているフレームを利用する*

1 「固定データ」を選び、◎または●を押す。

2 フレームを選び、◎または●を押す。

■ フレームの変更：ⓒ/⊟（戻る）

3 ◎または●を押す。

データフォルダ内のフレームを利用する

1 「データフォルダ」を選び、◎または●を押す。

- フレームに利用できない画像は、選択できません。

2 フレームを選び、◎または●を押す。

■ フレームの変更：ⓒ/⊟（戻る）

3 ◎または●を押す。

フレームを解除する

1 「Off」を選び、◎または●を押す。

動画の撮影

動画撮影モード

長時間（SDメモリカードの容量による）の動画や、メール添付用の短い動画を、用途に応じて撮影できます。

補足▶ 動画を撮影するときは、明るい状態でなるべくカメラから1.5mまでの距離で、撮影することをおすすめします。

■動画撮影モードの機能一覧

撮影サイズ		横176×縦144ドット（QCIF） 横128×縦96ドット（SubQCIF）	横240×縦320ドット（QVGA）
登録先		802SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ムービー）	SDメモリカードのSDビデオフォルダ
最大録画時間（1回あたり）	メール添付用	60秒（画質：ノーマル） 50秒（画質：ファイン） 30秒（画質：ハイクオリティ）	−
	長時間録画用	30分	SDメモリカードの容量により変動
画質		ノーマル／ファイン／ハイクオリティ	
ズーム		SubQCIF3.72倍／QCIF2.72倍／QVGA2倍	
MMS添付		可能	−
保存形式		MPEG-4（.3gp）※1	MPEG-4（.ASF）※2

※1 撮影（登録）日時のファイル名が付きます。（例：2004年12月15日午後12時34分撮影→「04-12-15_12-34.3gp」）
登録先に同じ名前のファイルがあるときは、ファイル名が変わることがあります。

※2「MOL001.ASF」、「MOL002.ASF」…の順にファイル名が付きます。

補足▶
- 802SHのデータフォルダのメモリは、ムービーや着信メロディ&サウンド、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影(登録)できる動画数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.10-13を参照してください。

動画を撮影する

- ご利用前に電池残量とメモリ容量をご確認ください。電池レベル表示が「▯」のときは撮影できません。また、撮影中に電池残量やメモリ容量が不足すると、撮影が中止されます。

メニュー▶ カメラ

1 画像をディスプレイに表示する。

- 静止画撮影画面から動画撮影画面に切り替える:ⓒ/▭(**メニュー**)➡「**ビデオカメラへ切替**」選択➡◉/◉
- カメラで使用するボタン:☞P.6-4
- 各種撮影方法:☞P.6-13

2 ◉または◉を押す。

撮影開始音が鳴り、動画の撮影が始まります。(撮影開始まで、しばらく時間がかかることもあります。)

- 撮影開始音や撮影終了音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、音量も変更できません。

3 撮影を終了するときは、◉または◉を押す。

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

- 撮影した動画の再生:「**プレビュー**」選択➡◉/◉
- 撮影のやり直し:ⓒ/▭(**戻る**)

4 動画を登録するときは、「保存」を選び、◉または◉を押す。

撮影した動画が登録されます。左記操作1の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

- 保存先を「**保存時に選択**」に設定しているときは、保存先の選択画面が表示されます。
「**本体**」または「**メモリカード**」を選び、◉または◉を押してください。

5 カメラを終了するときは、ⓒを長く(1秒以上)またはⓞを押す。

補足▶ 撮影する画像によっては、表示される撮影可能残り時間まで撮影できないことや、撮影可能残り時間より長く撮影できることがあります。あくまで目安としてご利用ください。

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にⓒ／[ソフトキー]（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

ビデオ設定	保存時間	動画の保存時間とサイズを設定します。（☞P.6-16）
	明るさ調整	明るさを調整します。（☞P.6-15）
	モバイルライト	モバイルライトの点灯モードと色を設定します。（☞P.6-14）
	マイク設定	撮影時に音声も同時に録音するかどうか設定します。（☞P.6-17）
	画質設定	画質を設定します。（☞P.6-16）
データフォルダ		802SHまたはSDメモリカード内の動画を参照します。（☞P.6-18）
フォトカメラへ切替		写真撮影モードに切り替えます。（☞P.6-18）
その他	保存先設定	動画の登録先（802SH／SDメモリカード）を指定します。（☞P.6-17）
	画面サイズ設定	撮影サイズと画面の表示を切り替えます。（☞P.6-13）
	エンコード形式	ファイル形式を設定します。（☞P.6-17）
ヘルプ		現在の撮影モードで利用できる機能を表示します。（☞P.6-17）

撮影直後（動画登録前）

動画の撮影直後（登録前）には、メニュー画面が自動的に表示され、次の機能が利用できます。

プレビュー	撮影した動画を再生します。（☞P.6-11）
保存	撮影した動画を802SHまたはSDメモリカードに保存します。（☞P.6-11）
ムービー写メール（保存）	撮影した動画をメールに添付します。（☞P.6-19）

画像／撮影に関する設定

撮影方法や画像など、静止画や動画を目的に応じて撮影するための機能を選んで利用できます。

●利用できる機能は、撮影モードによって異なります。機能ごとの表でご確認ください。

各種撮影方法

セルフタイマーやモバイルライトなど、撮影時の状態に合わせて撮影方法を設定できます。

表示切替

静止画撮影時の画面表示を切り替えます。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 通常画面表示

メニュー ▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ／⌓）➡ その他

「全画面表示／通常画面表示」選択 ➡ ⓒ／◉

画面サイズ設定

動画撮影時の撮影サイズと表示する画面サイズを設定します。

写真撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時 大（QCIF）

メニュー ▶ カメラ ➡ 動画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ／⌓）➡ その他 ➡ 画面サイズ設定

「大（QCIF）」／「小（SubQCIF）」選択 ➡ ⓒ／◉

●撮影サイズは「大（QCIF）」が176×144ドット、「小（SubQCIF）」が128×96ドットです。

シャッター音

撮影時に鳴るシャッター音を設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 パターン1

メニュー ▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ／⌓）➡ その他 ➡ シャッター音

シャッター音選択 ➡ ⓒ／◉

注意 ▶
●シャッター音の音量は変更できません。
●連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

セルフタイマー

セルフタイマーで撮影できるように設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ/▷）➡ カメラモード ➡ タイマー

セルフタイマー設定

「On」選択➡◎/◉

- 「⏱」が表示され、タイマーが設定されます。

セルフタイマー撮影

静止画撮影画面で◎/◉

- タイマー音のあと、10秒後に撮影されます。
  - 撮影後の画像の登録：◎/▷（保存）

セルフタイマー撮影時のご注意

■セルフタイマーをやり直すときは、次の操作を行います。

セルフタイマー動作中にⓒ/◁（キャンセル）/CLEAR/BACK

- タイマーが解除されないまま、撮影できる状態に戻ります。

■タイマー動作中に◎または◉を押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。

■タイマー動作中に着信やアラーム動作があると、撮影は中止されます。

■タイマー動作中は、次の操作はできません。

- 明るさの調整、モバイルライトの点灯、撮影モードの変更

注意▶ 連写スピードを「**マニュアル**」に設定しているときは、セルフタイマーは利用できません。

モバイルライト

モバイルライトの点灯（方法）を設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 静止画：Off／ホワイト、動画：Off／ホワイト

メニュー ▶ カメラ ➡ メニュー（ⓒ/▷）

モバイルライト設定（静止画）

「撮影設定」選択➡◎/◉➡「モバイルライト」選択➡◎/◉➡「On／Off設定」選択➡◎/◉➡「On」/「自動」/「接写」/「Off」選択➡◎/◉

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 点灯するときは次のモードから選びます。

On	モバイルライトが点灯します。撮影時には、さらに強い光で発光します。
自動	周囲の明るさによって、自動的にモバイルライトが点灯します。シャッターを押したときには、さらに強い光で発光します。
接写	モバイルライトが点灯します。撮影時にも光の強さは変わりません。

モバイルライト設定（動画）

「ビデオ設定」選択➡◎/◉➡「モバイルライト」選択➡◎/◉➡「On／Off設定」選択➡◎/◉➡「On」/「自動」/「Off」選択➡◎/◉

カラー設定（静止画）

「撮影設定」選択➡◎/◉➡「モバイルライト」選択➡◎/◉➡「カラー設定」選択➡◎/◉➡色選択➡◎/◉

カラー設定（動画）

「ビデオ設定」選択➡◎/◉➡「モバイルライト」選択➡◎/◉➡「カラー設定」選択➡◎/◉➡色選択➡◎/◉

注意▶ モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

各種画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。

明るさ調整

静止画や動画の明るさを調整します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 （標準）

メニュー▶ カメラ ➡ メニュー（Ⓒ／▷）

静止画の明るさ調整

「撮影設定」選択➡⊙／◉➡「明るさ調整」選択➡⊙／◉➡▷／Ⓢ（明るくなる）、◁／Ⓠ（暗くなる）➡⊙／◉

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

動画の明るさ調整

「ビデオ設定」選択➡⊙／◉➡「明るさ調整」選択➡⊙／◉➡▷／Ⓢ（明るくなる）、◁／Ⓠ（暗くなる）➡⊙／◉

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

撮影サイズ

静止画の撮影サイズを変更します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 240×320

メニュー▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する ➡ メニュー（Ⓒ／▷）➡ 撮影設定 ➡ 撮影サイズ

サイズ選択➡⊙／◉

- 動画の撮影サイズは、P.6-13「**画面サイズ設定**」で変更できます。

シーン別撮影

静止画の撮影環境を変更します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 自動

メニュー▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する ➡ メニュー（Ⓒ／▷）➡ 撮影設定 ➡ シーン別撮影

撮影環境選択➡⊙／◉

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 設定できる撮影環境は、次のとおりです。

自動	周りの環境に応じて自動的に調整します。
夜景	夜景など光の少ない場所での撮影に適しています。
スポーツ	スポーツなど動きの多い被写体の撮影に適しています。
文字	白と黒などコントラストがはっきりとした被写体の撮影に適しています。

画質設定 撮影前に画質を設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 静止画：ノーマル、動画：ファイン

メニュー ▶ カメラ ➡ メニュー（ⓒ/▷）

静止画の画質設定

「撮影設定」選択➡◎/◉➡「画質設定」選択➡◎/◉➡画質選択➡◎/◉

動画の画質設定

「ビデオ設定」選択➡◎/◉➡「画質設定」選択➡◎/◉➡画質選択➡◎/◉

- 保存時間を長時間録画「QVGA（MPEG4）」に設定しているときは、利用できません。

補足▶ 「ノーマル」→「ファイン」→「ハイクオリティ」の順に画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、登録可能画像数や録画可能時間は減ります。

保存時間 動画の保存時間を「**長時間録画**」または「**メール添付用**」に設定できます。

写真撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時 メール添付用

メニュー ▶ カメラ ➡ 動画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ/▷）➡ ビデオ設定 ➡ 保存時間

長時間録画に設定する

「長時間録画」選択➡◎/◉➡「QCIF ／ SubQCIF」／「QVGA（MPEG4）」選択➡◎/◉➡◎/◉

- 「長時間録画」の保存先は、SDメモリカードだけです。
- 設定できる内容は、次のとおりです。

QCIF ／ SubQCIF	3gpp形式（.3gp）の動画を撮影します。
QVGA（MPEG4）	MPEG4形式（.ASF）の横240×縦320ドットの動画を撮影します。

メール添付用に設定する

「メール添付用」選択➡◎/◉

- メール添付用に設定すると、295Kバイト以上の動画は撮影（保存）できません。

注意▶ SDメモリカード内に保存するときや、「**保存時に選択**」を利用するときは、SDメモリカードを取り付けておいてください。

マイク設定	動画の撮影時に、音声も同時に録音するかどうかを設定します。

写真撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時On

メニュー ▶ カメラ ➡ 動画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ/㊂）➡ ビデオ設定 ➡ マイク設定

「On」（録音する）／「Off」（録音しない）選択➡◎／◉

エンコード形式	動画の圧縮方式を「H.263（海外）」または「MPEG4（日本）」に設定できます。

写真撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時MPEG4（日本）

メニュー ▶ カメラ ➡ 動画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ/㊂）➡ その他 ➡ エンコード形式

エンコード形式選択➡◎／◉

- 保存時間を長時間録画「QVGA（MPEG4）」に設定しているときは、利用できません。

その他の設定

ヘルプ	現在の撮影モード利用中に、オープンポジションでできるボタン操作をディスプレイに表示します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

メニュー ▶ カメラ ➡ メニュー（ⓒ/㊂）

「ヘルプ」選択➡◎／◉

保存先設定	画像の登録先を設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時本体

メニュー ▶ カメラ ➡ メニュー（ⓒ/㊂）➡ その他 ➡ 保存先設定

「本体」/「メモリカード」/「保存時に選択」選択➡◎／◉

撮影サイズ「480×640」以上の静止画撮影時の保存先設定

「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラフォルダ」／「保存時に選択」選択➡◎／◉

- 「**保存時に選択**」を選ぶと、新規保存のたびに登録先の選択画面が表示されるようになります。
- 動画撮影モードでは、保存時間をメール添付用に設定しているときだけ利用できます。

注意▶ SDメモリカード内に保存するときや、「**保存時に選択**」を利用するときは、SDメモリカードを取り付けておいてください。

フォトカメラ／ビデオカメラ切替	カメラの撮影モードを切り替えます。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

メニュー ▶ カメラ ➡ メニュー（ⓒ／⊡）

「ビデオカメラへ切替」／「フォトカメラへ切替」選択 ➡ ⓞ／◉

自動保存設定	撮影した静止画を自動的に保存するかどうかを設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ／⊡） ➡ その他 ➡ 自動保存設定

「On」／「Off」選択 ➡ ⓞ／◉

撮影した画像の確認

静止画の確認

メニュー ▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ／⊡）

1 「データフォルダ」を選び、ⓞまたは◉を押す。

- SDメモリカード取付時：「ピクチャー」／「デジタルカメラ」選択 ➡ ⓞ／◉

2 静止画を選び、ⓞまたは◉を押す。

- 別の静止画の確認：ⓒ／⊡（戻る）
- SDメモリカード内の静止画の確認：ⓒ

補足 ▶ 静止画表示中にⓞ（1秒以上）／⊡（メニュー）を押すと、その画像に対して利用できる機能が表示されます。
以降の操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。
（☞P.8-5～P.8-13）

動画の確認

メニュー ▶ カメラ ➡ 動画撮影画面を表示する ➡ メニュー（ⓒ／⊡）

1 「データフォルダ」を選び、ⓞまたは◉を押す。

2 動画を選び、ⓞまたは◉を押す。

- 別の動画の確認：ⓒ／⊡（戻る）
- SDメモリカード内の動画の確認：ⓒ

QVGAサイズの動画の確認	QVGAサイズ（240×320ドット）の動画を確認します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー

ⓞ（1秒以上）／⊡（メニュー）➡「ビデオプレイリスト」選択 ➡ ⓞ／◉ ➡「SDビデオ」選択 ➡ ⓞ／◉ ➡ 動画選択 ➡ ⓞ／◉

静止画／動画のメール添付

撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接メールに添付して送信します。

- 連写画像を添付するときは、分割画像を含め、◎で添付する静止画を選んでから操作してください。
- 撮影した静止画を登録したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.8-4）

1 撮影直後（保存前）の状態（☞P.6-6、P.6-7）で、◉を押す。

2 「本体」または「メモリカード」を選び、◉を押す。

静止画がデータフォルダに保存されたあと、メール作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

- 保存先を「**保存時に選択**」に設定しているときは、上記の保存先を選んでください。
  保存先の選択は設定により表示されないこともあります。

3 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.14-6）

補足▶ 相手機種のサービス対応状況については、「3Gガイドブック」の機能一覧でご確認ください。

撮影した動画を添付する

撮影した動画を、撮影直後の画面から直接メールに添付して送信します。

- 撮影した動画を登録したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.8-4）

1 撮影直後（保存前）の状態（☞P.6-11）で、「ムービー写メール（保存）」を選び、◉を押す。

動画がデータフォルダに保存されたあと、メール作成画面が表示されます。（動画はあらかじめ添付されています。）

- 保存先を「**保存時に選択**」に設定しているときは、保存先を選んでください。
  保存先の選択は設定により表示されないこともあります。

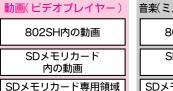
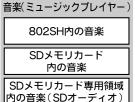
2 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.14-6）

注意▶
- MMS、VGSメール非対応のボーダフォン携帯電話には動画は送信できません。
- 撮影した動画は、MPEG-4対応機以外のボーダフォン携帯電話には送信できません。

補足▶ 相手機種のサービス対応状況については、「3Gガイドブック」の機能一覧でご確認ください。

メディアプレイヤー

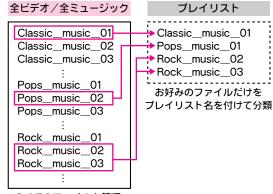
メディアプレイヤーでできること

メディアプレイヤーには、音楽を再生するミュージックプレイヤーと、ダウンロードした動画などを再生するビデオプレイヤーがあります。
動画／音楽は、保存場所（802SH内／SDメモリカード内／SDメモリカード専用領域内）ごとに管理されています。再生は、保存場所を指定して行います。

マナーモードを設定していると

■マナーモードを設定しているときに、メディアプレイヤーを起動すると、音声を出力するかどうかの確認画面が表示されます。
- （Yes）を押すと、メディアプレイヤーの設定音量で音声が出力されます。（メディアプレイヤーを終了すると、音声出力しない通常のマナーモードに戻ります。）
- 音声を出力せず、マルチステレオイヤホンマイクなどで聴くときは、（No）を押します。

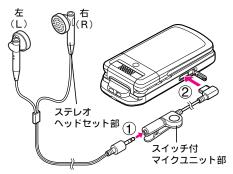
補足▶ 動画や音楽をダウンロードしながら同時に再生することができます。（ストリーミング再生：☞P.13-14）

プレイリストについて

動画／音楽の再生は、プレイリストから行います。プレイリストには、動画用（ビデオプレイリスト）と音楽用（ミュージックプレイリスト）とがあります。
各プレイリスト内には、保存場所内のすべてのファイル（動画または音楽）を管理する「**全ビデオ／全ミュージック**」と、お好みでファイルを選び分類できる「**プレイリスト**」があります。

- 一度メディアプレイヤーを起動し、動画または音楽を再生すると、以降は前回利用していたプレイヤーのプレイリストが表示されるようになります。
- プレイリストには、動画／音楽の保存場所情報が記憶されます。実際の動画や音楽は保存されません。
- プレイリストは、新しく作成することもできます。（☞P.7-11）
- お買い上げ時には、あらかじめ3つのプレイリストがそれぞれに登録されています。

音楽の再生

パソコンなどでSDメモリカードに保存した音楽データ（SD-Audio規格で保存されたセキュアMP3データ）を、802SHで再生できます。ただし、音楽データの形式やSDメモリカードの状態、保存方法などにより、再生できないこともあります。

- ダウンロードした音楽も再生できます。
- 再生音は、マルチステレオイヤホンマイクを利用して聞くことができます。下の図を参考に差し込んでください。
- 802SHのスピーカーから聞くこともできます。

再生時のご注意

- ステレオヘッドセット部を取り付けたり、取り外すときは、スイッチ付マイクユニット部を持って行ってください。また、マルチステレオイヤホンマイクに無理な力を加えないでください。802SHのイヤホンマイク端子が破損したり、コードが切れたりする恐れがあります。
- 802SHへ接続するときは、マルチステレオイヤホンマイク以外は、使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、802SHのイヤホンマイク端子やマルチステレオイヤホンマイクが破損する恐れがあります。
- 電池レベル表示が「▯」以下のときは再生できません。また、再生中に電池レベル表示が「▯」になると、再生が中止され、待受画面に戻ります。
- スピーカーでの再生時に、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。

補足▶ マルチステレオイヤホンマイクを取り付けて再生している場合に、電話をかけてきた相手と通話するときは、マルチステレオイヤホンマイクのスイッチを長く（１秒以上）押すと通話できます。

ディスプレイ（ミュージックプレイヤー）

1 再生中表示
2 プレイリスト名
3 タイトル
4 アーティスト名
- アーティスト名がないときは、「**アーティスト名なし**」と表示されます。

5 トラック番号
6 動作状態表示
　：再生中／　：停止中／　：早送り中／　：早戻し中
7 再生モード表示（☞P.7-6）
　：1トラックリピート／　：全トラックリピート／　：ランダム
- 何も表示されないときは、「**リピートOff**」設定です。

8 再生中のトラックの保存場所
9 現在の再生経過時間
10 音量
11 音質調整表示（サウンド効果：☞P.7-5）
　：BASS（低音強調）／　：サラウンド／　：サラウンドBASS
- 何も表示されないときは、「**標準**」設定です。

再生する

メニュー ▶ メディアプレイヤー ▶ メニュー（　） ▶ ミュージックプレイリスト

1 「本体」、「メモリカード」、「SDオーディオ」のいずれかを選び、◉を押す。

2 プレイリストを選び、◉を押す。

- ミュージックプレイリスト：☞P.7-11
- 音楽の検索：　（**メニュー**）➡「**検索**」選択➡◉➡検索文字入力➡◉
- リストの並べ替え：　（**メニュー**）➡「**並べ替え**」選択➡◉➡並べ替え方法選択➡◉
  - ■ SDオーディオのリストでは、並べ替えできません。
- 曲情報の表示：曲選択 ➡　（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉

3 トラック（曲）を選び、◉を押す。

- 最後のトラック（曲）まで再生すると、自動的に止まります。（「**リピートOff**」時：☞P.7-6）
- 再生の一時停止：◉
- 音量の調整：　（上げる）／　（下げる）
- 音声ミュート：　（1秒以上）

再生中に電話／メールなどの着信があると

■再生中に電話着信があったときや、アラームの設定時刻になったときは、再生は停止します。
- メール着信があったときは、再生は停止せずアイコンが表示されます。
- ストリーミング再生中に停止したときは、アクセス履歴は残ります。

補足▶ 再生音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときは、音質を変えるか、再生音量を下げてください。

再生中にできること

再生中の曲を最初から再生する	**◎を押します。** くり返し押すと、前の曲を再生します。※1
次の曲を再生する	**◎を押します。** くり返し押すと、次の曲を再生します。※2
早送りする	**◎を押し続けます。** ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	**◎を押し続けます。** ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	**◉を押します。** もう一度◉を押すと、再生が再開します。

※1 ランダム再生中は、◎をくり返し押しても再生中の曲を最初から再生します。

※2 リピートOff再生中で、最後の曲の再生中に押したときは無効です。それ以外の再生中では◎を押すと、再生中の次の曲から再生します。

再生中の操作

再生中でも電話帳やメール作成など、他の機能の操作を行えます。ただし、機能によっては、同時に操作できないことがあります。

補足▶ 待受画面のバックグラウンドでメディアプレイヤーを再生しているとき、再生中の待受画面で◎を押すと、再生を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

音楽再生に関する設定

サウンド効果 サラウンドで再生したり、マルチステレオイヤホンマイク利用時に低音を強調し迫力のある音にできます。

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 音楽再生画面にする ➡ メニュー（◎） ➡ サウンド効果

音質選択➡◉

● 音質の種類は次のとおりです。

標準	保存データをそのまま再生
BASS	低音強調
サラウンド	サラウンド効果が得られます
サラウンドBASS	サラウンド＋BASSの効果

注意▶ BASS設定は、スピーカーでの再生時には、無効となります。

再生モード	曲を再生するときの再生方法を設定します。

■ 1トラックリピートにするときは、その曲の表示中（再生中または停止中）に操作してください。

お買い上げ時 リピートOff

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 音楽再生画面にする ➡ メニュー（☐）➡ 再生モード

再生モード選択➡◉

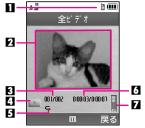
● 再生モードの種類は次のとおりです。

リピートOff	並び順に再生し、最後の曲まで再生すると自動的に止まります。
1トラックリピート	選んだ1曲をくり返し再生します。
全トラックリピート	全曲をくり返し再生します。
ランダム	曲を無作為に選び再生します。

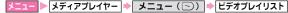
動画の再生

モバイルカメラで撮影した動画、ボーダフォンライブ！で入手した動画などが再生できます。
再生音は、802SHのスピーカーから聞こえます。

● マルチステレオイヤホンマイクを利用して聴くこともできます。（☞P.7-3）

ディスプレイ（ビデオプレイヤー）

1 再生中のクリップの保存場所
2 動画再生領域／テロップ表示領域
3 クリップ番号
4 動作状態表示
　▶：再生中／II：一時停止中／▶▶：早送り中／◀◀：早戻し中
5 再生モード表示（☞P.7-7）
　⊂1：1クリップリピート／⊂：全クリップリピート／⇄：ランダム
　● 何も表示されないときは、「リピートOff」設定です。
6 現在の再生経過時間
7 音量

再生する

1 「本体」、「メモリカード」、「SDビデオ」のいずれかを選び、◉を押す。

ビデオプレイリスト
全ビデオ
Playlist 1
Playlist 2
Playlist 3
メニュー　戻る

2 プレイリストを選び、◉を押す。

- ビデオプレイリスト：☞P.7-11
- 動画の検索：⌒（**メニュー**）➡「**検索**」選択➡◉➡検索文字入力➡◉
- リストの並べ替え：⌒（**メニュー**）➡「**並べ替え**」選択➡◉➡並べ替え方法選択➡◉
- 動画の情報表示：動画選択➡⌒（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉
  - ■ 戻る：⌒

3 クリップ（動画）を選び、◉を押す。

ビデオプレイヤーの画面（再生画面）が表示され、再生が始まります。
最後のクリップ（動画）まで再生すると、自動的に止まります。（「**リピートOff**」時：☞右記）

- 再生の一時停止：◉
- 音量の調整：◎（上げる）／◎（下げる）
- 音声ミュート：◎（１秒以上）
- 再生中にできること：☞P.7-5

補足▶ 一時停止中に◎を長く（１秒以上）押すとコマ送りができます。

動画再生に関する設定

再生モード　動画を再生するときの再生方法を設定します。

お買い上げ時 リピートOff

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生ー時停止画面にする ➡ メニュー（⌒） ➡ 設定 ➡ 再生モード

再生モード選択➡◉

バックライト　動画を再生するときのパネル照明の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 常にOn

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生ー時停止画面にする ➡ メニュー（⌒） ➡ 設定 ➡ バックライト

点灯方法選択➡◉

- 設定できる点灯方法は、次のとおりです。

常にOn	再生中は、常に点灯します。
常にOff	再生中は、ボタンを押しても点灯しません。
通常設定に従う	バックライト設定（☞P.10-6）と連動します。

表示サイズ　動画を再生するときの表示サイズを設定します。

お買い上げ時 拡大

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生ー時停止画面にする ➡ メニュー（⌒） ➡ 設定 ➡ 表示サイズ

表示サイズ選択➡◉

動画の編集

次の編集が行えます。

部分切り取り	指定した2点間の動画を切り出します。
前部分削除	指定したコマより前の部分を消去して、残った部分を新しい動画として登録します。
後部分削除	指定したコマより後の部分を消去して、残った部分を新しい動画として登録します。
テロップ編集	画像の再生に合わせて、文字(テロップ)を流します。

注意▶
- 動画のデータ内容によっては、編集できないことがあります。
- 802SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用しているときは、編集した動画が正しく再生されないことがあります。
- SDメモリカードに保存するときは、ファイルの容量以外に最大で約320Kバイトの空き容量が必要です。

指定した2点間の動画を切り出す

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生一時停止画面にする ➡ メニュー（）
➡ 編集

1 **（Yes）を押す。**
- 編集中は着信できません。

2 **「動画切り取り」を選び、◉を押す。**

3 **「部分切り取り」を選び、◉を押す。**

4 **切り出す最初のコマで、（開始）を押す。**
切り出しの開始点が指定され、再生が再開されます。

5 **切り出す最後のコマで、（終了）を押す。**
切り出した動画が保存されます。

動画の一部を削除する

指定したコマから、前または後ろの部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。

1 **（Yes）を押す。**
- 編集中は着信できません。

2 **「動画切り取り」を選び、◉を押す。**

3 **「前部分削除」または「後部分削除」を選び、◉を押す。**

4 **消去の開始位置で、（切取）を押す。**
- 前部分削除は、ここで表示したコマから前の動画がすべて削除されます。また、後部分削除は、ここで表示したコマから後の動画がすべて削除されます。

■ 削除の中止：（戻る）

テロップを編集する

動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。
- 表示位置を変更したり、文字を装飾することもできます。
- テロップの編集は、ビデオプレイヤーから行えます。

テロップを入力する

テロップ用の文字を入力し、動画のどの位置に表示するか（表示時間）を指定することで、テロップを設定できます。
- テロップは最大10件まで、１件あたり最大全角24文字（半角48文字）まで登録できます。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生一時停止画面にする ➡ メニュー（）➡ 編集

1 **（Yes）を押す。**
- 編集中は着信できません。

2 **「テロップ」を選び、◉を押す。**

3 **「テロップ編集」を選び、◉を押す。**

4 **番号を選び、◉を押す。**

5 **テロップを入力し、◉を押す。**
再生が開始されます。

6 **テロップを表示する最初の位置で、（開始）を押す。**

7 **テロップを表示する最後の位置で、（終了）を押す。**
- テロップ文字の変更：「**テロップ文字**」選択➡文字変更➡◉
- 表示方法の設定／文字の装飾：☞右記、P.7-10

8 **テロップの設定が終われば、（設定）を押したあと、（終了）を押す。**

9 **「上書き」または「新規作成」を選び、◉を押す。**

テロップの表示を設定する

表示間隔 テロップをどの場面で表示するかを設定します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生一時停止画面にする ➡ テロップを入力する ➡ 表示設定 ➡ 表示間隔
開始位置で（開始）➡終了位置で（終了）

表示位置 テロップを表示する位置を設定します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生一時停止画面にする ➡ テロップを入力する ➡ 表示設定 ➡ 表示位置
で表示位置選択➡◉

文字サイズ テロップの文字サイズを設定します。

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生一時停止画面にする ➡ テロップを入力する ➡ 表示設定 ➡ 文字サイズ
「標準」／「小さい」選択➡◉

スクロール テロップの流れる方向や、表示効果などを設定します。

お買い上げ時 方向：左から右へ、効果：フレームイン

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生ー時停止画面にする ➡ テロップを入力する ➡ 表示設定 ➡ スクロール

方向の設定

「方向」選択➡◉➡「左から右へ」／「右から左へ」選択➡◉

効果の設定

「効果」選択➡◉➡効果選択➡◉

フレームイン	画面の外から中へテロップが流れます。
フレームアウト	画面の中から外へテロップが流れます。
ローリング	画面の外から中へ、そして画面の外へテロップが流れます。

停止時間の設定

「停止時間」選択➡◉➡時間（秒）入力➡◉

背景色 文字の背景色を7色（クリア含む）の中から選びます。

お買い上げ時 ブラック

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生ー時停止画面にする ➡ テロップを入力する ➡ 表示設定 ➡ 背景色

色選択➡◉

文字を装飾する

文字色 文字全体や文字の一部に色を付けます。

お買い上げ時 ホワイト

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生ー時停止画面にする ➡ テロップを入力する ➡ 文字装飾 ➡ 文字色

文字色の全体指定

「全テロップ文字」選択➡◉➡色選択➡◉

文字色の部分指定

「文字部分指定」選択➡◉➡◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉➡色選択➡◉

ハイライト 文字の一部や全部を強調します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生ー時停止画面にする ➡ テロップを入力する ➡ 文字装飾 ➡ ハイライト

◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉➡色選択➡◉

点滅 文字を点滅させます。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生ー時停止画面にする ➡ テロップを入力する ➡ 文字装飾 ➡ 点滅

◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉

文字装飾の解除 文字装飾で指定した内容をすべて解除します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生ー時停止画面にする ➡ テロップを入力する ➡ 文字装飾リセット

☐（Yes）

テロップをすべて削除する

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 動画再生一時停止画面にする ➡ テロップ編集画面を表示する ➡ テロップ消去

1 ⌒（Yes）を押す。

動画／音楽の管理

802SH内の動画や音楽は、それぞれ「**ビデオプレイリスト**」、「**ミュージックプレイリスト**」で管理されています。プレイリストは、新しく作成することもできます。一連の動画をまとめて管理したり、音楽をジャンルごとに分類したりするときに便利です。

- あらかじめ「**全ビデオ／全ミュージック**」が登録されており、このリストからすべての動画や音楽を利用することができます。
- SDメモリカードに保存するときは、ファイルの容量以外に動画では最大で約320Kバイト、音楽では最大で約96Kバイトの空き容量が必要です。

新規リストを作成する

「**ビデオプレイリスト**」、「**ミュージックプレイリスト**」内に、新しいプレイリストを作成します。

- 「SDビデオ」内には、作成できません。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ プレイリスト一覧を表示する ➡ メニュー（⌒） ➡ リスト作成

1 **リストタイトルを入力し、◉を押す。**

新しいリストが登録されます。

リスト削除

■作成したリストを削除するときは、次の操作を行います。

◉➡「**メディアプレイヤー**」選択➡◉➡⌒（**メニュー**）➡「**ミュージックプレイリスト**」／「**ビデオプレイリスト**」選択➡◉➡「**本体**」／「**メモリカード**」／「**SDオーディオ**」選択➡◉➡**プレイリスト選択**➡⌒（**メニュー**）➡「**プレイリスト削除**」選択➡◉➡⌒（Yes）

- リストに追加したファイル情報は消去されますが、元ファイル（「**全ビデオ／全ミュージック**」内）は消去されません。

■あらかじめ登録されているプレイリストも削除できます。

プレイリスト名の編集

■新しく作成したプレイリストの名前を変更するときは、次の操作を行います。

◉➡「**メディアプレイヤー**」選択➡◉➡⌒（**メニュー**）➡「**ミュージックプレイリスト**」／「**ビデオプレイリスト**」選択➡◉➡「**本体**」／「**メモリカード**」／「**SDオーディオ**」選択➡◉➡**プレイリスト選択**➡⌒（**メニュー**）➡「**リスト名編集**」選択➡◉➡**リスト名入力**➡◉

■あらかじめ登録されているプレイリストの名前も変更できます。

リストに動画／音楽を追加する

「全ビデオ／全ミュージック」内の動画／音楽を、作成したリストに追加します。

●リストに追加されるのは、動画／音楽の保存場所情報だけです。実際の動画／音楽はコピーされません。
●「SDビデオ」内の動画はリストに追加できません。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 全ビデオ/全ミュージックを表示する

1 クリップ（動画）またはトラック（曲）を選び、㋱（メニュー）を押す。

2「リストに追加」を選び、◉を押す。

3 追加先のリストを選び、◉を押す。

リストに追加した動画／音楽を削除する

■リスト内の動画／音楽の保存場所情報を削除するときは、プレイリスト画面で、次の操作を行います。
リスト選択➡◉➡ファイル選択➡㋱（メニュー）➡「リストから削除」選択➡◉➡㋱（Yes）
●元ファイル（「全ビデオ／全ミュージック」内）は削除されません。

同じリスト内での位置移動

■リスト内に追加した動画／音楽の位置を移動するときは、リスト画面で、次の操作を行います。
リスト選択➡◉➡ファイル選択➡㋱（メニュー）➡「リスト内移動」選択➡◉➡◎で位置選択➡◉

動画／音楽を削除する

「SDビデオ」／「SDオーディオ」内の動画／音楽を削除します。ファイルそのものが削除されますので、削除してもよいかどうかを十分ご確認のうえ、操作してください。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ 全ビデオ/全ミュージックを表示する

1 クリップ（動画）またはトラック（曲）を選び、㋱（メニュー）を押す。

2「クリップ削除」または「1トラック削除」を選び、◉を押す。

3 ㋱（Yes）を押す。

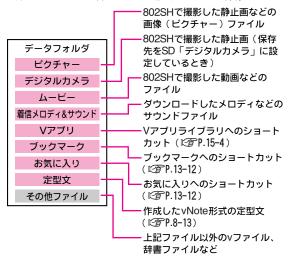
データフォルダ

データフォルダについて

データフォルダの構成

データフォルダに登録できるファイル

データフォルダには、ファイルの種類別にいくつかのフォルダがあらかじめ登録されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

●各フォルダには、次のファイル形式のデータが保存されます。

ディスプレイ

データフォルダ画面は、待受画面で◉を押したあと、「**データフォルダ**」を選び、◉を押すと表示されます。

各種アイコンについて

■おもな静止画やアニメーションファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
	JPEGファイル（.jpg）	JPEG形式の静止画像
	PNGファイル（.png）	PNG形式の静止画像
	E-アニメータファイル（NEVAファイル）（.nva）	アニメーション（サウンド付きもあり）

■おもな動画ファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
	MPEG-4ファイル（.3gp）	3gpp形式のムービー画像
	MPEG-4／H.263ファイル（.3gp／.mp4）	3gpp形式のムービー画像

■おもなサウンドファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
	SMAFファイル（.mmf）	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ（画像付きもあり）
	オーディオファイル（.mp4）	ダウンロードした着うた®
	ボイスファイル（.amr）	ボイスレコーダーで録音したファイル

補足▶ 鍵アイコンのあるファイル（／）は、著作権保護されたファイルです。「」のアイコンは、権利の切れた状態です。

メモリカード

802SHでは、802SHで撮影した画像や動画などの保存場所として「**SDメモリカード**」を利用できます。また、802SH内のデータを一括保存したり、作成したデータをSDメモリカード内に直接登録したり、802SHとSDメモリカード間でデータをコピー／移動することもできます。

データフォルダの表示方法を設定する

ファイルを並べ替える

データフォルダ内のファイルを、名前、日付、サイズ、データ形式のいずれかの順番に並べ替えます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ メニュー（）➡ その他 ➡ 並べ替え

1 並べ替え方法を選び、◉を押す。

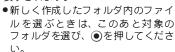
注意▶ フォルダ内のファイル数が多いときに並べ替えを行うと、フォルダ内のファイル表示に時間がかかることがあります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」～「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

フォルダ内のファイルのリスト画面が表示されます。

- 新しく作成したフォルダ内のファイルを選ぶときは、このあと対象のフォルダを選び、◉を押してください。
- フォルダ内のファイルは、日時順やファイル名順に並べ替えることができます。（☞P.8-3）

■ SDメモリカード内のデータの確認：◎

2 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生または表示されます。

- ピクチャーフォルダ内のファイルを表示しているときは、◉をくり返し押すと、押すたびに拡大表示できます。また、㊀（**メニュー**）を押したあと、「**ズームイン**」を選び◉を押すごとに、拡大表示できます。

■ ファイルの全画面表示：㊀（**メニュー**）➡「**ズームアウト**」選択➡◉

3 データフォルダ画面に戻るときは、CLEAR/BACKを押す。

補足▶ Bluetoothや赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間で、データフォルダ内のデータをやりとりできます。（☞P.9-2）

データフォルダからのモバイルカメラ起動

■ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダ／ムービーフォルダのリスト画面で以下の操作を行うと、ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダからは写真撮影モード、ムービーフォルダからは動画撮影モードが起動できます。

㊀（**メニュー**）➡「**写真撮影**」／「**動画撮影**」選択➡◉

- 「**ダウンロード**」を選択しているときは、◎を押してから操作してください。

データフォルダからのボイスレコーダー起動

■着信メロディ&サウンドフォルダのリスト画面で以下の操作を行うと、ボイスレコーダーが起動できます。

㊀（**メニュー**）➡「**ボイスレコーダー録音**」選択➡◉

- 「**ダウンロード**」を選択しているときは、◎を押してから操作してください。

ファイルのメール添付

データフォルダから、各種ファイルを直接メールに添付して送信します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 ファイルを選び、㊀（メニュー）を押す。

2 「送信」を選び、◉を押す。

- 定型文フォルダのファイルを送信するときは、「**定型文メール送信**」を選び、◉を押したあと、操作4へ進みます。

3 「メール」を選び、◉を押す。

4 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。
（☞P.14-6）

プロパティを確認する

メニュー ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 ファイルを選び、（メニュー）を押す。

2「プロパティ」を選び、◉を押す。

を押すと、隠れている項目が表示されます。

● 各項目の内容は以下のとおりです。
ファイルのタイトル名、ファイルのタイプ、データサイズ、更新日時、販売元、転送／コピー不可情報、その他権利情報（表示可能回数、期限、期間）

SVGファイルの利用

802SHでは、ベクトルグラフィックフォーマット「SVG-T」（Scalable Vector Graphics-Tiny）のファイルが表示できます。SVGファイルの表やグラフ、地図などの画像が閲覧できます。

●「SVG-T」の詳細について詳しくは、「http://www.sharp.co.jp/j/」でご案内しています。

上下左右スクロール	2（上）／4（左）／6（右）／8（下）
拡大／縮小	1（縮小）／3（拡大）／5（元に戻る）
回転	7（左回転）／9（右回転）
キーアクションモード	0

補足▶ SVGファイルによっては、動作しない機能もあります。

ファイルの利用

データフォルダに登録されているファイルを、壁紙や電話帳の画像、着信のパターンとして利用できます。

●「**壁紙登録**」、「**電話帳登録**」、「**着信ビデオ設定**」、「**着信音設定**」のメニューが表示されるファイルで利用できます。

● ファイルサイズが大きいと登録できないことがあります。

壁紙に登録する

メニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選び、（メニュー）を押す。

2「壁紙登録」を選び、◉を押す。

3 ◉を押す。

選んだファイルが壁紙に設定されます。

電話帳に登録する

メニュー ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 ファイルを選び、（メニュー）を押す。

2「電話帳登録」を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.4-6「**発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する**」操作4

8 データフォルダ

着信パターンに設定する

動画を設定する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ムービー

1 ファイルを選び、(メニュー)を押す。

2「着信ビデオ設定」を選び、◉を押す。

サウンドを設定する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ 着信メロディ&サウンド

1 ファイルを選び、(メニュー)を押す。

2「着信音設定」を選び、◉を押す。

画像の加工

ピクチャーフォルダの画像(静止画)は、装飾や合成などの加工ができます。

画像サイズを変更する

ピクチャーフォルダに登録されている画像を、壁紙用やアラーム用などのサイズに変更します。

- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。
- 画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。
- 画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。
- 「**サイズ変更**」が選択できない画像は、利用できません。

固定サイズに変更する

メニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 **ファイルを選び、◯（メニュー）を押す。**

2 **「サイズ変更」を選び、◉を押す。**

3 **「壁紙」～「アラーム」のいずれかを選び、◉を押す。**

パワーOn／Offを選択したときを除いて、選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。

- 画像の表示範囲を変更するときは、このあと◈で範囲を指定します。（画像サイズによっては、表示範囲は変更できません。）

壁紙	横240×縦290ドット
パワー On/Off	横240×縦320ドット
着信画像	横176×縦144ドット
アラーム	横240×縦104ドット

■画像の拡大／縮小：◯（**メニュー**）➡「**画像加工**」選択➡◉➡「**拡大／縮小**」選択➡◉➡◈（拡大）／◈（縮小）➡◉

■画像サイズ選択のやり直し：◯（**戻る**）

4 **◉を押す。**

5 **◉を押す。**

サイズ変更後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

サイズを自由に変更する

メニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 **ファイルを選び、◯（メニュー）を押す。**

2 **「サイズ変更」を選び、◉を押す。**

3 **「自由切出」を選び、◉を押す。**

4 **◈で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、◉を押す。**

5 **◈で「＋」を切り出す部分の右下に移動し、◉を押す。**

■サイズ選択のやり直し：◯（**メニュー**）➡「**サイズ選択**」選択➡◉

6 **◉を押す。**

7 **◉を押す。**

サイズ変更後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

画像を拡大／縮小する

画面の中心を基点にして拡大／縮小します。中心となる位置を変えて拡大／縮小することもできます。

メニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選び、◯（メニュー）を押す。

2「画像加工」を選び、◉を押す。

3「拡大／縮小」を選び、◉を押す。

4 ◯（拡大）または ◯（縮小）で、画像のサイズを変更する。

ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■画像の中心位置の変更：◯（**メニュー**）➡「**移動**」選択➡◉➡◯で画面の中央部へ中心にする位置を移動

■拡大／縮小の画面に戻る：◯（**メニュー**）➡「**サイズ変更**」選択➡◉

■画像をなめらかにする：◯（**メニュー**）➡「**ソフト**」選択➡◉

5 ◉を押す。

サイズ変更後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変更できます。

- 画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式です。連写画像も装飾できます。
- 「**画像装飾**」が選択できない画像は、利用できません。
- 装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）

メニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選び、◯（メニュー）を押す。

2「画像加工」を選び、◉を押す。

3「画像装飾」を選び、◉を押す。

4 装飾の種類を選び、◉を押す。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
波紋	輪の形に広がる波の効果を表現
タイル	周りにタイル調の効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
油絵タッチ	ルノワール風油絵タッチ
クリアフレーム	周りに透明なふちを描くフレーム調
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

5 ◉を押す。

装飾後の画像は、新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

注意▶ 画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わるため、装飾された画像の登録や、メール送信ができないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。（フェイスアレンジ）

- フェイスアレンジに利用できる画像は、JPEG形式です。
- 「**フェイスアレンジ**」が選択できない画像は、利用できません。
- フェイスアレンジは、正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工するため、次のようなときは、うまく加工できないことがあります。
  - ■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など
- 画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを指定して加工することもできます。（☞P.8-10）

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー

1 ファイルを選び、⌒（メニュー）を押す。

2「画像加工」を選び、◉を押す。

3「フェイスアレンジ」を選び、◉を押す。

4 アレンジの種類を選び、◉を押す。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔
怒る	目、口が怒っている顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔
パッチリ目	パッチリ目を合成
炎	炎の目を合成
なみだ	なみだ目を合成
伯爵	めがねとヒゲを合成
カチン	怒りマークを合成

■ 顔パーツの位置や大きさの確認：「**顔抽出確認**」選択➡◉
- ■アレンジ画面に戻る：上記操作のあと、⌒（**戻る**）

■ アレンジのやり直し：⌒（**戻る**）

5 ◉を押す。

アレンジ後の画像は、新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

注意▶ フェイスアレンジを行った画像をMMSに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

フェイスアレンジ（P.8-9「顔写真を加工する」操作１～４）を行うと、あらかじめ設定されている顔パーツの位置が、加工する画像の顔とずれていることがあります。このときは、以下の操作で位置や大きさを調整できます。

- 顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 **P.8-9「顔写真を加工する」操作４で、「顔抽出確認」を選び、◉を押す。**

2 **（修正）を押す。**

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 **顔の輪郭を指定する。**

で顔の輪郭の左上に「＋」を移動 / で顔の輪郭の右下に「＋」を移動 / 顔の輪郭の位置が指定完了

■指定のやり直し：（**戻る**）

4 **右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。**

- 画面上部のガイドに従って、操作３と同様に操作します。

右目の位置を指定 / 左目の位置を指定 / 口の位置を指定

5 **指定が終われば、◉または（設定）を押す。**

指定した顔パーツがすべて表示されます。

■顔パーツの指定のやり直し：操作３からやり直す

■あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：（**戻る**）

6 **◉を押す。**

7 **（Yes）を押す。**

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジの画面に戻ります。

- このあと、この画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工できます。

2枚の画像をパノラマ合成する

2枚の画像を横に並べて、1枚の画像にします。

2枚の画像を選択　　　　　　　パノラマ合成

パノラマ合成時には、画像に応じて次の効果を選べます。

標準	近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。近距離で撮影した画像の合成に適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある画像の合成に適しています。

- パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。
- 2枚の画像サイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成します。
- 色味が異なる2枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されないことがあります。
- 「**パノラマ合成**」が選択できない画像は、利用できません。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー

1　1枚目のファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

- ここで選んだ画像は、左側に表示されます。

2　「画像加工」を選び、◉を押す。

3　「パノラマ合成」を選び、◉を押す。

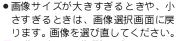
4　「2枚目の画像」を選び、◉を押す。

5　もう1枚の画像を選び、◉を押す。

6　◉を押したあと、「効果選択」を選び、◉を押す。

7　「標準」～「ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。

選んだ画像が2枚目の画像として指定されます。

- 画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。

■ 画像の確認：画像選択➡◉

■ パノラマ合成に戻る：上記操作のあと、✉（戻る）

■ 画像の変更：画像選択➡◉➡✉（メニュー）➡「変更」選択➡◉➡画像を選び直す

8　画像の指定が終われば、✉（メニュー）を押す。

9　「保存」を選び、◉を押す。

10　◉を押す。

合成後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

分割画像を作成する

最大４枚の画像を縮小し、１枚の画像内に配置して分割画像を作成できます。

●分割画像で利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。
●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
●１～４枚目の順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

メニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 **左上に配置する画像を選び、（メニュー）を押す。**

2 **「画像加工」を選び、◉を押す。**

3 **「分割画像」を選び、◉を押す。**

4 **「120×160サイズ作成」または「240×320サイズ作成」を選び、◉を押す。**

5 **ファイル名を入力し、◉を押す。**

●最大24文字以内で必ず入力してください。

6 **「２枚目の画像」を選び、◉を押す。**

7 **画像を選び、◉を押す。**

選んだ画像が表示されます。（利用できない画像は選択できません。）

■画像の変更：画像選択➡◉➡（**メニュー**）➡「**変更**」選択➡◉➡画像を選び直す

8 **◉を押す。**

分割画像用の画像として指定されます。

9 **操作６～８をくり返し、画像を指定する。**

●このとき操作６では、「**３枚目の画像**」、「**４枚目の画像**」を選び、◉を押してください。

■分割画像の確認：（**メニュー**）➡「**表示**」選択➡◉

■画像の変更：画像選択➡（**メニュー**）➡「**変更**」選択➡◉➡操作７～８をやり直す

■画像の削除：画像選択➡（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡◉➡（Yes）

10 **画像の指定が終われば、（メニュー）を押す。**

■登録中止：（**戻る**）

11 **「保存」を選び、◉を押す。**

その他の画像編集

●各機能が選択できない画像は、利用できません。

保存形式の変換	JPEG形式のファイルをPNG形式に、PNG形式のファイルをJPEG形式に変換します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー

ファイル選択➡（メニュー）➡「画像加工」選択➡◉➡「保存形式変更」選択➡◉➡保存形式選択➡◉

●変換前と同じ保存形式は、選択できません。

補足▶ 保存形式を変換すると、画像のデータサイズや画質が変わることがあります。

フレーム	JPEG形式の画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー

ファイル選択➡（メニュー）➡「画像加工」選択➡◉➡「フレーム追加」選択➡◉➡フレーム選択➡◉➡◉

■フレーム選択のやり直し：（戻る）

画像回転	画像の向きを回転させることができます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー

ファイル選択➡（メニュー）➡「画像加工」選択➡◉➡「画像回転」選択➡◉※➡◉

※（画像回転）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。

定型文

よく使う文章を登録し、メッセージの本文入力などで利用できます。

● 1件につき最大256文字、50件まで登録できます。（登録の内容によって、登録できる件数が少なくなることがあります。）

定型文に文章を登録する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ 定型文 ➡ 新規作成

1 本文を入力し、◉を押す。

定型文を修正する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ 定型文

1 定型文を選び、（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3 内容を修正し、◉を押す。

定型文を削除する

登録した定型文を1件ずつ削除します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ 定型文

1 定型文を選び、（メニュー）を押す。

2「削除」を選び、◉を押す。

3 （Yes）を押す。

フォルダ／ファイルの編集

新しいフォルダを作成する

●同じ階層に、同じフォルダ名では作成できません。

メニュー ▶ データフォルダ

1「ピクチャー」～「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

●「デジタルカメラ」、「Vアプリ」、「お気に入り」、「定型文」には新しいフォルダは作成できません。

2 ⌒（メニュー）を押す。

●「ダウンロード」を選択したときは、操作4へ進みます。

■ブックマークへのフォルダ作成：「新規作成」選択➡◉➡「新規フォルダ」選択➡◉➡操作5へ

3「その他」を選び、◉を押す。

4「フォルダ作成」を選び、◉を押す。

5 フォルダ名を入力し、◉を押す。

6 ⌒（OK）を押す。

ファイル名を変更する

●ファイルの拡張子は変更できません。

●同じ階層に、同じファイル名は使えません。
また、次の文字は使用できません。

■半角の「¥」／「/」／「:」／「;」／「.」／「<」／「>」／「|」／「?」／「¥」／「"」、絵文字

●メモリの空き容量が少ないときは、ファイル名は変更できません。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 ファイルを選び、⌒（メニュー）を押す。

2「ファイル名変更」を選び、◉を押す。

3 ファイル名を入力し、◉を押す。

4 ⌒（OK）を押す。

フォルダ／ファイルを削除する

●フォルダを選択したときに、フォルダ内にファイルがあるとフォルダは削除できません。

●「Vアプリ」、「ブックマーク」、「お気に入り」、「定型文」のファイルは複数選択できません。

メニュー ▶ データフォルダ

1「ピクチャー」～「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

2 *フォルダを削除する*

1 フォルダを選び、⌒（メニュー）を押す。

ファイルを1件削除する

1 ファイルを選び、⌒（メニュー）を押す。

複数のファイルを削除する

1 ⌒（メニュー）を押す。

2「その他」を選び、◉を押す。

3「複数選択」を選び、◉を押す。

4 ファイルを選び、◉を押す。

●選択を解除するときは、「✓」が表示されているファイルを選んで、◉を押してください。

5 操作4をくり返す。

■すべてのファイル選択／解除：☞P.8-15

6 ⌒（メニュー）を押す。

3「削除」を選び、◉を押す。

4 ⌒（Yes）を押す。

複数ファイルの選択

■Vアプリで使用中のファイルは、コピー／移動／削除はできません。
■すべてを選択するときは、次の操作を行います。
　（メニュー）➡「全選択」選択➡◉
■選択をすべて解除するときは、次の操作を行います。
　（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

ファイルをコピー／移動する

データフォルダ内のファイルを、別のフォルダにコピー／移動します。
- コピー／転送不可ファイルは、コピーできません。
- あらかじめ登録されているフォルダへは、該当するファイル形式のファイル（☞P.8-2）だけコピー／移動できます。
- ファイルの種類やデータの内容によっては、コピー／移動できないことがあります。

注意▶
- SDメモリカードが書き込み禁止になっているときは、SDメモリカードへはコピー／移動できません。
- SDメモリカードへコピー／移動したファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 複数ファイルを選択してコピーする場合に、コピー／転送不可ファイルが含まれていたときは、そのファイルでコピーは中断し、以降のファイルはコピーできません。

補足▶ 同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルをコピー／移動すると、ファイル名が変わることがあります。

1件ずつコピー／移動する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 **ファイルを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「その他」を選び、◉を押す。**

3 **「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。**
■SDメモリカードへのコピー／移動：◎
■新しく作成したフォルダへのコピー／移動：フォルダ選択➡◉

4 **◉を押す。**

8 データフォルダ

複数のファイルをコピー／移動する

●「Vアプリ」、「ブックマーク」、「お気に入り」、「定型文」のファイルは複数選択できません。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ メニュー（☐）➡ その他 ➡ 複数選択

1 ファイルを選び、◉を押す。

●選択を解除するときは、「✓」が表示されているファイルを選んで、◉を押してください。

2 操作1をくり返す。

■すべてのファイル選択／解除：☞P.8-15

3 ☐（メニュー）を押す。

4「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。

■SDメモリカードへのコピー／移動：◎

■新しく作成したフォルダへのコピー／移動：フォルダ選択➡◉

5 ◉を押す。

外部接続

外部接続について

802SHは、Bluetoothや赤外線通信によって、データを送受信できます。
また、Bluetoothを利用して、ハンズフリー機器などと接続したり、802SHをパソコンなどのモデムとして利用することもできます。

データの送受信方法

Bluetoothや赤外線通信を利用したデータの送受信には、次の方法があります。

1件データ送受信	データを1件ずつ送信します。受信側は、自動的に該当する機能のデータとして追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。
フォルダ単位受信	赤外線通信を利用して、802SH本体のデータフォルダ内へフォルダ単位でデータを受信します。(送信はできません。)

注意▶
- Bluetoothでのデータ送受信時や赤外線通信利用時は、オフラインモードに設定されます。そのため、着信、通話、ボーダフォンライブ！、メディアプレイヤー、メールやデータの編集中などには、Bluetoothでのデータ送受信や赤外線通信は行えません。データの送受信が終わると、自動的にオフラインモードが解除されます。
- 電話帳、カレンダー、予定リスト、定型文、ブックマークを802SHに登録するとき、データの内容によっては、登録できないことや、一部登録できないことがあります。

送受信できるデータ

機能	1件	一括	備考
電話帳	○	○	1件データ送受信では、グループ設定、着信音、シークレットの設定内容は無効になります。また、一括データ送受信では、オーナー情報も転送されます。
カレンダー	○	※1	1件データ送受信では、シークレットの設定内容は無効になります。
予定リスト	○	※1	1件データ送受信では、シークレットの設定内容は無効になります。
定型文	※2	○	
データフォルダ	○	※3	著作権で保護されているファイルは、送受信できません。また、「**デジタルカメラ**」内のファイルやフォルダは送受信できません。
ブックマーク	※2	○	1件データ受信を行うと、「**その他ファイル**」に不明ファイルとして保存されます。

※1 一括データ送受信時は、「**カレンダー／予定リスト**」として、まとめて送受信されます。
※2 1件データ送信はできません。1件データ受信だけ可能です。
※3 赤外線通信を利用して、802SH本体のデータフォルダ内へフォルダ単位での受信は可能です。

補足▶
- 802SHには、カレンダーと予定リストをあわせて最大300件まで保存できます。データ受信中、300件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は受信されません。
- SDメモリカードのデータフォルダ内のデータは、1件データ送受信を行えます。ただし、「**デジタルカメラ**」内のファイルは、送受信できません。

Bluetooth

Bluetoothをご利用になる前に

「Bluetooth」とは、802SHどうしや他のBluetooth対応機器（パソコンや携帯電話、ハンズフリー機器など）と無線で接続し、データの送受信などを行うための方式です。

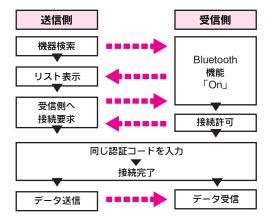
Bluetooth利用時のご注意

802SHのBluetoothの仕様は、次のとおりです。

通信方式	Bluetooth標準規格 Ver 1.1
対応Bluetoothプロファイル	Headset Profile、 Hands-Free Profile、 Dial-up Networking Profile、 ObjectPush Profile
出力	Bluetooth Power Class2

- Bluetoothを利用して無線で接続するには、相手機器もBluetooth対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
- 802SHどうしで通信を行うとき、通信距離は最大10mまでです。機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器などによって、通信速度／通信距離は異なります。
- Bluetooth対応機器が使用する電波帯（2.4GHz帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- 802SHのBluetooth機能では、同時に2台以上の機器を接続することはできません。

Bluetooth接続について

2台のBluetooth対応機器を接続するときは、受信側のBluetooth機能を「On」に設定（☞P.9-4）した状態で、送信側からの接続要求を受け、接続します。接続時に認証コードが必要なことがあります。

- 登録済み機器のときは、認証コードの入力が不要です。

認証コードについて

「**認証コード**」は、Bluetooth対応機器どうしを接続するための専用コード（最小4ケタ～最大16ケタ）です。機器登録を行うときには、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

- 認証コードは、あらかじめ設定されていません。

Bluetooth利用時のアイコン

Bluetooth利用時には、画面に次のようなアイコンが表示されます。

アイコン	説明
✻	Bluetooth機能「On」
✻•	Bluetooth接続時
✻☊	Bluetooth通話中

Bluetooth機能を有効にする

Bluetooth機能を有効（On）にします。データを受信するときやハンズフリー機器などと接続するときには、「On」に設定してください。

- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

待受画面に戻ります。（「✻」表示）

■ 解除：「Off」選択➡◉

■ 機器接続時：⊡（Yes）

802SHを公開する

他のBluetooth対応機器の機器検索時に、802SHの機器名を通知するかどうかを設定します。

- 「Off」に設定すると、他のBluetooth対応機器で周辺機器検索を行っても、802SHは検索されません。
- お買い上げ時には「On」に設定されています。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ 機器の公開

1 「On」を選び、◉を押す。

■ 通知しない：「Off」選択➡◉

機器を検索／登録する

Bluetooth対応機器を検索し、登録します。

- 登録した機器は、次回から認証コードの入力の必要がなくなります。
- 一度に最大16件まで検索できます。
- あらかじめ登録する機器のBluetooth機能を「On」に設定しておいてください。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth

1 「周辺機器検索」を選び、◉を押す。

検索が開始され、Bluetooth対応機器のリストが表示されます。

■ 他の機器と接続時：⊡（Yes）

■ 検索中止：検索中に⊡（キャンセル）

2 機器を選び、◉を押す。

3 送信側と受信側で同じ認証コード（最小4ケタ～最大16ケタの任意の数字）を入力し、◉を押す。

認証に成功すると、確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。

- 認証コードとして入力できるのは「0」～「9」です。
- 相手がハンズフリー機器などのときは、ハンズフリー機器側で決められている認証コードを入力します。
- 受信側の認証コードは、送信側で認証コードを入力してから30秒以内に入力してください。

9 外部接続

アイコンの意味

■機器名の前には、次のようなアイコンが表示されます。

	パソコン		ヘッドセット
	PDA		ハンズフリー
	携帯電話など		その他

登録した機器名の変更

■次の操作を行います。

◉➡「外部接続」選択➡◉➡「Bluetooth」選択➡◉➡「登録済み機器」選択➡◉➡機器選択➡◉➡名前入力➡◉

● 最大16文字まで入力できます。

登録した機器の削除

■次の操作を行います。

◉➡「外部接続」選択➡◉➡「Bluetooth」選択➡◉➡「登録済み機器」選択➡◉➡機器選択➡☐（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡☐（Yes）

ハンズフリー機器などからの機器登録

■ハンズフリー機器などを送信側として、802SHに登録するときは、次の操作を行います。

送信側から接続要求➡☐（Yes）➡認証コード入力➡◉

● あらかじめ802SHのBluetooth機能を「On」に設定しておいてください。（☞P.9-4）
また、あらかじめ「**機器の公開**」を「On」に設定しておいてください。（☞P.9-4）

注意▶「**登録済み機器**」として登録されるのは、最大32件までです。32件登録されているときは、機器検索できません。

Bluetoothを利用する

データを１件ずつ送受信する

■送信側の操作

Bluetoothを利用した１件データ送信は、P.9-2「送受信できるデータ」表内の各機能の画面から行います。

1 **各機能のリスト画面で、送信するデータを選び、☐（メニュー）を押す。**

2 **「送信」を選び、◉を押す。**

3 **「Bluetooth」を選び、◉を押す。**

●「**登録済み機器**」に１件も登録されていないときは、機器検索が行われます。

■ 登録していない機器に送信：「**周辺機器検索**」選択➡◉➡機器検索

■ 他の機器と接続時：☐（Yes）

4 **機器を選び、◉を押す。**

5 **☐（Yes）を押す。**

オフラインモードに設定されます。

6 タイトルを修正し、◉を押す。

- タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押し、操作7へ進みます。タイトルを変更しても、元のデータの登録名は変更されません。

7 受信側を待機状態にする。

8 ☐（Yes）を押す。

接続が開始され、データを送信します。

■受信側より認証要求時：認証コード入力➡◉

■受信側の操作

メニュー▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

■登録していない機器からの接続要求時：☐（Yes）➡認証コード入力➡◉➡オフラインモードの確認画面表示

3 ☐（Yes）を押す。

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

オフラインモードに設定され、受信が開始されます。

■受信中止：☐（キャンセル）

■受信強制終了：☐

5 受信が終われば、データ登録の確認画面が表示される。

6 ☐（Yes）を押す。

■登録しない：☐（No）➡☐（Yes）

注意▶ 802SHは、すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

- 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続するBluetooth機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の使い方については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

データを一括送受信する

■送信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth

1 「一括データ送信」を選び、◉を押す。

●「**登録済み機器**」に1件も登録されていないときは、機器検索が行われます。

■ 登録していない機器に送信：「**周辺機器検索**」選択➡◉➡機器検索

■ 他の機器と接続時：⌒（Yes）

2 機器を選び、◉を押す。

3 ⌒（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

5 受信側を待機状態にする。

6 データの種類を選び、◉を押す。

7 ⌒（Yes）を押す。

接続が開始され、データを送信します。

■ 受信側より認証要求時：認証コード入力➡◉

■ 電話帳選択時：⌒（Yes）／⌒（No）

■受信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

■ 登録していない機器からの接続要求時：⌒（Yes）➡認証コード入力➡◉➡オフラインモードの確認画面表示

3 ⌒（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

5 受信が開始されると、データ登録の確認画面が表示される。

■ 受信中止：⌒（キャンセル）

■ 受信強制終了：⌒

6 ***追加登録する***

1「追加登録」を選び、◉を押す。

データ受信を開始します。受信完了後、待受画面に戻ります。

■ 受信中止：⌒（キャンセル）

■ 受信強制終了：⌒

すべてのデータを消して登録する

1「全件削除して登録」を選び、◉を押す。

2 ⌒（Yes）を押す。

データ受信を開始します。受信完了後、待受画面に戻ります。

●電話帳のときは、お客様の自局番号以外のオーナー情報は消去されます。

■ 受信中止：⌒（キャンセル）

■ 受信強制終了：⌒

ハンズフリー機器などを接続／切断する

- あらかじめハンズフリー機器などを登録しておいてください。（☞P.9-4）

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ ハンズフリー

1 機器を選び、◉を押す。

接続され、「☑」（選択状態）が表示されます。

- 他の機器と接続時：▭（Yes）
- 切断：接続されている機器選択➡◉
- 名前の変更：機器選択 ➡▭（**メニュー**）➡「**機器名変更**」選択➡◉➡名前入力➡◉
- 削除：機器選択➡▭（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡◉➡▭（Yes）

ハンズフリー機器などからの接続

■登録済み機器のときは、自動的に接続されます。登録していない機器のときは、次の操作を行います。

▭（Yes）➡**認証コード入力**➡◉

ハンズフリー機器などと802SHとの音声出力先切替

■ハンズフリー機器などが接続されている状態で、通話中に次の操作を行うと、音声出力先を切り替えられます。

通話中に▭（メニュー）➡「Bluetooth有効」／「Bluetooth無効」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

- 「On」に設定すると、ハンズフリー機器などで、「Off」に設定すると、802SHで通話できます。

注意▶
- ハンズフリー機器などでの音声通話中は、802SHで受話音量を調節できません。ハンズフリー側で調節してください。
- ハンズフリー機器からの発信動作は、待受画面が表示されているときしかできません。

補足▶ 「☑」が表示されている機器は、切断されていても、発信／着信すると自動的に再接続されます。

Bluetooth関連の設定

機器名の変更 Bluetooth接続時、相手機器に表示される機器名を変更します。

お買い上げ時 802SH

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ Bluetooth設定 ➡ 機器名

新しい機器名入力➡◉

- 最大16文字まで入力できます。（絵文字は入力できません。）

タイムアウト時間の設定 設定した時間内にBluetoothが利用されないとき、自動的にBluetooth機能を「Off」に設定します。

お買い上げ時 タイムアウトなし

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ Bluetooth設定 ➡ タイムアウト時間

タイムアウト時間選択➡◉

- 自動的に「Off」に設定しない：タイムアウト時間選択時に「**タイムアウトなし**」選択➡◉

ハンズフリー通話設定 ハンズフリー機器接続時に、802SHの操作により通話を開始した場合の通話方法を設定します。

お買い上げ時 ハンズフリーで通話

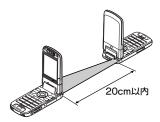
メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ Bluetooth設定 ➡ ハンズフリー通話設定

「本体で通話」／「ハンズフリーで通話」選択➡◉

- ハンズフリー機器の操作により通話を開始したときは、上記の設定内容にかかわらず、ハンズフリー機器での通話となります。

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のボーダフォン携帯電話を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。
- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直接日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。
- 通信中やボーダフォンライブ！の利用中（メールや情報の送受信中）は、赤外線通信は行えません。
- 802SHの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。

補足▶ 正常に通信できないときは、再接続の確認画面が表示されます。「**赤外線通信利用時のご注意**」を確認していただいたあと、（Yes）を押して、再接続してください。

赤外線通信利用時のアイコン

赤外線通信利用時には、画面に次のようなアイコンが表示されます。

（矢印グレー）	赤外線通信「On」時
（矢印赤）	赤外線通信接続中
	赤外線通信データ送受信中

赤外線通信を有効にする

赤外線通信を有効（On）にします。データを受信するときには、「On」に設定してください。

- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1 **「On」を選び、◉を押す。**

待受画面に戻ります。[「」（矢印グレー）表示]

解除：「Off」選択➡◉

認証コードについて

「**認証コード**」は赤外線通信のための専用コード（4ケタ）です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

- 認証コードは、あらかじめ設定されていません。

赤外線通信を利用する

データを１件ずつ送受信する

■送信側の操作

赤外線通信を利用した１件データ送信は、P.9-2「送受信できるデータ」表内の各機能の画面から行います。

1 各機能のリスト画面で、送信するデータを選び、（メニュー）を押す。

2「送信」を選び、◉を押す。

3「赤外線通信」を選び、◉を押す。

4（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

5 タイトルを修正し、◉を押す。

- タイトルを変更しないときはそのまま◉を押し、操作６へ進みます。タイトルを変更しても、元のデータの登録名は変更されません。

6 受信側を待機状態にする。

7 15秒以内に、（Yes）を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、各機能のリスト画面に戻ります。

■受信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1「On」を選び、◉を押す。

待機状態になります。

- ５分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側からデータが送信されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

3（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、受信が開始されます。

■ 受信中止：（キャンセル）

■ 受信強制終了：

4 受信が終われば、データ登録の確認画面が表示される。

5（Yes）を押す。

■ 登録しない：（No）➡（Yes）

データを一括送受信する

- データの一括送受信には、「**操作用暗証番号**」と「**認証コード**」（☞P.9-9）の入力が必要です。

■送信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ➡ 赤外線通信

1 **「一括データ送信」を選び、◉を押す。**

2 **⌒（Yes）を押す。**

オフラインモードに設定されます。

3 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。**

4 **データの種類を選び、◉を押す。**

5 **受信側を待機状態にする。**

6 **認証コード（4ケタ）を入力し、◉を押す。**

■電話帳選択時：⌒（Yes）／⌒（No）

7 **15秒以内に、⌒（Yes）を押す。**

送信を開始します。送信が完了すると、送信する機能の選択画面に戻ります。

■受信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1 **「On」を選び、◉を押す。**

待機状態になります。

- 5分以内に送信側からデータを送信してください。

2 **送信側からデータが送信されると、オフラインモードの確認画面が表示される。**

3 **⌒（Yes）を押す。**

オフラインモードに設定されます。

4 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。**

5 **認証コード（4ケタ）を入力し、◉を押す。**

- 送信側と同じ認証コードを入力してください。

6 **受信が開始されると、データ登録の確認画面が表示される。**

■受信中止：⌒（キャンセル）
■受信強制終了：⌒

7 ***追加登録する***

1「追加登録」を選び、◉を押す。

データ受信を開始します。受信完了後、待受画面に戻ります。

■受信中止：⌒（キャンセル）
■受信強制終了：⌒

すべてのデータを消して登録する

1「全件削除して登録」を選び、◉を押す。

2⌒（Yes）を押す。

データ受信を開始します。受信完了後、待受画面に戻ります。

- 電話帳のときは、お客様の自局番号以外のオーナー情報は消去されます。

■受信中止：⌒（キャンセル）
■受信強制終了：⌒

フォルダ単位でデータを受信する

フォルダ単位でデータを送信できる機器からデータを受信し、802SH本体のデータフォルダ内に登録します。

- 802SHは、フォルダ単位でのデータ送信はできません。
- 802SHで受信できるのは、送信されてきたフォルダを送信側と同じ階層に作成できる（または、同じ階層にすでに同名のフォルダがある）ときだけです。
- 送信側の操作方法については、送信する機器の取扱説明書をご参照ください。

メニュー ▶ 外部接続 ▶ 赤外線通信 ▶ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

待機状態になります。

- 5分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側からデータが送信されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

3 ⌒（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、受信が開始されます。受信完了後、待受画面に戻ります。

■同名のフォルダあり：⌒（Yes）／⌒（No）

パソコンと接続する

802SHとパソコンを接続し、次の機能を利用します。

3G/GSM GPRS Modem	802SHをモデムとして、パケット通信方式のデータ通信を行います。（☞P.9-13）
ハンドセットマネージャー	802SHとパソコンとの間でデータフォルダや電話帳などのデータをやりとりします。（☞P.9-14）

- 上記の機能を利用するには、「**ユーティリティーソフトウェア**」からソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。（☞P.9-13）

パソコン動作環境

3G/GSM GPRS Modem やハンドセットマネージャーの機能は、以下の動作環境で動作します。

パソコン本体	●PC/AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ●Bluetoothポート／赤外線ポート※1／USBポートのいずれか
OS	Windows 98 SE / ME / 2000 / XP※2
CPU	Pentium 266MHz以上のプロセッサ
メモリ	64Mバイト以上（256Mバイト以上推奨）

※1 3G/GSM GPRS Modemでは、利用できません。

※2 Service Pack 1a

- Macintosh（Mac）では、ご利用になれません。

9 外部接続

ソフトウェアをインストールする

「**ユーティリティーソフトウェア**」から、ソフトウェアをパソコンにインストールします。

1 「ユーティリティーソフトウェア」をパソコンのCD-ROMドライブにセットする。

自動的にCD-ROMの画面が表示されます。

- CD-ROMの画面が表示されないときは、CD-ROM内の"Launcher.exe"をダブルクリックします。

2 インストールするソフトウェアを選び、クリックする。

インストールが開始されます。

- 以降は、画面の指示に従って、操作してください。

3G/GSM GPRS Modemを利用する

802SHをBluetoothやUSB通信を介してパソコンと接続し、パケット通信方式のデータ通信を行います。

- あらかじめ「**ユーティリティーソフトウェア**」から、3G/GSM GPRS Modemをパソコンにインストールしておいてください。
- 3G/GSM GPRS Modemは、赤外線通信では利用できません。
- パソコンの通信設定などについては、ご契約されたプロバイダの説明書、またはお手持ちのパソコンの取扱説明書を参照してください。

■Bluetooth利用時

あらかじめBluetooth機能を「**On**」に設定してください。(☞P.9-4)

■USB通信利用時

あらかじめ「**ユーティリティーソフトウェア**」から、ドライバーをパソコンにインストールしておいてください。また、Vodafone Global Standard USBケーブルに同梱のインストールマニュアルを参照して、802SHとパソコンをUSBケーブルで接続してください。

注意▶
- データ通信は、電波の安定した環境で行ってください。
- ハンドセット マネージャー利用中は、データ通信を行えません。
- USBケーブルを接続しているときは、データ通信を行っていない状態でもパソコンのバッテリーが消耗します。

補足▶ 卓上ホルダーを使って、充電しながらデータ通信が行えます。

ハンドセットマネージャーを利用する

802SHをBluetoothや赤外線通信、USB通信を介してパソコンと接続し、データフォルダや電話帳などのデータをやりとりします。ハンドセットマネージャーでやりとりできるデータは次のとおりです。

データフォルダ内のファイル	ピクチャー、ムービー、着信メロディ＆サウンド、その他ファイル内のデータをやりとりできます。
電話帳	電話帳のデータをやりとりできます。
カレンダー	カレンダーのデータをやりとりできます。

●あらかじめ「**ユーティリティーソフトウェア**」から、ハンドセットマネージャーをパソコンにインストールしておいてください。（☞P.9-13）

■Bluetooth／赤外線通信利用時

802SHのBluetooth機能または赤外線通信を「On」に設定（☞P.9-4、P.9-9）したあと、パソコン側の操作で接続し、データをやりとりします。

■USB通信利用時

あらかじめ「**ユーティリティーソフトウェア**」からドライバーをパソコンにインストールしておいてください。また、Vodafone Global Standard USBケーブルに同梱のインストールマニュアルを参照して、802SHとパソコンをUSBケーブルで接続してください。このあと、パソコン側で操作し、データをやりとりします。

注意▶ ●802SHとハンドセットマネージャーとの通信ができないときは、「**故障かな？と思ったら**」のハンドセットマネージャーの項目（☞P.17-6）を参照してください。

ネットワーク設定

ネットワーク設定内の下記の項目は、別のページで説明しています。それぞれのページを参照してください。

モード選択	☞P.2-14	ネットワーク選択	☞P.2-14
オフラインモード	☞P.2-18		

●設定操作中、⌐（**戻る**）を押すと、前の画面に戻ります。

ネットワークの追加／変更／削除 ネットワークを新規で追加したり、設定内容を変更します。また、追加したネットワークを削除します。

メニュー ➡ **外部接続** ➡ **ネットワーク設定** ➡ **設定** ➡ **ネットワーク選択** ➡ **新規追加**

ネットワークの追加

「**追加**」選択➡◉➡**国コード入力**➡◉➡**ネットワークコード入力**➡◉➡**名前入力**➡◉➡「**ネットワークタイプ選択**」選択➡◉➡**ネットワークタイプ選択**➡◉

●ネットワークは最大5件まで、追加できます。

●すでにネットワークを追加しているときに「**新規追加**」を選んで◉を押すと、追加したネットワークのリストが表示されます。このときは、再度◉を押したあと、上記の操作を行ってください。

●「**国コード**」、「**ネットワークコード**」には、最大3ケタまで入力できます。また「**名前**」には、最大半角25文字（半角英数字だけ入力可能）まで入力できます。

追加したネットワークの設定内容の変更

追加したネットワーク選択➡◉➡「**変更**」選択➡◉➡**設定内容変更**

●設定方法は、上記「**ネットワークの追加**」と同様です。

追加したネットワークの削除

追加したネットワーク選択➡◉➡「**削除**」選択➡◉

優先設定	ネットワーク設定（☞P.2-14）を「自動」に設定したときに、優先選択されるネットワークを設定します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ ネットワーク設定 ➡ 設定 ➡ ネットワーク選択 ➡ 優先設定

ネットワークを挿入

挿入場所選択➡◉➡「挿入」選択➡◉➡ネットワーク選択➡◉

- 選んだ項目の上に挿入されます。

ネットワークを末尾に追加

◉➡「末尾に追加」選択➡◉➡ネットワーク選択➡◉

ネットワークの削除

ネットワーク選択➡◉➡「削除」選択➡◉

ネットワーク状態表示	ネットワークの状態を確認します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ ネットワーク設定 ➡ 設定

「ネットワーク状態表示」選択➡◉

インターネット設定

- 通常、設定を変更する必要はありません。特定の接続先に接続するときなどに、設定してください。

新規プロファイルの設定項目

サービス別接続設定

設定方法は、P.9-17を参照してください。

■ブラウザ設定

設定項目	備考
アカウント名	最大全角20文字 （半角カナ20文字、半角英数字60文字）
プロキシ選択	リストから選択

■メール設定

設定項目	備考
アカウント名	最大全角20文字 （半角カナ20文字、半角英数字60文字）
プロキシ選択	リストから選択
メールサーバーアドレス	最大半角128文字

■ストリーミング設定

設定項目	備考
アカウント名	最大全角20文字 （半角カナ20文字、半角英数字60文字）
プロキシアドレス	最大64ケタ
プロキシポート番号	1～65535
アクセスポイント選択	リストから選択

プロキシ

●設定方法は、P.9-18を参照してください。

設定項目	備考
プロキシ名	最大全角20文字 （半角カナ20文字、半角英数字60文字）
プロキシアドレス	最大64ケタ
アクセスポイント選択	リストから選択
ホームページ	最大半角128文字
ポート番号	1～65535
認証タイプ	認証ID／認証パスワード
ユーザー名	最大半角16文字
パスワード	最大半角16文字

アクセスポイント

●設定方法は、P.9-18を参照してください。

設定項目	備考
アクセスポイント名	最大全角20文字 （半角カナ20文字、半角英数字60文字）
アクセスポイントアドレス	最大64ケタ
認証タイプ	認証なし／PAP／CHAP
ユーザー名	最大半角32文字
パスワード	最大半角16文字
DNSサーバー	最大15ケタ
リンガータイマー	1～99999秒

設定方法

サービス別接続設定

設定できる項目は、P.9-15を参照してください。

新規プロファイル作成	ブラウザ／メール／ストリーミングの新しい接続先を作成します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定 ➡ サービス別接続設定
「ブラウザ設定」／「メール設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡「新規プロファイル入力」選択➡◉➡設定項目（☞P.9-15）選択➡◉➡設定内容入力／選択➡◉➡☐（メニュー）➡「登録」選択➡◉

接続先の選択	ブラウザ／メール／ストリーミングの接続先を選択します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定 ➡ サービス別接続設定
「ブラウザ設定」／「メール設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡接続先選択➡◉

接続先の編集	ブラウザ／メール／ストリーミングの接続先を編集します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定 ➡ サービス別接続設定
「ブラウザ設定」／「メール設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡接続先選択➡☐（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡設定項目（☞P.9-15）選択➡◉➡設定内容編集➡◉➡☐（メニュー）➡「登録」選択➡◉➡☐（Yes）

接続先のコピー	ブラウザ／メール／ストリーミングの接続先をコピーします。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定 ➡ サービス別接続設定
「ブラウザ設定」／「メール設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡接続先選択➡☐（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡アカウント名（☞P.9-15）入力➡◉

接続先の削除	ブラウザ／メール／ストリーミングの接続先を削除します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定 ➡ サービス別接続設定
「ブラウザ設定」／「メール設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡接続先選択➡☐（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡☐（Yes）

プロキシ／アクセスポイント

設定できる項目は、P.9-16を参照してください。

プロキシ／アクセスポイントの作成 新しいプロキシ／アクセスポイントを作成します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「プロキシ」／「アクセスポイント」選択➡◉➡「新規プロファイル入力」選択➡◉➡設定項目（☞P.9-16）選択➡◉➡設定内容入力／選択➡◉➡▢（メニュー）➡「登録」選択➡◉

プロキシ／アクセスポイントの編集 プロキシ／アクセスポイントを編集します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「プロキシ」／「アクセスポイント」選択➡◉➡プロキシ／アクセスポイント選択➡◉➡設定項目（☞P.9-16）選択➡◉➡設定内容編集➡◉➡▢（メニュー）➡「登録」選択➡◉➡▢（Yes）

プロキシ／アクセスポイントのコピー プロキシ／アクセスポイントをコピーします。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「プロキシ」／「アクセスポイント」選択➡◉➡プロキシ／アクセスポイント選択➡▢（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡名前（☞P.9-16）入力➡◉

プロキシ／アクセスポイントの削除 プロキシ／アクセスポイントを削除します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「プロキシ」／「アクセスポイント」選択➡◉➡プロキシ／アクセスポイント選択➡▢（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡▢（Yes）

その他の設定

再設定 接続先を変更したときに、ネットワーク自動調整などを行い、設定内容を反映します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定 ➡ 再設定

ネットワーク自動調整

「ネットワーク自動調整」選択➡◉➡▢（Yes）

設定を反映

「設定反映」選択➡◉➡設定選択➡◉➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

DNSキャッシュクリア 802SHに保持されているボーダフォンライブ！のサーバーのアドレスを消去します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「DNSキャッシュクリア」選択➡◉

ホワイトリストの作成／削除 ホワイトリストを作成／削除します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定 ➡ ホワイトリスト

ホワイトリストの作成

確認画面表示➡▢（Yes）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡◉➡「新規プロファイル入力」選択➡◉➡「SMSCアドレス」／「SM送信者アドレス」選択➡◉➡アドレス入力➡◉➡▢（メニュー）➡「登録」選択➡◉

- SMSCアドレス、SM送信者アドレスとも最大18ケタまで入力できます。

ホワイトリストの削除

確認画面表示➡▢（Yes）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡◉➡番号選択➡▢（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡▢（Yes）

メモリカードバックアップ

802SHからSDメモリカードへ、データを種類ごとに一括して転送します。
また、SDメモリカードから802SHへ、データを種類ごとに一括して転送します。

メモリカードバックアップ時のご注意

一括して転送できるデータの種類は、次のとおりです。

■電話帳　■カレンダー　■予定リスト
■定型文　■ブックマーク

上記のデータをSDメモリカードに一括して転送すると、データの種類ごとに1つのバックアップファイルとして保存されます。（転送日のファイル名が付きます。）
SDメモリカードにバックアップファイルとして保存されたあとは、802SHから確認できません。

- 電池残量が少ないときは、メモリカードバックアップは行えません。
- Vアプリ一時停止中にメモリカードバックアップを行おうとすると、Vアプリ終了の確認画面が表示されます。メモリカードバックアップを行うときは、⌐（Yes）を押してください。
- 802SHまたはSDメモリカードの空き容量が少ないときは、メモリカードバックアップが正常に行えないことがあります。
- データの内容によっては、802SHからSDメモリカードに一括転送できないことがあります。また、一括転送されたデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 802SHには、カレンダーと予定リストをあわせて最大300件まで保存できます。SDメモリカードから一括転送中、300件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は転送されません。
- メモリカードバックアップは、個人データのバックアップや同機種間（SDメモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

メモリカードに一括転送する

- ご利用の前に、「メモリカードバックアップ時のご注意」(☞P.9-19)をご確認ください。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカードバックアップ ➡ メモリカードへ保存

1 操作用暗証番号(4ケタ)を入力し、◉を押す。

2 ⌒(Yes)を押す。

オフラインモードに設定されます。

■ メール/ウェブ接続時:◉

3 データの種類を選び、◉を押す。

■「全選択」または「電話帳」選択時:⌒(Yes)/⌒(No)

■ 一括転送中止:⌒(キャンセル)

メモリカードから読み込む

- SDメモリカードからデータを読み込むと、802SH内の同じ種類のデータは消去されます。
- ご利用の前に、「メモリカードバックアップ時のご注意」(☞P.9-19)をご確認ください。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカードバックアップ ➡ メモリカードから読込み

1 操作用暗証番号(4ケタ)を入力し、◉を押す。

2 ⌒(Yes)を押す。

オフラインモードに設定されます。

■ メール/ウェブ接続時:◉

3 データの種類を選び、◉を押す。

- 転送できないデータの種類は、選べません。

4 ファイルを選び、◉を押す。

- ファイルが複数あるときは、ファイル名の転送日を確認して選んでください。

例:2004年12月15日に一括転送したときのファイル名
「041215XX」(XXは、00~99、aa~zzの2ケタの数字、英字)

- 「全選択」を選んだときは、データの種類ごとに操作4をくり返します。

■ ファイル削除:ファイル選択 ➡ ⌒(メニュー) ➡「削除」選択 ➡ ◉ ➡ ⌒(Yes)

5 ⌒(Yes)を押す。

■ 読み込み中止:⌒(キャンセル)

9 外部接続

その他の設定

モード設定

お使いになる状況に応じて、802SHの状態を設定することができます。

- あらかじめ、「通常モード」、「ミーティングモード」」、「アクティブモード」」、「運転中モード」、「ヘッドセットモード」、「マナーモード」の6つのモードが登録されています。これらのモードの動作をお好みで変更することもできます。

利用するモードの選択	利用するモードを選びます。

お買い上げ時 通常モード

メニュー ▶ 設定 ➡ モード設定

モード選択➡◉

設定リセット	各モード内の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ モード設定

モード選択➡㊂（メニュー）➡「設定リセット」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡㊂（Yes）

着信時の動作を設定する

着信音量	着信音量を設定します。

お買い上げ時 通常モード／ヘッドセットモード：音量3、アクティブモード：音量5、ミーティングモード／運転中モード／マナーモード：サイレント

メニュー ▶ 設定 ➡ モード設定

モード選択➡㊂（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「音量」選択➡◉➡音量選択➡◉

- 「音量5」が最大です。「ステップトーン」に設定すると、約3秒ごとに、「音量1」～「音量5」の順に段々と音が大きくなります。

着信音／ムービー	着信音／ムービーを着信の種類（音声着信、TVコール着信、メール着信）別に設定できます。

メニュー ▶ 設定 ➡ モード設定

着信音の設定

モード選択➡㊂（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「着信音／ムービー」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡「着信音選択」選択➡◉➡「固定データ」／「データフォルダ」選択➡◉➡着信音選択➡㊂（メニュー）➡「決定」／「選択」選択➡◉

■ 再生：着信音選択後㊂（メニュー）➡「再生」選択➡◉

ムービーの設定

モード選択➡㊂（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「着信音／ムービー」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡「ムービー選択」選択➡◉➡ムービー選択➡◉

呼出時間の設定（メール着信）

モード選択➡㊂（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「着信音／ムービー」選択➡◉➡「メール着信」選択➡◉➡「鳴動時間」選択➡◉➡着信鳴動時間入力（01～15秒）➡◉

補足▶
- 着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定しているときは、ここで設定した着信音／ムービーが動作しないことがあります。
- ウェブ着信音時の着信音／ムービーは、メールと同様です。

バイブ	着信時のバイブレータを設定します。SMAFファイルに連動するように設定することもできます。

お買い上げ時 ミーティングモード／アクティブモード／ヘッドセットモード／マナーモード：On、通常モード／運転中モード：Off

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

モード選択➡（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「バイブ」選択➡◉➡「On」／「Off」／「音連動」選択➡◉

- 「音連動」は、着信音に設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されているとき、メロディ内のバイブレータを動作させるときに選びます。バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効です。

注意▶ バイブレータを設定中、802SHを机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにもバイブ設定を「Off」にすることをおすすめします。

モバイルライト	着信時のランプの色を設定します。点滅しないように設定することもできます。

お買い上げ時 グリーン

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

モード選択➡（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「モバイルライト」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡色選択➡◉

■ 点滅しないようにする：色選択時に「Off」選択➡◉

エニーキーアンサー	エニーキーアンサー（☞P.2-5）を有効にするかどうかを設定します。

お買い上げ時 通常モード／ミーティングモード／アクティブモード／マナーモード：Off、運転中モード／ヘッドセットモード：On

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

モード選択➡（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「エニーキーアンサー」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

各種効果音を設定する

ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します。

お買い上げ時 プッシュトーン

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

モード選択➡（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「効果音」選択➡◉➡「ボタン確認音」選択➡◉➡音選択➡◉

■ プッシュトーン以外選択時：音選択後（メニュー）➡「決定」選択➡◉

■ 再生：音選択後◉

■ ボタン確認音を消す：「Off」選択➡◉

エラー音／パワーOn音／パワーOff音	エラー時やパワーOn／Off時の音を設定します。

お買い上げ時 エラー音：エラー1／鳴動時間0.5秒、パワーOn音／パワーOff音：オープニング&エンディング1／鳴動時間3秒

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

エラー音／パワーOn音／パワーOff音の設定

モード選択➡（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「効果音」選択➡◉➡「エラー音」／「パワーOn音」／「パワーOff音」選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「固定データ」／「データフォルダ」選択➡◉➡音選択➡（メニュー）➡「決定」／「選択」選択➡◉

■ 再生：音選択後（メニュー）➡「再生」選択➡◉

■ 音を消す：「Off」選択➡◉

鳴動時間の設定

モード選択➡（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「効果音」選択➡◉➡「エラー音」／「パワーOn音」／「パワーOff音」選択➡◉➡「鳴動時間」選択➡◉➡時間選択／時間入力➡◉

ディスプレイ設定

ディスプレイ表示を設定する

壁紙	お好みの画像を待受画面の壁紙として設定します。

お買い上げ時 ウィンドサーフィン

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ 壁紙

「固定データ」／「ピクチャー」／「その他ファイル」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

■壁紙解除：「Off」選択➡◉

- 「**ピクチャー**」を選ぶとピクチャーフォルダが、「**その他ファイル**」を選ぶとその他ファイルフォルダ内の画像が表示されます。
- データフォルダの画像が壁紙に設定されているときに「**ピクチャー**」または「**その他ファイル**」を選び◉を押すと、設定されている画像が表示されます。このときは、◯（**変更**）を押すと、選択されたフォルダ内の画像が表示されます。

補足▶
- Vアプリ待受を設定していると、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
- 壁紙を設定すると、「Off」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

画面ピクチャー	お好みの画像を、各表示場面（パワーOn／パワーOff時、アラーム動作時、着信中）で表示します。

お買い上げ時 パワーOn／Off：固定データ、アラーム／着信：パターン1

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ 画面ピクチャー

パワーOn／パワーOff

「パワーOn」／「パワーOff」選択➡◉➡「固定データ」／「ピクチャー」／「その他ファイル」選択➡◉

■「ピクチャー」／「その他ファイル」選択時：画像選択➡◉➡◉

アラーム動作時／着信中

「アラーム」／「着信」選択➡◉➡「パターン1」～「パターン3」／「ピクチャー」／「その他ファイル」選択➡◉➡◉

■「ピクチャー」／「その他ファイル」選択時：画像選択➡◉➡◉

- 「**ピクチャー**」を選ぶとピクチャーフォルダが、「**その他ファイル**」を選ぶとその他ファイルフォルダ内の画像が表示されます。
- 「**ピクチャー**」または「**その他ファイル**」を選んだ場合、選択した画像が表示サイズよりも大きいときは、表示範囲指定画面が表示されます。◈で表示範囲を指定したあと、◉を押します。
- データフォルダの画像が画面ピクチャーに設定されているときに「**ピクチャー**」または「**その他ファイル**」を選び◉を押すと、設定されている画像が表示されます。このときは、◯（**変更**）を押すと、選択されたフォルダ内の画像が表示されます。

注意▶
- 設定しているモードに着信音／ムービーを登録しているときは、画面ピクチャーの設定は無効になります。
- 電話帳の着信音／ムービーまたはフォトを登録している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、電話帳に登録されている画像が表示されます。

時計／カレンダー	時計やカレンダーの表示形式を設定します。

お買い上げ時 時計：大、カレンダー：Off

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ 時計／カレンダー

時計表示形式の設定

「時計表示」選択➡◉➡「大」／「小」／「世界時計」／「Off」選択➡◉

カレンダー表示形式の設定

「カレンダー表示」選択➡◉➡「1ヶ月」／「2ヶ月」／「Off」選択➡◉

■カレンダーの見かた

現在の日付
- 現在の日付は､反転表示されています。

予定が設定されている日付
- 予定（☞P.11-2）が設定されている日付には、アンダーラインが表示されます。

補足▶
- 壁紙を設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。
- V アプリ待受を設定していると、カレンダーが表示されないことがあります。

文字表示	ディスプレイに表示される文字の太さを設定します。

お買い上げ時 普通

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ 文字表示

太さ選択➡◉

パワー On メッセージ	電源を入れたときに、ディスプレイ下部にメッセージを表示します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ パワー Onメッセージ

パワー OnメッセージのOn／Off

「On／Off設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

表示内容の設定

「メッセージ編集」選択➡◉➡メッセージ入力➡◉
- 最大10文字まで入力できます。

ネットワークオペレータ名表示	待受画面に、ご利用の通信会社の情報を表示します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ ネットワークオペレータ名表示

「On」／「Off」選択➡◉

日本語／英語切替（Language）	ディスプレイの表示を、日本語または英語に設定します。

お買い上げ時 自動

メニュー ▶ 設定 ➡ Language

「自動」／「日本語」／「English」選択➡◉
- 「自動」に設定すると、モード選択（☞P.2-14）の設定に従って表示が切り替わります。

ディスプレイ照明を設定する

バックライト ディスプレイ照明の点灯時間(消えるまでの時間)を設定します。

お買い上げ時 15秒

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ バックライト

時間選択➡◉

■点灯しないようにする:時間選択時に「Off」選択➡◉

パネル明るさ調整 ディスプレイ照明の明るさを調整します。(4段階)

お買い上げ時 明るさ2

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ パネル明るさ調整

(明)/(暗)➡◉

パネル点灯時間 ディスプレイの点灯時間(自動的に消えるまでの時間)を設定します。

お買い上げ時 2分

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ パネル点灯時間

時間選択➡◉

サウンド設定

サウンド設定内の下記の項目は、別のページで説明しています。それぞれのページを参照してください。

項目	参照	項目	参照
音量	☞P.10-2	バイブ	☞P.10-3
着信音/ムービー	☞P.10-2	モバイルライト	☞P.10-3
効果音	☞P.10-3		

日時設定

日付時刻設定	802SHの日付／時刻を設定します。（曜日は自動的に設定されます。）

メニュー ▶ 設定 ▶ 日時設定 ▶ 日付時刻設定

西暦入力（４ケタ）➡月入力（２ケタ）➡日入力（２ケタ）➡◉➡時入力（２ケタ：24時間制）➡分入力（２ケタ）➡◉

注意▶ 設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約１週間程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、日付／時刻を再設定してください。

補足▶
- 日付／時刻を合わせていないとき、着信履歴や発信履歴などの日時表示は「--/--/-- --:--」と表示されます。
- ボタンを押し間違えたときは、◎を押しカーソルを移動したあと、正しい数字を入力してください。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.10-5）

日付／時刻フォーマット	時刻の時間制（24時間制／12時間制）や日付／時刻の表示書式を設定します。

お買い上げ時 時刻フォーマット：24時間、日付フォーマット：年／月／日

メニュー ▶ 設定 ▶ 日時設定

時刻フォーマットの設定

「時刻フォーマット」選択➡◉➡「24時間」／「12時間」選択➡◉

日付フォーマットの設定

「日付フォーマット」選択➡◉➡「日.月.年」／「月-日-年」／「年／月／日」選択➡◉

タイムゾーン／サマータイム設定	お使いの地域（タイムゾーン）を設定します。また、サマータイムの設定も行えます。

お買い上げ時 地域：東京、サマータイム：Off

メニュー ▶ 設定 ▶ 日時設定

地域（都市）の設定

「タイムゾーン設定」選択➡◉➡◎で地域選択➡◉

■ お使いの地域が未登録：タイムゾーン設定画面で ▭（メニュー）➡「オリジナルゾーン設定」選択➡◉➡都市名入力➡◉➡時差入力➡◉

サマータイムの設定

「サマータイム設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

- サマータイムを「On」に設定すると、設定した都市の時刻が、１時間進んだ状態で表示されます。

週始まり	一週間の始まりを日曜日にするか、月曜日にするかを設定します。

お買い上げ時 日曜日-土曜日

メニュー ▶ 設定 ▶ 日時設定 ▶ 週始まり

「日曜日-土曜日」／「月曜日-日曜日」選択➡◉

ユーザー辞書

よく使う言葉を登録する

よく使う言葉（単語）に読みをつけて、最大100件まで登録できます。
登録した単語は、読みを入力して漢字変換すると、変換候補に表示され入力できます。
●同じ読みは５件まで登録できます。

ユーザー辞書の登録	新しくユーザー辞書を登録します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ユーザー辞書 ➡ 新規登録
単語入力➡◉➡読みを入力➡◉
●単語は最大15文字、読みはひらがなで最大８文字まで入力できます。

ユーザー辞書の編集	登録したユーザー辞書を修正／削除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ユーザー辞書 ➡ 単語登録リスト
➡ 編集する単語を選択する

ユーザー辞書の修正

⌐（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡単語修正➡◉➡読み修正➡◉➡⌐（Yes）

ユーザー辞書の消去

⌐（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡⌐（Yes）

ダウンロードした辞書を設定する

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を使用します（２件）。
専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。
●辞書ファイルの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞P.13-11）でご案内しています。

ダウンロード辞書設定	ダウンロードした辞書を使用します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書
番号選択➡◉➡ダウンロード辞書選択➡◉
■ ダウンロード辞書が設定されている番号への登録：
⌐（メニュー）➡「変更」選択➡◉➡設定するダウンロード辞書を選択➡◉

ダウンロード辞書解除	設定したダウンロード辞書を解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書
番号選択➡⌐（メニュー）➡「設定解除」選択➡◉

通話設定

通話設定内の下記の項目は、別のページで説明しています。それぞれのページを参照してください。

留守番・転送電話	☞P.12-2、P.12-4	発番号通知・表示	☞P.12-10
割込通話	☞P.12-5	発着信規制	☞P.12-7

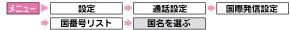
国際電話に関する設定

国際コード設定 よく利用する国際コードを設定します。

お買い上げ時 0046010

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 国際発信設定

「国際コード設定」選択➡◉➡国際コード入力➡◉

国番号リスト 国番号リストを変更／追加／削除します。

国番号の変更

「変更」選択➡◉➡国名入力➡◉➡国番号入力➡◉

国番号の追加

国名がないリスト選択➡◉➡国名入力➡◉➡国番号入力➡◉

国番号の削除

「削除」選択➡◉➡⌒（Yes）

その他通話に関する設定

通話情報表示 通話情報を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 通話情報表示

「On」／「Off」選択➡◉

通話時間お知らせ 音声通話中に1分ごとにお知らせ音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 通話時間お知らせ

「On」／「Off」選択➡◉

通話時間表示 通話時間を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 通話時間表示

「On」／「Off」選択➡◉

セキュリティ設定

PINコードを変更する

●PINコードの詳細については、P.1-7を参照してください。

電源を入れたときにPINコード入力をする

PIN On／Off設定	USIMカードを取り付けたときや電源を入れたとき、PIN1コードを入力して照合を行うかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ PIN認証 ➡ PIN On／Off設定

「On」／「Off」選択➡◉➡PIN1コード入力➡◉

PINロック解除

■PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違うと、PIN1ロック／PIN2ロックが設定され、802SHの使用が制限されます。PIN1ロック／PIN2ロックを解除するときは、PIN1ロック／PIN2ロックが設定されている状態で次の操作を行います。

PIN1／PIN2の入力が必要な機能選択➡PINロック解除コード（PUKコード）入力➡◉➡新しいPIN1コード／PIN2コード入力（4～8ケタ）➡◉➡もう一度新しいPIN1コード／PIN2コード入力（4～8ケタ）➡◉

- PIN1ロックまたはPIN2ロック解除コード（PUKコード）については、お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。
- PIN解除コードの入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます。（途中で電源を切っても連続として数えます。）
- USIMカードがロックされたときは、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。

PIN1コード／PIN2コードを変更する

PINコード変更	PIN1コードまたはPIN2コードを変更します。

■PIN1コードを変更するときは、あらかじめ「PIN On／Off設定」を「On」に設定してください。

メニュー ▶ 設定 ➡ セキュリティ設定

PIN1コードの変更

「PIN認証」選択➡◉➡「PIN変更」選択➡◉➡現在のPIN1コード入力➡◉➡新しいPIN1コード入力➡◉➡もう一度新しいPIN1コード入力➡◉

PIN2コードの変更

「PIN2変更」選択➡◉➡現在のPIN2コード入力➡◉➡新しいPIN2コード入力➡◉➡もう一度新しいPIN2コード入力➡◉

電話機の操作を禁止する

ダイヤル操作禁止	操作用暗証番号を入力しないと、802SHを操作できないようにします。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ 設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ ダイヤル操作禁止

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

■ダイヤル操作禁止の解除：待受中／通話中に操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

● 電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

ダイヤル操作禁止設定中にできること

■待受中

● [終話]長押し（２秒以上：電源のOn／Off）、[＊]長押し（誤動作防止の設定／解除）、[0]～[9]／[CLEAR/BACK]（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

● 緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

■通話中

● [終話]（終話）、[右]／◉（メニュー表示）、[左]（マイクミュート）、[発信]（オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、[0]～[9]／[CLEAR/BACK]（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■着信中

● [発信]／エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-5）で電話に出る（エニーキーアンサー「On」設定時）、[終話]、[左]（通話中転送「On」設定時の着信中の着信手動転送）

簡易ロック	電源を入れたとき、操作用暗証番号を入力しないと、802SHを使用できないようにします。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ 設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ 簡易ロック

「On」／「Off」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

電話帳使用禁止	電話帳を誤って削除したり、他人が使用できないようにします。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ 設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ 電話帳使用禁止

「On」／「Off」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

注意▶ 電話帳使用禁止設定中は、次の機能は利用できません。
- ■ 電話帳の検索、登録、修正、発信（スピードダイヤルでの発信：☞P.4-10も含む）
- ■ 電話帳やオーナー情報を使ったバーコードの作成（☞P.11-14）

シークレットデータを利用する

電話帳やスケジュールなどで、シークレットを「On」に設定したデータは、シークレットモードでだけ確認や修正などが行えます。

シークレットモード	シークレットモードを設定／解除します。

お買い上げ時Off

メニュー▶ 設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ シークレットモード

「On」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

■シークレットモードの解除：「Off」選択➡◉

注意▶ 操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、シークレットデータを見られることも考えられます。重大な秘密などの記録用としてではなく、便利な機能としてお使いになることをおすすめします。

シークレットモードを解除すると

■電話帳のシークレットデータに登録されている相手から電話がかかってきたり、メールが送られてくると、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。
（着信音／ムービーの設定も無効となります。）
また、発信履歴や着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。
ただし、シークレットデータとして登録する前の発信履歴や着信履歴の名前は、表示されます。

操作用暗証番号を変更する

暗証番号変更	現在使用している操作用暗証番号を、新しい操作用暗証番号に変更します。

お買い上げ時9999

メニュー▶ 設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ 暗証番号変更

現在の操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡新しい操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡もう一度新しい操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

メモリ設定

メモリ使用状況	802SHやSDメモリカード内のメモリの使用状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ メモリ設定 ➡ メモリ使用状況

「本体」／「メモリカード」選択➡◉

補足▶ SDメモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と、著作権保護などで自動的に使用される部分があります。
例：64MバイトのSDメモリカード
● ユーザー領域は、約60.6Mバイトになります。

メモリカードフォーマット	SDメモリカードをフォーマット（初期化）します。

メニュー ▶ 設定 ➡ メモリ設定 ➡ メモリカードフォーマット

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡（Yes）

注意▶
● フォーマットされていないSDメモリカードを802SHで使うときは、必ずフォーマットしてください。
● SDメモリカードをフォーマットすると、SDメモリカード内のすべてのデータが消去されます。
● メモリカードフォーマット中は、絶対にSDメモリカードや電池パックを抜かないでください。SDメモリカードまたは802SHが破損する恐れがあります。
● 他の機器でフォーマットしたメモリカードは、802SHでは正常に使用できないことがあります。（動作が遅くなったり、利用できない機能があります。）

位置情報設定

位置情報URL設定	通常、設定を変更する必要はありません。位置情報付の電話帳からアクセスする特定の接続先に接続するときなどに設定してください。

メニュー ▶ 設定 ➡ 位置情報設定 ➡ 位置情報URL設定

URL選択➡◉

測位On／Off設定	現在の位置情報をWebサービスに利用するとき送信するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ 位置情報設定 ➡ 測位On／Off設定

「On」／「Off」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

10 その他の設定

初期化

設定リセット	設定内容や登録内容をお買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 初期化 ➡ 設定リセット

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡〔〕（Yes）➡◉

● 電話帳などの登録内容は消去されません。

オールリセット	お客様が設定されていた電話帳やデータフォルダなどの内容は消去され、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 初期化 ➡ オールリセット

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡〔〕（Yes）➡◉

● 電話帳やデータフォルダなどの登録内容も初期状態に戻ります。（消去されます。）

注意▶ 一度、全消去された登録内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。操作用暗証番号も消去されます。

ツール

カレンダー

予定を登録して管理できます。

- 予定リストの用件（☞P.11-18）と合わせて、最大300件まで登録できます。

カレンダーを表示する

メニュー ▶ ツール

1「カレンダー」を選び、◉を押す。

今月のカレンダー（カレンダー画面）が表示されます。

■日付／時刻未設定時：タイムゾーン設定➡◉➡日付入力➡◉➡時刻入力➡◉➡カレンダー画面表示

■カレンダー画面での操作

＊	前月のカレンダーを表示	◉（左）	カーソル移動（左）
＃	翌月のカレンダーを表示	◉（右）	カーソル移動（右）
0	今日を選択	⌒	メニュー表示
◉（上）	カーソル移動（上）	⌒	表示終了（戻る）
◉（下）	カーソル移動（下）		

予定を登録する

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1 登録する日を選び、◉を押す。

2「新規作成」を選び、◉を押す。

3 件名を入力し、◉を押す。

- 最大16文字まで入力できます。

4 予定の場所を入力し、◉を押す。

- 最大16文字まで入力できます。

5 カテゴリを選び、◉を押す。

6 開始日を入力し、◉を押す。

7 開始時刻を入力し、◉を押す。

8 時間を選び、◉を押す。

■終了日時を設定：「**その他**」選択➡◉➡終了日入力➡◉➡終了時刻入力➡◉

9 *アラームを設定しない*

1「予告アラームなし」を選び、◉を押す。

アラームを設定する

1「開始時刻」〜「1日前」のいずれかを選び、◉を押す。

■アラーム日時を指定：「**その他**」選択➡◉➡アラーム通知日付入力➡◉➡アラーム通知時間入力➡◉

10「内容」を選び、◉を押す。

ツール 11

11 予定の内容を入力し、◉を押す。

- 最大128文字まで入力できます。
- このあと、アラーム音選択や繰り返し設定、シークレット設定など、予定の各種設定を行うこともできます。

12 ⌐（保存）を押す。

予定が登録されます。

注意▶ 他の機器とのデータ転送を行ったとき、相手機によっては表示される日時情報などが異なることがあります。

補足▶ まだ設定時刻になっていない予定がある日には、待受画面に「」（アラームあり）または「」（アラームなし）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

アラーム設定の指定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、お知らせします。

- アラーム設定を「**予告アラームなし**」に設定しているときは、何も動作を行いません。

アラーム音の停止

■アラーム動作中に次の操作を行います。

⌐（キャンセル）／⌒／ⓒ／CLEAR/BACK

補足▶ 通話中に指定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後⌒を押すとアラーム音が鳴ります。

予定の各種設定

下記の各操作は、左の操作11のあとに行います。

アラーム音	アラーム動作時のアラーム音の種類を設定できます。

お買い上げ時 パターン1

固定データ選択時

「アラーム」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー」選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「固定データ」選択➡◉➡アラーム音選択➡◉➡⌐（決定）

データフォルダ選択時

「アラーム」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー」選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「データフォルダ」選択➡◉➡アラーム音選択➡◉

ムービー	アラーム動作時にムービーを流すように設定できます。

「アラーム」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー」選択➡◉➡「ムービー選択」選択➡◉➡ムービー選択➡◉

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時 15秒

「アラーム」選択➡◉➡「鳴動時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

■ 時間を設定：「**その他**」選択➡◉➡鳴動時間入力➡◉

くり返し設定	予定のくり返し（1回のみ、毎日、毎週、毎月、毎年）を設定します。

お買い上げ時 1回のみ

1回だけの予定

「繰り返し」選択➡◉➡「1回のみ」選択➡◉

くり返しの予定

「繰り返し」選択➡◉➡「毎日」～「毎年」選択➡◉➡くり返し回数（00～99）入力➡◉

- 予定の日を29～31日に設定し、「毎月」を選んだときは、29～31日が存在しない月では、予定は設定されません。
- 「毎年」を選んだときは、くり返し回数の指定はできません。期限なしになります。
- くり返し回数を「00」に設定したときは、期限なしになります。

シークレット設定	予定をシークレットデータに設定します。

お買い上げ時 Off

「シークレット設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

- シークレットデータは、シークレットモード（☞P.10-12）を設定しないと確認できません。

予定を確認する

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1 予定を確認する日を選び、◉を押す。

2 確認する予定を選び、◉を押す。

3 確認を終了するときは、⊡（戻る）を押す。

予定の件数確認

■カレンダー画面／1日予定画面で次の操作を行います。

⊡（メニュー）➡「メモリ使用状況」選択➡◉

予定を編集する

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー ➡ 編集する予定を選ぶ

1 ⊡（メニュー）を押す。

2 「編集」を選び、◉を押す。

3 変更する項目を選び、◉を押す。

- 編集方法は、登録時と同様です。

4 編集が終われば、⊡（保存）を押す。

予定を削除する

1件削除	予定を1件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー ➡ 削除する予定を選ぶ

⊡（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「1件」選択➡◉➡⊡（Yes）

1日削除	予定を1日単位で削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー ➡ 予定を削除する日を選ぶ

⊡（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「1日」選択➡◉➡⊡（Yes）

今月削除	予定を１月単位で削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ カレンダー ▶ 予定を削除する月を選ぶ

（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「今月」選択➡◉➡（Yes）

● 今月までの予定がないときは、表示されません。

前月まで削除	前月までの予定を削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「前月まで」選択➡◉➡（Yes）

● 前月までの予定がないときは、表示されません。

全件削除	すべての予定を削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「全件」選択➡◉➡（Yes）

補足▶ 削除する予定にくり返しの予定が含まれているときは、その他の予定も削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 削除する：（Yes）

■ 削除しない：（No）

アラーム設定

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻にアラームを鳴らしお知らせします。毎日または、指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。

● 最大５件まで登録できます。

● アラーム音の鳴動時間／音量／種類／バイブ設定も変更できます。

メニュー ▶ ツール ▶ アラーム

1 登録場所を選び、◉を押す。

2 アラームの時刻を入力し、◉を押す。

3「リピート」を選び、◉を押す。

4 ***毎日アラームを鳴らす***

1「毎日」を選び、◉を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らす

1「曜日指定」を選び、◉を押す。

2 曜日を選び、◉を押す。

曜日が指定され、「☑」が表示されます。

● すでに指定されている曜日を選び、◉を押すと、指定が解除されます。

3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。

4 指定が終われば、（保存）を押す。

一日だけアラームを鳴らす

1「１回のみ」を選び、◉を押す。

5 ⊡（保存）を押す。

アラームが設定されます。

- 続けて他の時刻にアラームを設定するときは、操作1～5をくり返します。

6 設定を終わるときは、⊡を押す。

待受画面に戻り、「🔔」が表示されます。

アラームの設定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 画面ピクチャーを設定しているときは、設定している画像が表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音の停止

■アラーム動作中に次の操作を行います。

⊡（キャンセル）／⊡／ⓒ／CLEAR/BACK

スヌーズ（☞右記）を設定すると

■設定したスヌーズ間隔で、くり返しアラームが鳴ります。

- スヌーズを解除するときは、⊡（キャンセル）／ⓒを押します。
- 着信があったときは、電話を受けることができます。通話終了後⊡を押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。
- スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

補足▶ 通話中にアラーム設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後⊡を押すとアラーム音が鳴ります。

アラームの各種設定

アラーム音 アラーム動作時のアラーム音の種類を設定できます。

お買い上げ時 パターン1

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム ➡ アラームを選択する ➡ アラーム音/ムービー

固定データ選択時

「音選択」選択➡◉➡「固定データ」選択➡◉➡アラーム音選択➡◉➡⊡（決定）

データフォルダ選択時

「音選択」選択➡◉➡「データフォルダ」選択➡◉➡アラーム音選択➡◉

ムービー アラーム動作時にムービーを流すように設定できます。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム ➡ アラームを選択する ➡ アラーム音/ムービー

「ムービー選択」選択➡◉➡ムービー選択➡◉

スヌーズ設定 アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。

お買い上げ時 5分毎

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム ➡ アラームを選択する ➡ スヌーズ設定

くり返す間隔選択➡◉

■ 間隔を設定：「その他」選択➡◉➡間隔入力➡◉

アラーム音量	アラーム動作時のアラーム音の音量を７段階で調整します。

お買い上げ時 音量５

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム ➡ アラームを選択する ➡ アラーム音量

音量選択➡◉

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時 10秒

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム ➡ アラームを選択する ➡ 鳴動時間

時間選択➡◉

■ 時間を設定：「その他」選択➡◉➡鳴動時間入力➡◉

バイブ設定	バイブレータでお知らせするように設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム ➡ アラームを選択する ➡ バイブ

「On」／「音連動」／「Off」選択➡◉

アラームを解除する／再設定する

アラーム解除	設定したアラームを解除します。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム ➡ アラームを選択する

㊂（メニュー）➡「アラームOff」選択➡◉

- アラームが解除され「🔔」が消えます。
- 解除しても登録内容は消えません。同じ内容でアラームを動作するときは、アラームの再設定を行ってください。

アラーム再設定	解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定もできます。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム ➡ アラームを選択する

㊂（メニュー）➡「アラームOn」選択➡◉

■ 一部を変更して再設定：㊂（メニュー）➡「選択」選択➡◉
➡予定編集（P.11-5）

アラームを削除する

1件削除	アラームを1件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム ➡ アラームを選択する

㊂（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊂（Yes）

全削除	すべてのアラームの設定を削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム

「全件削除」選択➡◉➡㊂（Yes）

簡易電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算が行えます。また、国内通貨と海外通貨の換算も行えます。

●簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

＋（足す）		CM（クリアメモリ）	※
ー（引く）		RM（メモリ呼出）	※
×（掛ける）		M＋（メモリ加算）	※
÷（割る）		.（小数点）	
＝（イコール）		+/−（符号反転）	
C・CE（クリア）	CLEAR/BACK	%（パーセント）	

※ （メニュー）を押したあとに、メニュー項目から選択してください。

メニュー ▶ ツール

1 「簡易電卓」を選び、を押す。

●ダイヤルボタンで数字を入力し、上記の各ボタンを使って計算を行います。

2 簡易電卓を終わるときは、を押す。

通貨換算

■国内通貨と海外通貨を換算するときは、数字入力後次の操作を行います。換算は、あらかじめ設定している換算レートに従って行われます。

（メニュー）➡「換算」選択➡➡「国内通貨に換算」／「海外通貨に換算」選択➡

■国内と海外の換算レートを設定するときは、簡易電卓の画面で次の操作を行います。お買い上げ時には、「1：1」に設定されています。

（メニュー）➡「換算」選択➡➡「レート設定」選択➡➡「国内通貨」／「海外通貨」選択➡➡換算レート入力➡

補足▶

●計算中に着信があったときは、入力した数値や計算結果は消去されます。ただし、メモリに記憶した数値は消去されません。

●メモリ計算は、メモリ内容を消去してから始めてください。

●メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

ボイスレコーダー

音声を録音する

802SHのマイクを利用して、SDメモリカードに音声を録音します。

- ご利用の前に、電池残量をご確認ください。（電池レベル表示が「▯」では録音できません。また、長時間録音で録音中に電池レベル表示が「▯」になると、録音は中止されます。）
- 最大99時間59分59秒録音できる「**長時間録音**」と、メール添付用の音声を録音できる「**メール添付用**」の２種類の録音時間が選べます。
- 「**メール添付用**」の場合、802SH内に録音することもできます。
- 通話中にボイスレコーダーを利用して、音声を録音することはできません。
- 外部マイクとして利用できないプラグなどを接続すると、正しく録音ができないことがあります。

メニュー ▶ ツール

1 **「ボイスレコーダー」を選び、◉を押す。**

録音画面が表示されます。

■ 録音時間の変更：☞P.11-10

2 **◉を押す。**

録音が始まります。

3 ***長時間録音で録音時***

1 録音を終了するときは、◉を押す。

録音した音声がSDメモリカードに登録されます。

- 再び◉を押すと、録音を再開できます。このときは、別のファイルとして登録されます。

メール添付用での録音時

1 録音を終了するときは、◉を押す。

- 録音可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■ 音声の再生：「**再生**」選択➡◉
  - ■ 再生の一時停止：再生中に◯（**停止**）

■ 録音のやり直し：◯（**キャンセル**）➡操作２へ

■ 音声をメールに添付して送信：「**メール送信**」選択➡◉➡P.14-9
  - ■ 保存先設定が「**保存時に選択**」時：「**本体**」／「**メモリカード**」選択➡◉➡P.14-9

2 「保存」を選び、◉を押す。

■ 保存先設定が「**保存時に選択**」時：「**本体**」／「**メモリカード**」選択➡◉

注意
- 録音中は、802SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
- SDメモリカードに音声ファイルが大量に保存されているときは、録音開始までにしばらく時間がかかることがあります。

補足
- 802SHで録音した音声データには、自動的に録音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。
- 録音中は、アラームの設定時刻になっても、アラームは動作せず録音が継続されます。録音終了後、アラームが動作します。

音声録音に関する設定

録音時間設定	録音時間を「**長時間録音**」または「**メール添付用**」に設定します。

お買い上げ時 メール添付用

メニュー ▶ ツール ▶ ボイスレコーダー

（メニュー）▶「保存時間」選択▶◉▶「長時間録音」／「メール添付用」選択▶◉

保存先設定	メール添付用で録音した音声の保存先を、802SH（本体）またはSDメモリカードに設定します。

お買い上げ時 本体

メニュー ▶ ツール ▶ ボイスレコーダー

（メニュー）▶「保存先設定」選択▶◉▶「本体」／「メモリカード」／「保存時に選択」選択▶◉

- 「**保存時に選択**」を選ぶと、録音後に保存先を選択することができます。

音声を再生する

- 再生音は、802SHのスピーカーから聞こえます。
- マルチステレオイヤホンマイクを利用して再生することもできます。（☞P.7-3）

メニュー ▶ ツール ▶ ボイスレコーダー

1 **（メニュー）を押す。**

2 **「データフォルダ」を選び、◉を押す。**

3 **音声ファイルを選び、◉を押す。**

再生が始まります。

■ 音量の調整：◎（上げる）／◎（下げる）

再生中に電話やメールの着信があると

■電話がかかってきたときは、再生は停止します。設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。

■メールなどの着信があったときの動作は、音楽再生時と同様です。（☞P.7-4）

バーコード読み取り

印刷されたバーコードをモバイルカメラで撮影して読み取ったり、ボーダフォンライブ！などで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取れます。

- バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取ることができます。
- バーコード（JANコード）を最大50回、QRコードを最大16回まで連続して読み取ることができます。（連続モード）
  ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取りできないことがあります。
- ズームは利用できません。

補足▶
- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。
  （ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。）
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。

メニュー ▶ バーコード／OCR ➡ バーコードリーダー

1 読み取るバーコードをディスプレイ中央部に表示させる。

- 被写体との距離は、約10cm程度離してください。
- 通常サイズのバーコードを読み取るときは、接写モードにしてください。

■ モバイルライト利用：#

2 ◉を押す。

バーコードの読み取りが開始されます。

■ 読み取りの中止：（キャンセル）➡操作１へ

3 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.11-12

■ 読み取りのやり直し：読み取り結果表示中に（戻る）➡（Yes）➡操作１へ

注意▶ 802SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、バーコード読み取りは起動できません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

連続モードでの読み取り後の操作

■読み取りが終了すると、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 連続して読み取るとき
  (Yes)➡**次のバーコードをディスプレイ中央に表示する**➡◉
- 読み取りを終了するとき
  (No)➡**読み取り結果表示**

分割されているバーコードのとき

■読み取りが終了すると、次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 読み取るとき
  (Yes)➡**次のバーコードをディスプレイ中央に表示する**➡◉
- 読み取りを中止するとき
  (No)➡**情報破棄の確認画面表示**➡(Yes)

■分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示/保存できません。
■読み取り中は、分割されている個数と、読み取り済の個数が画面1行目に表示されます。(例:…4分割の1個目)

注意
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合、体の一部や802SHの影がバーコードにかかっているときは、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトを利用されることをおすすめします。
- ディスプレイ内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。

■バーコード読み取り結果を利用した各操作

電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2を選択➡◉➡電話番号入力画面➡
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡メール作成画面表示 (以降の操作:☞P.14-7)
メール本文に貼り付ける	(メニュー)➡「メール本文へ貼付」選択➡◉➡編集確認画面➡◉ 読み取った文字の利用:読み取り結果確認画面で(メニュー)➡「メール本文へ貼付」選択➡◉➡編集確認画面➡(メニュー)➡「カット」選択➡◉➡最初の文字にカーソル移動➡◉➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡◉(以降の操作:☞P.14-7)
電話帳に登録する※1、※3	「TEL:」の付いている番号※2/「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡(メニュー)➡「電話帳登録」選択➡◉(以降の操作:☞P.4-3)
インターネットに接続する※4	先頭に「http://」「rtsp://」の付いているURLを選択➡◉(情報画面表示)
データフォルダに登録する(画像/メロディ)	画像/メロディ選択➡(メニュー)➡「保存」選択➡◉

※1 含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2 0から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても、「TEL:」と同様の扱いになります。
※3 含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※4 含まれている文字が「http://¥」「rtsp://¥」のときに利用できます。
●「¥」は英数字1文字以上を示します。

ツール 11

登録する	（メニュー）➡「読み取りデータ登録」選択➡◉ ● 登録できるのは最大10件です。
コピーする	（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡コピーする最初の文字にカーソル移動➡◉➡コピーする最後の文字にカーソル移動➡◉ ● 選んだ文字が記憶されます。このあと他の画面に貼り付けます。

注意▶ 先頭に「TEL:」の付いている電話番号（0から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているE-mailアドレス、先頭に「http://」や「rtsp://」の付いているURLがないときは、それらを利用した各操作は行えません。

補足▶ 読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれているとき、電話帳（「MEMORY:」）やメール（「MAILTO:」）用の項目と内容が表示されます。
このあと◉を押すと、表示されている内容を電話帳登録画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインが付きます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降は破線のアンダーラインは付きません。）

文字入力中の読み取り 文字入力中にバーコードを読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で（メニュー）➡「読み取り」選択➡◉➡「バーコード読み取り」選択➡◉➡バーコードをディスプレイ中央に表示➡◉

注意▶
- 次のときは、文字入力中のバーコード読み取り／文字読み取りはできません。
  - ■ 通話中
  - ■ バーコード読み取り結果保存時／赤外線通信時
  - ■ 電子ブック使用中
  - ■ Vアプリ起動中
  - ■ ストリーミングURL入力画面

バーコードピクチャーファイルの読み取り データフォルダ内のバーコードピクチャーファイルを直接読み取ります。

メニュー ▶ バーコード／OCR ➡ データフォルダ

バーコードファイル選択➡◉

- 分割バーコード読み取り時：（Yes）
  - ■ 読み取り中止：（戻る）➡情報破棄確認画面➡（Yes）
- 自動読み取り失敗時：次のバーコードファイル選択➡◉

注意▶
- サイズを変更したバーコードは、読み取りできないことがあります。
- バーコードの種類によっては、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

読み取りデータ確認 登録した読み取り結果（読み取りデータ）を確認します。

メニュー ▶ バーコード／OCR ➡ 読み取りデータ確認

読み取りデータ選択➡◉

- 表示した読み取り結果を、再び登録することはできません。

バーコード作成

802SHの電話帳、入力したテキスト、データフォルダ内のメロディ／画像／定型文を利用して、バーコードを作成できます。

- 1つのバーコードに登録できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは513文字、漢字だけを入力したときは131文字となります。
- 情報量が多いときは、自動的に分割バーコードが表示されます。（16分割まで）
- 作成したバーコードは、802SHのピクチャーフォルダに登録されます。

電話帳データのバーコード作成　登録済の電話帳を利用して、バーコードを作成します。

メニュー ▶ バーコード／OCR ➡ QRコード作成 ➡ 電話帳

電話帳選択 ➡ ◉ ➡ 作成されたバーコード表示 ➡ ⌒（メニュー）➡「保存」選択 ➡ ◉

- バーコードには、姓、名、ヨミ、電話番号、E-mailアドレス、メモが含まれます。その他の項目は含まれません。

テキストのバーコード作成　テキストを入力して、バーコードを作成します。

メニュー ▶ バーコード／OCR ➡ QRコード作成 ➡ テキスト

テキスト入力 ➡ ◉ ➡ 作成されたバーコード表示 ➡ ⌒（メニュー）➡「保存」選択 ➡ ◉

その他のバーコード作成　データフォルダ内のメロディ／画像／定型文を利用して、バーコードを作成します。

メニュー ▶ バーコード／OCR ➡ QRコード作成 ➡ データフォルダ

フォルダ選択 ➡ ◉ ➡ メロディ／画像／定型文選択 ➡ ◉ ➡ 作成されたバーコード表示 ➡ ⌒（メニュー）➡「保存」選択 ➡ ◉

登録先の変更

■バーコードを登録する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
⌒（メニュー）➡「登録先変更」選択 ➡ ◉ ➡「本体」／「メモリカード」選択 ➡ ◉

MMSに添付して送信

■バーコードを登録する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
⌒（メニュー）➡「メール添付」選択 ➡ ◉（以降の操作：☞P.14-7）

バーコード作成中に着信があると

■作成中の内容は保存されています。通話終了後、バーコード作成画面に戻ります。

ツール 11

文字読み取り

URL、E-mailアドレス、電話番号、単語などをモバイルカメラで撮影し、読み取ります。また、読み取ったあとに、種類に応じた操作も行えます。

- 一度に読み取り可能な文字数は最大半角60文字まで、行数は3行までです。ただし、35文字を越えると、読み取りにくいことがあります。
- 一部記号などで読み取ることができない場合があります。
- ズームは利用できません。

注意▶
- 音楽再生中やVアプリ起動中には、文字読み取りは行えません。文字読み取りを起動すると、終了確認画面が表示されますので、(Yes)を押し、それぞれの機能を終了させてください。
- 802SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、文字読み取りは起動できません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

メニュー ▶ バーコード／OCR ➡ 文字読み取り

1 読み取る文字を、ディスプレイの中央に表示する。

ピント調整バー（色が濃くなるほどピントが合います）

- ディスプレイ内の〔〕枠中央に入るように調整してください。〔〕の端の文字は読み取りにくいことがあります。
- 文字読み取りの起動時には、反転モードは「**自動**」に設定されています。白抜きの文字など、うまく読み取れないときは、反転モードを切り替えてください。
- 被写体との距離は、約10cm程度離してください。
- 小さな文字を読み取るときは、接写モードにしてください。

■ モバイルライト利用：#

2 ◉を押す。

文字の読み取りが開始されます。

■ 読み取りの中止：CLEAR/BACK ➡ 操作1へ

3 ◎で読み取る行を指定し、◉を押す。

- 文字の読み取りは、1行単位で行います。

4 読み取りが終了すると、読み取り結果が表示される。

読み取った文字を自動的に判別し、URL、E-mailアドレス、電話番号、単語などで表示します。種類が異なっているときは種類を変更し、再認識することができます。

- 読み取りの種類変更：(メニュー)➡「モード切替」選択➡◉➡切り替える種類選択➡◉
(切り替えた種類により、読み取り結果や変換候補で表示される内容が変わります。)
- 読み取り結果修正：(メニュー)➡「候補選択(編集)」選択➡◉➡編集画面へ➡修正する文字にカーソル移動➡候補選択／文字入力
- 読み取りのやり直し：(戻る)➡(Yes)➡操作1へ

補足▶ **読み取り可能文字数の超過時**
文字数カット後の読み取りデータが表示されます。

5 ◉を押す。

- このあと、下表のとおり利用できます。

URL	ウェブアクセス、コピー
Eメールアドレス	メール送信、電話帳登録、コピー
電話番号	電話をかける、電話帳登録、コピー
単語	コピー

- 読み取り結果を利用した各種操作：☞P.11-12

補足▶
- 続けて読み取るときは、次の操作を行います。
(メニュー)➡「続き読み取り」／「追加読み取り」選択➡◉
  - 続き読み取り
  改行をカットしたデータを、前回読み取った結果の末尾に追加します。(前に読み取ったものと同じ種類で読み取ります。)
  - 追加読み取り
  改行も含むデータを、前回読み取った結果の次行に追加します。
- すでに256文字を読み取り済のときは、「続き読み取り」または「追加読み取り」は行えません。

文字入力中の読み取り 文字入力中に文字を読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で(メニュー)➡「読み取り」選択➡◉➡「文字読み取り」選択➡◉➡文字をディスプレイ中央に表示➡◉➡読み込んだ文字選択➡◉

ストップウォッチ

最長24時間（23時間59分59.9秒）まで、1／10秒単位で時間（タイム）を計測できます。
計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記録できます。

●計測したタイムは、最新の4件までのラップタイムと合わせて、802SHの定型文に登録できます。
●電池残量が少なくなると、ストップウォッチの動作は中止されます。

メニュー▶ ツール ➡ ストップウォッチ

1 ◉を押す。

タイムの計測が始まります。

■ラップタイムの記録：(LAP)
 ■ラップタイムは、最新の4件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

2 止めるときは、もう一度◉を押す。

■定型文登録：（メニュー）➡「定型文に登録」選択➡◉
 ■登録済のタイムは、定型文の操作で確認します。
（☞P.8-13）

■再スタート：停止状態で◉

■計測タイムの消去：（メニュー）➡「リセット」選択➡◉

3 終わるときは、（戻る）を押す。

■ストップウォッチ動作中／停止中：（戻る）➡（Yes）

補足▶
●ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。保存するときは、計測終了後、定型文に登録してください。
●計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。で通話終了後、計測中の画面に戻ります。
●アラーム（☞P.11-5）を設定しているときは、ストップウォッチ終了後に鳴動します。
（ストップウォッチ動作中は、お知らせしません。）

予定リスト

期限の決まった予定（用件）を登録できます。用件を処理後には、処理済チェックを付けて管理することもできます。
- カレンダーの予定（☞P.11-2）と合わせて、最大300件まで登録できます。

用件を登録する

メニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

1 「新規作成」を選び、◉を押す。

2 件名を入力し、◉を押す。
- 最大16文字まで入力できます。

3 期限日を入力し、◉を押す。

4 期限時刻を入力し、◉を押す。

5 *アラームを設定しない*

1「予告アラームなし」を選び、◉を押す。

アラームを設定する

1「期限時刻」～「1日前」のいずれかを選び、◉を押す。

■ アラーム日時を指定：「**その他**」選択➡◉➡アラーム通知日付入力➡◉➡アラーム通知時間入力➡◉

6 「内容」を選び、◉を押す。

7 内容を入力し、◉を押す。
- 最大128文字まで入力できます。
- このあと、アラーム音選択やシークレット設定など、用件の各種設定を行うこともできます。

8 ⊡（保存）を押す。

用件が登録されます。

アラーム設定の指定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、お知らせします。
- アラーム設定を「**予告アラームなし**」に設定しているときは、何も動作を行いません。

アラーム音の停止

■アラーム動作中に次の操作を行います。
⊡（**キャンセル**）／⊡／ⓒ／CLEAR/BACK

補足▶ 通話中に指定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後⊡を押すとアラーム音が鳴ります。

ツール 11

用件の各種設定

下記の各操作は、P.11-18操作７のあとに行います。

アラーム音	アラーム動作時のアラーム音の種類を設定できます。

お買い上げ時パターン１

固定データ選択時

「アラーム」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー」選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「固定データ」選択➡◉➡アラーム音選択➡◉➡⌒（決定）

データフォルダ選択時

「アラーム」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー」選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「データフォルダ」選択➡◉➡アラーム音選択➡◉

ムービー	アラーム動作時にムービーを流すように設定できます。

「アラーム」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー」選択➡◉➡「ムービー選択」選択➡◉➡ムービー選択➡◉

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時15秒

「アラーム」選択➡◉➡「鳴動時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

■時間を設定：「その他」選択➡◉➡鳴動時間入力➡◉

シークレット設定	用件をシークレットデータに設定します。

お買い上げ時Off

「シークレット設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

●シークレットデータは、シークレットモード（☞P.10-12）を設定しないと確認できません。

用件を確認する

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト

1 ◎で「」（全データ）、「」（処理済）、「」（未処理）のいずれかを選ぶ。

●「処理済」はチェック済の用件が、「未処理」は未チェックの用件が表示されます。

2 用件を選び、◉を押す。

■処理済チェック：◉（チェック）

■チェックの解除：◉（チェック解除）

3 確認を終了するときは、⌒（戻る）を押す。

> **用件の件数確認**
>
> ■登録済の用件の件数は、次の操作で確認します。
> 用件画面で⌒（メニュー）➡「メモリ使用状況」選択➡◉

用件を編集する

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト ➡ 編集する用件を選ぶ

1 ⌒（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3 変更する項目を選び、◉を押す。

●編集方法は、登録時と同様です。

4 編集が終われば、⌒（保存）を押す。

用件を削除する

1件削除 用件を1件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト ➡ 削除する用件を選ぶ
(メニュー) ➡「削除」選択 ➡ ● ➡「1件」選択 ➡ ●
➡ (Yes)

全処理済削除 処理が終わっている用件をすべて削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト
➡ (メニュー) ➡「削除」選択 ➡ ● ➡「処理済」選択 ➡ ● ➡ (Yes)
- 処理済データがないときは表示しません。

全件削除 すべての用件を削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト
➡ (メニュー) ➡「削除」選択 ➡ ● ➡「全件」選択 ➡ ●
➡ (Yes)

世界時計

普段お使いの地域の時刻に加えて、設定した地域の時刻を表示できます。
- サマータイムを設定することもできます。
- 待受画面に世界時計を表示させるためには、時計表示設定を、「世界時計」に設定する必要があります。(☞P.10-5)

地域の設定

802SHには、あらかじめいくつかの地域の時刻情報が登録されています。設定したい地域が登録されていないときは、ローカルタイムとの時差と地域名を入力し、追加できます。

メニュー ▶ ツール ➡ 世界時計 ➡ 編集 ( ) ➡ タイムゾーン設定

1 で地域を選び、●を押す。
- 地域の追加：タイムゾーン設定画面で (メニュー) ➡「オリジナルゾーン設定」選択 ➡ ● ➡ 都市名入力 ➡ ● ➡ 時差入力 ➡ ●

サマータイムの設定

サマータイムの設定をすると、設定した都市の時刻が、1時間進んだ状態で表示されます。

メニュー ▶ ツール ➡ 世界時計 ➡ 編集 ( ) ➡ サマータイム設定

1 「On」を選び、●を押す。
- サマータイムの解除：「Off」選択 ➡ ●

キッチンタイマー

設定した時間が経過すると、アラームとランプ（スモールライト）でお知らせします。

●最長60分まで、1秒単位で設定できます。

メニュー ▶ ツール ➡ キッチンタイマー

1 セットする時間（00分01秒〜60分00秒）を入力し、◉を押す。

●入力を間違えたときは、◎でカーソルを移動し、入力し直します。◉を押したあとは、下記の「**時間の変更**」の操作を行います。

●60分（60：00）以上の数字を入力したときは、タイマー起動時の入力画面に戻ります。

■時間の変更：〔メニュー〕（**メニュー**）➡「**編集**」選択➡◉➡時間入力➡◉

2 ◉を押す。

タイマーのカウントダウンが始まります。

3 止めるときは、もう一度◉を押す。

■再スタート：◉

4 終わるときは、〔戻る〕（戻る）を押したあと、〔Yes〕（Yes）を押す。

起動時間になったときの動作

■メッセージが表示され、現在のモードの音量やバイブの設定に従ってお知らせします。

- アラームを止めるときは、〔キャンセル〕（**キャンセル**）を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
- マナーモードに設定しているときは、マナーモード設定に従ってお知らせします。
- 着信中や通話中にタイマー起動時間になったときは、通話終了後〔終話〕を押すと、起動時間のお知らせが表示されます。

補足▶

- キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。
〔終話〕で通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
- アラームを設定しているときは、キッチンタイマー終了後に鳴動します。（キッチンタイマー動作中は、お知らせしません。）
- キッチンタイマー動作中は、スポットライトを点灯させることはできません。

マネー積算メモ

順次入力した金額の合計を自動的に計算します。出張時の経費の計算などに便利です。

- マネー積算メモには最大30件の金額が入力できます。(合計金額は最大29,999,970円まで、1回の入力は最大999,999円まで)
- 通話中にマネー積算メモは入力できません。

マネー積算メモ入力	ダイヤルボタンで金額を入力し、明細名を付けて登録できます。

メニュー ▶ ツール ➡ マネー積算メモ ➡ 新規入力

金額を入力➡◉➡明細名を選択➡◉

- 金額と日時が登録されます。
- 日付時刻設定（☞P.10-7）がされていないときは、日時には「--/--/-- --:--」等が登録されます。

確認	入力したマネー積算メモを確認します。

メニュー ▶ ツール ➡ マネー積算メモ

「メモ確認」選択➡◉

- 他の金額を確認：Ⓢ
- 明細名変更：明細選択➡☐（**メニュー**）➡「**明細変更**」選択➡◉➡明細名入力➡◉
  - ■ 最大14文字まで入力できます。
- 金額変更：明細選択➡☐（**メニュー**）➡「**金額変更**」選択➡◉➡金額入力➡◉
- 明細1件削除：明細選択 ➡☐（**メニュー**）➡「**1件削除**」選択➡◉➡☐（Yes）
- 明細全件削除：明細選択 ➡☐（**メニュー**）➡「**全件削除**」選択➡◉➡☐（Yes）

明細変更	あらかじめ登録されている明細名を変更します。

メニュー ▶ ツール ➡ マネー積算メモ

「明細変更」選択➡◉➡明細名選択➡◉➡明細名入力➡◉

- 最大14文字まで入力できます。

静止画のプリント指定（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。SDメモリカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行えます。

- ボーダフォンライブ！などから入手した静止画はプリント指定できません。
- 操作中にSDメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、一旦操作を終了し、不要なデータを削除してやり直してください。
- プリント時の操作など、詳しくはプリントする機器の操作説明書をご覧ください。

プリントする静止画と枚数を指定する

●SDメモリカード内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定することもできます。

メニュー ▶ ツール ➡ プリント指定（DPOF）➡ 個別ピクチャー設定

1 フォルダを選び、◉を押す。

選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（この画面がプリントの指定画面となります。）

2 ◎で静止画を選び、▭（枚数）を押す。

3 プリント枚数（00〜99枚）を入力し、◉を押す。

●最大99枚まで指定できます。

■指定の解除：「00」入力➡◉

4 操作2〜3をくり返し、静止画と枚数を指定する。

5 ▭（完了）を押す。

プリント枚数が指定されます。

注意▶
- ●802SHでは、他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）は変更できません。
- ●他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）があるときに、802SHでプリント指定を行うと、以前設定されていたプリント指定は消去されます。
- ●デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
- ●プリント指定する画像数が多いと、プリント指定に時間がかかることがあります。
- ●パソコンなどでSDメモリカード内の画像を削除したり名前の変更を行うと、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、枚数一括解除を行ってからプリント指定し直してください。

DPOFの便利な機能

日付付加指定 デジタルカメラフォルダ内の静止画をプリントするときに日付を付けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ ツール ➡ プリント指定（DPOF）➡ 全フォルダ共通設定

「日付付加指定」選択➡◉➡「On」（日付あり）／「Off」（日付なし）選択➡◉

インデックスプリント指定 静止画の画像一覧を並べたインデックスプリントが、必要かどうかを設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ ツール ➡ プリント指定（DPOF）➡ 全フォルダ共通設定

「インデックスプリント指定」選択➡◉➡「On」（必要）／「Off」（不要）選択➡◉

指定状況確認 印刷画像数や総印刷枚数などのプリントの指定状況を確認します。

メニュー ▶ ツール ➡ プリント指定（DPOF）➡ 全フォルダ共通設定

「プリント指定状況確認」選択➡◉

●登録が終わっていない枚数設定があると「**印刷画像数**」、「**総印刷枚数**」に「✱✱✱」が表示されます。

枚数一括設定 デジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定できます。

メニュー ▶ ツール ➡ プリント指定（DPOF）➡ 全フォルダ共通設定

枚数の一括指定

「枚数一括設定」選択➡◉➡プリント枚数（01〜99枚）入力➡◉

指定した枚数の一括解除

「枚数一括解除」選択➡◉➡▭（Yes）

電子ブック

SDメモリカードに保存されている電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧できます。

- 電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索できる「**辞書データ**」があります。
- 電子ブックにご利用いただける書籍データの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞P.13-11）でご案内しています。
- 書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、802SHではご利用になれないものもあります。

書籍データを読む

メニュー ▶ ツール

1 「電子ブック」を選び、◉を押す。

電子ブックフォルダ内の書籍データのリスト画面が表示されます。（前回⌒を押して閲覧を終了していたときは、終了時のページが表示されます。）

- 音楽再生中：確認画面表示 ➡ ⌒（Yes）（リスト画面または前回閲覧中の画面へ）
- 電子ブックフォルダ以外のフォルダ内の電子ブックの閲覧：⌒（**メニュー**）➡「**表示フォルダ切替**」選択 ➡ ◉ ➡ フォルダ選択 ➡ ◉
  （次回からもここで選択したフォルダが表示されます。）
- タイトルや著者などの情報表示：⌒（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択 ➡ ◉

2 データを選び、◉を押す。

- ディスプレイ上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。
- パスワードが必要なデータ：パスワード入力 ➡ ◉ ➡ 閲覧画面へ

3 閲覧を終わるときは、⌒を押す。

- 次回電子ブックを起動すると、終了時の書籍データで閲覧されていたページから表示されます。

注意 ▶

- 一時停止中のＶアプリがあるときや音楽を再生しているときは、書籍データは読めません。
- 次のときは、電子ブックは自動的に終了します。
  - 着信があったとき／アラーム設定時刻になったとき／電池残量が少なくなったとき／閲覧中に約5分間操作しなかったとき
- リスト表示画面では、拡張子が「zbf」、「zbk」、「txt」、「text」のファイルだけが表示されます。
- 改訂データには対応していません。

フォルダ／ファイルの利用

■フォルダの作成

書籍データのリスト画面で（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉

■フォルダ／ファイル名の変更

書籍データのリスト画面でフォルダ／ファイル選択➡（メニュー）➡「名前変更」選択➡◉➡フォルダ／ファイル名入力➡◉

■フォルダ／ファイルの削除

書籍データのリスト画面でフォルダ／ファイル選択➡（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡（Yes）

■ファイルの移動

書籍データのリスト画面でファイル選択➡（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡移動先選択➡◉➡◉

閲覧画面での基本操作

■横書きか、縦書きかによって操作が異なります。

	横書き	縦書き
上	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
下	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
左	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
右	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

閲覧画面でできること

■データの先頭や最後に移動

（メニュー）➡「先頭へ」／「最後へ」選択➡◉

■先頭からおおよその位置を%で指定して、移動

（メニュー）➡「%指定移動」選択➡◉➡位置（00～99%）入力➡◉

■目次を利用し、読む章を表示（目次に対応した書籍データで利用可能）

（メニュー）➡「目次」選択➡◉➡章選択➡◉

■しおりの利用：☞P.11-26

■閲覧画面の表示方法

（メニュー）➡「表示設定」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容選択➡◉

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ	文字サイズを「小」、「やや小」、「中」、「やや大」のいずれかに設定します。	中
縦横設定	縦書きと横書きを切り替えて表示します。	縦書き
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定します。	Off

- 書籍データによっては、上記の表示設定が利用できないことがあります。

情報の利用／文字列のコピー

■書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用できます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）

情報選択➡⌒（メニュー）➡「リンクへ」選択➡◉➡⌒（Yes）➡電話発信画面／メール作成画面／インターネット接続画面表示

- データの内容によっては、利用できないことがあります。

■書籍データ内の文字列（最大20文字）を、他の場所にコピーできます。

閲覧画面で⌒（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡（以降の操作：☞P.3-14）

- ■ 辞書データ内の辞書見出し画面や検索結果リスト表示画面などはコピーできません。
- ■ ルビ文字や画像などはコピーできません。

マスク情報／ジャンプ情報

■書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）やコンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれていることがあります。

- マスク情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、文字列や画像のマスクが反転します。再度◉を押すと、文字列または画像が表示されなくなります。
- ジャンプ情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで⌒（**戻る**）を押すと、元のページに戻ります。

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登録しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧できます。

- しおりは1書籍につき最大2個（最大5書籍）まで登録できます。

1 しおりを登録するページで、⌒（メニュー）を押す。

2 「しおりをはさむ」を選び、◉を押す。

3 「しおり１」または「しおり２」を選び、◉を押す。

指定したページにしおりが登録されます。

自動しおり

■書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登録されます。（自動しおり１）

次に同じ書籍データの閲覧を行い終了すると、最後に表示していたページが自動しおり１に登録され、前回の自動しおり１は自動しおり２に登録されます。

- 自動しおりは１書籍につき最大２個まで登録され、古いものから順に自動的に消去されます。
- 書籍データの閲覧中に着信があったときも、電子ブックは自動的に終了されます。（上記と同様に、自動しおり１が付きます。）

しおりを登録したページの表示

■閲覧画面で次の操作を行います。

⌒（メニュー）➡「しおりへ」選択➡◉➡「しおり１」／「しおり２」／「自動しおり１」／「自動しおり２」選択➡◉

ツール

11

書籍データ内の画像を利用する

画像の壁紙設定 書籍データ内の画像を壁紙に設定します。

メニュー ▶ ツール ➡ 電子ブック ➡ 書籍データを閲覧する

画像選択➡(メニュー)➡「壁紙登録」選択➡◉➡(OK)

- 画像によっては、壁紙に設定できないものがあります。

画像内情報の利用 画像に埋め込まれた情報を利用します。

メニュー ▶ ツール ➡ 電子ブック ➡ 書籍データを閲覧する

画像選択➡(メニュー)➡「リンクへ」/「マスクの切替」/「動画の実行」選択➡◉

リンクへ	ジャンプ情報では、書籍内の他のページへジャンプします。ウェブへのアクセスやメール送信など、リンク情報を実行するときは、電子ブックの終了確認が表示されます。 (情報の利用/文字列のコピー:☞P.11-26)
マスクの切替	隠された特定の文字列または画像を表示します。
動画の実行	指定のパラパラアニメが動きます。

辞書データを利用する

文字列の検索 辞書データを利用して言葉の意味などが検索できます。

メニュー ▶ ツール ➡ 電子ブック

辞書選択➡◉➡検索文字列の入力欄選択➡◉➡文字列入力➡◉

- 検索結果画面から情報を選び、◉を押すと、辞書データの項目が表示されます。
- 項目画面での操作は、閲覧画面での基本操作(☞P.11-25)を参考にしてください。

辞書データ/書籍データの情報の確認 辞書データや書籍データの情報を確認します。

メニュー ▶ ツール ➡ 電子ブック ➡ データを閲覧する

(メニュー)➡「プロパティ」選択➡◉

ガイド機能

メニュー操作以外の機能の操作方法を表示します。

1 「ガイド機能」を選び、◉を押す。

ガイド機能画面が表示されます。

2 ⇕を押す。

別の機能の操作説明が表示されます。

3 確認を終わるときは、⌐（戻る）を押す。

ツール

11

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。

- 電波の届かない場所では、802SHからは操作できません。
- 一般電話からの操作、サービスの詳細については「**3Gガイドブック**」をご覧ください。

転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。（☞右記）
留守番電話サービス	電波の届かない場所や電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞**P.12-4**）
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけられます。また、相手を切り替えることもできます。（☞**P.12-5**）
多者通話サービス※	２人での通話中に他の相手に電話をかけ、最大６人同時に通話できます。また、相手を切り替えながら交互に通話できます。（☞**P.12-6**）
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受けたりすることを状況にあわせて制限できます。（☞**P.12-7**）
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。（☞**P.12-10**）

※別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

あらかじめ設定した条件（転送条件、着信の種類）に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。

- 転送条件は次のものが選択できます。

呼出なし転送	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。
着信／通話中転送	通話中は自動的に転送します（割込通話サービス解除時）。また、着信中はお客様の操作で転送します。
呼出あり転送	設定した呼出時間内に電話にでなかったときに転送します。
電源Off／圏外時転送	電源Off／圏外時の着信をすべて転送します。

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。
- 発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）

転送電話サービス開始 転送電話サービスを開始します。

メニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 留守番・転送電話 ▶ 転送条件を選ぶ

「On」選択▶◉▶「電話番号入力」選択▶◉▶転送先電話番号入力▶◉▶呼出し時間選択▶◉

■着信の種類を選択：「サービス選択」選択▶◉▶通話の種類選択▶◉

- 呼出し時間は、転送条件が「呼出あり転送」のとき設定できます。
- 一般電話へ転送するときは、電話番号を市外局番から入力してください。

補足▶ **転送先として登録できない電話番号**

- 「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- 「00」から始まる電話番号（例：001、0041から始まる国際電話番号など）
- 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス停止 転送電話サービスを停止します。

メニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 留守番・転送電話 ▶ 転送条件を選ぶ

転送条件ごとに停止する

「Off」選択▶◉

すべての転送設定を消去する

「全転送停止」選択▶◉▶(Yes)

- すべての転送設定を停止すると、留守番電話サービスの設定も消去されます。
- 接続中のメッセージが表示されたあと、停止の確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス設定確認 転送電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 留守番・転送電話 ▶ 転送条件を選ぶ

「設定確認」選択▶◉▶通話の種類選択▶◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

転送電話サービス開始後に着信があると

■着信音が鳴っている間にを押すと、そのまま通話できます。

留守番電話サービス

あらかじめ設定した条件（転送電話サービスと同様：☞P.12-2）に従って、かかってきた電話を留守番電話センターに転送します。

- 留守番電話センターへの転送には、転送電話サービスを利用します。そのため、留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- 留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は、「**3G ガイドブック**」をご覧ください。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。
- 発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）

留守番電話サービス開始　留守番電話サービスを開始します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 転送条件を選ぶ

「On」選択➡◉➡「**留守番電話サービス**」選択➡◉➡**留守番電話センター番号が表示**➡◉➡**呼出し時間選択**➡◉

■留守番電話センター番号を変更：留守番電話センター番号表示中に ⌒（**メニュー**）➡「**センター番号変更**」選択➡◉➡番号変更（お買い上げ時：09066517000）➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
- 呼び出し時間は、転送条件が「**呼出あり転送**」のときに設定できます。

留守番電話サービス停止　留守番電話サービスを停止します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 転送条件を選ぶ

転送条件ごとに停止する

「Off」選択➡◉

すべての転送設定を消去する

「**全転送停止**」選択➡◉➡ ⌒（Yes）

- すべての転送設定を停止すると、転送電話サービスの設定も消去されます。
- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

留守番電話サービス設定確認　留守番電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 転送条件を選ぶ

「**設定確認**」選択➡◉➡**通話の種類選択**➡◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

■着信音が鳴っている間に ⌒ を押すと、そのまま通話できます。

伝言メッセージ再生	留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

メニュー ▶ メール ▶ 留守番電話

「留守番電話再生」選択➡◉

● 留守番電話センターに接続後は、アナウンスに従って操作します。
● 待受画面で1を長く（1秒以上）押しても、留守番電話センターに接続できます。
  ■ 終了：

補足▶ 「」は802SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。

割込通話サービス

別途お申し込みが必要です。

割込通話サービス設定／解除	割込通話サービスを設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 割込通話

「On」／「Off」選択➡◉

● ネットワーク接続後、確認メッセージが表示されます。

割込通話サービス設定確認	割込通話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 割込通話

「設定確認」選択➡◉

● 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

割込通話着信	通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら

■ 保留中の相手との通話：（**切替**）
■ 通話する相手の切替：（**切替**）

割込通話中に、を押すか、802SHを閉じると

■すべての通話が切れます。

割込通話中に、通話中の相手が電話を切ると

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴ります。を押すと、保留中の相手との通話になります。

補足▶
● 割込通話サービスをご利用中は、通話中に着信があっても、バイブレータは動作しません。（着信音も鳴りません。）専用の割り込み音が聞こえ、着信中のメッセージが表示されます。
● 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスで「**呼出なし転送**」に設定しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

多者通話サービス

別途お申し込みが必要です。

通話中発信	通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号を入力➡

- 相手につながると、通話できます。それまで通話していた相手は、保留になります。
- 電話帳、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を使ってかけることもできます。

切替通話	相手を切り替えながら通話します。

通話中に

- それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。

切替通話中に、を押すか、802SHを閉じると

■すべての通話が切れます。

切替通話中に、通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴ります。を押すと、保留中の相手との通話になります。

多者間通話	複数で同時に通話できます。（最大６人）

切替通話中に（メニュー）➡「多者間通話」選択➡◉➡「全てと通話」選択➡◉

多者通話中に、を押すか、802SHを閉じると

■全員の電話が同時に切れます。

多者通話中に、通話中の相手が電話を切ると

■残された相手との通話になります。

発着信規制サービス

電話をかけたり、電話を受けたりすることをSMSも含めて制限します。
規制内容は次のとおりです。

発信規制	全発信規制	緊急通話を除くすべての電話をかけられないようにします。
	国際発信全規制※1	滞在国以外への電話をかけられないようにします。
	国際発信規制※2	滞在国と日本以外への国際電話をかけられないようにします。
着信規制	全着信規制	すべての電話を受けられないようにします。
	国際着信規制	日本以外で電話を受けられないようにします。

※1 例：イギリス滞在中➡イギリス国内へだけ発信可能
※2 例：イギリス滞在中➡イギリス国内および日本国内へ発信可能

また、発信先や着信元を規制したり、電話番号非通知の着信を拒否することもできます。

発信先固定	あらかじめ設定した相手だけにしか発信できないようにします。
着信拒否番号	あらかじめ設定した相手からの電話をつながらないようにします。
非通知着信規制	電話番号非通知の電話をつながらないようにします。

注意▶

- 発着信規制サービスの操作には、ご契約時にお決めいただいた「**発着信規制用暗証番号**」（☞P.1-33）が必要です。
- 発着信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-32）までご連絡ください。
- 「**転送電話サービス**」または「**留守番電話サービス**」を設定中は、「**全発信規制**」および「**全着信規制**」はご利用になれません。（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます。）
  - ■ 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを設定中に「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定すると、転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定されていないサービスに対して、発着信規制が設定されます。

補足▶

発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発信規制を設定する

発信規制の設定	規制内容と規制する発信の種類を選び、発信規制を設定します。

メニュー ➡ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 発信規制

規制内容選択 ➡ ◉ ➡ 発信の種類選択 ➡ ◉ ➡「On」選択 ➡ ◉ ➡ 発着信規制用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉

発信規制の解除	発信規制を解除します。

メニュー ➡ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 発信規制

規制内容／発信の種類ごとに解除する

規制内容選択 ➡ ◉ ➡ 発信の種類選択 ➡ ◉ ➡「Off」選択 ➡ ◉ ➡ 発着信規制用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉

すべての発信規制を解除する

「全発信規制停止」選択 ➡ ◉ ➡ 発着信規制用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉

発信規制の設定確認	発信規制の設定状況を確認します。

メニュー ➡ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 発信規制

規制内容選択 ➡ ◉ ➡ 発信の種類選択 ➡ ◉ ➡「設定確認」選択 ➡ ◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

発信先を制限する

発信先固定の設定	あらかじめ登録した相手（電話番号）にだけ発信できるようにします。

お買い上げ時 Off

メニュー ➡ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 発信先固定 ➡ On／Off設定

「On」／「Off」選択 ➡ ◉ ➡ PIN2コード入力 ➡ ◉

発信許可電話番号の登録	発信を許可する電話番号を登録します。

メニュー ➡ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 発信先固定 ➡ ダイヤルリスト編集

新たに電話番号を登録する

登録する場所を選択 ➡ ◉ ➡ PIN2コード入力 ➡ ◉ ➡ 電話番号を入力 ➡ ◉

登録した電話番号を修正する

修正する電話番号を選択 ➡ ⌒（メニュー）➡「編集」選択 ➡ ◉ ➡ PIN2コード入力 ➡ ◉ ➡ 電話番号を修正 ➡ ◉

登録した電話番号を削除する

削除する電話番号を選択 ➡ ⌒（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ◉ ➡ PIN2コード入力 ➡ ◉ ➡ ⌒（Yes）

着信規制を設定する

着信規制の設定／解除 着信規制を設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 着信規制

規制内容／発信の種類ごとに設定／解除する

規制内容選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

すべての着信規制を解除する

「全着信規制停止」選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

着信を拒否する

着信拒否の設定 あらかじめ登録した相手からの着信を拒否します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否番号 ➡ On／Off設定

「On」／「Off」選択➡◉

着信拒否電話番号の登録 着信を拒否する電話番号を登録します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否番号 ➡ 拒否番号リスト

新たに電話番号を登録する

登録する場所を選択➡◉➡電話番号を入力➡◉

- 電話帳を利用した登録：登録場所を選択 ➡㊂（メニュー）➡「電話帳読出」選択➡◉➡電話帳を選択➡◉➡電話番号を選択➡◉

- 電話帳を利用して登録したときは、登録している相手の名前が表示されます。

登録した電話番号を修正する

修正する電話番号を選択➡㊂（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡電話番号を修正➡◉

登録した電話番号を削除する

削除する電話番号を選択➡㊂（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊂（Yes）

電話番号非通知の着信を拒否する

非通知着信規制 電話番号非通知の着信を拒否します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 非通知着信規制

「On」／「Off」選択➡◉

発着信規制用暗証番号を変更する

発着信規制用暗証番号変更　発着信規制用暗証番号を変更します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 暗証番号変更

現在の発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡新しい発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡もう一度新しい発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知に設定するサービスです。

- ここでの設定にかかわらず、電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルすると、発信ごとに電話番号の通知／非通知を選択することができます。

通知	1 8 6 または * 3 1 #
非通知	1 8 4 または # 3 1 #

発信者番号通知／非通知設定　発信時の電話番号の通知／非通知を設定します。

お買い上げ時 On（通知／表示）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発番号通知・表示

「On」／「Off」選択➡◉

発信者番号通知サービス設定確認　発信者番号通知サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発番号通知・表示

「設定確認」選択➡◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

Vodafone live!

Vodafone live! をご利用になる前に

Vodafone live!概要

Vodafone live!（以下「**ボーダフォンライブ！**」と表記）とは、ボーダフォンライブ！対応の携帯電話を利用して、ウェブ、メール、Vアプリが行える通信サービスです。

■ウェブ

さまざまな内容のコンテンツにアクセスできるインターネット接続サービスです。情報の検索や、画像／サウンドの取得などボーダフォン携帯電話だけで利用できます。

メニューからアクセス

ボーダフォンウェブのメニューを選択して、必要な情報を入手できます。

インターネット接続

URLを入力して、インターネットのホームページから情報を入手できます。

- ウェブを利用するには、別途ご契約が必要です。

■メール

海外でも日本国内と同じように文字メッセージをやりとりできます。

SMS

ボーダフォン携帯電話どうしでご契約の電話番号を宛先として、短いメッセージを送受信できます。

MMS

ボーダフォン携帯電話やパソコン、E-mailに対応している携帯電話などとの間で、長いメッセージや画像、サウンド、vファイルなどを送受信できます。

- MMSの利用とE-mailの受信を行うには、別途ご契約が必要です。

■Vアプリ

ゲームや3D画像などのいろいろなアプリケーションをダウンロードして利用できます。

ウェブでダウンロード	ネットワーク接続型Vアプリ	Vアプリ待受
Vアプリを提供しているウェブの情報画面からダウンロードして、利用できます。	ネットワーク接続型のゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報が入手できます。	Vアプリを待受画面に設定できます。

- 802SHでは、ボーダフォン携帯電話専用のVアプリだけ利用できます。
- Vアプリの利用には、別途ご契約が必要です。

補足▶ 各サービスの通信料や詳細は、「**3Gガイドブック**」をご覧ください。

ネットワーク情報を取得する（ネットワーク自動調整）

ボーダフォンライブ！をご利用になるには、ネットワークに接続する情報などをセンターから取得する必要があります。お買い上げ後、はじめて〔→〕、〔←〕、◉を押すと、ネットワーク自動調整の画面が表示されますので、次の操作を行ってください。

- ネットワーク情報は、手動で取得することもできます。（☞P.9-18「再設定」）

1 **〔→〕、〔←〕、◉のいずれかを押す。**

ネットワーク自動調整の画面が表示されます。

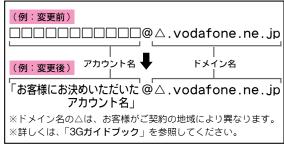
2 **〔→〕（Yes）を押す。**

ネットワーク情報の取得および更新が始まります。

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

■取得中止：〔←〕（**キャンセル**）

（次に〔→〕、〔←〕、◉のいずれかを押したときに、ネットワーク自動調整の画面が表示されます。）

メールアドレスの変更

- この操作は、ウェブを利用します。
- 迷惑メール防止のためにも、メールアドレスの変更をおすすめします。

メニュー ▶ Vodafone live!

1 **「My Vodafone」を選び、◉を押す。**

2 **「各種変更手続き」を選び、◉を押す。**

3 **「オリジナルメール設定」を選び、◉を押す。**

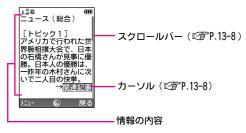
- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

■ 情報画面での操作：☞P.13-8

■ 交換機用暗証番号：☞P.1-33

ウェブをご利用になる前に

情報画面

ウェブの情報画面は、次のような構造になっています。

キャッシュメモリ（一時保存用のメモリ）

■ウェブで入手したメニューや情報は、「**キャッシュメモリ**」に一時保管されます。キャッシュメモリの容量は、あらかじめ定められていて、メモリが一杯になると古い情報から順に自動的に消去されます。

- 一度見た情報画面を再度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュメモリに一時保存されている情報が表示されることがあります。
- 有効期限が指定されている情報は、有効期限を過ぎるとキャッシュメモリから消去されます。

■SSL

SSL（Secure Socket Layerの略）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。一般的に、クレジットカードの番号や個人情報など、大切な情報を送受信する際に使用されます。
802SHでは、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されています。この証明書の内容を確認することもできます。（☞P.13-18）

SSL利用に関するご注意

■セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSLを利用することに同意されたものとします。
お客様自身によるSSLの利用に際し、ボーダフォンおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社、エントラストジャパン株式会社は、お客様に対しSSLの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。
万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承願います。

ウェブにアクセスする

情報の入手方法を説明します。

メニューからアクセスする

ボーダフォンウェブのメニューから項目を選び、情報を入手します。

●あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.13-4）

1 ◉を押したあと、「Vodafone live!」を選び、◉を押す。

ボーダフォンウェブのメニューが表示されます。

●待受画面で ⌐（Ⓥ）を押しても、ボーダフォンウェブのメニューが表示されます。

●ボーダフォンウェブのサービス内容については、「**3Gガイドブック**」をご覧ください。

●ボーダフォンウェブのメニューは、変更されることがあります。

2 項目にカーソルを移動する。

3 ◉を押す。

●通信中に802SHを閉じても、通信は中断されません。

■通信中止：通信中に CLEAR/BACK

4 操作2〜3と同様の操作をくり返し、読みたい項目を順に選ぶ。

■情報画面での操作：☞P.13-8

5 ウェブを終了するときは、⌐を押したあと、⌐（Yes）を押す。

前／次の情報画面の表示

■前に表示した情報画面に戻るときは、次の操作を行います。

⌐（**戻る**）

■元の画面に戻る：上記操作のあと ⌐（**メニュー**）➡「**進む**」選択➡◉

セキュリティで保護されている情報画面の表示

■SSL／TLSに対応している情報画面を表示しようとすると、確認画面が表示されます。このときは、次の操作を行います。

⌐（OK）

● ディスプレイ上部に「🔒」が表示されます。

● 確認画面を表示しないように設定することもできます。（☞P.13-18）

認証要求時の操作

■情報画面によっては、接続のために認証（ユーザIDやパスワードの入力）を要求されることがあります。このときは、次の操作を行います。

ユーザID／パスワード入力➡◉

補足▶ ボーダフォンウェブのメニューや情報画面がキャッシュメモリ（☞P.13-5）に保存されているときは、サービスセンターとの通信は行わず、保存されている内容が表示されることがあります。

URLを入力してアクセスする

URLを入力して、情報画面を表示します。

●あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.13-4）

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（☐）➡ インターネットアクセス

1 ◉を押す。

■アドレスヘッダ（「http://」など）を簡単に入力：☐（メニュー）➡「**アドレスヘッダ選択**」選択➡◉➡入力する項目選択➡◉

2 ホームページのURLを入力し、◉を押す。

3 ☐（メニュー）を押す。

4「OK」を選び、◉を押す。

情報画面が表示されます。

5 接続を終わるときは、☐を押したあと、☐（Yes）を押す。

注意▶ インターネットのホームページによっては、情報を入手できないことがあります。また、画像表示などパソコンで見る内容と異なることがあります。

履歴を利用してアクセスする

これまでに表示した情報画面の履歴を利用して、情報画面を表示します。

●あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.13-4）

●履歴には、最大10件のドメインが記憶されます。1件のドメイン内には、最大30件の情報画面が記憶されます。最大件数を超えたときは、古いドメイン／情報画面から順に自動的に削除されます。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（☐）➡ 履歴

1 ドメインを選び、◉を押す。

2 履歴を選び、◉を押す。

■履歴の情報確認：履歴選択➡☐（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉

■確認終了：☐（**戻る**）

■URLをメールで送信：履歴選択➡☐（**メニュー**）➡「**URLをメール送信**」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.14-7～P.14-8）

3 接続を終わるときは、☐を押したあと、☐（Yes）を押す。

履歴の削除

■履歴を削除するときは、ドメイン／情報画面のリスト画面で、次の操作を行います。（「**全件削除**」のときは、ドメイン／情報画面の履歴を選ぶ必要はありません。）

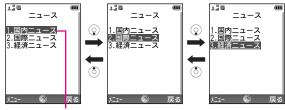
ドメイン／情報画面の履歴選択➡☐（メニュー）➡「削除」／「全件削除」選択➡◉➡☐（Yes）

●情報画面のリスト画面で、全件削除を行うと、同じドメイン内の履歴がすべて削除されます。

情報画面での操作のしかた

カーソルを移動する

ウェブの画面では、カーソルを移動して項目を選びます。選べる項目にはアンダーラインが付いています。

を押すと、カーソルが１段ずつ下または上に移動します。

また、同じ行に複数の項目があるときは、を押すとカーソルが右または左に移動します。

●選べる項目がないときは、カーソルは表示されません。

画面を切り替える

下画面や上画面があるときは、画面の右にスクロールバーが表示されます。スクロールバーの赤色の部分が現在表示されている位置です。

を押すと、続きの画面が表示され、スクロールバーの赤色の部分も移動します。

スクロールバー

ニュース（総合）

［トピック１］
アメリカで行われた世界腕相撲大会で、日本の石橋さんが見事に優勝。日本人の優勝は、一昨年の木村さんに次いで二人目の快挙。
→関連記事

メニュー　戻る

情報画面内の文字入力や項目選択

入手した情報によっては、下の画面例のように、文字を入力したり、選択ボタンやメニューで項目を選択して、情報を返信できるものもあります。

文字入力欄

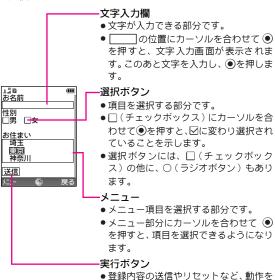
- 文字が入力できる部分です。
- □の位置にカーソルを合わせて◉を押すと、文字入力画面が表示されます。このあと文字を入力し、◉を押します。

選択ボタン

- 項目を選択する部分です。
- □（チェックボックス）にカーソルを合わせて◉を押すと、☑に変わり選択されていることを示します。
- 選択ボタンには、□（チェックボックス）の他に、○（ラジオボタン）もあります。

メニュー

- メニュー項目を選択する部分です。
- メニュー部分にカーソルを合わせて◉を押すと、項目を選択できるようになります。

実行ボタン

- 登録内容の送信やリセットなど、動作を選択する部分です。
- □の位置にカーソルを合わせて◉を押すと、□内の動作を行います。

文字入力欄への文字入力時（インプットメモリ）

■情報画面の文字入力欄に入力した文字は、自動的にインプットメモリに登録されます。登録されたインプットメモリは、必要なときに呼び出して利用できます。（入力した暗証番号や、セキュリティで保護されている情報内で入力した文字は、登録されません。）

■インプットメモリは、新しいものから最大20件まで記憶されています。20件を超えたときは、古いインプットメモリから順に消去されます。

インプットメモリの利用

■文字入力できる状態で、次の操作を行うと、選んだインプットメモリが、文字入力欄に入力されます。

（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「インプットメモリ」選択➡◉➡インプットメモリ選択➡◉

情報画面内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

情報画面に電話番号（先頭に「TEL:」が付いている番号）やE-mailアドレスが含まれているときは、その画面から電話をかけたり、MMSを送信できます。また、URL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）が含まれているときには、インターネットに接続できます。

- アンダーラインが付いていないときは、利用できません。
- 電話番号やE-mailアドレス、URLが表示されていなくても、操作できることもあります。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

1 電話番号やE-mailアドレス、URLが含まれている情報画面を表示する。

2 *電話番号を利用する*

1 電話番号を選び、◉を押す。

2「発信」または「TVコール」を選び、◉を押す。

電話番号がダイヤルされます。

E-mailアドレスを利用する

1 E-mailアドレスを選び、◉を押す。

■ メールの作成：☞P.14-7～P.14-8

URLを利用する

1 URLを選び、◉を押す。

インターネットに接続されます。

- 「rtsp://」で始まるアドレスのときは、動画／音楽がストリーミングで再生されます。（☞P.13-14）

電話帳への登録

■情報画面で、次の操作を行います。

電話番号選択➡◉➡「電話帳に登録」選択➡◉➡「新規作成」選択➡◉➡P.4-3～P.4-5

■ 追加登録時：電話帳選択➡◉➡（保存）

情報の利用

情報内のファイルをデータフォルダに保存する

情報内の画像やサウンド、vファイルなどをデータフォルダに保存します。

情報画面に含まれるファイルを保存する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（⊡）

1 「ファイル保存」を選び、◉を押す。

ファイル保存リストが表示されます。

- ファイルの確認：ファイル選択➡⊡（**メニュー**）➡「**表示**」選択➡◉
  - ■ 確認終了：⊡（**戻る**）
- ファイルの情報確認：ファイル選択➡⊡（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉
  - ■ 確認終了：⊡（**戻る**）
- ファイルのメール添付送信：ファイル選択➡⊡（**メニュー**）➡「**送信**」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.14-7～P.14-8）

2 ファイルを選び、◉を押す。

データフォルダのリスト画面が表示されます。

- SDメモリカード内のデータフォルダに保存：データフォルダのリスト画面で◎
- 新しく作成したフォルダに保存：データフォルダのリスト画面で、フォルダ選択➡◉

3 「保存」を選び、◉を押す。

4 タイトル（ファイル名）を入力し、◉を押す。

- タイトル（ファイル名）を変更する必要がないときは、操作3のあと、⊡（OK）を押します。

5 ⊡（OK）を押す。

データフォルダに保存されます。

- データフォルダのメモリが一杯のときは、空き容量がない旨のメッセージが表示されます。不要なデータを削除（☞P.8-14）したあと、保存し直してください。

リンクからファイルを保存する

情報によっては、文字列などに設定されているリンクから、ファイルをダウンロードできるものもあります。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

1 リンクが設定してある文字列などを選び、◉を押す。

ダウンロードするファイルの情報が表示されます。

2 ◉を押す。

ダウンロードを開始します。ダウンロードが終わると、確認画面が表示されます。（ダウンロードしたファイルは、該当するデータフォルダに保存されます。）

- ダウンロード中止：ダウンロード中に⊡（**キャンセル**）

3 **◉を押す。**

ファイルが表示／再生されます。

■確認終了：☐（**戻る**）

ブックマーク／お気に入りを利用する

よく利用するURL／情報画面を「**ブックマーク**」、「**お気に入り**」に登録しておくと、簡単な操作で表示できます。各機能の違いは、次のとおりです。

機能名	機能の違い	フォルダでの管理
ブックマーク	情報画面のURLが登録されます。情報は、ウェブに接続することで確認できます。	○
お気に入り	情報画面そのものが登録されます。情報は、ウェブに接続せずに確認できます。	×

- ブックマークにあらかじめ登録されている「Space Town」には、壁紙やゲームなど多彩なコンテンツがあります。また、辞書ファイルのダウンロードもできます。
- お気に入りには、気になる情報をメモ代わりに登録すると便利です。

URL／情報画面を登録する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

1 **（メニュー）を押す。**

●「ブックマーク登録」が表示されないときは、ブックマークには登録できません。

2 ***ブックマークに登録する***

1「ブックマーク登録」を選び、◉を押す。
2 ◉を押す。
3 タイトルを入力し、◉を押す。
4 （OK）を押す。
5 ◉を押す。

■ 同名のブックマークあり：◉➡名前変更➡◉➡（OK）➡◉

お気に入りに登録する

1「その他」を選び、◉を押す。

●「お気に入りへ登録」が表示されないときは、お気に入りに登録できません。

2「お気に入りへ登録」を選び、◉を押す。
3 名前を入力し、◉を押す。
4 （OK）を押す。

URL入力でのブックマーク登録

■直接URLを入力してブックマークに登録するときは、情報画面で次の操作を行います。

（メニュー）➡「ブックマーク」選択➡◉➡（メニュー）➡「新規作成」選択➡◉➡「新規ブックマーク」選択➡◉➡◉➡URL入力➡◉➡（メニュー）➡「OK」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡（OK）➡◉

登録した情報画面を表示する

メニュー ▶ Vodafone live!

1 **（メニュー）を押す。**

2 ***ブックマークを表示する***

1「ブックマーク」を選び、◉を押す。

■ ブックマークの情報確認：タイトル選択➡（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉
■ 確認終了：（戻る）

■ URLをメールで送信：タイトル選択➡（メニュー）➡「URLをメール送信」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.14-7～P.14-8）

ブックマークのリスト画面

お気に入りを表示する

1「その他」を選び、◉を押す。
2「お気に入り」を選び、◉を押す。

■ お気に入りの更新：（メニュー）➡「更新」選択➡◉
■ お気に入りの情報確認：タイトル選択➡（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉
■ 確認終了：（戻る）
■ お気に入りの日付表示切替：タイトル選択➡（メニュー）➡「日付表示／タイトル表示」選択➡◉

お気に入り
駅前Map
ウサギのフォト
時刻表
スポーツ
ﾒﾆｭｰ 戻る

お気に入りのリスト画面

3 **タイトルを選び、◉を押す。**

ブックマーク／お気に入りの登録内容を編集する

- 登録内容の編集の操作は、ブックマークやお気に入りのリスト画面（☞P.13-12「登録した情報画面を表示する」操作2の画面）で行います。

タイトル名／フォルダ名の変更	タイトル名やフォルダ名（ブックマークだけ）を変更します。

ブックマーク／お気に入りのリスト画面で、タイトル／フォルダ選択➡Ⓢ（メニュー）➡「タイトル変更」選択➡◉➡◉➡タイトル名入力➡◉➡Ⓢ（OK）

削除	ブックマークやお気に入りを削除します。

ブックマーク／お気に入りのリスト画面で、タイトル／フォルダ選択➡Ⓢ（メニュー）➡「削除」／「全件削除」選択➡◉➡Ⓢ（Yes）

- フォルダを削除するときは、フォルダ内のブックマークをすべて削除してから操作してください。

URLの編集（ブックマーク）	ブックマークのURLを編集します。

ブックマークのリスト画面で、タイトル選択➡Ⓢ（メニュー）➡「URLの編集」選択➡◉➡◉➡URL入力➡◉➡Ⓢ（メニュー）➡「OK」選択➡◉

フォルダで管理（ブックマーク）	ブックマークをフォルダで管理します。

新規フォルダ作成

ブックマークのリスト画面で、Ⓢ（メニュー）➡「新規作成」選択➡◉➡「新規フォルダ」選択➡◉➡◉➡フォルダ名入力➡◉➡Ⓢ（OK）

フォルダに移動

ブックマークのリスト画面で、タイトル選択➡Ⓢ（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡移動先フォルダ選択➡◉

- フォルダが1件もないときは、「移動」は選択できません。

動画／音楽をストリーミングで再生する

動画や音楽のデータをダウンロードしながら同時に再生します。（ストリーミング）

- ストリーミングで再生できるのは、ストリーミング用のデータだけです。
- 受信したデータは、802SHには保存されません。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ プレイリストを表示する ➡ メニュー（）

1 「ストリーミング」を選び、◉を押す。

2 ***URLを入力して接続する***

1「URL入力」を選び、◉を押す。

2 URLを入力する。

- 最大半角英数字1024文字まで入力できます。

お気に入りを利用して接続する

1「お気に入り」を選び、◉を押す。

2 お気に入りを選ぶ。

アクセス履歴を利用して接続する

1「アクセス履歴」を選び、◉を押す。

2 履歴を選ぶ。

3 ◉を押す。

メディアプレイヤーが起動し、動画や音楽が再生されます。

■ 音楽の再生：☞P.7-3
■ 動画の再生：☞P.7-6

マナーモードを設定していると

■マナーモードを設定しているときに、メディアプレイヤーを起動すると、音声を出力するかどうかの確認画面が表示されます。

- （Yes）を押すと、メディアプレイヤーの設定音量で音声が出力されます。（メディアプレイヤーを終了すると、音声出力しない通常のマナーモードに戻ります。）
- 音声を出力せず、マルチステレオイヤホンマイクなどで聴くときは、（No）を押します。

表示サイズの変更

■操作１のあと、次の操作を行います。

「表示サイズ」選択➡◉➡「等倍」／「拡大」選択➡◉

お気に入り

■ストリーミング再生一時停止中に次の操作を行うと、接続したURLを、お気に入りとして登録できます。

（メニュー）➡「お気に入り」選択➡◉➡「お気に入りに追加」選択➡◉

- お気に入りは、最大99件まで登録できます。

■お気に入りのタイトルを編集するときは、操作１のあと、次の操作を行います。

「お気に入り」選択➡◉➡ お気に入り選択➡（メニュー）➡「タイトル編集」選択➡◉➡名前入力➡◉

- 最大128文字まで入力できます。

■お気に入りを削除するときは、操作１のあと、次の操作を行います。

「お気に入り」選択➡◉➡ お気に入り選択➡（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡（Yes）

Vodafone live!
13

アクセス履歴

■802SHには以前、ストリーミング再生時に接続したURLが、最大10件まで記憶されます。10件を超えたときは、古い履歴から順に自動的に削除されます。

■アクセス履歴の詳細を確認するときは、P.13-14操作１のあと、次の操作を行います。

「**アクセス履歴**」選択➡◉➡ 履歴選択➡〔メニュー〕（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉

■ 確認の終了：〔戻る〕（**戻る**）

■アクセス履歴のURLを編集して、接続するときは、P.13-14操作１のあと、次の操作を行います。

「**アクセス履歴**」選択➡◉➡ 履歴選択➡〔メニュー〕（**メニュー**）➡「**URL編集**」選択➡◉➡URL編集➡◉

■アクセス履歴を削除するときは、P.13-14操作１のあと、次の操作を行います。

「**アクセス履歴**」選択➡◉➡〔メニュー〕（**メニュー**）➡「**全件削除**」選択➡◉➡〔Yes〕（**Yes**）

注意▶ ストリーミング一時停止中も、ウェブへの接続は保持されます。

情報表示中の各種操作

情報の更新　情報を最新の内容に更新します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（〔メニュー〕）

「**更新**」選択➡◉

URLをメールで送信　情報画面のURLをメールで送信します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（〔メニュー〕）➡ その他 ➡ URLをメール送信

メール作成／送信（☞P.14-7〜P.14-8）

プロパティ　情報の詳細を確認します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（〔メニュー〕）➡ その他

「**プロパティ**」選択➡◉

■ 情報画面に戻る：上記操作のあと〔戻る〕（**戻る**）

キャッシュ/Cookie／履歴の削除 キャッシュ／Cookie／履歴を削除します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（☐）
➡ その他 ➡ 保存情報削除

削除する項目選択➡◉

ページ内検索 情報画面内の文字を検索したり、情報画面の先頭や最後に移動します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（☐）
➡ その他 ➡ ページ内検索

文字列の新規検索

「テキスト検索」選択➡◉➡検索文字列入力➡◉➡☐（実行）

- 該当する文字列が複数あるときは、先頭の文字列だけが反転表示されます。

情報画面の先頭や最後への移動

「先頭へジャンプ」／「文末へジャンプ」選択➡◉

ブラウザの再起動 ブラウザを起動し直します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（☐）
➡ その他

「ブラウザ再起動」選択➡◉

ブラウザ情報の確認 ブラウザの詳しい情報を確認します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（☐）
➡ その他

「ブラウザについて」選択➡◉

■ 確認の終了：☐（戻る）

画像などのアップロード データフォルダ内の画像など各種ファイルを、サービスセンターへアップロード（送信）します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

アップロード操作のできる情報画面で、「参照」を選択➡◉➡データフォルダの画面表示➡画像などを選択（☞P.8-4）➡◉➡「送信」選択➡◉

- 上記の操作は、あくまでも一例です。詳しくは、情報画面の操作説明を参照してください。
- コンテンツによっては、アップロードに対応していないことがあります。

その他の機能

ウェブ関連の設定

Cookie Cookieの有効／無効を切り替えます。

お買い上げ時 許可する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ Cookie

「許可する」／「許可しない」選択➡◉

● Cookieとは、サーバー側で利用者を識別するための情報のことです。

テキストブラウズ 情報内の画像やサウンドを取得せずに、文字情報だけを表示します。

お買い上げ時 すべて取得（再生）する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ テキストブラウズ

「画像取得」／「サウンド取得」／「オブジェクト取得」選択➡◉➡「取得する」／「取得しない」（サウンドのときは「再生する」／「再生しない」）選択➡◉

ユーザID通知 情報取得時にユーザIDを自動的に送信します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ ユーザID通知

「On」／「Off」選択➡◉

スクロール単位の設定 情報画面がスクロールする単位を設定します。

お買い上げ時 行単位

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ スクロール単位

スクロール単位選択➡◉

文字サイズの設定 情報画面の文字サイズを設定します。

お買い上げ時 中

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ 文字サイズ

文字サイズ選択➡◉

ファイル保存先 ダウンロードファイルの保存先を設定します。

お買い上げ時 メモリカード優先

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ ファイル保存先

「本体メモリ」／「メモリカード優先」選択➡◉

●「メモリカード優先」に設定されている場合、SDメモリカードが挿入されていないときは、802SHに保存されます。
また、ファイルによっては、SDメモリカードに保存できないことがあります。

このほかに、位置情報を自動的に送信するかどうかの設定ができます。

●「位置情報設定」内の「測位On/Off設定」（☞P.10-13）が「Off」に設定されているときは、「位置情報設定」を「送信する」に設定しても、位置情報は送信されません。

セキュリティ設定

セキュリティ確認画面
SSL／TLS対応の情報画面と通常の情報画面の間を移動するとき、確認画面を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 表示する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ セキュリティ ➡ セキュリティ確認画面

「表示する」／「表示しない」選択➡◉

カレント証明書
現在表示されている情報画面の証明書を確認します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ セキュリティ

「カレント証明書」選択➡◉

■確認の終了： （戻る）

ルート証明書
802SHにあらかじめ登録されている、認証機関が発行した電子的な証明書を確認します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ セキュリティ ➡ ルート証明書

証明書選択➡◉

■確認の終了： （戻る）

認証
以前に入力したユーザID／パスワードを使って自動的に認証します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ メニュー（ ） ➡ その他 ➡ 設定 ➡ セキュリティ ➡ 認証

「On」／「Off」選択➡◉

メール受信

お客様に送られてきたメールは、自動的に受信されます。

新着メールを確認する

1 メールを受信すると、受信アニメーションのあと、受信画面が表示される。

受信したメールの種類に応じて、「✉」(SMS)または「✉」(MMS)が表示されます。

- 802SHがクローズポジションのときは、受信中にオープンポジションにすると、受信画面が表示されます。

受信画面

2 受信画面で、◉を押す。

受信メールボックスのリスト画面(☞P.14-19)が表示されます。

■ メール振り分け設定によって振り分けられたとき:フォルダ選択➡◉

3 メールを選び、◉を押す。

メッセージ画面(☞P.14-3)が表示されます。

■ 続きのあるMMSの受信:☞P.14-4

4 確認を終わるときは、⌒を押したあと、⌒(Yes)を押す。

メッセージ画面

インフォメーション

■受信時にメールを確認できなかったときは、待受画面に未読メールの件数が表示されます。(インフォメーション)
次の操作を行うと、メールを確認できます。
項目選択➡◉➡操作3以降

待受画面以外でメールを受信すると

■待受画面に戻ると、インフォメーションが表示されます。

補足▶ 受信画面が表示されていないときは、メールボックスから確認できます。(☞P.14-17)

メール 14

ビューアポジションでメールを確認する

ビューアポジション時に受信した新着メールを、サイドボタンを利用して確認します。

1 メールを受信すると、受信アニメーションのあと、受信画面が表示される。

受信したメールの種類に応じて、「」（SMS）または「」（MMS）が表示されます。

2 受信画面で、◎を押す。

受信メールボックスのリスト画面（☞P.14-19）が表示されます。

■ メール振り分け設定によって振り分けられたとき：フォルダ選択➡◎

3 ▷または◁でメールを選び、◎を押す。

メッセージ画面が表示されます。

4 確認を終わるときは、ⓒを押す。

受信メールボックスのリスト画面に戻ります。

■ 待受画面に戻る：ⓒ

メッセージ画面

送信元
- 電話番号／E-mail アドレスや名前が表示されます。
- 相手が電話帳未登録のMMSで、電話番号／E-mailアドレスにコメント（発信者名）が付いている場合は、コメントが表示されます。ただし、次のようなときは表示されません。
  - ■ MMS通知
  - ■ メールサーバーに蓄積されないMMSなど

メッセージの内容

MMSの続きを受信する

下記のいずれかに当てはまるMMSが送られてくると、サービスセンターに一時蓄積され、メッセージの一部（先頭部分）をお客様のボーダフォン携帯電話に送信します。

サービスセンターに一時蓄積される条件
- ■宛先が複数ある場合
- ■添付ファイルがある場合　など

- ●続きのあるMMS（MMS通知）は、受信メールボックスのリスト画面に「🅘」が表示されています。
- ●メールリストを利用して、MMSの続きを受信することもできます。（☞P.14-30）

1件ずつ受信する

メニュー ▶ メール ➡ 受信メール

1 メールを選び、☐（メニュー）を押す。

●「🅘」が表示されているメールを選んでください。

2「全文受信」を選び、◉を押す。

メールの取得が開始されます。

●取得が終わると、受信したメールが表示されます。

注意▶ 300Kバイトを超えるメールは、受信できません。

補足▶ 受信するメールのサイズを制限することもできます。（☞P.14-33）

複数のMMSの続きを一度に受信する

●指定した件数によっては、すべてのメールを取得できないことがあります。

メニュー ▶ メール ➡ 受信メール ➡ メニュー（⌒）

1「その他」を選び、◉を押す。

2「複数選択」を選び、◉を押す。

3 続きを取得するメールを選び、◉を押す。

メールの右端に「✓」が表示され、選択されます。

●「🅘」が表示されているメールを選んでください。

■選択解除：選択されているメール選択➡◉

4 操作3をくり返し、取得するメールをすべて指定する。

■すべて選択：⌒（メニュー）➡「全選択」選択➡◉

■すべて選択解除：⌒（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

5 ⌒（メニュー）を押す。

6「全文受信」を選び、◉を押す。

メールの取得が開始されます。

●取得が終わると、受信メールボックスが表示されます。

■受信中止：受信中に⌒（キャンセル）➡⌒（Yes）

受信したメールを利用する

●受信したメールの利用は、受信メールのメッセージ画面（☞P.14-3）で行います。

メールの返信	受信したメールを返信します。

受信メールのメッセージ画面で⌒（メニュー）➡「返信」／「全員に返信」選択➡◉➡P.14-23「メールを返信する」操作4以降

●件名には、返信を表す「Re:」が付きます。（MMSの場合）

●MMSで一度に送信できる宛先は、最大20人までです。

●「全員に返信」を選ぶと、すべての送信先（To／Cc）に同じ内容のメールを一度に返信することができます。（メールによっては、「全員に返信」が表示されないことがあります。）

メールの転送	受信したメールを転送します。

受信メールのメッセージ画面で⌒（メニュー）➡「転送」選択➡◉➡P.14-23「メールを転送する」操作5以降

●件名には、転送を表す「Fw:」が付きます。（MMSの場合）

●MMS通知ではサーバー内のメールを転送できます。（☞P.14-31）

電話の発信	ボーダフォン携帯電話から送信されたメールに対して、電話で返答します。

受信メールのメッセージ画面で⌒（メニュー）➡「電話をかける」選択➡◉

メール送信

メール作成の流れ

本文を入力する（☞P.14-8）

ファイルを添付する（MMS：☞P.14-9）

画　像	サウンド	ムービー
vファイル	その他	

宛先を入力する（☞P.14-12）

電話帳呼出	直接入力

件名を入力する（MMS：☞P.14-13）

メールを送信する

送信可能文字数

各送信メールタイプの送信可能文字数は、次のとおりです。

SMS	最大全角70文字（半角カナ70文字、半角英数字160文字）
MMS	全角約10000文字（半角カナ約10000文字、半角英数字約30000文字） （添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて最大300Kバイト）

- MMSの場合、宛先の件数や添付ファイルのデータ量によって、メッセージ本文の入力可能文字数は異なります。

補足▶ お買い上げ時、送信メールタイプは「**固定解除（自動設定）**」に設定されています。「**固定解除（自動設定）**」に設定されているときは、入力された文字数や添付ファイルの有無などに応じて、自動的に送信メールタイプが設定されます。送信メールタイプを「SMS」／「MMS」に固定することもできます。（☞P.14-14）

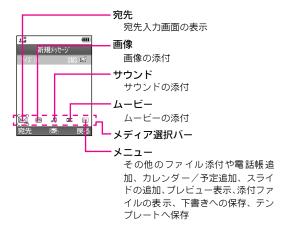
入力項目

各送信メールタイプで、メール作成の際に入力する項目は次のとおりです。

	本文	添付	宛先	件名
SMS	○	×	○	×
MMS	○	○	○	○

メディア選択バーについて

メール作成画面では、「**メディア選択バー**」が表示されます。メディア選択バーを利用すると、次の操作が行えます。

- メディア選択バーの項目は、メディア選択バーに「⸢⸥」が表示されているとき、◎で選ぶことができます。
「⸢⸥」が表示されていないときは、「⸢⸥」が表示されるまで◎を押してから選んでください。

- メディア選択バーに「⸢⸥」が表示されていないときに、⌒（**メニュー**）を押しても、上記と同様の操作を行えます。
本書では、メディア選択バーを利用した操作方法を中心に説明します。

操作手順

1 **◉を押したあと、「メール」を選び、◉を押す。**

- 待受画面で⌒（✉）を押しても、操作できます。

2 **「新規作成」を選び、◉を押す。**

メール作成画面が表示されます。

3 **本文の入力やファイルの添付を行う。**

メール作成画面

4 **メディア選択バーに「⸢⸥」が表示されるまで、◎を押す。**

- すでに「⸢⸥」が表示されているときは、操作５へ進みます。

5 **◎で、メディア選択バー内の「✉」（宛先）を選び、◉を押す。**

宛先入力画面が表示されます。

宛先入力画面

6 宛先を入力し、◉を押す。

送信設定画面が表示されます。

7 必要であれば、件名の入力やその他の設定を行う。

- メール作成画面に戻る：⌐（**戻る**）
- 送信オプションの設定：☞P.14-14
- 下書きに保存：☞P.14-15
- テンプレートに登録：☞P.14-16

送信設定画面

8「メッセージの送信」を選び、◉（✉）を押す。

メールが送信されます。

- 送信キャンセル：未送信メールボックス表示（☞P.14-17操作１）➡メール選択➡⌐（**メニュー**）➡「**キャンセル**」選択➡◉

メール作成中に着信があると

■通話終了後、メール作成画面に戻ります。

送信前にメールを確認する

■送信前に、メールがどのように表示されるかを確認するときは、送信設定画面で、次の操作を行います。

「**プレビュー表示**」選択➡◉

■ 確認の終了：⌐（**戻る**）

相手が電源を切っていたり、電波の届かないところにいると

■サービスセンターにメールが保管され、送信が終了するまでくり返し配信します。（リトライ機能）

●サービスセンターで保管する期間を設定できます。（☞P.14-14）
設定された有効期限内に相手が受信しないときは、メールが削除されます。

補足▶
- 送信中に802SHを閉じても、送信はキャンセルされません。
- 送信に失敗したメールは、未送信メールボックスに保存されます。（ディスプレイ上部に「✉」が表示されます。）

本文を入力する

メニュー▶**メール**

1「新規作成」を選び、◉を押す。

メール作成画面が表示されます。

2 メッセージを作成する。

最初に入力する文字のボタン（0～9、＊、＃）を押すと、自動的にメッセージ入力画面が表示されます。

- 文字入力モードの切替：☞P.3-2
- 送信可能文字数：☞P.14-6

メール作成画面

3 ◉を押す。

- メッセージの修正：本文入力欄選択➡◉➡修正➡◉
- 宛先入力画面へ：メディア選択バー内「✉」（**宛先**）選択➡◉➡P.14-12操作２以降

メール

14

署名の利用

■メッセージ入力画面で、次の操作を行います。

（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「署名」選択➡◉

- あらかじめ署名を登録しておいてください。（☞P.14-31）

文字色の変更

■メッセージ入力画面で、次の操作を行います。

（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「文字色」選択➡◉➡文字色選択➡◉

- 本文全体に対する色指定ができます。

補足▶
- 送信するメールのおおよそのデータ容量は、メール作成画面で確認できます。
- MMSのときは、宛先のアドレス分だけ送信可能文字数が減ります。

画像／サウンドファイルなどを添付する

画像やサウンド、vファイルなどを添付して送信します。

- メール本文などと合わせて、300Kバイトを超えるときは、添付できません。
- SDメモリカード内のデータフォルダから添付するときは、ファイルのリスト画面（☞P.8-4「データフォルダ内のファイルを確認する」操作1の画面）で、を押します。

メニュー ▶ メール ▶ 新規作成

1 メッセージ本文を入力する。

- メッセージ本文を入力せずに、ファイルを添付することもできます。

2 メディア選択バーに「」が表示されるまで、を押す。

- すでに「」が表示されているときは、操作3へ進みます。

3 ***画像を添付する***

1 で、「」（画像）を選び、◉を押す。

2「画像追加」を選び、◉を押す。

■添付する画像を撮影：「カメラ起動」選択➡◉➡◉（撮影）➡（保存）➡操作4へ

3 画像を選び、◉を押す。

■データサイズの大きいJPEG形式の画像選択時：サイズ選択➡◉

サウンドを添付する

1 で、「♫」（サウンド）を選び、◉を押す。

2「サウンド追加」を選び、◉を押す。

■添付するサウンドの録音：「ボイスレコーダー起動」選択➡◉➡◉（録音開始）➡◉（録音終了）➡「メール送信」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉➡操作4へ

3 サウンドを選び、◉を押す。

ムービーを添付する

1 ◎で、「▭」（ムービー）を選び、◉を押す。

2「ムービー追加」を選び、◉を押す。

■ 添付するムービーの撮影：「ビデオカメラ起動」選択➡◉➡◉（撮影開始）➡◉（撮影終了）➡「ムービー写メール（保存）」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉➡操作4へ

3 ムービーを選び、◉を押す。

電話帳を添付する

1 ◎で、「▤」（メニュー）を選び、◉を押す。

2「電話帳追加」を選び、◉を押す。

3 電話帳を選び、◉を押す。

サイズ表示の横に「▯」が表示されます。

- 添付した電話帳は、データフォルダの「**その他ファイル**」に保存されます。

その他のファイルを添付する

1 ◎で、「▤」（メニュー）を選び、◉を押す。

2「ファイル添付」を選び、◉を押す。

3 フォルダを選び、◉を押す。

4 ファイルを選び、◉を押す。

サイズ表示の横に、「▯」が表示されます。

4 メール作成が終われば、メディア選択バーに「⛶」が表示されるまで、◎を押す。

- すでに「⛶」が表示されているときは、操作5へ進みます。

5 ◎で、「✉」（宛先）を選び、◉を押す。

■ 宛先入力：☞P.14-12
■ 下書きに保存：☞P.14-15
■ テンプレートに登録：☞P.14-16

予定の添付

■メール作成画面で、次の操作を行います。

メディア選択バー内「▤」（メニュー）選択➡◉➡「カレンダー／予定追加」選択➡◉➡予定が登録されている日を選択➡◉➡予定選択➡◉

添付ファイルの変更

■ファイルが添付されているメール作成画面で、次の操作を行います。

ファイル選択➡▭（メニュー）➡「画像変更」／「サウンド変更」／「ムービー変更」選択➡◉➡ファイル選択➡◉

添付ファイルの削除

■ファイルが添付されているメール作成画面で、次の操作を行います。

ファイル選択➡▭（メニュー）➡「画像削除」／「サウンド削除」／「ムービー削除」選択➡◉

■ メッセージ本文の削除：本文入力欄選択➡▭（メニュー）➡「本文消去」選択➡◉

サウンド／ムービーの再生

■サウンド／ムービーが添付されているメール作成画面で、次の操作を行います。

サウンド／ムービー選択➡▭（メニュー）➡「再生」選択➡◉

表示の確認

■メール作成画面で、次の操作を行います。

メディア選択バー内「☰」（メニュー）選択➡◉➡「プレビュー表示」選択➡◉

■ 確認の終了：⌐（戻る）

添付ファイルの確認

■ファイルが添付されているメール作成画面（「📎」表示）で、次の操作を行います。

メディア選択バー内「☰」（メニュー）選択➡◉➡「添付ファイル表示」選択➡◉（リスト表示）

■ 添付ファイルの表示：上記操作のあと、ファイル選択➡◉
■ 添付ファイルの削除：上記操作のあと、ファイル選択➡⌐（メニュー）➡「削除」選択➡◉
■ 添付ファイルの全件削除：上記操作のあと、⌐（メニュー）➡「全件削除」選択➡◉➡⌐（Yes）

ファイル添付時のご注意

■ファイルを添付するときは、送信先が受信できる添付ファイルの形式や、送信先のサービス対応状況などをあらかじめご確認ください。

スライドを作成する

画像／サウンド／ムービーとメッセージ本文を組み合わせ、スライドを作成します。２件以上のスライドを作成すると、受信側で順に表示されます。

● １件のスライドには、次のいずれかの方法でファイルを登録できます。
■画像（１ファイル）＋サウンド（１ファイル）
■画像（１ファイル） ■サウンド（１ファイル）
■ムービー（１ファイル）

メニュー ➡ メール ➡ 新規作成

1 メッセージ本文の入力、画像／サウンド／ムービーの添付を行う。

2 メディア選択バーに「⛶」が表示されるまで、◎を押す。

● すでに「⛶」が表示されているときは、操作３へ進みます。

3 ◎で、「☰」（メニュー）を選び、◉を押す。

4 「スライド追加」を選び、◉を押す。

5 「前に追加」／「後ろに追加」を選び、◉を押す。

●「後ろに追加」を選ぶと、入力済のメッセージ本文、添付ファイルが１件目のスライドとなり、２件目のスライドが入力できる状態になります。

１件目のスライド

6 次のスライドを作成する。

● ３件目以降のスライドを作成するときは、操作２～６をくり返します。

7 **メール作成が終われば、メディア選択バーに「〔〕」が表示されるまで、◎を押す。**

●すでに「〔〕」が表示されているときは、操作8へ進みます。

8 **◎で、「✉」（宛先）を選び、◉を押す。**

■宛先入力：☞右記
■下書きに保存：☞P.14-15
■テンプレートに登録：☞P.14-16

スライドの追加

■スライドが作成されているメール作成画面で、次の操作を行います。

挿入する位置選択➡◯（メニュー）➡「スライド追加」選択➡◉➡「前に追加」／「後ろに追加」選択➡◉

スライドの削除

■スライドが作成されているメール作成画面で、次の操作を行います。

スライド選択➡◯（メニュー）➡「スライド削除」選択➡◉

●スライドが1件になったときは、通常のメールに戻ります。

スライドの表示時間設定

■スライドごとに表示する時間を設定します。スライドが作成されているメール作成画面で、次の操作を行います。

スライド選択➡◯（メニュー）➡「スライド表示時間」選択➡◉➡表示時間選択➡◉

▪「表示時間手動入力」選択時：表示時間入力➡◉

宛先を入力する

メニュー ➡ メール ➡ 新規作成 ➡ 本文などを入力する

1 **メディア選択バーに「〔〕」が表示されるまで、◎を押す。**

●すでに「〔〕」が表示されているときは、操作2へ進みます。

2 **◎で、「✉」（宛先）を選び、◉を押す。**

宛先入力画面が表示されます。

宛先入力画面

3 ***電話帳から選択する***

1 送信先の電話帳を選び、◉を押す。
2 送信先のE-mail アドレス／電話番号を選ぶ。

直接入力する

1「電話番号入力」または「Eメールアドレス入力」を選び、◉を押す。
2 送信先のボーダフォン携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを入力する。

4 **◉を押す。**

送信設定画面が表示されます。

■件名の入力：☞P.14-13
■送信メールタイプの設定：☞P.14-14
■送信オプションの設定：☞P.14-14
■送信：☞P.14-7～P.14-8
■下書きに保存：☞P.14-15
■テンプレートに登録：☞P.14-16

送信設定画面

他の宛先の入力

■宛先は、最大20件まで入力することができます。送信設定画面で、次の操作を行います。

宛先入力欄選択➡◉➡宛先リスト画面表示➡「電話帳検索」選択➡◉➡宛先入力（☞P.14-12）➡◉

■ 送信設定画面に戻る：⌐（**戻る**）

宛先リスト画面

宛先タイプ（「To」、「Cｃ」、「Bcc」）の設定

■宛先タイプを変更するときは、宛先リスト画面で、次の操作を行います。

宛先選択➡⌐（メニュー）➡「Toへ変更」／「Ccへ変更」／「Bccへ変更」選択➡◉

●「Cc」や「Bcc」に設定すると、メールのコピーが送信されます。「Bcc」に設定すると、「Bcc」に設定した相手の電話番号／E-mailアドレスは、送信先には表示されません。

送信設定画面表示後の本文／添付ファイル編集

■送信設定画面で次の操作を行い、メール作成画面を表示します。

⌐（**戻る**）

■ 本文編集：上記操作のあと、本文入力欄選択➡◉➡本文編集➡◉

●メール作成画面での添付ファイルの変更／削除については、**P.14-10「添付ファイルの変更」、「添付ファイルの削除」**を参照してください。

宛先の変更／修正

■宛先リスト画面で、次の操作を行います。

宛先選択➡⌐（メニュー）➡「宛先編集」選択➡◉➡宛先修正➡◉

宛先の削除

■宛先リスト画面で、次の操作を行います。

宛先選択➡⌐（メニュー）➡「宛先削除」選択➡◉

電話帳からのメール作成

■電話帳を呼び出し、次の操作を行います。

●電話番号のとき

電話番号選択➡◉➡「メール作成」選択➡◉➡メール作成（☞P.14-7～P.14-8）

●E-mailアドレスのとき

E-mailアドレス選択➡◉➡メール作成（☞P.14-7～P.14-8）

補足▶ 宛先にE-mailアドレスを入力したときは、件名や本文に絵文字や半角カナを入力しないでください。受信側で正しく表示されない可能性があります。

件名を入力する

●件名はMMSだけの入力項目です。

●件名は、送信設定画面（☞P.14-12 操作4の画面）で入力します。

1 送信設定画面で、件名入力欄を選び、◉を押す。

●最大全角13文字（半角英数字40文字、半角カタカナ13文字）まで入力できます。

2 件名を入力し、◉を押す。

送信メールタイプを設定する

送信メールタイプ（SMS／MMS）を設定します。

- 送信メールタイプは、送信設定画面（☞P.14-12操作4の画面）で設定します。
- 次のときは、「**SMS**」に設定できません。
  - ■件名が入力されているとき
  - ■ファイルが添付されているとき
  - ■宛先がE-mailアドレスのとき
  - ■宛先の電話番号が20ケタを超えているとき
  - ■本文がSMS送信可能文字数を超過しているとき
  - ■本文の文字色が「**黒**」以外に設定されているとき
  - ■送信オプションの優先度が「**普通**」以外に設定されているとき
  - ■送信オプションの配信時間が「**すぐに配信**」以外に設定されているとき
- 通常は、「**固定解除（自動設定）**」に設定されています。

1 送信設定画面で、「送信メールタイプ」を選び、◉を押す。

2 「固定解除（自動設定）」／「SMS」／「MMS」のいずれかを選び、◉を押す。

- SMSに設定できないときは、確認メッセージが表示されます。

送信オプションを設定する

送信オプションを設定します。

- 送信オプションで設定した内容は、作成中のメール1件だけに有効です。
- 再送するときは、設定できません。
- 送信オプションは、送信設定画面（☞P.14-12操作4の画面）で、設定します。

配信確認	送信したメールの配信状況を通信レポート（☞P.14-20）で確認します。

お買い上げ時 Off

送信設定画面で、「その他」選択➡◉➡「配信確認」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

有効期限	送信したメールが、センターに保存される期間（有効期限）を設定します。

お買い上げ時 最大

送信設定画面で、「その他」選択➡◉➡「有効期限」選択➡◉➡期間選択➡◉

メール 14

優先度	優先度を設定します。

■MMSだけに設定できます。
お買い上げ時 普通

送信設定画面で、「その他」選択➡◉➡「優先度」選択➡◉➡優先度選択➡◉

● 優先度を設定しても、送信速度は変わりません。

配信時間	送信したメールが配信されるまでの時間を設定します。

■MMSだけに設定できます。
お買い上げ時 すぐに配信

送信設定画面で、「その他」選択➡◉➡「配信時間」選択➡◉➡期間選択➡◉

作成したメールを下書きに保存する

メニュー ▶ メール ➡ 新規作成

1 メールを作成する。

■ メール作成の操作手順：☞P.14-7

2 ***メール作成画面で保存する***

1 メディア選択バーに「 」が表示されるまで、◎を押す。

● すでに「 」が表示されているときは、操作2へ進みます。

2 ◎で、「 」（メニュー）を選び、◉を押す。

送信設定画面で保存する

1 宛先入力欄を選び、 （メニュー）を押す。

3 「下書きへ保存」を選び、◉を押す。

下書きフォルダに保存されます。

● 保存するメモリがないときは、元の画面に戻ります。不要なメールを削除（☞P.14-25）したあと、登録し直してください。

4 操作を終わるときは、 を押したあと、 （Yes）を押す。

注意▶ MMSを保存したときは、宛先タイプ（「To」、「Cc」、「Bcc」）や添付ファイルの順番が変わることがあります。

テンプレートを利用する

作成したメールをテンプレート（ひな形）として登録します。

テンプレートに登録する

メニュー ▶ メール ➡ 新規作成

1 メールを作成する。

■ メール作成の操作手順：☞P.14-7

2 *メール作成画面で登録する*

1 メディアバー選択バーに「 」が表示されるまで、◎を押す。

● すでに「 」が表示されているときは、操作2へ進みます。

2 ◎で、「 」（メニュー）を選び、◉を押す。

送信設定画面で登録する

1 宛先入力欄を選び、 （メニュー）を押す。

3「テンプレートへ保存」を選び、◉を押す。

4 テンプレートの名前を入力し、◉を押す。

5 （メニュー）を押す。

6「保存」を選び、◉を押す。

テンプレートを利用してメールを作成する

メニュー ▶ メール

1「テンプレート」を選び、◉を押す。

テンプレートのリスト画面が表示されます。

2 テンプレートを選び、◉を押す。

テンプレートの内容が入力された状態で、メール作成画面が表示されます。

3 メールを作成する。

■ メール作成の操作手順：☞P.14-7

テンプレートの保護／解除

■操作１のあと、次の操作を行います。

テンプレート選択➡ （メニュー）➡「保護／保護解除」選択➡◉

テンプレートの情報確認

■操作１のあと、次の操作を行います。

テンプレート選択➡ （メニュー）➡「メッセージの詳細」選択➡◉

■ 確認の終了： （戻る）

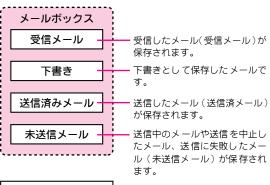
テンプレートの削除

■操作１のあと、次の操作を行います。（「全件削除」のときは、テンプレートを選ぶ必要はありません。）

テンプレート選択➡ （メニュー）➡「削除」／「全件削除」選択➡◉➡ （Yes）

メールボックス

メールボックスの種類と役割

メールボックスには、次のような種類と役割があります。

メールの内容を確認する

メールボックス内のメールを確認する

メニュー ▶ メール

1 「受信メール」、「下書き」、「送信済みメール」、「未送信メール」のいずれかを選び、◉を押す。

リスト画面（☞P.14-19）が表示されます。

2 メールを選び、◉を押す。

メッセージ画面（☞P.14-20）が表示されます。

- 画像が添付されているときは、表示されます。添付されている画像のサイズが大きいときは、画像を表示できないことがあります。
- スライドのときは、自動的に再生されます。
- 操作１で「**下書き**」を選んだときは、メール作成画面が表示されます。（☞P.14-7）

■ 画面のスクロール：Ⓢ

3 確認を終わるときは、[終話]を押したあと、[ソフトキー]（Yes）を押す。

注意▶ 「**下書き**」、「**送信済みメール**」、「**未送信メール**」内のメールに添付されているファイルが、データフォルダから削除されたとき、メールを表示できなくなることがあります。

メール 14

未送信メールの再送

■送信に失敗したメールを再送するときは、未送信メールのリスト画面で、次の操作を行います。

メール選択➡(メニュー)➡「再送」選択➡◉

メールの編集

■下書きを編集するときは、下書きのリスト画面で、次の操作を行います。

メール選択➡◉➡メール編集

■未送信メールを編集するときは、未送信メールのリスト画面で、次の操作を行います。

メール選択➡(メニュー)➡「編集」選択➡◉➡メール編集

補足▶ バックライトが暗くなりメッセージが読みづらいときは、0～9を押すと、バックライトが点灯します。

フォルダ内のメールを確認する

- 振り分けフォルダについて、詳しくはP.14-20を参照してください。

メニュー▶ メール ➡ 振り分けフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。

リスト画面(☞P.14-19)が表示されます。

2 メールを選び、◉を押す。

メッセージ画面(☞P.14-20)が表示されます。

- 以降の操作は、メールボックスのときと同様です。

リスト画面

メールの種類／状態

メールの種類や状態がマークで表示されます。

● **メールの状態**

	未読		既読		送信済		送信失敗

● **メールの種類／設定など**

	MMS※1		SMS		添付あり		保護	!	優先度（高）
	優先度（低）		MMS通知※2		通信レポート要求※3		USIMカード内SMS		

※1 MMSにご契約時だけ表示されます。
※2 受信メールボックスのリスト画面で表示されたとき
※3 送信済みメールボックスのリスト画面で表示されたとき

送信元／送信先

● 電話番号／E-mailアドレスや名前が表示されます。
● 相手が電話帳未登録のMMSで、電話番号／E-mailアドレスにコメント（発信者名）が付いている場合は、コメントが表示されます。（受信メール）
ただし、次のようなときは表示されません。
■ MMS通知　■ メールサーバーに蓄積されないMMS　など

送受信日時

件名／メールの内容

MMSのときは件名が、SMSのときはメールの内容が表示されます。

メッセージ画面

北山かおる
来週の日曜の山本君と川橋さんの結婚式にカメラと三脚を忘れずに持ってきてください。
なお、ビデオは私が持っていきます。
メニュー　戻る

送信元／送信先
- 電話番号／E-mailアドレスや名前が表示されます。
- 相手が電話帳未登録のMMSで、電話番号／E-mailアドレスにコメント（発信者名）が付いている場合は、コメントが表示されます。（受信メール）
  ただし、次のようなときは表示されません。
  - ■ MMS通知
  - ■ メールサーバーに蓄積されないMMSなど

メッセージの内容

通信レポートの確認

■「配信確認」（☞P.14-14、P.14-31）を「On」に設定し、メールを送信すると、サービスセンターから通信レポートを受信します。通信レポート受信時に確認するときは、次の操作を行います。

サービスセンターから通信レポート受信➡受信画面表示➡◉（受信メールボックス表示）➡メール選択➡◉

■ 確認の終了：⌐（戻る）

フォルダで受信メールを管理する

振り分けフォルダでは、受信メールを7つのフォルダに分類して管理します。

フォルダ名を変更する

メニュー ▶ メール ➡ 振り分けフォルダ

1 **フォルダを選び、⌐（メニュー）を押す。**

2 **「フォルダ名変更」を選び、◉を押す。**

3 **◉を押す。**

4 **フォルダ名を入力し、◉を押す。**
- 最大全角33文字（半角カナ33文字、半角英数字100文字）まで入力できます。

5 **⌐（OK）を押す。**

メールをフォルダに移動する

- 連結受信中のメールは、分類（移動）できません。
- フォルダ間でもメールを移動できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信メール」／「振り分けフォルダ」を選び、◉を押す。

リスト画面（☞P.14-19）が表示されます。

■振り分けフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

3 「その他」を選び、◉を押す。

4 「フォルダへ移動」を選び、◉を押す。

5 フォルダを選び、◉を押す。

6 操作を終わるときは、☎を押したあと、✉（Yes）を押す。

メールを指定したフォルダへ自動的に保存する

受信メールを電話番号やE-mailアドレスによって、指定したフォルダに自動的に振り分けます。また、MMSの件名に含まれる文字列によって、振り分けることもできます。

- 設定できる振り分けルールは、1つのフォルダにつき最大5件までです。
- 振り分けルールは、フォルダ番号が小さい方が優先されます。

メニュー ▶ メール ▶ 設定

1 **「メール振り分け設定」を選び、◉を押す。**

2 **フォルダを選び、◉を押す。**

3 **設定番号を選び、◉を押す。**

4 ***電話番号／E-mailアドレスで振り分ける***

1「送信元」を選び、◉を押す。

2 宛先を入力し、◉を押す。

■ 宛先入力：☞P.14-12

件名に含まれる文字列で振り分ける

1「件名」を選び、◉を押す。

2 文字列を入力し、◉を押す。

- 最大全角13文字（半角英数字40文字、半角カタカナ13文字）まで入力できます。

3 ◉を押す。

5 **操作を終わるときは、[終話]を押したあと、[ソフトキー]（Yes）を押す。**

振り分けルールの編集

■ 操作2のあと、次の操作を行います。

設定番号選択➡[ソフトキー]（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡[ソフトキー]（編集）➡内容修正➡◉

振り分けルールの変更（電話番号／E-mailアドレス）

■ 操作2のあと、次の操作を行います。

設定番号選択➡[ソフトキー]（メニュー）➡「宛先変更」選択➡◉➡宛先入力（☞P.14-12）➡◉

振り分けルールの削除

■ 操作2のあと、次の操作を行います。

設定番号選択➡[ソフトキー]（メニュー）➡「削除」選択➡◉

メールを返信する

メニュー ▶ メール ➡ 受信メール

1 **メールを選び、◉を押す。**

2 **⌐（メニュー）を押す。**

3 **「返信」または「全員に返信」を選び、◉を押す。**

メール作成画面が表示されます。

- MMSで一度に送信できる宛先は、最大20人までです。
- 「全員に返信」を選ぶと、すべての送信先（To／Cc）に同じ内容のメールを一度に返信することができます。（メールによっては、「全員に返信」が表示されないことがあります。）

4 **返信メールを作成する。**

5 **メディア選択バーに「⌜⌟」が表示されるまで、◎を押す。**

- すでに「⌜⌟」が表示されているときは、操作6へ進みます。

6 **◎で、「✉」（宛先）を選び、◉を押す。**

送信設定画面が表示されます。

- MMSのときは、件名に返信を表す「Re:」が付きます。

7 **「メッセージの送信」を選び、◉（✉）を押す。**

メールが返信されます。

補足▶
- 受信メールに返信先指定が含まれていたときは、指定されている返信先が宛先に入力されます。
- 返信時、相手のメッセージを引用するかどうかを設定できます。（☞P.14-32）
- 「全員に返信」を行うと、自分にもメールが送信されます。

メールを転送する

メニュー ▶ メール

1 **「受信メール」／「送信済みメール」を選び、◉を押す。**

2 **メールを選び、◉を押す。**

3 **⌐（メニュー）を押す。**

4 **「転送」を選び、◉を押す。**

メール作成画面が表示されます。

5 **メディア選択バーに「⌜⌟」が表示されるまで、◎を押す。**

- すでに「⌜⌟」が表示されているときは、操作6へ進みます。

6 **◎で、「✉」（宛先）を選び、◉を押す。**

宛先入力画面が表示されます。

7 **転送先を入力し、◉を押す。**

送信設定画面が表示されます。

- MMSのときは、件名に転送を表す「Fw:」が付きます。

■ 宛先入力：☞P.14-12

8 **「メッセージの送信」を選び、◉（✉）を押す。**

メールが転送されます。

- 添付ファイルがあるときは、転送するメールに自動的に添付されます。

補足▶ MMSの転送は、MMSで送信されます。

下書きからメールを送信する

メニュー ▶ メール ▶ 下書き

1 メールを選び、◉を押す。

メール作成画面が表示されます。

2 メディア選択バーに「⁝」が表示されるまで、◎を押す。

- すでに「⁝」が表示されているときは、操作3へ進みます。

3 ◎で、「✉」（宛先）を選び、◉を押す。

4 宛先が入力されていないときは、宛先を入力し、◉を押す。

■宛先入力：☞P.14-12

5 「メッセージの送信」を選び、◉（✉）を押す。

- 送信したメールは、下書きから消去されます。

下書きの編集

■操作1のあと、メールの内容を編集できます。編集後、保存（☞P.14-15）すると、編集した内容に上書きされます。

メールを保護する

受信メールや送信済メールを個別に保護します。

- 保護されたメールは、消去できません。

メニュー ▶ メール

1 「受信メール」／「送信済みメール」を選び、◉を押す。

2 メールを選び、⊡（メニュー）を押す。

- 保護解除するときは、保護されているメール（「🔒」表示）を選んでください。

3 「その他」を選び、◉を押す。

4 「保護／保護解除」を選び、◉を押す。

保護／保護解除されます。保護されたメールには、「🔒」が表示されます。

指定した複数のメールの保護／保護解除

■操作1のあと、次の操作を行います。

⊡（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「複数選択」選択➡◉➡メール選択➡◉（「✓」表示）➡保護／保護解除するメールすべて選択➡⊡（メニュー）➡「保護」／「保護解除」選択➡◉

- ■選択解除：メール選択時に、選択されているメール（「✓」表示）選択➡◉
- ■すべて選択：メール選択時に⊡（メニュー）➡「全選択」選択➡◉
- ■すべて選択解除：メール選択時に⊡（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

メールを削除する

メールを指定して削除する

メニュー ▶ メール

1 いずれかのメールボックス（☞P.14-17）を選び、◉を押す。

リスト画面（☞P.14-19）が表示されます。

2 *1件ずつ削除する*

1 メールを選び、◻（メニュー）を押す。

2「削除」を選び、◉を押す。

指定した複数のメールを削除する

1 ◻（メニュー）を押す。

2「その他」を選び、◉を押す。

3「複数選択」を選び、◉を押す。

4 削除するメールを選び、◉を押す。

メールの右端に「✓」が表示され、選択されます。

■ 選択解除：選択されているメール選択➡◉

5 操作4をくり返し、削除するメールをすべて指定する。

■ すべて選択：◻（メニュー）➡「全選択」選択➡◉

■ すべて選択解除：◻（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

6 ◻（メニュー）を押す。

7「削除」を選び、◉を押す。

3 ◻（Yes）を押す。

4 操作を終わるときは、◻を押したあと、◻（Yes）を押す。

メールボックス内のメールをすべて削除する

● 保護されているメールは、削除されません。

メニュー ▶ メール

1 いずれかのメールボックス（☞P.14-17）を選び、◉を押す。

リスト画面（☞P.14-19）が表示されます。

2 ◻（メニュー）を押す。

3「その他」を選び、◉を押す。

4「全件削除」を選び、◉を押す。

5 ◻（Yes）を押す。

6 操作を終わるときは、◻を押したあと、◻（Yes）を押す。

フォルダ内のメールをすべて削除する

●保護されているメールは、削除されません。

メニュー ▶ メール ▶ 振り分けフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。
リスト画面（☞P.14-19）が表示されます。

2 ⌒（メニュー）を押す。

3「その他」を選び、◉を押す。

4「全件削除」を選び、◉を押す。

5 ⌒（Yes）を押す。

6 操作を終わるときは、⌒を押したあと、⌒（Yes）を押す。

メールを自動削除する

受信メール／送信済メールを保存するメモリがなくなったとき、古い既読メール／送信済メールを自動的に削除し、新しいメールを保存します。

●削除したくないメールは、保護しておいてください。（☞P.14-24）

●お買い上げ時には、「**送信済みメール**」に設定されています。

メニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ 共通設定 ▶ メールフォルダ自動削除

1 自動削除するメールの種類を選び、◉を押す。
■解除：「Off」選択➡◉
■受信メール、送信済メールの両方に自動削除を設定：「**両方**」選択➡◉

2 操作を終わるときは、⌒を押したあと、⌒（Yes）を押す。

メール内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

電話帳に登録する

メールの送信先／送信元の電話番号／E-mailアドレスを電話帳に登録します。また、メールの本文に含まれる電話番号を、電話帳に登録します。

●本文に含まれる電話番号は、選んだときに文字色が変わった場合だけ利用できます。

メニュー ▶ メール

1「受信メール」／「送信済みメール」を選び、◉を押す。
リスト画面（☞P.14-19）が表示されます。

2 メールを選び、◉を押す。

3 ***送信元／送信先の電話番号／E-mailアドレス登録***

1 ⌒（メニュー）を押す。
2「電話帳に登録」を選び、◉を押す。
3 電話番号／E-mailアドレスを選び、◉を押す。

本文中の電話番号の登録

1 電話番号を選び、◉を押す。
2「電話帳に登録」を選び、◉を押す。

4「新規作成」を選び、◉を押す。
電話番号やE-mailアドレスが、電話帳の該当する項目に入力されます。続けて、他の項目を入力し、電話帳の登録を完了します。（☞P.4-3～P.4-5）
■追加登録時：電話帳選択➡◉➡⌒（**保存**）

電話発信／メール送信／インターネット接続を行う

メール本文に電話番号（先頭に「TEL:」が付いている番号）やE-mailアドレスが含まれているときは、その画面から電話をかけたり、メールを送信できます。また、URL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）が含まれているときには、インターネットに接続できます。

- 選んだときに文字色が変わった場合だけ利用できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信メール」／「送信済みメール」を選び、◉を押す。

リスト画面（☞P.14-19）が表示されます。

2 メールを選び、◉を押す。

- 電話番号やE-mailアドレス、URLが含まれているメールを選んでください。

3 *電話番号を利用する*

1 電話番号を選び、◉を押す。

2 「発信」または「TVコール」を選び、◉を押す。

電話番号がダイヤルされます。

E-mailアドレスを利用する

1 E-mailアドレスを選び、◉を押す。

2 「メール作成」を選び、◉を押す。

■ メール作成の操作手順：☞P.14-7

URLを利用する

1 URLを選び、◉を押す。

インターネットに接続されます。

- 「rtsp://」で始まるアドレスのときは、動画／音楽がストリーミングで再生されます。（☞P.13-14）

添付ファイルをデータフォルダに保存する

メール内の添付ファイル（画像やサウンド、vファイルなど）を、データフォルダに保存します。

メニュー ▶ メール

1 「受信メール」／「送信済みメール」を選び、◉を押す。

リスト画面（☞P.14-19）が表示されます。

2 メールを選び、◉を押す。

- ファイルが添付されているメールを選んでください。

3 ファイルを選ぶ。

■ ファイルの情報確認：ファイル選択➡（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉
- 確認終了：（戻る）

4 （メニュー）を押す。

5 「添付ファイル保存」を選び、◉を押す。

データフォルダのリスト画面が表示されます。

■ SDメモリカード内のデータフォルダに保存：データフォルダのリスト画面で◎

■ 新しく作成したフォルダに保存:データフォルダのリスト画面で、フォルダ選択➡◉

6 「保存」を選び、◉を押す。

7 **タイトル（ファイル名）を入力し、◉を押す。**

●タイトル（ファイル名）を変更する必要がないときは、操作6のあと、⌒（OK）を押します。

8 **⌒（OK）を押す。**

データフォルダに保存されます。

●データフォルダのメモリが一杯のときは、空き容量がない旨のメッセージが表示されます。不要なデータを削除（☞P.8-14）したあと、保存し直してください。

9 **操作を終わるときは、⌒を押したあと、⌒（Yes）を押す。**

メールリスト画面での各種操作

メッセージの詳細	メールの詳細情報を確認します。

メニュー ▶ メール

メールボックス（☞P.14-17）選択➡◉➡メール選択➡⌒（メニュー）➡「メッセージの詳細」選択➡◉

■確認の終了：⌒（戻る）

未開封にする／開封済みにする	受信メールの未読／既読を切り替えます。

メニュー ▶ メール ➡ 受信メール

1件ずつ切り替える

メール選択➡⌒（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「未開封にする／開封済みにする」選択➡◉

指定した複数のメールを切り替える

⌒（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「複数選択」選択➡◉➡メール選択➡◉（「✓」表示）➡切り替えるメールすべて選択➡⌒（メニュー）➡「未開封にする」／「開封済みにする」選択➡◉

■選択解除：メール選択時に、選択されているメール（「✓」表示）選択➡◉

■すべて選択：メール選択時に ⌒（メニュー）➡「全選択」選択➡◉

■すべて選択解除：メール選択時に⌒（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

補足▶ メールの種類や状態によっては、切り替えられないことがあります。

メールサーバー

メールリストを取得する

サービスセンターに一時蓄積されているメールの一覧（メールリスト）を取得できます。また、取得したメールリストを利用して、メールサーバーからメールの続きを取得できます。

メニュー ▶ メール

1「サーバーメール操作」を選び、◉を押す。

■以前取得したメールリストの確認：「**メールリスト**」選択➡◉

2「メールリスト更新」を選び、◉を押す。

取得が開始されます。取得が終わると、メールリストが表示されます。

- 以前に取得したメールリストがあるときは、メールリストが更新されます。

サーバーメールをすべて受信

■操作１のあと、次の操作を行います。

「**メール全受信**」選択➡◉

サーバーメールをすべて削除

■操作１のあと、次の操作を行います。

「**メール全削除**」選択➡◉➡⌐（Yes）

サーバーメール容量の確認

■操作１のあと、次の操作を行います。

「**サーバーメール容量**」選択➡◉

- ■ 更新：⌐（**更新**）➡⌐（Yes）
- ■ 確認の終了：⌐（**戻る**）

メールリストを利用してMMSの続きを受信する

メニュー ▶ メール

1 「サーバーメール操作」を選び、◉を押す。

2 「メールリスト」を選び、◉を押す。

3 メールを選び、◉を押す。

受信を開始します。

- 受信したメールは、メールリストから削除され、受信メールボックスに保存されます。

メールリストを利用してメールを削除する

メニュー ▶ メール

1 「サーバーメール操作」を選び、◉を押す。

2 「メールリスト」を選び、◉を押す。

3 メールを選び、⌒（メニュー）を押す。

4 「削除」を選び、◉を押す。

5 ⌒（Yes）を押す。

サーバー内のメールを転送する

サービスセンター内のメールサーバーに一時蓄積されているメールを、パソコンなど他のE-mailアドレスに転送します。

メニュー ▶ メール ➡ 受信メール

1 メール（MMS通知）を表示する。

●「🅘」が表示されているMMSを選んでください。

2 ⌒（メニュー）を押す。

3「転送」を選び、◉を押す。

4 転送先を入力し、◉を押す。

送信設定画面が表示されます。

●自動的に件名が入力されます。件名には、転送を表す「Fw:」が付きます。

■宛先入力：☞P.14-12

5「メッセージの送信」を選び、◉（✉）を押す。

メールが転送されます。

メールリストからの転送

■次の操作を行います。

◉➡「メール」選択➡◉➡「サーバーメール操作」選択➡◉➡「メールリスト」選択➡◉➡メール選択➡⌒（メニュー）➡「サーバーメール転送」選択➡◉➡操作4～5

その他の機能

共通設定

ホームネットワーク自動受信	国番号によって決定されるホーム受信の切替方法を設定します。（日本国内でのご利用は、本設定のみ有効です。）

お買い上げ時 手動受信

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 共通設定 ➡ ホームネットワーク自動受信

項目選択➡◉

ローミング自動受信	ローミングサービスの切替方法を設定します。（海外でご利用のときに設定してください。）

お買い上げ時 手動受信

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 共通設定 ➡ ローミング自動受信

項目選択➡◉

配信確認	送信メールの配信状況を通信レポート（☞P.14-20）で確認します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 共通設定 ➡ 配信確認

「On」／「Off」選択➡◉

署名編集	署名を作成します。

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 共通設定 ➡ 署名編集

⌒（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡署名入力➡◉➡◉

配信確認応答	配信確認が設定されているメールを受信したとき、相手に受信状況を送るかどうかを設定します。

お買い上げ時On

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 共通設定 ➡ 配信確認応答

「On」／「Off」選択➡◉

引用設定	メール返信時、元のメールの本文を引用するかどうかを設定します。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 共通設定 ➡ 引用設定

「On」／「Off」選択➡◉

このほかに、送信したメールがセンターに保存される期限（有効期限）を設定できます。

SMS設定

メッセージセンター	SMSセンター番号を設定します。

お買い上げ時+819066519300

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ SMS設定 ➡ メッセージセンター

（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡SMSセンター番号入力➡◉➡◉

- ご契約されたボーダフォンから番号変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

メッセージフォーマット	新規作成時のSMSの種類を設定します。

お買い上げ時標準

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ SMS設定 ➡ メッセージフォーマット

フォーマット選択➡◉

リプライパス	送信したSMSに相手が返信するとき、送信時と同じSMSセンターアドレスにするかどうかを設定します。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ SMS設定 ➡ リプライパス

「On」／「Off」選択➡◉

送信メッセージの最適化	フランス語のアクサン／グラーヴ、ドイツ語のウムラウトなどを類似するアルファベットに置き換えます。

お買い上げ時On

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ SMS設定 ➡ 送信メッセージの最適化

「On」／「Off」選択➡◉

MMS設定

スライド表示時間	スライドが表示される時間を設定します。

お買い上げ時 3 秒

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ MMS設定
➡ スライド表示時間

(メニュー)➡「編集」選択➡◉➡表示時間入力➡◉
➡◉

受信メッセージサイズ制限	設定したサイズより大きなメールの受信を拒否します。

お買い上げ時300KB

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ MMS設定
➡ 受信メッセージサイズ制限

サイズ選択➡◉

メモリ使用状況を確認する

各メールボックスのメモリ使用状況を確認します。

メニュー ▶ メール

1 「メモリ使用状況」を選び、◉を押す。

■ 確認の終了：(戻る)

Vアプリ

Vアプリの基本操作

Vアプリをご利用になる前に

ネットワーク接続やSDメモリカードに保存したVアプリの利用について説明します。

ネットワーク接続

Vアプリによっては、利用時にネットワーク（ウェブ）への接続が必要なことがあります。このようなVアプリを「**ネットワーク接続型Vアプリ**」といいます。

- ネットワーク接続型Vアプリを利用するときには、ネットワーク接続の確認画面が表示されます。設定により、この確認画面を表示しないようにすることもできます。（☞P.15-7）
- 通信料については、「**3Gガイドブック**」を参照してください。

SDメモリカードに保存したVアプリをご利用の場合

SDメモリカードを別のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データの編集や追加、消去など）したときは、Vアプリライブラリの情報を更新する必要があります。（メモリカードシンクロ）

- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.13-4）
- Vアプリライブラリを更新しないと、正しく動作しないことがあります。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ メモリカードシンクロ

1 **（Yes）を押す。**

注意 ▶ 802SHからSDメモリカードに保存したVアプリは、お客様のUSIMカードが取り付けられた802SHまたは機種交換されたボーダフォン携帯電話以外では利用できません。

補足 ▶ Vアプリライブラリのファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまで時間がかかることがあります。

Vアプリをダウンロードする

- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.13-4）
- ダウンロードするVアプリによっては、SDメモリカードにも保存できます。
- 電波状態のよい所で利用してください。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリライブラリ ➡ Vアプリダウンロード

1 Vアプリを提供しているウェブの情報画面を表示する。

2 Vアプリを選び、◉を押す。

データ解析中の確認メッセージが表示されたあと、Vアプリ情報が受信され、情報表示画面が表示されます。

■ Vアプリ一時停止中［「」（グレー）点灯時］：（Yes）

3 ◉を押す。

Vアプリ本体のダウンロードが開始されます。

- ダウンロードする際に、多少時間がかかることがあります。

■ ダウンロードの中止：（戻る）

4 ダウンロードが終われば、自動的に保存され、確認画面が表示される。

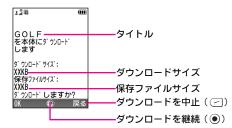
- Vアプリ待受に設定されているVアプリの新しいバージョンをダウンロードしたときは、確認メッセージが表示され、Vアプリ待受設定が解除されることがあります。

5 （Yes）を押す。

ウェブを終了し、Vアプリライブラリが表示されます。

■ ウェブの情報画面に戻る：（No）

■ Vアプリの起動：☞P.15-4

情報表示画面

Vアプリのダウンロードでは、Vアプリ本体をダウンロードする前に、タイトルやサイズなどのVアプリ情報を受信します。（情報表示画面）

この情報表示画面で確認したあと、Vアプリ本体をダウンロードできます。

Vアプリを起動する

●Vアプリは、オープンポジションでご利用ください。ビューアポジションでは操作できません。

メニュー ▶ Vアプリ

1 「Vアプリライブラリ」を選び、◉を押す。

Vアプリライブラリが表示されます。

■Vアプリ一時停止中［「」（グレー）点灯時］：◉

■SDメモリカード内のVアプリの利用：◎

2 Vアプリを選び、◉を押す。

Vアプリが起動します。［「」点灯］

●Vアプリの操作方法については、ダウンロードしたウェブの情報画面などでご確認ください。

●利用できないVアプリのときは、Vアプリライブラリに戻ります。

■Vアプリ待受設定可能時：（Yes）／（No）

補足▶ Vアプリ起動中に電話などの着信があると、Vアプリが一時停止し、着信画面が表示されます。（Vアプリを起動させたまま着信通知を表示させることもできます。：☞P.15-9）

ネットワーク接続型Vアプリの起動

■ネットワーク接続型 V アプリを起動するときは、操作２のあと、次の操作を行います。

「On」／「Off」選択➡◉➡Vアプリ起動

● 設定により、確認画面を表示しないようにすることもできます。（☞P.15-7）

■オフラインモード（☞P.2-18）が設定されている場合、ネットワーク接続型Vアプリを起動するときは、操作２のあと、次の操作を行います。

（Yes）／（No）➡Vアプリ起動

■Vアプリの種類によっては、ネットワーク接続型Vアプリを起動するとき、セキュリティレベルの設定画面が表示されることがあります。（☞P.15-7）

Java™のライセンスに関する情報の確認

■次の操作を行います。

◉➡「Vアプリ」選択➡◉➡「インフォメーション」選択➡◉

メモリ使用状況の確認

■次の操作を行います。

◉➡「設定」選択➡◉➡「メモリ設定」選択➡◉➡「メモリ使用状況」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉

Vアプリを終了／一時停止／再開する

Vアプリを終了／一時停止する

1 **Vアプリ利用中に、[終話]を押す。**

2 *終了する*

1「終了」を選び、◉を押す。

Vアプリライブラリに戻ります。[「[アイコン]」消灯]

一時停止する

1「一時停止」を選び、◉を押す。

待受画面に戻ります。[「[アイコン]」（グレー）点灯]

- 再度同じVアプリを起動するときは、一時停止している状態から続きを行うことができます。

一時停止中のVアプリを再開する

1 **Vアプリが一時停止している状態の待受画面で、◉を押す。**

- Vアプリ一時停止中は、「[アイコン]」（グレー）が点灯しています。

2 **「再開」を選び、◉を押す。**

■ Vアプリを終了：「**終了**」選択➡◉

■ 一時停止のままメインメニューを表示：「**キャンセル**」選択➡◉

Vアプリを管理する

プロパティ Vアプリの詳細情報を確認します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリライブラリ

Vアプリ選択➡[メニュー]（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

■ 情報の続きを確認：上記操作のあと◎（◎：前の画面に）

■ 確認の終了：[戻る]（**戻る**）

- 次の情報が表示されます。

項目	内容
名前	Vアプリの名称
ベンダ名	Vアプリの開発元や販売元など、提供者の名称
バージョン	Vアプリのバージョン
説明	Vアプリの説明
アプリケーションサイズ	Vアプリのデータサイズ
レコードサイズ	ゲームのスコアなどを保存できるデータサイズ
Vアプリ待受設定	Vアプリ待受設定の可／不可
プロファイル	VSCL（海外）／JCL（国内）バージョン
関連リンク	リンク先のWEB情報
認証	認証の有無
Push属性	Push対応の有無

SDメモリカードに保存	VアプリをSDメモリカードに移動します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリライブラリ

Vアプリ選択➡(メニュー)➡「メモリカードへ移動」選択➡◉

■SDメモリカード内に古いバージョンのVアプリあり：(Yes)／(No)

■(Yes)を押すと、SDメモリカード内のVアプリが新しいバージョンに上書きされます。

- SDメモリカード内に同じVアプリがあるときは、移動できません。

Vアプリの削除	Vアプリを削除します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリライブラリ

Vアプリ選択➡(メニュー)➡「削除」選択➡◉➡(Yes)

- 削除時に、操作用暗証番号の入力が必要なこともあります。
- Vアプリ待受に設定されているVアプリを選んだときは、確認メッセージが表示されたあと、Vアプリライブラリに戻ります。設定を解除してからやり直してください。

Vアプリの利用

Vアプリ待受に設定する

待受画面で、常にVアプリを起動させておきます。

- Vアプリ待受に設定できるVアプリは、1件です。また、Vアプリの形式によっては、Vアプリ待受に設定できないものもあります。
- 一時停止中のVアプリがあるとき［「」(グレー)点灯時］は、設定できません。
- SDメモリカード内のVアプリは設定できません。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ待受設定 ➡ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

■解除：「Off」選択➡◉

2 「Vアプリライブラリ」を選び、◉を押す。

3 Vアプリを選び、◉を押す。

4 (Yes)を押す。

5 設定を終わるときは、を押す。

起動開始時間の設定

■Vアプリ待受に設定したVアプリが、起動を開始するまでの時間を設定します。

◉➡「Vアプリ」選択➡◉➡「Vアプリ待受設定」選択➡◉➡「起動開始時間」選択➡◉➡時間（01〜10秒）入力➡◉

一時停止移行時間の設定

■無操作時に、Vアプリが一時停止するまでの時間を設定します。

◉➡「Vアプリ」選択➡◉➡「Vアプリ待受設定」選択➡◉➡「一時停止移行時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

注意▶
- SDメモリカードが取り付けられていて、マルチステレオイヤホンマイクが接続されているときは、Vアプリ待受を設定していても起動しません。
  またSDメモリカードが取り付けられていて、Vアプリ待受に設定したVアプリが起動しているとき、マルチステレオイヤホンマイクを接続すると、Vアプリが終了します。
- ハンズフリーキットなどの外部機器を接続しているときは、Vアプリが起動しないことがあります。
- 着信と連動しているタイプのVアプリは、Vアプリに依存した着信パターンやバイブパターンで動作することがあります。

セキュリティレベルを設定する

Vアプリが自動的に行う各種動作について、確認画面の表示方法や動作の可／不可を設定します。

- 設定項目は、次のとおりです。

電話発信	音声通話の発信
ネットワークアクセス	ネットワークへの接続
メール送受信	メールの利用
オートラン	オートランファイルの実行
外部機器接続	外部機器との接続
ユーザーデータ読込み	電話帳やカレンダーなどの読み込み
ユーザーデータ書込み	電話帳やカレンダーなどへの書き込み
マルチメディア	メディアプレイヤーの利用
位置情報	位置情報の送出

- SDメモリカード内のVアプリも設定できます。
- Vアプリによっては、セキュリティレベルを設定できないことがあります。

メニュー▶ Vアプリ ➡ Vアプリライブラリ

1 Vアプリを選び、（メニュー）を押す。

2「セキュリティレベル」を選び、◉を押す。

3 設定項目を選び、◉を押す。

4 設定内容を選び、◉を押す。

● 各設定の内容は、次のとおりです。（設定項目や状況によっては、表示されない内容もあります。）

Vアプリ起動時表示	起動時に確認画面を表示します。
毎回表示する	該当動作の前に確認画面を表示します。
表示しない	確認画面を表示しません。
許可しない	該当動作を許可しません。

その他の機能

Vアプリ関連の設定

音量の設定 Vアプリ起動中の効果音などの音量を設定します。

お買い上げ時 音量３

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ 音量

（音量選択）➡◉

● マナーモード設定時は、マナーモードの設定内容が優先されます。

バックライトOn／Off設定 Vアプリ起動中のパネル照明の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 通常設定に従う

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ バックライト ➡ On／Off設定

「常にOn」～「通常設定に従う」選択➡◉

● 各設定の内容は、次のとおりです。

常にOn	Vアプリ起動中は、常に点灯します。
常にOff	Vアプリ起動中は、ボタンを押しても点灯しません。
通常設定に従う	ディスプレイ設定内の「**バックライト**」と連動します。（☞P.10-6）

Vアプリ点滅制御 Vアプリにパネル照明の点滅が設定されているときの動作を設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ バックライト ➡ Vアプリ点滅制御

「On」／「Off」選択➡◉

バイブの設定	Vアプリにバイブレータが設定されているときの動作を設定します。

お買い上げ時On

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ バイブ

「On」／「音連動」／「Off」選択➡◉

● マナーモード設定時は、マナーモードの設定内容が優先されます。

着信時優先動作	Vアプリ起動中に着信などがあったときの動作を設定します。

お買い上げ時着信優先動作／アラーム動作

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ 着信時優先動作

「電話」～「アラーム」選択➡◉➡動作方法選択➡◉

● 各設定の内容は、次のとおりです。

着信優先動作（アラーム動作）	Vアプリは自動的に一時停止して、着信などが受けられるようになります。
着信通知表示（アラーム通知）	Vアプリは継続し、着信通知（「090392XXXX1」など）がディスプレイ上部に表示されます。を押すと、Vアプリが一時停止して、着信などが受けられるようになります。

● 待受設定したVアプリのときは、上記の設定内容にかかわらず着信通知が表示されます。

Vアプリを初期化する

Vアプリ設定の初期化	Vアプリ設定を初期化します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ Vアプリ設定リセット

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡（Yes）

● Vアプリ設定リセットで初期化される内容は、次のとおりです。

音量	音量3
バックライト	点灯方法：通常設定に従う／ 点滅制御：On
バイブ	On
着信時優先動作	着信優先動作／アラーム動作

Vアプリオールリセット	Vアプリをすべて削除します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ Vアプリオールリセット

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡（Yes）

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

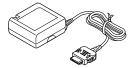
* Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■ **Lithium-ion Battery** (Type 1) **(SHBW01)***

■ **Desktop Holder (SHEW01)***

■ **Multi Stereo Headphones**

■ **AC Charger (SHCW01)***

■ **Utility software (CD-ROM)**

* Additional quantities may be purchased separately.

Tip ▶
- For more about accessories, call Customer Service, General Information (☞P.16-50).
- 802SH accepts SD Memory Card (not included). Purchase SD Memory Card separately to use Memory card-related handset functions.

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

(prohibition symbols)	Prohibited Actions
(compulsory symbols)	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

⚠DANGER

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery, charger or holder
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit charger terminals
Keep metal objects away from charger terminals. Keep handset away from jewellery. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire.
Do not:

- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or in extreme heat.
- Use battery for other equipment.

If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

⚠WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset

Do not put metal or flammable objects in handset, charger or holder. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity

Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers

Keep handset, charger and holder away from chemicals/liquids. Fire/electric shock may result.

Avoid sources of fire

Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces

Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep handset, charger or holder away from microwave ovens

Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset

- Do not open handset, charger or holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, charger or holder. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks

Subjecting handset, charger or holder to shocks may cause malfunction or injury.
Should the handset break, remove the battery and contact Vodafone Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter should get inside handset:

Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

If an abnormality occurs:

Should there be unusual sound, smoke or odour, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

Handset

Preventing accidents

- For safety, never use handset whilst driving. Pull over beforehand.
- Do not use headphones whilst driving or riding a bicycle.
  Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially at road/rail crossings to avoid accidents.

Do not swing handset by handstrap

May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft

Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and ring tone settings:

Select settings carefully if you have a heart condition or pacemaker.

During lightning storms, turn power off and take shelter

There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage

Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- AC Charger: AC 100 V to 240 V
  - Vodafone is not liable for problems caused by charging handset abroad.
- Cigarette Lighter Charger: DC 12 V/24 V

Do not use commercially available transformers

Use of AC Charger with commercially available transformers may result in fire, electric shock or breakage.

Do not use Cigarette Lighter Charger in cars with a positive earth

Fire may result. Use Cigarette Lighter Charger only in cars with a negative earth.

Charger Care

Do not touch plug with wet hands. Electric shock may occur.

- Do not use multiple cords in one outlet. May generate excess heat or fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit charger terminals

Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

Do not use Desktop Holder in motor cars
Extreme temperature or vibration may cause fire or breakage.

If AC Charger or Cigarette Lighter Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Assistance to replace.

Preventing accidents
Secure Cigarette Lighter Charger to avoid injury or accidents.

During lightning storms:
Unplug charger to avoid breakage, fire or electric shock.

Keep Charger & Desktop Holder out of the reach of children
Failure to do so may result in electric shock or injury.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or cause fire.
- If there is leakage or abnormal odour, avoid fire sources. It may catch fire/burst.

If there is abnormal odour, excessive heat, discolouration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemakers or defibrillators should keep handset more than 22cm away
Radio waves may cause implanted pacemakers or defibrillators to malfunction.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers or defibrillators may be near.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules when visiting medical institutions:

- Do not take handset into operating rooms, Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical institutions.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

⚠CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset Care

- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside cars, etc.) or heat sources. Distortion, discolouration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may enter resulting in malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside a car, etc.)

Handset may heat up and lead to burns.

Volume

High volume may damage hearing. Maintain moderate volume for music.

Multi Stereo Headphones

- To disconnect, grasp plug (not cord) to avoid breakage or malfunction.
- Keep plug clean to avoid noise/malfunction.

Inside motor cars:

Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

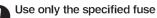
Should skin irritation occur, discontinue handset use and consult a doctor

Skin irritation, rashes, or itchiness may result depending on your physical condition.

Charger

Charger & Cigarette Lighter Charger
Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.

- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep Cigarette Lighter Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder whilst in use
May cause burns.

Use only the specified fuse
1A fuse for Cigarette Lighter Charger. Or may cause breakage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area
Avoid covering/wrapping Charger/Desktop Holder. May cause damage/fire.

Do not use Cigarette Lighter Charger when engine is off
Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Long periods of disuse
Be sure to unplug Charger or Cigarette Lighter Charger after use.

Handset Maintenance
When cleaning, disconnect Charger/Cigarette Lighter Charger to prevent shock/injury.

Installing Cigarette Lighter Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or cause fire.

Do not leave battery in direct sunlight or inside cars. Overheating/fire may occur and battery performance may deteriorate.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid gets on skin or clothes, rinse with clean water immediately.

- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.
- Keep battery out of the reach of children.

- Charge battery within a range of 5℃ - 35℃. Or may leak/overheat. Performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odour or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Assistance.
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or SD Memory Card data. Please keep separate records of Phone Book entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of Eavesdropping**
  Digital signals reduce interception.
  However, transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

In Motor Cars

- Do not use handset whilst driving. Doing so is dangerous.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a motor car's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off). Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5℃ - 35℃ and 35% - 85% humidity. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage colour filter and affect image colour.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset displays.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the display.
- When using headphones, moderate volume to avoid sound bleed.
- **Handset is not water-proof. Keep it away from fluids and high humidity.**
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in a wet area (toilet, bathroom, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- **Heavy objects or excessive pressure should be avoided.**
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Connect only the specified equipment to Headphone Connector. Malfunction or damage may result.
- Always turn off handset before removing battery.
  If battery is removed whilst saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Observe Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programmes, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

FCC Declaration of Conformity

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Responsible Party:
SHARP ELECTRONICS CORPORATION
Sharp Plaza, Mahwah, New Jersey 07430
TEL: 1-800-BE-SHARP
Tested To Comply With FCC Standards
FOR HOME OR OFFICE USE

FCC Notice

The handset may cause TV or radio interference if used in close proximity to receiving equipment. The FCC can require you to stop using the handset if such interference cannot be eliminated.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving aerial.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution: Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.549W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.326W/kg. Body- worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID APYHRO00039.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your handset has been designed, manufactured and tested so as not to exceed the limits for exposure to electromagnetic fields recommended by the Council of the European Union. These limits are part of comprehensive guidelines developed by independent scientific organisations. The guidelines include a substantial safety margin designed to assure the safety of the handset user and others and to take into account variations in age and health, individual sensitivities and environmental conditions. European standards provide for the amount of radio frequency electromagnetic energy absorbed by the body when using a handset to be measured by reference to the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for the general public is currently 2W/kg averaged over 10g of body tissue. Your handset SAR value is 0.686W/kg.
This has been tested to ensure that this limit is not exceeded even when the handset is operating at its highest certified power. In use however your handset may operate at less than full power because it is designed to use only sufficient power to communicate with the network.

SHARP

Declaration of Conformity

We Sharp Telecommunications of Europe Ltd

of
Azure House
Bagshot Road
Bracknell
Berkshire
RG12 7QY

Declare under sole responsibility that the product:

Model: **802SH**

Description: GSM 900/GSM 1800/ PCS 1900 Tri Band Dual Mode WCDMA Cellular Telephone, Bluetooth enabled

To which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents:

- ETSI EN301511
- ETSI EN301908-1
- ETSI EN301908-2
- ETSI EN301489-1
- ETSI EN301489-7
- ETSI EN301489-17
- ETSI EN301489-24
- ETSI EN300328-2
- EN60950
- EN50360
- EN50371

We hereby declare that the above named product is in conformance to all the essential requirements of the Directive 1999/5/EC

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex [V] of directive 1999/5/EC has been followed related to Articles

- R&TTE Article 3.1 (a) Health and Safety
- R&TTE Article 3.1 (b) EMC
- R&TTE Article 3.2 spectrum Usage

With the involvement of the following Notified Body:

BABT, Claremount House, 34 Molesey Road, Walton-on-Thames, KT12 4RQ

Identification mark: **0168** (Notified Body) **CE**

The technical documentation relevant to the above equipment will be held at:

Sharp Telecommunications of Europe Ltd
Azure House
Bagshot Road
Bracknell
Berkshire
RG12 7QY

EU Representative: Clive Ross Bax

Authorised Person:

Name: CLIVE ROSS BAX   Signature: Title: GENERAL MANAGER.   Date: 31/08/2004

IMEI: 350257 00   Document Control No: STE/BUSINESS/QA/ 1708

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide.

Basic Handset Etiquette

Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theatres, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or car traffic.

Manner-Related Features

Take advantage of built-in features to help you use your handset in public places without disturbing or endangering others.

■ Off-Line Mode

Use Off-Line Mode to suspend all handset transmissions. When Off-Line Mode is active, incoming and outgoing calls/mail as well as incoming Vodafone live! information are blocked.

■ Manner Mode

Press the Manner Key to automatically silence all ring tones and activate Vibration Mode for incoming calls, mail and information.

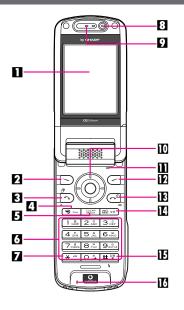
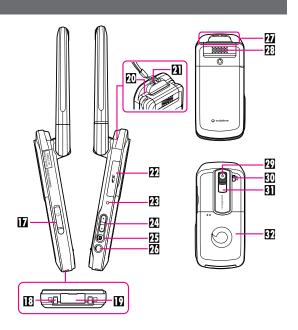
■ Vibration Mode

Activate Vibration Mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Lower or silence Ring Tone Volume for incoming calls/mail/information as well as tones for Vodafone live! or V-Applications when carrying handset in public places.

Handset Parts & Functions

Handset

1 Display

2 Left Soft Key
Open mail menu or execute Soft Key function/command.

3 Start Key
Initiate/answer calls.
Open records of All Calls.

4 Shortcuts and A/a Key
List User Shortcuts, etc.
Toggle between upper/lower case roman letters or standard/small hiragana/katakana in text entry windows.

5 Clear/Back Key
Delete entries/return to previous window.

6 Keypad

7 [*] Key/Key Guard
Press for 1+ seconds to set or release Key Guard.
In alphanumerics entry, open web/mail address prefixes & suffixes.

8 Camera (Main Display side)
Use during TV Call.

9 Earpiece

10 Multi Selector
Select menu items, move cursor, scroll, etc.

11 Microphone
Use in Viewer position.

12 Right Soft Key
Open Vodafone live! menu or execute Soft Key function/command.

13 Power On/Off Key
Press for 2+ seconds to turn handset power on/off.

14 Multimedia/Text Key
Start Media Player or toggle character types.

15 [#] Key
When handset is opened for mobile camera (clamshell open), turn Mobile Light On/Off. In text entry windows, toggle through Symbol & Pictograph lists.
Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner Mode.

16 Microphone

17 Headphone Connector
Connect included Multi Stereo Headphones, etc.

18 Charger Terminal

19 External Device Connector
Connect Charger here.

20 Infrared Port
Use for infrared data transmissions.

21 Strap Eyelet
Attach straps as shown.

22 Memory Card Slot
Insert SD Memory Card here.

23 Small Light
Illuminates red whilst charging.

24 Zoom/Select Key
Select menu items, move cursor, etc.

25 Shutter Key
Open selected menu items or execute functions.
Press for 1+ seconds to activate mobile camera.

㉖ Clear Key
Cancel the current operation or return to the previous window, etc.
Press for 1+ seconds to activate Pen Light.

㉗ Internal Aerial

㉘ Speaker

㉙ Camera
Capture still and video images.

㉚ Portrait Macro Selector

㉛ Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail; serves as a strobe or pen light.

㉜ Battery Cover

Note ▶ About Internal Aerial

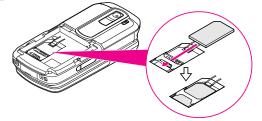
- 802SH has no external aerial. Handset transmits and receives signals via Internal Aerial.
- Avoid covering area over Internal Aerial.
- Do not place stickers on area over Internal Aerial.

USIM Card

Vodafone Global Standard USIM Card is an IC Card containing customer information such as handset number. USIM Card must be inserted before using a USIM Card compatible handset. USIM Card can only be used on networks specified by Vodafone.

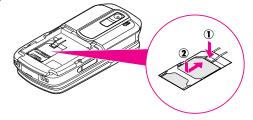
Inserting USIM Card

1 Remove battery

2 Slide in USIM Card with IC chip facing down

3 Insert battery

Removing USIM Card

1 Remove battery

2 Slide out USIM Card as shown

3 Insert battery

Note ▶
- Do not force USIM Card into or out of handset. Damage may result.
- Avoid touching USIM Card IC chip or terminal.

Charging Battery

Battery & Charger

Charge a new battery before use or after a period of disuse.

Battery Life

- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life.
  Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

Charging

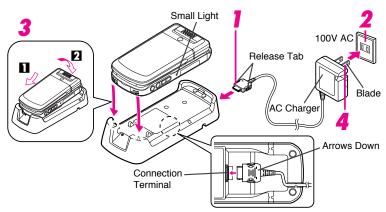
- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move charger away from TV or radio if interference occurs.

Precautions

- Use a dry cotton swab to keep handset, battery and charger terminals clean.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case, etc. when carrying battery separately.

Battery Disposal

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations.

Charging with Desktop Holder

1 Insert charger connector into Desktop Holder until it clicks

- Connection Terminal is located on the back of Desktop Holder.

2 Plug in Charger

3 Gently insert handset into Desktop Holder

- Fit tabs into slots as shown in 1 and push handset as indicated in 2 until it clicks. Small Light illuminates red (goes out when charging is complete).
- Charging takes approximately 135 minutes* (with handset power off).

* May vary with temperature.

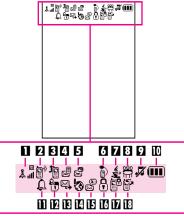
4 After charging, unplug Charger from outlet and remove handset

Note

- AC Charger is compatible with AC 100V - 240V household currents.
- Vodafone is not liable for problems caused by charging handset abroad.

Tip

AC Charger
Insert charger connector into External Device Connector.

Display

1 Signal Strength / Off-Line Mode
3G / GSM
: Strong : Moderate : Low : Weak
OUT: Out-of-Range

2 SD Memory Card Status / Incoming Voice Call
Voice Call in Progress / TV Call in Progress
Line Active

3 Call Forwarding or Voice Mail/ SSL

4 SMS

5 MMS / Receiving Mail / Sending Mail /
Memory Full

6 / / / / / External Transmission
: USB Transmission Ready
(red): Infrared Connection in Progress
: Infrared Transmission in Progress
: Bluetooth Transmission Ready
: Bluetooth Transmission in Progress
: Bluetooth Talk in Progress

7 Active V-Application
(gray) Paused V-Application
Music Player Active

8 / / / / Mode Settings
: Meeting : Activity : Car
: Headset : Manner

9 Silent / Vibration Active
Speaker Phone Active / Microphone Mute

10 Battery Strength / Pen Light
: Strong : Moderate : Low : Empty
and flash when Pen Light is in use

11 Alarm Set

12 / Schedule
Schedule Alarm On: / Off:

13 Message Delivery Failure

14 Auto Delivery Info

15 New Voice Mail

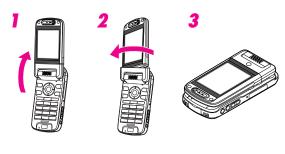
16 Secret Mode Active

17 Keypad Lock Active / Key Guard Active

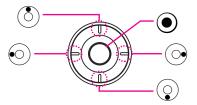
18 (gray) Infrared Transmission Ready

Using Viewer

802SH features a rotating Display. Rotate Display into Viewer position for use with mobile camera, etc. (☞P.16-36 "Mobile Camera") with handset closed.

To use Display as Viewer with handset closed:
1) Open handset; 2) rotate Display 180 degrees clockwise; and 3) close handset with Viewer facing outwards.

Symbols

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll, etc. In this manual, Multi Selector operations are indicated as follows:

Basic Multi Selector Operations

- : Press or
- : Press or
- : Press , , or

Menu Items

Use or to select menu items. (Example: Select ***Text*** and press .)

USIM PINs

PIN1 & PIN2

PIN1	Prevent unauthorised use of Vodafone handset.
PIN2	Required to clear Call Costs and to set Max Cost Limit.

- PIN1 & PIN2 are ***9999*** by default.
- PIN1 & PIN2 can be changed.
- When ***Switch On/Off*** in ***PIN Entry*** is ***On***, PIN1 (4-8 digits) is required when USIM Card is inserted into handset or handset is turned on.

PIN Lock & Cancellation (PUK Code*)

PIN1 Lock or ***PIN 2 Lock*** is activated if PIN1 or PIN2 is incorrectly entered three times. Cancel PIN Lock by entering the ***PIN Lock Cancel Code (PUK Code)***. For information on PIN Lock Cancel Code, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.16-50).

* USIM Personal Unblocking Key (PUK Code) unblocks a USIM Card blocked after the wrong PIN has been entered three consecutive times. Each USIM Card has a unique PUK Code. Do not disclose it to unauthorised persons.

Note ▶

- If PIN Lock Cancel Code is incorrectly entered ten times, USIM Card is locked and handset is disabled. Write down PIN Lock Cancel Code.
- For procedures required to unlock USIM Card, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.16-50).

Handset Codes

Security Code, Centre Access Code and Call Barring Password are needed for handset use.

Security Code

9999 or the 4-digit number selected at initial subscription. Security Code is required to use/change some handset functions. ✻ appears when Security Code is entered. If incorrect, ***Invalid Code*** appears.

Centre Access Code

The 4-digit number in the contract, required to access optional service via landlines.

Call Barring Password

Use Call Barring Password selected at initial subscription to restrict handset services. If Call Barring Password is incorrectly entered three times, Call Barring settings are locked. Centre Access Code and Call Barring Password must be changed. For details, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.16-50).

Note ▶
- Write down Security Code, Centre Access Code and Call Barring Password. If lost, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.16-50).
- Do not reveal Security Code, Centre Access Code and Call Barring Password. Vodafone is not liable for misuse or damages.

Tip ▶
- Change Security Code and Call Barring Password as needed.
- Do not attempt to change Centre Access Code. Contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.16-50) for details.

Basic Handset Operations

Turning Handset On/Off

Activate Handset Power

1. Open handset (clamshell open)
2. Press ⌒ for 2+ seconds

Deactivate Handset Power

1. Open handset (clamshell open)
2. Press ⌒ for 2+ seconds

English Display

1. Press ◉, select ***設定*** and press ◉
2. Select ***Language*** and press ◉
3. Select ***English*** and press ◉

Your Phone Number

1. Press ◉, select ***Phone Book*** and press ◉
2. Select ***My Details*** and press ◉
3. Press ⌒ to exit

Setting Clock

1. Press ◉, select ***Settings*** and press ◉
2. Select ***Time & Date*** and press ◉
3. Select ***Set Date/Time*** and press ◉
4. Enter current date and time
5. Press ◉

Network Settings

1. Press ◉, select ***Connectivity*** and press ◉
2. Select ***Network Settings*** and press ◉
3. Select ***System Settings*** and press ◉
4. Select ***Auto***, ***3G*** or ***GSM*** and press ◉
   For ***Auto***, mode (3G or GSM) changes automatically depending on the current location.

Initiating a Call

Calling in Japan

1. Enter a phone number
2. Press ⌒

Placing an International Call

Service requires an additional contract, but no basic monthly charges or application fees.

1. Enter a phone number
   Proceed to Step 6 when calling Vodafone handsets.
2. Press ⌒ Options
3. Select *Country Code* and press ◉
4. Select a country and press ◉
5. Press ◉, select *Japan* and press ◉
6. Press ⌒

Note ▶
- Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.
- For details on placing international calls, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.16-50).

Calling from Outside Japan

Service requires an additional contract, but no basic monthly charges or application fees.

1. Enter a phone number
   When calling landlines or mobile phones within the country, proceed to Step 6.
2. Press ⌒ Options
3. Select *Country Code* and press ◉
4. Select a country and press ◉
   When calling Vodafone handsets, always select ***日本 (JPN).***
5. Press ◉, select *Abroad* and press ◉
6. Press ⌒

Redial

1. Press ◉
2. Select a phone number and press ◉
3. Press ◉

Calling from Call History

1. Press ◉
2. Select a phone number and press ◉
3. Press ◉

Initiating a TV Call

1. Enter a phone number
2. Press ☐ Options
3. Select ***TV Call*** and press ◉

Answering a Call

1. Handset rings/vibrates and Mobile Light flashes for an incoming call
   Open handset
2. Press ☐
   Alternatively, answer calls by pressing ☐

Answering a TV Call

1. Handset rings/vibrates and Mobile Light flashes for an incoming TV call
   Open handset
2. Press ☐ to answer with voice and video
   Press ☐ Voice to answer with voice only

Total Charges & Call Time

Total Charges

1. Press ◉, select ***Call Log*** and press ◉
2. Select ***Call Costs*** and press ◉
3. Select ***All Calls*** and press ◉

Total Call Time

1. Press ◉, select ***Call Log*** and press ◉
2. Select ***Call Timers*** and press ◉
3. Select ***Received Calls*** or ***Dialled Calls*** and press ◉

Muting Microphone

The other party's voice is heard even if microphone is muted.

1. During a call, press ☐ Mute
2. Press ☐ Unmute to cancel

Voice Mail

Use Voice Mail to record caller messages.

Message Recorded	Voice Mail Centre
Setting	Press ◉ ➡ Select ***Settings*** ➡ Press ◉➡ Select ***Call Settings*** ➡ Press ◉➡ Select ***Diverts*** ➡ Press ◉➡ Select a forwarding condition ➡ Press ◉➡ Choose ***On*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Voicemail Serv.*** ➡ Press ◉➡ Press ◉ ➡ Select Ring Time (when the forwarding condition is ***No Answer***)➡ Press ◉
Additional Contract	Not Required
Message Indicator	
Play	Press ◉ ➡ Select ***Messages*** ➡ Press ◉➡ Select ***Voice Mail*** ➡ Press ◉➡ Select ***Call Voicemail*** ➡ Press ◉
Delete	After playback, press 7
When Handset Power is Off	Available (except when the forwarding condition is ***When Busy*** or ***No Answer***)
When Handset is Out-of-Range	Available (except when the forwarding condition is ***When Busy*** or ***No Answer***)

Tip ▶ Initiating Voice Mail cancels Call Forwarding.

Forwarding a Call

Forward a call to a specified phone number.

Initiating Call Forwarding

1. Press ◉, select ***Settings*** and press ◉
2. Select ***Call Settings*** and press ◉
3. Select ***Diverts*** and press ◉
4. Select a forwarding condition and press ◉
5. Choose ***On*** and press ◉
6. Select ***Enter Phone Number*** and press ◉
7. Enter a phone number and press ◉
8. Select Ring Time and press ◉ (when the forwarding condition is ***No Answer***)

Note ▶ Initiating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Manner Mode

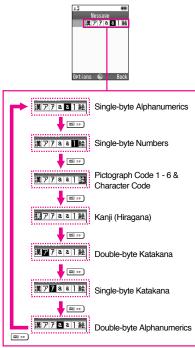
Activate Manner Mode to use handset without disturbing others.

1. In Standby, press [# 記号] for 1+ seconds
   Default Manner Mode Settings:
   ① Silences Keypad Sound, Power On/Off, Error and Barcode recognition tones.
   ② Simultaneously invokes: Ring Tone Level (Silent), Vibration (On), Sound Volume (Silent), V-appli Volume (Silent), V-appli Vibration (On). Adjust settings as required.

Tip ▶ Cancelling Manner Mode
In Standby, press [# 記号] for 1+ seconds.

Entering Characters

Character Types

Press [絵文字] to toggle between character types.

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics		Single-byte Numbers	Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
	Upper & Lower Case	Lower Case		
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2 ABC	ABCabc2	abc2	2	2
3 DEF	DEFdef3	def3	3	3
4 GHI	GHIghi4	ghi4	4	4
5 JKL	JKLjkl5	jkl5	5	5
6 MNO	MNOmno6	mno6	6	6
7 PQRS	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8 TUV	TUVtuv8	tuv8	8	8
9 WXYZ	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0	, . 0 ↵ (Line Break)[1]	, . 0 ↵ (Line Break)[1]	0 +[3]	0
*	Single-byte Mail/Web Extensions[2]		* P (Pause) ? -[4]	
#	Log/Single-byte Symbols/Double-byte Pictographs		#	
	Cursor Up			
	Cursor Down ↵ (Line Break)[1]			
	Cursor Left			
	Cursor Right			
文字	Change Character Type			
A/a	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)			
CLEAR/BACK (Short Press)	Delete One Character			Delete Code/One Character
CLEAR/BACK (Long Press)	Delete All			
	Recover up to 64 deleted characters[5]			
	OK			
				Switch Pictograph Code 1 - 6 & Character Code

[1] Insert line breaks in mail message text and Text Memo. Press at the end of text.
[2] Extensions are listed for easy entry.
[3] Press for 1+ seconds to enter + (available only for phone number entry).
[4] Use *P* (Pause), *?* and **-** for phone number entry.
[5] Press once for each character to recover immediately after deleting.

Tip ▶ Entering Consecutive Characters Assigned to the Same Key
Press ◎ to move cursor to the right, then enter the next character.
Editing Characters
Use ◎ to move cursor to a character. Press CLEAR/BACK to delete it and then enter another.

Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols & Pictographs

1 Press # to open Symbol List

2 Press ◯ to toggle the lists: Pictograph Code List (1 - 6), Log List (up to 20 recently entered Symbols/Pictographs are saved) and Symbol List

3 Use ◎ to select a Symbol or Pictograph and press ◉

4 Press ◯ Back to exit

Tip ▶ In double-byte character entry, three Symbol Lists appear. Press ◯ to toggle between them.

Emoticons

1 Press ◯ Options in a text entry window

2 Select *Emoticons* and press ◉

3 Select an emoticon and press ◉

Abridged English Manual

16

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, e-mail addresses, etc. to Phone Book.

Phone Book Entry Items

Item	Description
Last Name:	Each up to 16 characters. (Select ***Name:*** when saving to USIM Card.)
First Name:	
Reading:	Katakana, alphanumerics and Symbols appear as names are entered (up to 32 characters including ゛ and ゜).
Add Telephone:	Up to three numbers to handset and two numbers to USIM Card (32 digits each).
Add Email Address:	Up to three addresses to handset (128 single-byte characters each), and one address to USIM Card (80 single-byte characters).
Group:	Sort entries into 16 Groups (handset) and 11 Groups (USIM Card). Group names can be changed. Set Ring Tone by Group (handset only).
Postcode:	Up to 20 characters.
Country name:	Up to 32 characters.
State name:	Up to 64 characters.
City name:	Up to 64 characters.
Street name:	Up to 64 characters.
Note:	Add personal details. Use up to 256 characters.
Birthday:	Enter birthday.
Picture:	Set an image to appear for incoming calls/mail.
Assign Tone/Video:	Set Ring Tone or Video by caller.
Secret:	Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret.

- Save up to 500 entries in Phone Book (handset).
- On USIM Card, the number of entries you can save in Phone Book depends on the card specification. Save names, readings, phone numbers, mail addresses and Groups to USIM Card.

Note ▶ Back-up Important Information
Keep a separate copy of important information. When battery is exhausted or removed for long periods, Phone Book entries may be lost. Handset damage may also affect information recovery. Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number and e-mail address.

1 Press ◉, select *Phone Book* and press ◉

2 Select *Phone Book List* and press ◉

3 Select *Add New Entry* and press ◉

4 Select *Last Name:* and press ◉

5 Enter family name and press ◉

6 Select *First Name:* and press ◉

7 Enter first name and press ◉
Characters entered for names appear after *Reading:*
Confirm the reading.

Tip ▶ Correcting Spelling, etc.
Select *Reading:* and press ◉. Correct spelling and press ◉.

8 Select *Add Telephone:* and press ◉

9 Enter a phone number and press ◉

10 Select an icon and press ◉

11 Select *Add Email Address:* and press ◉

12 Enter a mail address and press ◉

13 Select an icon and press ◉

14 Press ⌐ Save

Note ▶ Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

Tip ▶ To Change Save Location
In Standby, press ◉ ➡ Select *Phone Book* ➡ Press ◉ ➡ Select *Advanced* ➡ Press ◉ ➡ Select *Save New Entry* ➡ Press ◉ ➡ Select *Handset*, *SIM* or *Choice* ➡ Press ◉
- Select *Choice* to specify a save location each time you save a new entry.

Editing Phone Book

1 Open a Phone Book entry (☞P.16-35 "Dialling from Phone Book")

2 Press ⌐ Options

3 Select *Edit/Add Details* and press ◉

4 Select an item and press ◉

5 Make corrections and press ◉

6 Press ⌐ Save to finish

Saving from Call History

1. Select a phone number (☞P.16-27 "Calling from Call History")
2. Press ⌐ Options, select *Save Number* and press ◉
3. *New Entry*
   1. Select *As New Entry* and press ◉
   2. Follow Steps 4 - 14 on ☞P.16-34

   New Item
   1. Select a Phone Book entry and press ◉
   2. Press ⌐ Save to finish

Dialling from Phone Book

Changing Search Method

By Reading Order	Shows entries that start with specified Reading.
By Group	Opens entries in the specified Group.
By Katakana	Shows entries with Readings that start with specified katakana or nearest katakana in the same row.

1. Press ◉, select *Phone Book* and press ◉
2. Select *Advanced* and press ◉
3. Select *View Phone Book* and press ◉
4. Select *By Reading Order*, *By Group* or *By Katakana* and press ◉

Tip ▶ To Open Phone Book Entries on USIM Card
In Standby, press ◉ ➡ Select *Phone Book* ➡ Press ◉ ➡ Select *Advanced* ➡ Press ◉ ➡ Select *Ph. Book Location* ➡ Press ◉ ➡ Select *Handset* or *SIM* ➡ Press ◉

Search by Reading

1. Set search method to *By Reading Order*
2. Press ◯
3. Enter reading
4. Select a name and press ◉

Tip ▶ Multiple Numbers
Use ◯ to select other numbers.

5. Press ⌐

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from two different shooting modes. Use ***Photo Camera*** for still images and ***Video Camera*** for videos.

	Photo Camera	Video Camera	
Image Size	W 960 × H 1280 dots W 768 × H 1024 dots W 480 × H 640 dots W 240 × H 320 dots W 120 × H 160 dots W 120 × H 128 dots	W 176 × H 144 dots (QCIF) W 128 × H 96 dots (Sub QCIF)	W 240 × H 320 dots (QVGA)
Save to	Handset or SD Memory Card	Handset or SD Memory Card	SD Memory Card
File Format	JPEG (.jpg)	MPEG-4 (.3gp)	MPEG-4 (.ASF)

Camera Shake
If handset moves whilst shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self Timer.

Note ▶ Lens Cover
Use a soft cloth to wipe fingerprints and oil off the lens cover.
CCD Camera
- Mobile camera is a precision instrument; however, some pixels may appear brighter or darker.
- Shooting/saving images whilst handset is hot may affect the image quality.
- Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's colour filter.

Using Camera with Handset Closed

Open handset and rotate Display 180 degrees clockwise (☞P.16-23 "Using Viewer"). Then close handset with Display in Viewer position. Holding handset horizontally with Side Keys up, press Shutter Key for 1+ seconds to activate Camera.

Using Viewer for Self Portraits

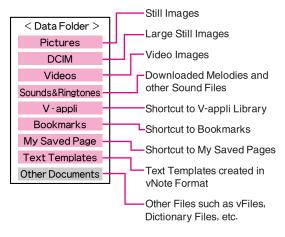
Open handset and activate handset Camera. Then rotate Display 180 degrees clockwise. Turn handset around in your hand so the lens is facing you. Your image appears on Display as a mirror image. After shutter is released, preview image appears reversed.

Capturing Still Images

1. In Standby, open handset (clamshell open) and press ◉
2. Select *Camera* and press ◉
3. Press ◎ to show ▭ on Display
4. Frame image on Display
5. Press ◉ 📷 or Shutter Key
6. Press ⌓ Save to save image
7. Press ⌓ to exit

Data Folder

Data Folder Contents

Saved files are organised in separate folders according to file format.

Opening Data Folder

1. Press ◉, select ***Data Folder*** and press ◉
2. Select a folder and press ◉
   - To select a file in a created sub folder, select the sub folder and press ◉.
   - To open SD Memory Card Data Folder, press ◎.
3. Select a file and press ◉
4. Press CLEAR/BACK to return to Data Folder

MMS Mail Attachments

Example: Attaching an image from Pictures folder to MMS Mail

1. Press ◉, select ***Data Folder*** and press ◉
2. Select ***Pictures*** and press ◉
3. Select a file and press ⌒ Options
4. Select ***Send*** and press ◉
5. Select ***As Message*** and press ◉
6. Enter text and press ◉
7. Select ✉ Send and press ◉
8. Enter a recipient and press ◉
9. Enter a subject, then select ***Send Message*** and press ◉ ✉

Abridged English Manual

16

Vodafone live!

Automatic Network Setup

To use Vodafone live!, first complete Automatic Network Setup. Upon purchase, activate handset power and press ⌵, ⌐ or ◉ to open Automatic Network Setup.
If handset is in Japanese mode, press ⌐ No, then change to English mode (☞P.16-26). Open Automatic Setup, then follow the steps below.

1. Press ⌵, ⌐ or ◉
2. Press ⌵ Yes
   - Handset connects to the Network, and retrieves required information.
   - Follow onscreen instructions.

Vodafone live!

Use Vodafone live! to access the Mobile Internet directly from handset. Browse and download image or sound files, as well as information.

Vodafone live! Menu

Access Mobile Internet sites from Vodafone live! menu.

Auto Delivery Service

When available, request automatic info updates from Mobile Internet sites and download files via Vodafone live!.

Searching the Mobile Internet

1. Press ◉, select ***Vodafone live!*** and press ◉
2. Select ***English*** and press ◉
3. Select a menu item and press ◉
4. Repeat Step 3
5. Press ⏻ to exit Vodafone live!
6. Press ⌵ Yes

Note ▶ Vodafone live! menu contents are subject to change without prior notice.

Vodafone live! Information Menu

Open information and press ⌒ Options to use the following functions.

Item	Description
Home	Open information saved as the home page.
Bookmarks	Open Bookmarks List to access information or edit the list.
Mark Page	Save the current information to Bookmarks List.
Save Items	Save images, sound files and vFiles to Data Folder.
Go to URL	Enter Mobile Internet addresses directly.
Access History	Open information from history in Access List.
Reload Page	Update information.
Advanced	Save/edit Snapshots, send URL by mail, open properties, delete saved information, search within information, customise settings, etc.
Exit	Exit Vodafone live!.

Messaging

Vodafone text communication services are available in Japan and overseas. Exchange text or multimedia messages with compatible handsets and PCs, etc. via the Internet.

SMS

Exchange short text messages of up to 160 single-byte characters with SMS compatible Vodafone handsets.

MMS

Exchange long text messages of up to approximately 30,000 single-byte characters with MMS compatible Vodafone handsets, e-mail compatible handsets and PCs and other devices via the Internet. Attach images, sounds or vFiles to messages. Send/receive up to 300 KB (attachment and message text).

Note ▶ 802SH handset is incompatible with Greeting, Coordinator, Relay Mail or Hotline. Messages from these services are not received.

Tip ▶
- An additional contract is required to use MMS and receive e-mail from PCs, etc.
- If a recipient's handset is turned off or out of range, the Centre's Retry Function automatically resends the message. The message is deleted if not received by the set Expiration.

Opening Messages

1. Press ◉, select *Messages* and press ◉
2. Select *Received*, *Draft*, *Sent* or *Unsent* and press ◉
3. Select a message and press ◉

Editing Messages

1. Open a message
2. Press ⏋ Options
   Menu appears. Menu contents differ by message type.
3. Select an item and press ◉

Customising Handset Address

Change alphanumerics before @ of initial handset mail address. Customising handset mail address helps reduce spam.

1. Press ◉, select *Vodafone live!* and press ◉
   Handset connects to the Network and Vodafone live! menu opens.
2. Select *My Vodafone* and press ◉
3. Select ***オリジナルメール設定*** (Original Mail Setting) and press ◉
4. Select the text entry field below ***暗証番号を入力してください。*** (Enter Centre Access Code) and press ◉
5. Enter Centre Access Code and press ◉
6. Select *OK* and press ◉
7. Select 1.***メールアドレス編集*** (Edit Mail Address) and press ◉
8. Select the text entry field below ***ご希望のアカウントを入力してください。*** (Enter Address) and press ◉
9. Enter an address and press ◉
   Enter between 3 and 30 single-byte characters.
10. Select *OK* and press ◉

Note ▶ After Step 9, if ご希望のE-メールアドレスは既に登録されています。他のアドレスを入力してください。 (Address is already in use. Please select another) appears, select the field again, and press ◉ to enter another address. Repeat Step 8.

Messages Menu

Press ◉, then select *Messages* and press ◉ to open Messages Menu.

Item	Description
Create New	Create new message.
Received	Open received messages.
Personal Folders	Open messages sorted into folders.
Draft	Open draft messages.
Templates	Open messages saved as templates.
Sent	Open sent messages.
Unsent	Open undelivered/cancelled/failed outgoing messages.
Server Mail Box	Download and open list of messages on Server, or receive all messages on Server.
Voice Mail	Play Voice Mail messages.
Settings	Customise general items, SMS, MMS, and Personal Folders.
Memory Status	View memory status of each Mail Box.

Sending Text Messages

1 Press ◉, select *Messages* and press ◉

2 Select *Create New* and press ◉

3 Enter text and press ◉

4 Press ◎ to show ⸢⸥ on Media Console

For more about Media Console, see P.16-43.

Media Console

5 Attach files (MMS only)

Attaching Images

1 Use ◎ to select 🖼 on Media Console and press ◉

2 Select a file and press ◉

Attaching Sound Files

1 Use ◎ to select ♫ on Media Console and press ◉

2 Select a file and press ◉

Attaching Video Images

1 Use ◎ to select 🎞 on Media Console and press ◉

2 Select a file and press ◉

6 When finished, use ◎ to select ✉ on Media Console and press ◉

7 Enter a recipient

Phone Book

1 Select an entry and press ◉

2 Select recipient's mail address or Vodafone handset number and press ◉

Direct Entry

1 Select ***Enter Phone Number*** or ***Enter Email Address*** and press ◉

2 Enter a mail address or Vodafone handset number and press ◉

8 Enter subject (MMS only)

1 Select the subject entry field and press ◉

2 Enter a subject and press ◉

9 Select ***Send Message*** and press ◉

Media Console

Media Console appears in New Message window for mail-related functions.

- When ⌈⌋ is on Media Console, use ◎ to select icons. If not, press ◎ until ⌈⌋ appears.

✉ **Send Message**
Enter a recipient/subject, convert mail type, send message, or use option settings.
- Available after entering message text or attaching files.

🖼 **Add Picture**

♫ **Add Sound**

🎞 **Add Video**

☰ **Options**
Attach other types of files, create slides, check message text or attached files, or save to Draft Messages or Templates.

Incoming Text Messages

Receiving MMS & SMS Messages

The Centre automatically delivers text messages to handset. 📨 (MMS) or 📨 (SMS) appears.
Whilst *Message Received* appears, press ◉ to open Received Messages.

Opening Received Text Messages

1. Press ◉, select *Messages* and press ◉
2. Select *Received* and press ◉
3. Select a message and press ◉

Retrieving MMS Messages

The Centre delivers initial portion of MMS messages in the following cases:

- The message was sent to more than one recipient
- Files are attached to the message

Follow the steps below to download the entire message and attachments:

1. Open a message (☞P.16-44)
   Select an MMS message 📨 with 🅸 (MMS Notice)
2. Press ✉ Options
3. Select *Download* and press ◉

Replying & Forwarding

Replying to Messages

1 Open a received message (☞P.16-41)

2 Press ⌒ Options

3 Select ***Reply*** or ***Reply All*** and press ◉

4 Enter text

5 Press ◌, then use ◌ to select ✉ Send and press ◉

6 Select ***Send Message*** and press ◉ ✉

Forwarding Messages

1 Open a received, sent or unsent message (☞P.16-41)

2 Press ⌒ Options

3 Select ***Forward*** and press ◉

4 Press ◉

5 Enter a recipient and press ◉

6 Select ***Send Message*** and press ◉ ✉

V-applications

A variety of V-applications are available for use with Vodafone handsets.

- Download V-applications from the Mobile Internet.
- Enjoy Network games or real time information.
- Keep a V-application active in Standby.

V-appli Menu

Press ◉, then select ***V-appli*** and press ◉ to open V-appli Menu.

Item	Description
V-appli Library	Download, use or delete V-applications
Screensaver	Set/cancel Standby V-appli Screen Saver. Specify the start time or make application to pause after a set period of inactivity (transition time).
Settings	Adjust V-application settings
Information	Open Java™ information

Downloading V-application

1. Press ◉, select ***V-appli*** and press ◉
2. Select ***V-appli Library*** and press ◉
3. Select ***More V-appli*** and press ◉
   Handset connects to the Network and Vodafone live! menu opens.
4. Open information containing V-applications
5. Select a V-application and press ◉
6. Press ◉
   V-application is saved and confirmation appears.
7. Press ⌐ Yes

Abridged English Manual

16

Function Menu

Main Menu	Sub Menu
V-appli	V-appli Library
	Screensaver
	Settings
	Information
Vodafone live!	—
Media Player	—
Messages	Create New
	Received
	Personal Folders
	Draft
	Templates
	Sent
	Unsent
	Server Mail Box
	Voice Mail
	Settings
	Memory Status
Camera	—
Data Folder	Pictures
	DCIM
	Videos
	Sounds&Ringtones
	V-appli
	Bookmarks
	My Saved Page
	Text Templates
	Other Documents

Main Menu	Sub Menu
Tools	Calendar
	Alarms
	Calculator
	Voice Recorder
	Stopwatch
	Tasks
	World Clock
	Countdown Timer
	Expenses Memo
	SIM Application
	Photo Print
	E-Book
	Phone Help
Phone Book	Phone Book List
	Manage Group
	Speed Dial List
	My Details
	Advanced
Barcode	Scan Barcode
	Open Barcode
	Create QR Code
	Scan Text
	Scanned Results

Main Menu	Sub Menu
Connectivity	Bluetooth
	Infrared
	Network Settings
	Internet Setting
	Backup/Restore
Call Log	All Calls
	Missed Calls
	Received Calls
	Dialled Numbers
	Call Timers
	Call Costs
	Voice Memo
Settings	Mode Settings
	Display Settings
	Sound Settings
	Time & Date
	言語選択
	User Dictionary
	Call Settings
	TV Call Settings
	Security
	Memory Settings
	LBS Settings
	Master Reset

Specifications

802SH

Weight	Approximately 141 g (with battery)
Continuous Call Time	Approximately 150 minutes (3G Mode) Approximately 240 minutes (GSM Mode)
Continuous Standby Time (when closed)	Approximately 240 hours (3G Mode) Approximately 250 hours (GSM Mode)
TV Call Continuous Call Time	Approximately 90 minutes
Charging Time (Power off)	AC Charger: Approximately 135 minutes Cigarette Lighter Charger: Approximately 145 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 50 × 102 × 26 mm (when closed, without protruding parts)
Maximum Output	0.25 W (3G Mode) 2.0 W (GSM Mode)

- Continuous Call Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with both Power Saving and Panel Saving off, with stable signal reception.
  Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with normal signal reception. Standby Time may be less than half this value if handset is out of range or signal quality is poor. Battery life may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Battery Time is a nominal value, measured under stable signal conditions. Battery Time may be less than half this time if handset is used in weak signal conditions.
- Call Time and Standby Time will decrease if Display/Keypad Backlights are used frequently.
- Call Time and Standby Time may decrease when V-applications are active.
- Call Time and Standby Time may decrease by handset operations or settings.
- Displays employ precision technology. However, some pixels may appear brighter or darker.

AC Charger

Power Source	AC 100 V - 240 V, 50/60 Hz
Power Consumption	13 VA
Output Voltage/Current	DC 5.2 V/650 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 53 × 49 × 20 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Desktop Holder

Input Voltage/Current	DC 5.2 V/650 mA
Output Voltage/Current	DC 5.2 V/650 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 58.5 × 26 × 132 mm (without protruding parts)

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	870 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 37.5 × 5.8 × 44.7 mm (without protruding parts)

Multi Stereo Headphones

Stereo Headphones

Weight	Approximately 11 g
Cord Length	Approximately 90 cm

Handsfree Microphone

Weight	Approximately 12 g
Cord Length	Approximately 75 cm

Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information.
For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centres

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Centre	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

機能一覧

メインメニュー	サブメニュー	参照先
Vアプリ	Vアプリライブラリ	☞P.15-4
	Vアプリ待受設定	☞P.15-6
	Vアプリ設定	☞P.15-8
	インフォメーション	☞P.15-4
Vodafone live!	—	☞P.13-6
メディアプレイヤー	—	☞P.7-2
メール	新規作成	☞P.14-7
	受信メール	☞P.14-17
	振り分けフォルダ	☞P.14-20
	下書き	☞P.14-17
	テンプレート	☞P.14-16
	送信済みメール	☞P.14-17
	未送信メール	☞P.14-17
	サーバーメール操作	☞P.14-29
	留守番電話	☞P.12-4
	設定	☞P.14-31
	メモリ使用状況	☞P.14-33
カメラ	—	☞P.6-2

メインメニュー	サブメニュー	参照先
データフォルダ	ピクチャー	☞P.8-2
	デジタルカメラ	☞P.8-2
	ムービー	☞P.8-2
	着信メロディ＆サウンド	☞P.8-2
	Vアプリ	☞P.15-2
	ブックマーク	☞P.13-11
	お気に入り	☞P.13-14
	定型文	☞P.8-13
	その他ファイル	☞P.8-2
ツール	カレンダー	☞P.11-2
	アラーム	☞P.11-5
	簡易電卓	☞P.11-8
	ボイスレコーダー	☞P.11-9
	ストップウォッチ	☞P.11-17
	予定リスト	☞P.11-18
	世界時計	☞P.11-20
	キッチンタイマー	☞P.11-21
	マネー積算メモ	☞P.11-22
	USIMアプリ※	—
	プリント指定（DPOF）	☞P.11-22
	電子ブック	☞P.11-24
	ガイド機能	☞P.11-28
電話帳	電話帳	☞P.4-2
	グループ設定	☞P.4-7
	スピードダイヤル設定	☞P.4-12
	オーナー情報	☞P.4-13
	その他	☞P.4-8

※サービスをご利用可能なUSIMカードを使用しているときだけ操作できます。

メインメニュー	サブメニュー	参照先
バーコード／OCR	バーコードリーダー	☞P.11-11
	データフォルダ	☞P.11-13
	QRコード作成	☞P.11-14
	文字読み取り	☞P.11-15
	読み取りデータ確認	☞P.11-13
外部接続	Bluetooth	☞P.9-3
	赤外線通信	☞P.9-9
	ネットワーク設定	☞P.9-14
	インターネット設定	☞P.9-15
	メモリカードバックアップ	☞P.9-19
通話履歴	全通話履歴	☞P.2-11
	不在着信履歴	☞P.2-11
	着信履歴	☞P.2-11
	発信履歴	☞P.2-11
	通話時間	☞P.2-12
	通話料金	☞P.2-13
	ボイスメモ	☞P.2-10
設定	モード設定	☞P.10-2
	ディスプレイ設定	☞P.10-4
	サウンド設定	☞P.10-6
	日時設定	☞P.10-7
	Language	☞P.10-5
	ユーザー辞書	☞P.10-8
	通話設定	☞P.10-9
	TVコール設定	☞P.5-5
	セキュリティ設定	☞P.10-10
	メモリ設定	☞P.10-13
	位置情報設定	☞P.10-13
	初期化	☞P.10-14

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処　置
電源が入らない	●を長く（２秒以上）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックが802SHに装着されていますか？	●を長く（２秒以上）押してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。 ●正しく装着してください。
電源を入れたのに操作できない	●PIN On/Off設定が「On」に設定されていませんか？	●PIN On/Off設定が「On」に設定されているときは、PIN1コードの入力を求められますので、画面の指示に従って入力してください。（☞P.10-10）
電源を入れたときや機能の操作時に「USIMカード未挿入」と表示される	●USIMカードは正しく差し込まれていますか？ ●違ったUSIMカードをお使いではありませんか？ ●USIMカードのIC部に指紋などの汚れがついていませんか？	●USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているときは、破損している可能性があります。 ●正しいUSIMカードであることを確認してください。使用できないカードが取り付けられている可能性があります。 ●乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-29） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.10-11）
ダイヤルしても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など「0」からはじまる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「」表示）	●市外局番など「0」からはじまる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.2-18）
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。

付録
17

症状	確認すること	処　置
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-29） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.10-11）
電話帳を使って電話がかけられない	●かけたい電話帳をシークレットメモリに登録していませんか？ ●電話帳使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードにしてください。（☞P.10-12） ●電話帳使用禁止を解除してください。（☞P.10-11）
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターが802SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックが802SHに装着されていますか？ ●802SHが卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●802SH、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、802SHの外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電しないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●周囲温度5℃～35℃の場所でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	—
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。 長時間通話すると、802SHが熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。	—

症状	確認すること	処　置
電池の消耗が早い	● 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●「**完全に充電したときの利用可能時間**」、「**電池パックの持ちについて**」、「**電池パックの消耗を軽減するには**」を参照してください。（☞P.1-17～P.1-18）
ディスプレイの表示がちらつく	● 蛍光灯の下では、ディスプレイの表示がちらつくことがあります。	—
バックライト消灯時ディスプレイの表示が暗い	● ディスプレイの特性によるもので、故障ではありません。	—
スピーカーで音楽が再生できない	● マナーモードが設定されていませんか？	● マナーモードを解除してください。（☞P.2-17）
ハンドセットマネージャーを利用してBluetoothやUSB通信ができない	● パソコン側のBluetoothやUSBの接続ポートが、ハンドセットマネージャーで設定しているポートと同じですか？	● ハンドセットマネージャーのインターフェース設定でポートを合わせてください。
ハンドセットマネージャーと802SHが接続できなくなった	● ハンドセットマネージャーが正しく動作していますか？	● パソコンを再起動してください。

補足▶
- ハンドセットマネージャーを利用してデータをやりとりしているとき、802SHでキャンセル操作を行ってもタイミングによってはキャンセルできないことがあります。
- 故障の際の連絡先やアフターサービスについては、P.17-32を参照してください。

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。
「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所へ移動してください。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-19）
電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-29）
設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-5）を押して電話に出ることができます。

■「」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.10-11）
ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-5）を押して電話に出ることができます。

Vアプリに関する画面表示

画面	原　因	処　置
一時停止中の Vｱﾌﾟﾘがあります 終了しますか?	● 一時停止中のVアプリがあります。	● 一時停止中のVアプリを終了してから、やり直してください。
○○ を本体にﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ します ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｻｲｽﾞ: XXKB 保存ﾌｧｲﾙｻｲｽﾞ: XXKB ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞしますか? 電池残量が 足りないため 正常終了しない 可能性があります	● 電池残量が少ないので、ダウンロードが正常に終了しない可能性があります。	● 電池パックを充電してから、ダウンロードすることをおすすめします。
○○ を本体の空き容量が 不足しているため ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞにﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ します ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｻｲｽﾞ: XXKB 保存ﾌｧｲﾙｻｲｽﾞ: XXKB ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞしますか?	● ライブラリのメモリが一杯です。	● [ソフトキー]（**OK**）を押すと、ダウンロードを継続します。[ソフトキー]（**戻る**）を押すと、ダウンロードを中止します。
本体の登録可能 件数をｵｰﾊﾞｰして いるため 保存できません	● すでにVアプリが802SHのVアプリライブラリに100件登録されています。（左記のメッセージは、確認メッセージとして表示されます。）	● 不要なVアプリを削除してから、やり直してください。（☞P.15-6）

付録

17

画面	原　因	処　置
既に登録されている ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝより新しい ﾊﾞｰｼﾞｮﾝです ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを 続けますか？	●ダウンロードしようとしているVアプリの古いバージョンが、802SHのVアプリライブラリに登録されています。	●（Yes）を押すと、ダウンロードを継続します。 （No）を押すと、ダウンロードを中止します。

補足▶ 次のような内容が表示されたときはダウンロードできません
●「不正データのためダウンロードできません」
●「アプリケーションサイズが大きすぎるためダウンロードできません」
●「既に登録されているアプリケーションと同じバージョンですダウンロードを続けますか？」

こんなときは（メール）

■写メールがうまく送信できないとき

次のような原因が考えられます。詳しくは、「**3Gガイドブック**」を参照してください。

- **相手がMMS／スーパーメール／ロングメールなどの契約をしていないとき**
- **相手がMMSに対応していないとき**
  - ■相手がスーパーメール対応機やロングメール対応機などのときは、受信できるデータ容量が異なります。
- **相手がJPEG形式に対応していないとき**
  - ■相手がPNG形式に対応しているときは、JPEG形式の画像をPNG形式に変換して送信できます。（☞P.8-13）

■受信メールを保存する容量がないとき

新しいメールを受信することはできません。このとき、受信不可の確認メッセージが表示されます。[「✉」（赤）表示]
受信できなかったメールは、サービスセンターに蓄積されます。

- 受信メールを削除してください。（☞P.14-25）
  受信メールを削除し、新しいメールを保存するメモリができると、自動的にサービスセンターに蓄積されたメールを受信します。
- 受信メールを保存するメモリがない場合に新しいメールが送られてきたときは、保護されていないメールを自動削除することができます。（☞P.14-26）
- 各サービスの使用メモリの合計が 100%未満のときでも、新しいメールを受信できないことがあります。このときも受信メールを削除してください。（☞P.14-25）

区点コード一覧

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
						あ				
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
						い				
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
						う				
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
						え				
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
						お				
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
						か				
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
						き				
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興

区点1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
223	蒿	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	―く―									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	―け―									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	―こ―									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫

区点1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	―さ―									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	―し―									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十

区点1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	―す―									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	―せ―									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎

区点1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	―そ―									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	―た―									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	―ち―									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
――つ――										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
――て――										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
――と――										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
――な――										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
――に――										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
――ぬ～の――										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
――は――										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
――ひ――										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
――ふ――										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
――へ――										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
――ほ――										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
――ま――										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
――み――										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
――む――										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
――め――										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
――も――										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
――や――										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
――ゆ――										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
――よ――										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
――ら――										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
――り――										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
――る～れ――										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
――ろ――										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
――わ――										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻

付録

17

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤		凜	熙		

絵文字一覧

絵文字を入力するときは、絵文字入力モード１～６にして⌐（**リスト**）を押します。
◎で絵文字を選んだあと、◉を押して入力します。

■絵文字コード１

コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字
01		19		37		55		73	
02		20		38		56		74	
03		21		39		57		75	
04		22		40		58		76	
05		23		41		59		77	
06		24		42		60		78	
07		25		43		61		79	
08		26		44		62		80	
09		27		45		63		81	
10		28		46		64		82	
11		29		47		65		83	
12		30		48		66		84	
13		31		49		67		85	
14		32		50		68		86	
15		33		51		69		87	
16		34		52		70		88	
17		35		53		71		89	
18		36		54		72		90	

注意▶ 絵文字非対応のボーダフォン携帯電話や、E-mailでは表示されません。

補足▶ □部の絵文字は動画です。

■絵文字コード2

コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字
01		19		37		55		73	
02		20		38		56		74	
03		21		39		57		75	
04		22		40		58		76	
05		23		41		59		77	
06		24		42		60		78	
07		25		43		61		79	
08		26		44		62		80	
09		27		45		63		81	
10		28		46		64		82	
11		29		47		65		83	
12		30		48		66		84	
13		31		49		67		85	
14		32		50		68		86	
15		33		51		69		87	
16		34		52		70		88	
17		35		53		71		89	
18		36		54		72		90	

■絵文字コード3

コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字
01		19	UP!	37	0	55		73	
02		20		38	得	56		74	
03		21	有	39	割	57		75	
04		22	無	40	サ	58		76	TOP
05		23	月	41	ID	59		77	OK
06		24	申	42	満	60		78	©
07	18	25		43	空	61		79	®
08		26		44	指	62		80	
09		27		45	営	63		81	OFF
10		28	1	46		64		82	
11		29	2	47		65		83	
12		30	3	48		66			
13		31	4	49		67			
14		32	5	50		68			
15		33	6	51		69			
16	#	34	7	52		70			
17		35	8	53		71			
18	NEW	36	9	54		72			

注意▶ 絵文字非対応のボーダフォン携帯電話や、E-mailでは表示されません。

補足▶ □部の絵文字は動画です。

■絵文字コード4

コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字
01		17		33		49		65	
02		18		34		50		66	
03		19		35		51		67	
04		20		36		52		68	
05		21		37		53		69	
06		22		38		54		70	
07		23		39		55		71	
08		24		40		56		72	
09		25		41		57		73	
10		26		42		58		74	
11		27		43		59		75	
12		28		44		60		76	
13		29		45		61		77	
14		30		46		62			
15		31		47		63			
16		32		48		64			

■絵文字コード5

コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字
01		17		33		49		65	
02		18		34		50		66	
03		19		35		51		67	
04		20		36		52		68	
05		21		37		53		69	
06		22		38		54		70	
07		23		39		55		71	
08		24		40		56		72	
09		25		41		57		73	
10		26		42		58		74	
11		27		43		59		75	
12		28		44		60		76	
13		29		45		61			
14		30		46		62			
15		31		47		63			
16		32		48		64			

注意▶ 絵文字非対応のボーダフォン携帯電話や、E-mailでは表示されません。

補足▶ ［　　］部の絵文字は動画です。

付録

17

■絵文字コード6

コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字
01		13		25		37		49	
02		14		26		38		50	
03		15		27		39		51	
04		16		28		40		52	
05		17		29		41		53	
06		18		30		42		54	
07		19		31		43		55	TM
08		20		32		44		56	
09		21		33		45		57	
10		22		34		46		58	vodafone
11		23		35		47			
12		24		36		48			

注意▶ 絵文字非対応のボーダフォン携帯電話や、E-mailでは表示されません。

補足▶ □部の絵文字は動画です。

付録
17

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なることがあります。

■802SH

質量	約141g（電池パック装着時）
連続通話時間	約150分（3Gモード） 約240分（GSMモード）
連続待受時間 （クローズポジション時）	約240時間（3Gモード） 約250時間（GSMモード）
TV電話連続通話時間	約90分
充電時間 （802SHの電源を切って充電した場合）	急速充電器：約135分 シガーライター充電器：約145分
サイズ （幅×高さ×奥行）	約50×102×26mm（クローズポジション時） （アンテナ、突起部 除く）
最大出力	0.25W（3Gモード） 2.0W（GSMモード）

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、802SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示状態の待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明が点灯している状態での利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。（☞P.1-17）
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

■急速充電器

電源	AC 100V-240V、50／60Hz共用
消費電力	13VA
出力電圧／出力電流	DC 5.2V／650mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約53×49×20mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5m

■卓上ホルダー

入力電圧／入力電流	DC 5.2V／650mA
出力電圧／出力電流	DC 5.2V／650mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約58.5×26×132mm（突起部 除く）

■電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	870mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約37.5×5.8×44.7mm（突起部 除く）

■マルチステレオイヤホンマイク

質量	約11g
コードの長さ	約90cm

■ハンズフリーマイク

質量	約12g
コードの長さ	約75cm

索引

英数字

あ

か

付録 17

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

保証書とアフターサービス

■**保証書**

802SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- **お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。**
- **内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。**
- **保証期間は、保証書に記載しております。**

■**アフターサービスについて**

修理をご依頼になる前に、「**故障かな?と思ったら**」(☞P.17-4)に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付(☞P.17-32)にご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」(☞P.17-32)までご連絡ください。

なお、補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、生産打ち切り後6年です。

注意▶

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録/設定した内容が消失/変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。
  なお、故障または修理の際に802SHに登録したデータ(電話帳/画像/サウンドなど)や設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付　ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）